Copyright © 2016 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
- 3. IM-BPMについて
  - 3.1. IM-BPMの特徴
- 4. 基本編
  - 4.1. プロセスインスタンスの開始
  - 4.2. ケースインスタンスの開始
  - 4.3. タスクについて
  - 4.4. グループタスクを操作する
    - 4.4.1. 担当者に設定する
    - 4.4.2. 担当者を全ユーザから割り振る
    - 4.4.3. 担当者を処理対象のユーザから割り振る
    - 4.4.4. 表示項目を変更する
  - 4.5. 個人タスクを操作する
    - 4.5.1. 担当を外す
    - 4.5.2. 処理する
    - 4.5.3. 一括で処理する
    - 4.5.4. 表示項目を変更する
    - 4.5.5. 処理済のタスクを確認する
    - 4.5.6. 開始済のプロセスインスタンスを確認する
    - 4.5.7. 処理の履歴を確認する
  - 4.6. プロセスインスタンスを参照する
    - 4.6.1. プロセスインスタンス参照
    - 4.6.2. 関係者/関係グループ一覧
    - 4.6.3. タスク追加
  - 4.7. ケースインスタンスを参照する
    - 4.7.1. ケースインスタンス参照
    - 4.7.2. 画面構成
      - 4.7.2.1. ヘッダエリア
      - 4.7.2.2. ビューアエリア
      - 4.7.2.3. タイムラインエリア
    - 4.7.3. 詳細情報
    - 4.7.4. 関係者/関係グループ一覧
    - 4.7.5. タスク追加
  - 4.8. プロセスインスタンスにタスクを追加する
    - 4.8.1. タスク追加画面を開く
    - 4.8.2. オプショナルタスクを追加する
    - 4.8.3. オプショナルタスクを編集する
    - 4.8.4. アドホックタスクを追加する
  - 4.9. ケースインスタンスにタスクを追加する
    - 4.9.1. タスクを追加できる画面
    - 4.9.2. ステージの関係者別タスク一覧
    - 4.9.3. オプショナルタスクを追加する
    - 4.9.4. オプショナルタスクを編集する
    - 4.9.5. アドホックタスクを追加する
  - 4.10. ポートレット
    - 4.10.1. 個人タスクポートレット
  - 4.11. プロセスインスタンスを一覧表示する
    - 4.11.1. プロセス一覧
    - 4.11.2. 検索条件を編集する
    - 4.11.3. 一覧表示設定を編集する
    - 4.11.4. クエリ

- 4.11.4.1. プライベートクエリ
- 4.11.4.2. パブリッククエリ
- 5. 管理者編
  - 5.1. プロセス定義
    - 5.1.1. デプロイする
      - 5.1.1.1. プロセスデザイナでデプロイする
      - 5.1.1.2. プロセスデザイナ（デスクトップ版）で作成したデプロイ資材をデプロイする
      - 5.1.1.3. デプロイ内容を確認する
    - 5.1.2. アンデプロイする
    - 5.1.3. プロセス定義を確認する
      - 5.1.3.1. プロセス定義一覧
      - 5.1.3.2. プロセス定義詳細
    - 5.1.4. プロセス定義の無効化
  - 5.2. ケース定義
    - 5.2.1. デプロイする
      - 5.2.1.1. プロセスデザイナでデプロイする
      - 5.2.1.2. デプロイ内容を確認する
    - 5.2.2. アンデプロイする
    - 5.2.3. ケース定義を確認する
      - 5.2.3.1. ケース定義一覧
      - 5.2.3.2. ケース定義詳細
    - 5.2.4. ケース定義の無効化
  - 5.3. プロセスインスタンス
    - 5.3.1. プロセスインスタンスを確認する
      - 5.3.1.1. プロセスインスタンス一覧
        - 5.3.1.1.1. プロセスインスタンス一覧を確認する
        - 5.3.1.1.2. 表示項目を変更する
        - 5.3.1.1.3. 変数検索を利用する
      - 5.3.1.2. プロセスインスタンス詳細
      - 5.3.1.3. 障害中のサービスを再実行する
      - 5.3.1.4. プロセスインスタンスの履歴を確認する
      - 5.3.1.5. 関係者/関係グループを確認する
      - 5.3.1.6. タスク追加
      - 5.3.1.7. プロセスインスタンスを削除する
      - 5.3.1.8. プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する
    - 5.3.2. プロセスインスタンスの変数を確認する
      - 5.3.2.1. 変数参照
      - 5.3.2.2. 変数操作
        - 5.3.2.2.1. 変数を追加する
        - 5.3.2.2.2. 変数を編集する
        - 5.3.2.2.3. 変数を削除する
    - 5.3.3. プロセスインスタンスのマイグレーションを行う
      - 5.3.3.1. マイグレーションとは
      - 5.3.3.2. マイグレーション
      - 5.3.3.3. 一括マイグレーション
  - 5.4. ケースインスタンス
    - 5.4.1. ケースインスタンスを確認する
      - 5.4.1.1. ケースインスタンス一覧
        - 5.4.1.1.1. ケースインスタンス一覧を確認する
      - 5.4.1.2. ケースインスタンス詳細
      - 5.4.1.3. 障害中のサービスを再実行する
      - 5.4.1.4. タイムライン
  - 5.5. タスク
    - 5.5.1. タスクを管理する
      - 5.5.1.1. タスクの一覧を確認する
      - 5.5.1.2. 表示項目を変更する
      - 5.5.1.3. 担当者を全ユーザから割り振る
      - 5.5.1.4. 担当者を処理対象のユーザから割り振る

- 5.6. BAM
  - 5.6.1. 全体管理画面
  - 5.6.2. Elasticsearch、Kibana連携
- 5.7. プロセスモニタ
  - 5.7.1. 利用するための前提
  - 5.7.2. 制限事項
    - 5.7.2.1. アドホックタスク
    - 5.7.2.2. ケース定義
    - 5.7.2.3. デスクトップ版プロセスデザイナ
    - 5.7.2.4. iPad(Mobile Safari)ではプロセスモニタ画面を利用できません。
  - 5.7.3. 画面構成とイベント
    - 5.7.3.1. プロセスモニタの一覧画面を表示する
    - 5.7.3.2. プロセスモニタのモニタリング画面を表示する
    - 5.7.3.3. プロセスにKPIを設定する
    - 5.7.3.4. 差配管理画面を表示する
    - 5.7.3.5. 担当者選択モーダルを表示する
    - 5.7.3.6. グラフデータをCSV出力する
- 5.8. 差配管理
  - 5.8.1. 利用するための前提
    - 5.8.1.1. 適切なロールを付与する
    - 5.8.1.2. プロセス管理ユーザ・グループを設定する
    - 5.8.1.3. 評価観点集計ジョブ（日次）
  - 5.8.2. 制限事項
    - 5.8.2.1. アドホックタスク
    - 5.8.2.2. コールアクティビティ
    - 5.8.2.3. ケース定義
    - 5.8.2.4. デスクトップ版プロセスデザイナ
    - 5.8.2.5. iPad(Mobile Safari)では差配管理画面を利用できません。
  - 5.8.3. 画面構成とイベント
    - 5.8.3.1. プロセス定義の一覧を表示する
    - 5.8.3.2. プロセス図を表示する
    - 5.8.3.3. タスク分析を表示する
    - 5.8.3.4. 差配するタスク担当者を選択する
- 5.9. ポートレット管理
  - 5.9.1. 個人タスクポートレット
- 5.10. インポート/エクスポート
  - 5.10.1. インポート
    - 5.10.1.1. インポートを行う
  - 5.10.2. エクスポート
    - 5.10.2.1. すべてのデータをエクスポートする
    - 5.10.2.2. 指定のデータをエクスポートする
    - 5.10.2.3. エクスポートするデプロイメントの内容を確認する

改訂情報

変更年月日	変更内容
2016-08-01	初版
2016-12-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*管理者編*」に「*タスク*」を追加。 ▪ 「*表示項目を変更する*」に変数の検索機能を追加。 ▪ 「*プロセスインスタンス*」に「*プロセスインスタンスの変数を確認する*」を追加。 ▪ 「*プロセスインスタンスの開始*」のページに業務キー登録手順を加筆。 ▪ 下記のページの一覧テーブルについて、追加された列の説明を加筆しました。 　▪ 「*プロセスインスタンスの開始*」 　▪ 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*個人タスクを操作する*」
2017-04-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*デプロイする*」にデプロイ時にデプロイ名を任意に設定できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「*デプロイする*」にデプロイ時にカテゴリを既存のカテゴリからを任意に選択できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスの開始*」にプロセス定義の設定により業務キーの入力有無を設定できるようにした説明を加筆しました。 ▪ 「*インポート/エクスポート*」を追加しました。 ▪ 「*処理済のタスクを確認する*」の担当日時をユーザタスク開始時に担当になった場合も表示するようになったため説明を一部削除しました。 ▪ 下記のページにカテゴリの説明を加筆しました。 　▪ 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*個人タスクを操作する*」 　▪ 「*タスクを管理する*」 ▪ 「*ポートレット*」を追加しました。 ▪ 「*ポートレット管理*」を追加しました。 ▪ 下記のページにドキュメントの説明を加筆しました。 　▪ 「*プロセスインスタンスの開始*」 　▪ 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*個人タスクを操作する*」 　▪ 「*プロセス定義詳細*」 　▪ 「*プロセスインスタンス詳細*」 　▪ 「*タスクを管理する*」
2017-12-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスの履歴を確認する*」を追加しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを削除する*」を追加しました。 ▪ 下記のページに期限日時の説明を加筆しました。 　▪ 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*個人タスクを操作する*」 　▪ 「*タスクを管理する*」 　▪ 「*ポートレット管理*」 ▪ プロセス図の仕様変更に伴い、下記のページの表示倍率の説明を変更しました。 　▪ 「*プロセス定義詳細*」 　▪ 「*プロセスインスタンス詳細*」 　▪ 「*プロセスインスタンスのマイグレーションを行う*」

変更年月日	変更内容
2018-04-01	第5版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*アンデプロイする*」のデプロイ一覧に登録者とコメントの説明を加筆しました。
2018-08-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*開始済のプロセスインスタンスを確認する*」を追加しました。
2018-12-01	第7版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを参照する*」を追加しました。
2019-04-01	第8版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを確認する*」に「*関係者/関係グループ一覧*」を加筆しました。
2019-08-01	第9版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*基本編*」に「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」を加筆しました。 ▪ 各ページでオプショナルタスクについて対応しました。
2019-12-01	第10版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」のページ名を変更し、アドホックタスクについて加筆しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスのマイグレーションを行う*」に、アドホックタスクについて加筆しました。
2020-04-01	第11版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセス定義を確認する*」に定義種別について加筆しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを確認する*」に定義種別について加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」に「*ケース定義*」を加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」に「*ケースインスタンス*」を加筆しました。 ▪ 「*基本編*」に「*ケースインスタンスの開始*」を加筆しました。 ▪ 「*基本編*」に「*ケースインスタンスを参照する*」を加筆しました。 ▪ 「*基本編*」に「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」を加筆しました。
2020-08-01	第12版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*基本編*」 - 「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」のオプショナルタスクの削除方法について変更しました。 ▪ 「*基本編*」 - 「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」のオプショナルタスクの削除方法について変更しました。
2023-10-01	第13版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*基本編*」 - 「*グループタスクを操作する*」を加筆しました。 ▪ 「*基本編*」 - 「*個人タスクを操作する*」を加筆しました。 ▪ 「*基本編*」 - 「*プロセスインスタンスを一覧表示する*」を加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「*プロセスインスタンスを確認する*」 を加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「*プロセスインスタンスを確認する*」 に「変数検索を利用する」を加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「*タスクを管理する*」 を加筆しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「*プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する*」 を加筆しました。 ▪ 「プロセス一覧」画面の追加に伴い、従来の「プロセス一覧」を「管理者向けプロセス一覧」にリネームしました。
2024-04-01	第14版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「差配管理」を加筆しました。

変更年月日	変更内容
2024-07-31	第15版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「差配管理」 - 「制限事項」 から下記項目を削除しました。 　▪ 集計ジョブではサマータイムの考慮は行っておりません。
2024-10-01	第16版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを参照する*」のページ構成を見直しました。 ▪ 「*プロセスインスタンスを一覧表示する*」のページ構成を見直しました。 ▪ 「差配管理」 - 「利用するための前提」 について以下の変更を行いました。 　▪ 必要な認可の付与のための前提を、認可の手動設定からロールの付与に変更しました。
2024-11-29	第17版 下記を変更しました。 ▪ 「*表示項目を変更する*」の「注釈：「値（式）」の入力例」から使用できない記述方法を削除しました。
2024-12-20	第18版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*検索条件を編集する*」の「変数項目追加ダイアログ」の説明を修正しました。
2025-04-01	第19版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「*検索条件を編集する*」の「変数項目追加ダイアログ（検索条件）」の説明を修正しました。 ▪ 「*一覧表示設定を編集する*」に「変数項目追加ダイアログ（一覧表示設定）」の説明を追加しました。 ▪ 「*管理者編*」 - 「*プロセスモニタ*」を加筆しました。
2025-10-01	第20版 下記を変更しました。 ▪ 下記ページの「管理者」の表記を「IM-BPM管理者」に変更しました。 　▪ 「*基本編*」 - 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*基本編*」 - 「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」 　▪ 「*基本編*」 - 「*パブリッククエリ*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*プロセスインスタンスを確認する*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*タスク*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*インポート/エクスポート*」 ▪ 「*プロセスインスタンスを一覧表示する*」のクリアボタンの説明を修正しました。
2026-04-01	第21版 下記を追加・削除しました。 ▪ 担当者振り分けの仕様変更に伴い、下記のページの「担当者を割り振る」の説明を削除しました。 　▪ 「*基本編*」 - 「*グループタスクを操作する*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*タスクを管理する*」 ▪ 担当者振り分けの仕様変更に伴い、下記のページの説明を追加しました。 　▪ 「*基本編*」 - 「*グループタスクを操作する*」 - 「*担当者を全ユーザから割り振る*」 　▪ 「*基本編*」 - 「*グループタスクを操作する*」 - 「*担当者を処理対象のユーザから割り振る*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*タスクを管理する*」 - 「*担当者を全ユーザから割り振る*」 　▪ 「*管理者編*」 - 「*タスクを管理する*」 - 「*担当者を処理対象のユーザから割り振る*」

はじめに

本書の目的

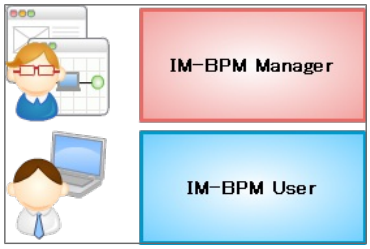
本書は、IM-BPM for Accel Platform（以下 IM-BPM）を利用するユーザの皆様の支援を目的とした操作ガイドです。

対象読者

本書では以下のユーザを対象としています。

- IM-BPMの一般ユーザでの画面操作を知りたい
- IM-BPMの管理者での画面操作を知りたい

IM-BPMでは、利用する機能に応じて、ユーザを以下のように分類しております。
ユーザの役割に合わせて必要なドキュメントを参照してください。



IM-BPM管理者

- IM-BPMでプロセス全体の状況を把握し、分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルを行います。
- 作成したプロセス定義をデプロイしたり、プロセスインスタンスの監視等を行います。

IM-BPM一般ユーザ

- IM-BPMで定義されたユーザタスクを実行します。

本書の構成

本書は次の構成となっています。

- *IM-BPMについて*

  IM-BPMの特徴について説明します。

- *基本編*

  IM-BPMの提供する一般ユーザが、操作できる画面の基本的な機能について説明します。

- *管理者編*

  IM-BPMの提供する管理者で、操作できる画面について説明します。

IM-BPMについて

IM-BPMの特徴

IM-BPMは、BPMN（Business Process Model and Notation）2.0「国際標準（ISO 19510）」に準拠した「プロセス定義」に従い、その流れに応じて処理を行う 「プロセスインスタンス」を進める機能です。

業務プロセスに合わせて柔軟なプロセス定義を作成できます。

分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルをトータルにサポートするBPM（Business Process Management）環境を提供します。

- BPNM2.0に準拠した プロセスデザイナにより、現状業務プロセスを定義
- 定義されたプロセスをシステムに実装し、業務プロセスを実行
- プロセスの実行状況を監視し、改善ポイントを発見
- 最適な業務プロセスへ継続的に改善

> コラム
>
> プロセスデザイナの詳細については「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」を参照してください。

以下、IM-BPMの持つ機能を説明します。
各機能の使い方については、各機能のページで詳細を確認してください。

- *デプロイ機能*

  プロセスデザイナで作成したリソースをデプロイします。

- *アンデプロイ機能*

  デプロイしたリソースをアンデプロイ（削除）します。

- *プロセスインスタンスの開始*

  デプロイされているプロセス定義のプロセスインスタンスを開始します。

- *ケースインスタンスの開始*

  デプロイされているケース定義のケースインスタンスを開始します。

- *ユーザタスク処理*

  プロセスインスタンスのユーザタスクを処理します。

- *ユーザタスクの担当者の操作*

  ユーザタスクの担当者を自分にしたり、他のユーザに割り当てたりします。担当を外すことも可能です。

- *プロセス定義の確認*

  プロセス定義の詳細や状況を確認できます。

- *ケース定義の確認*

  ケース定義の詳細や状況を確認できます。

- *プロセス定義の無効化*

  プロセス定義の有効/無効を切り替えられます。

- *プロセスインスタンスの確認*

  プロセスインスタンスの詳細や状況を確認できます。

- *ケースインスタンスの確認*

  ケースインスタンスの詳細や状況を確認できます。

- *プロセスインスタンスの参照*

  プロセス参照ユーザが、プロセスインスタンスの詳細や状況を参照できます。

- *ケースインスタンスの参照*

  プロセス参照ユーザが、ケースインスタンスの詳細や状況を参照できます。

- *障害中のプロセスインスタンスの再実行*

  障害中のプロセスインスタンスを再実行します。

- *プロセスインスタンスのマイグレーション*

  プロセスインスタンスをマイグレーション（移行）します。

- *タスク管理*

  タスクを管理します。

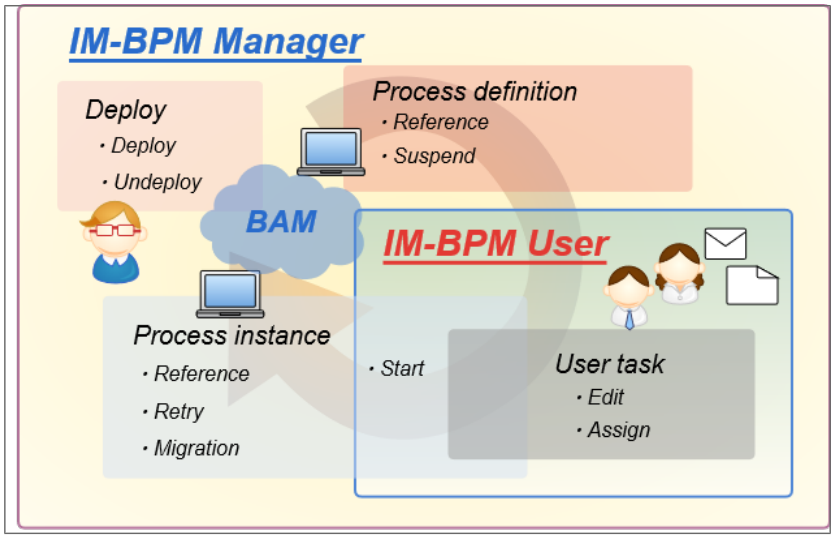
- *BAM（Business Activity Monitoring）機能*

  全体管理画面を通して、業務分析を行います。

  Elasticsearchに情報を蓄積しKibanaの機能を用いて、業務分析を行います。

- *インポート/エクスポート*

  データのインポートとエクスポートを行います。



基本編

ここでは IM-BPMの提供する一般ユーザが操作できる画面の基本的な機能について説明します。

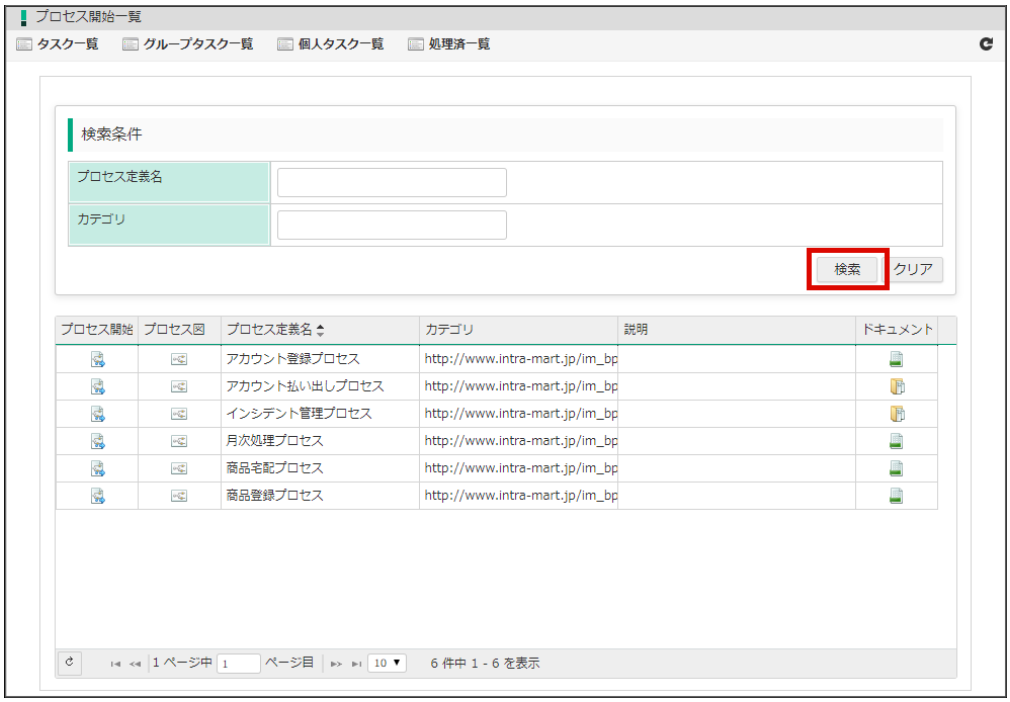
プロセスインスタンスの開始

デプロイされているプロセス定義のプロセスインスタンスを開始します。
プロセス定義毎に開始権限が付与されているユーザのみプロセスインスタンスを開始できます。

> **コラム**
>
> プロセス定義に開始権限が付与されているユーザとは、プロセス定義の処理対象ユーザおよび、処理対象グループに設定されているユーザです。
> プロセス定義の開始権限の詳細については「IM-BPM 仕様書」 - 「プロセス定義の開始権限」を参照してください。

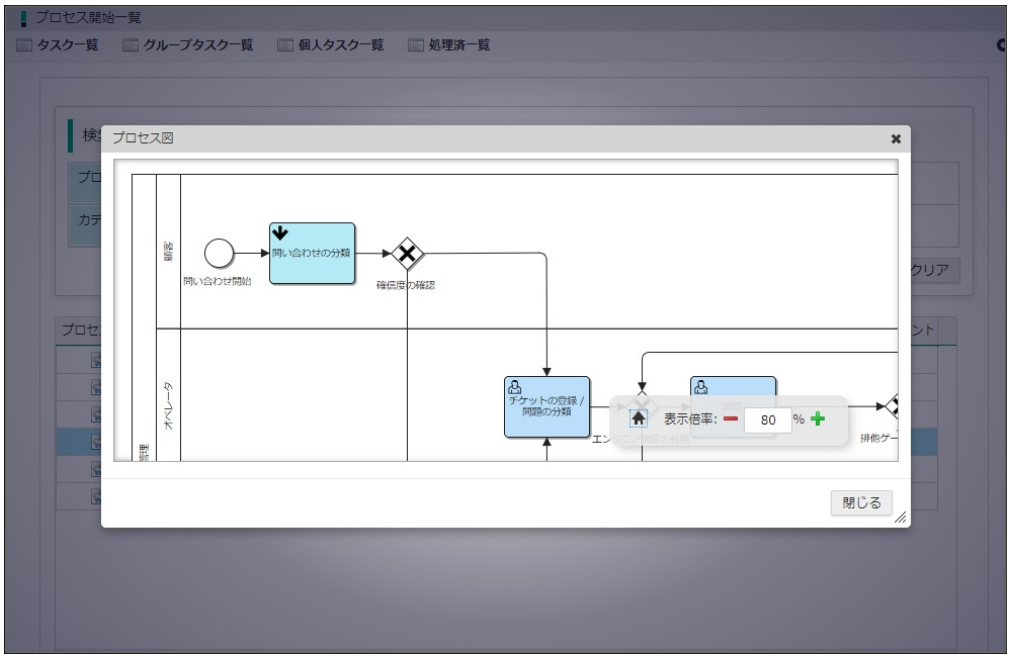
プロセス開始一覧画面から開始します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス開始一覧」を押下します。
2. 開始したいプロセス定義を検索します。

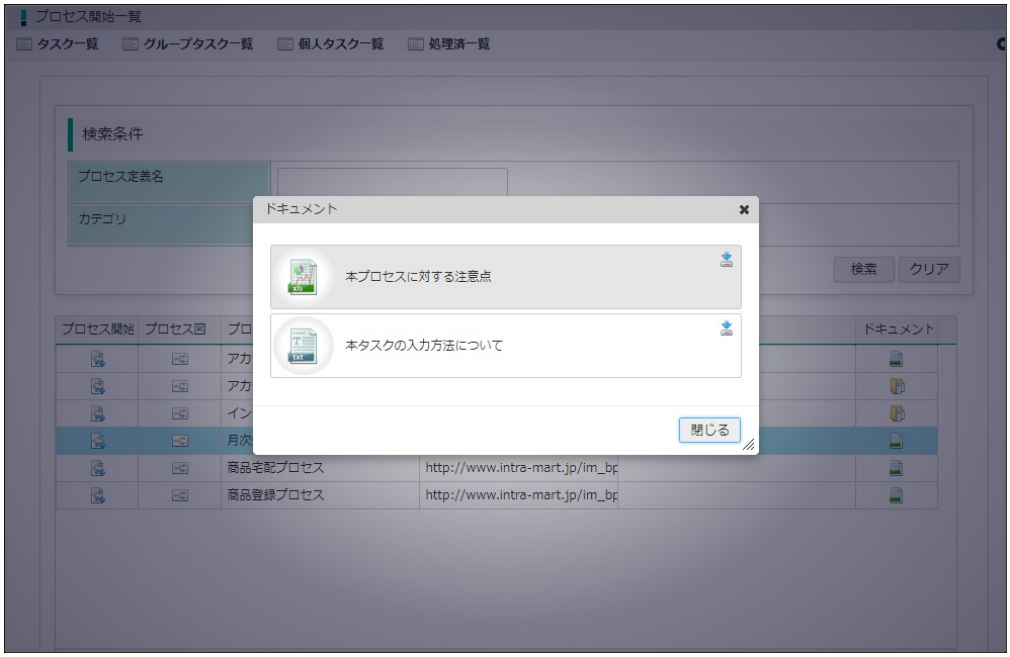


図：プロセス開始一覧

項目名	説明	検索条件
プロセス開始	を押下すると、プロセスインスタンスが開始されます。	-
プロセス図	を押下すると、プロセス図が表示されます。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	部分一致
説明	プロセス定義の説明文が表示されます。	-
ドキュメント	プロセス定義および、スタートイベントのドキュメントが表示されます。	-

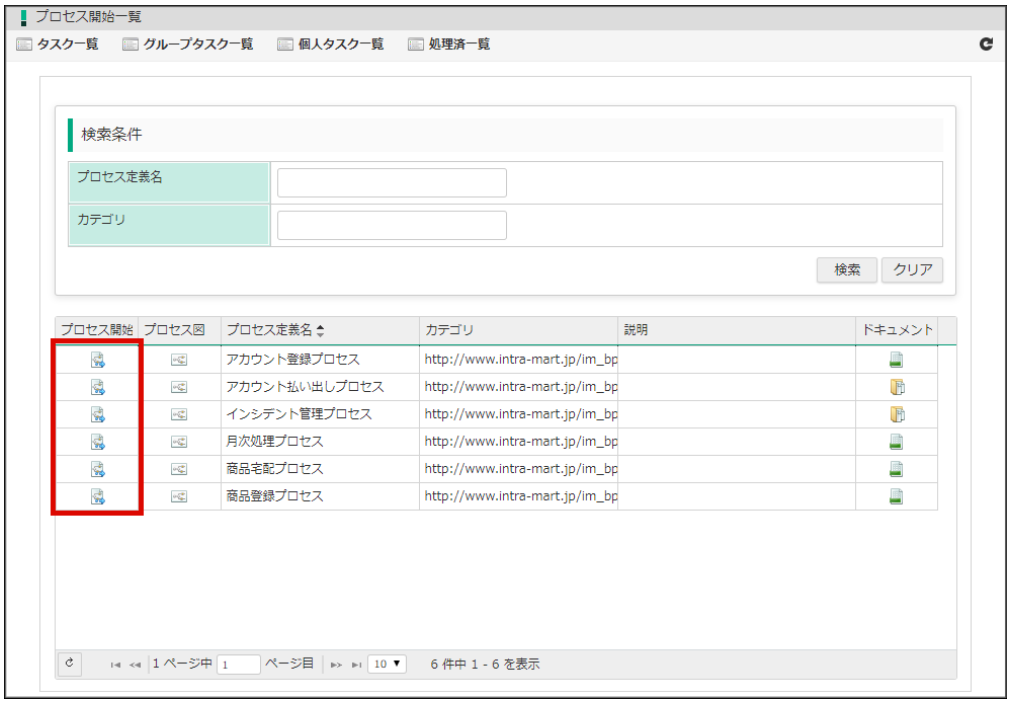


図：プロセス図



図：ドキュメント

3. 開始したいプロセス定義の を押下します。

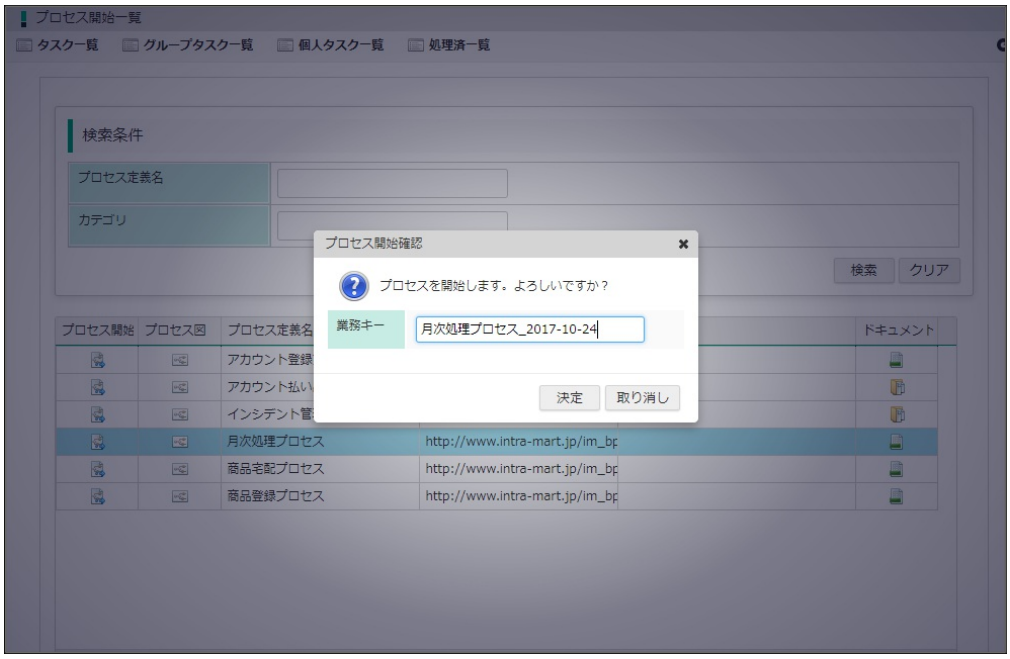


図：プロセス開始一覧

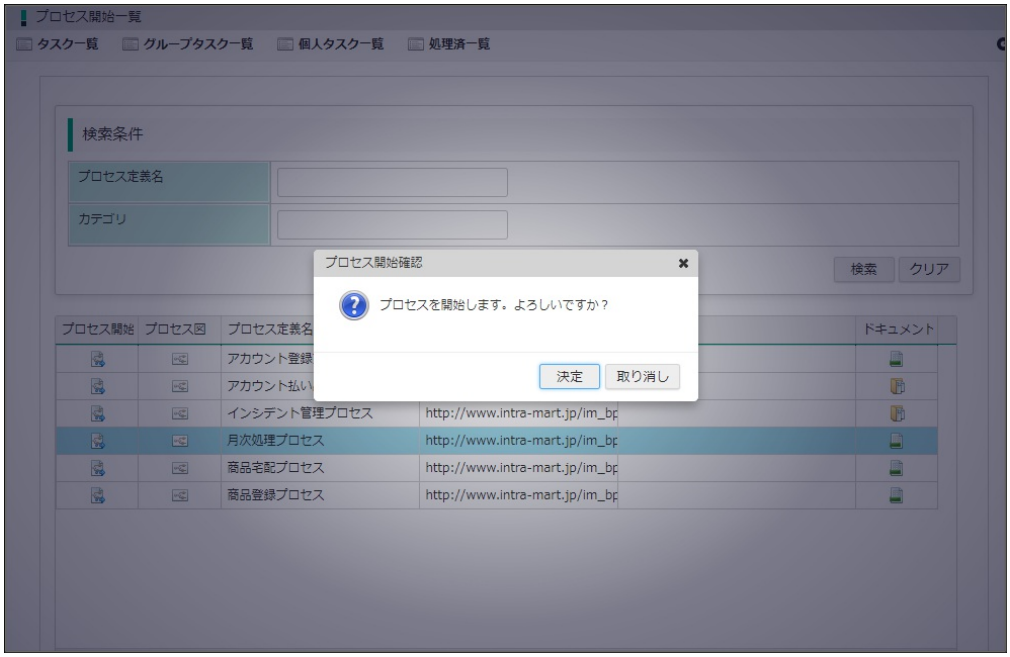
> **コラム**
>
> プロセス定義の開始イベントに画面が設定されている場合は、該当するプロセス開始画面に遷移します。

> **コラム**
>
> プロセス定義の「開始時にオプショナルタスクの追加を行う」設定が有効な場合、「タスク追加」画面が表示され、オプショナルタスクを追加してプロセスを開始できます。
> 「タスク追加」画面については「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。
> また、プロセス定義の「アドホックタスクを使用する」が有効な場合でも、プロセスの開始時にはアドホックタスクを追加することはできません。
>
>
>
>
> 図：タスク追加

4. プロセス開始確認ダイアログにて、必要に応じて業務キーを入力します。業務キーは省略可能です。プロセス定義の設定により業務キーの入力有無を設定できます。



図：プロセス開始確認ダイアログ（業務キーあり）



図：プロセス開始確認ダイアログ（業務キーなし）

> **コラム**
>
> プロセス定義の開始イベントにIM-FormaDesignerのアプリケーションを設定する場合、当該アプリケーションに配置した画面アイテムの「フィールド識別ID」に bpm_business_key を設定することで、その入力値を業務キーとして登録できます。
> データ型「文字列」として登録されるフィールドのみ、IM-BPMの業務キー登録用のフィールドとして利用可能です。
> 業務キーの入力有無の設定に関しては、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」を参照してください。

ケースインスタンスの開始

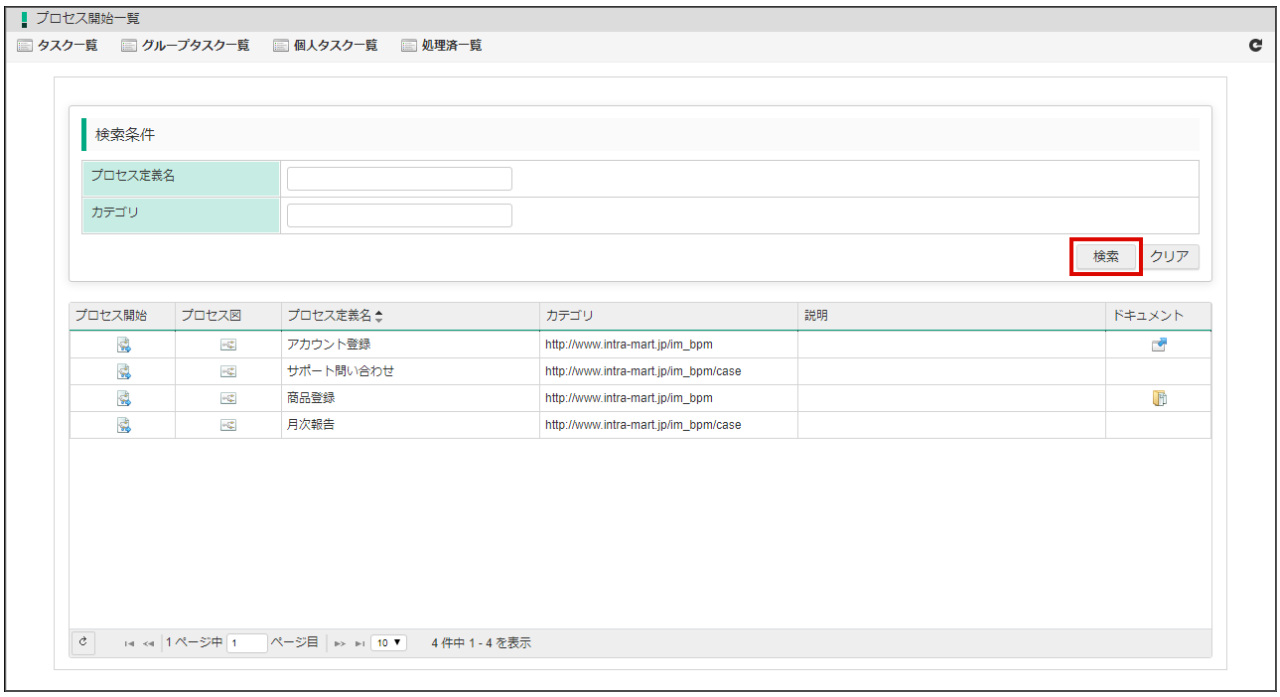
デプロイされているケース定義のケースインスタンスを開始します。
ケース定義ごとに開始権限が付与されているユーザのみ、ケースインスタンスを開始できます。

> **コラム**
>
> ケース定義に開始権限が付与されているユーザとは、ケース定義の処理対象ユーザ、および、処理対象グループに設定されているユーザです。

「プロセス開始一覧」画面から開始します。

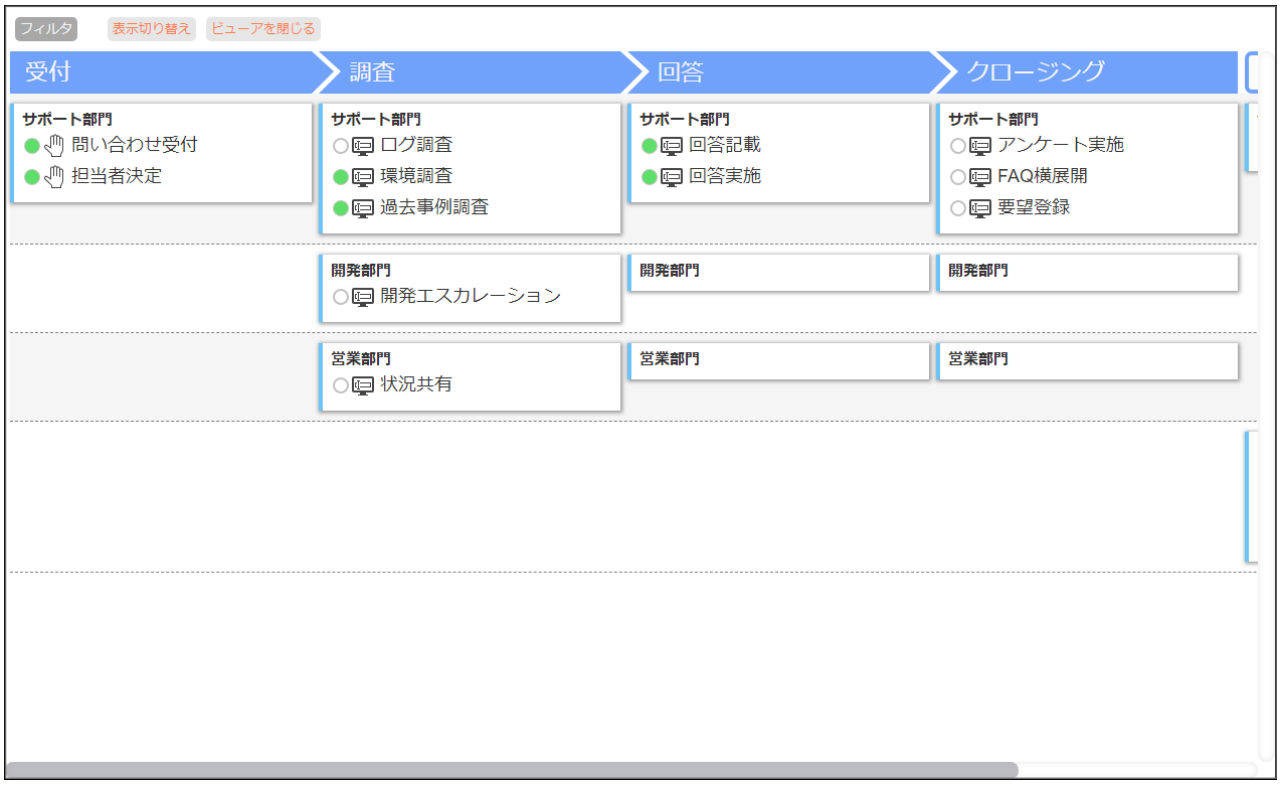
1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス開始一覧」を押下します。

2. 開始したいケース定義を検索します。

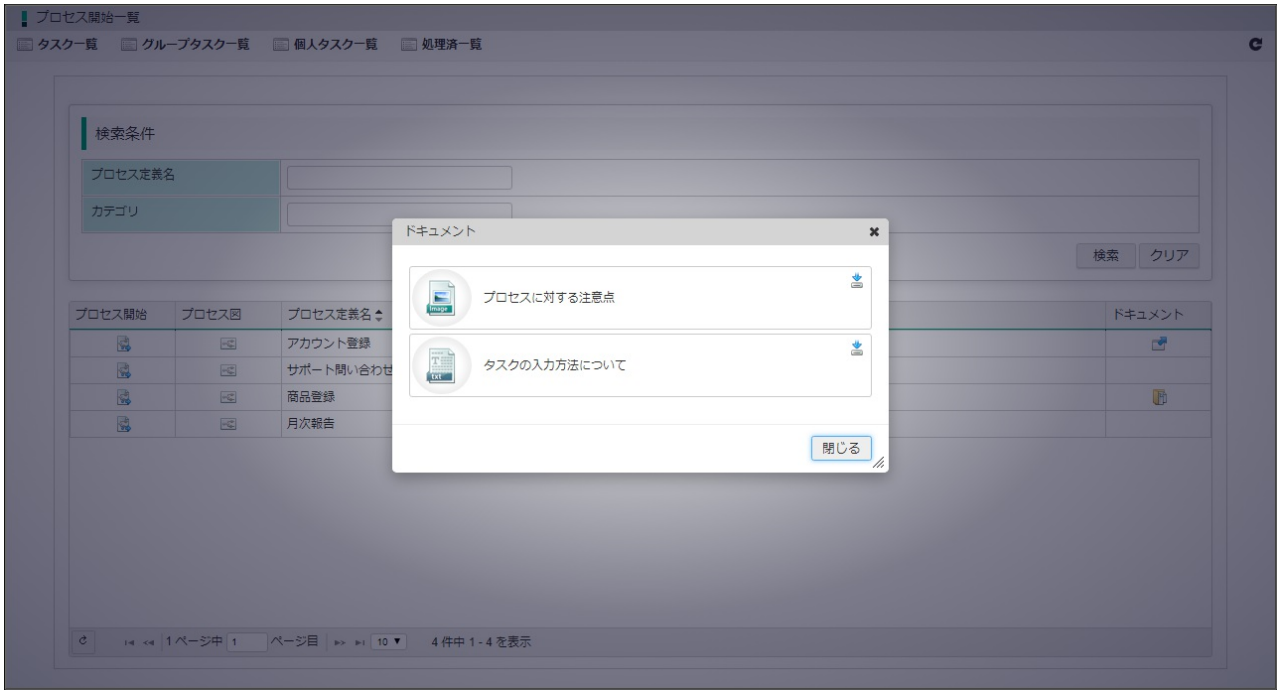


図：「プロセス開始一覧」

項目名	説明	検索条件
プロセス開始	を押下すると、プロセスインスタンス/ケースインスタンスが開始されます。	-
プロセス図	を押下すると、プロセス図/ケースビューアが表示されます。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名/ケース定義名が表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	部分一致
説明	プロセス定義/ケース定義の説明文が表示されます。	-
ドキュメント	プロセス定義/ケース定義および、開始イベントのドキュメントが表示されます。	-

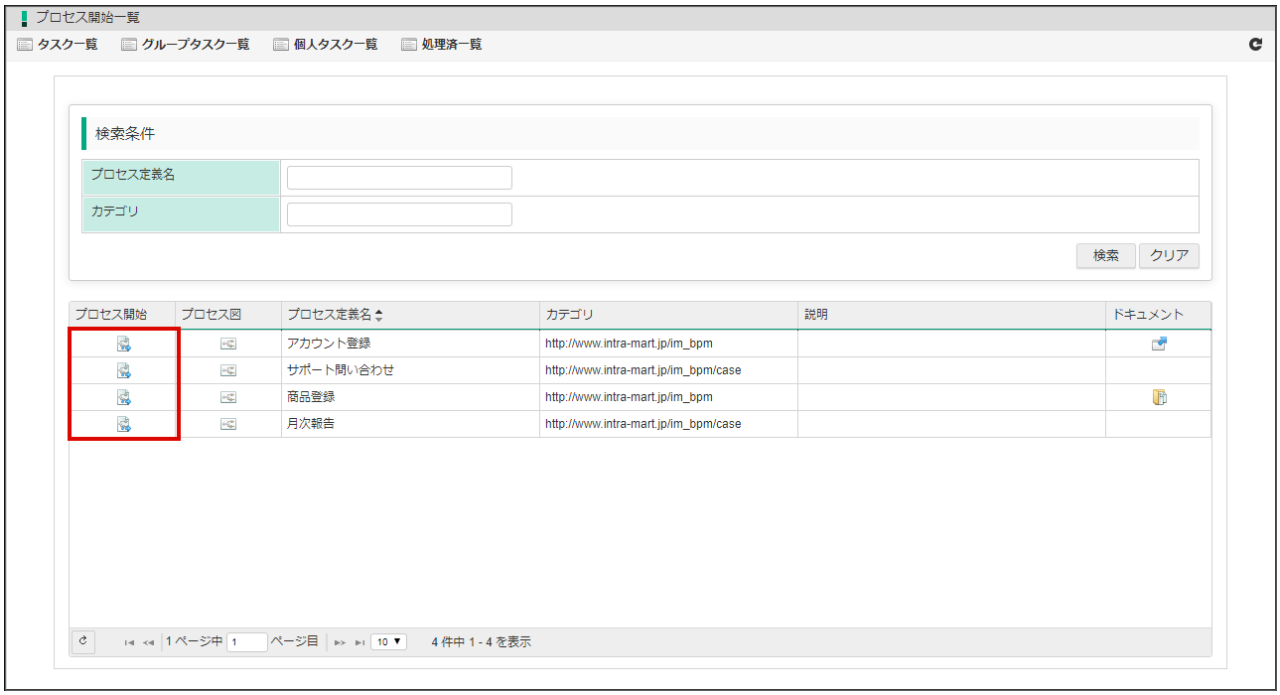


図：ケースビューア



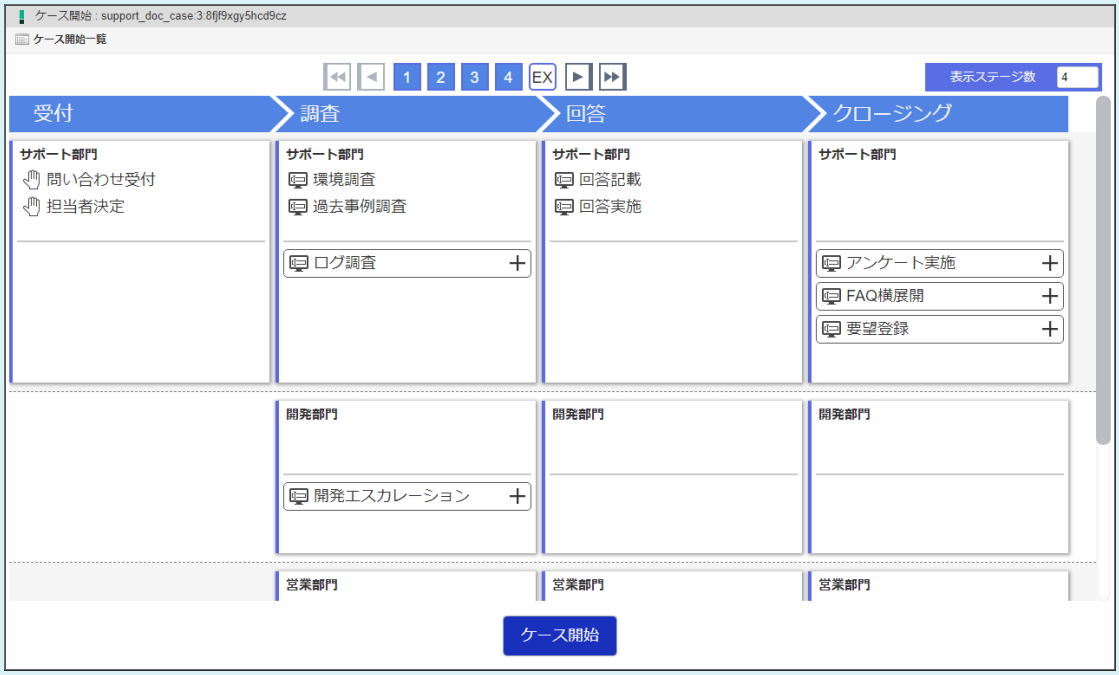
図：「ドキュメント」

3. 開始したいケース定義の を押下します。

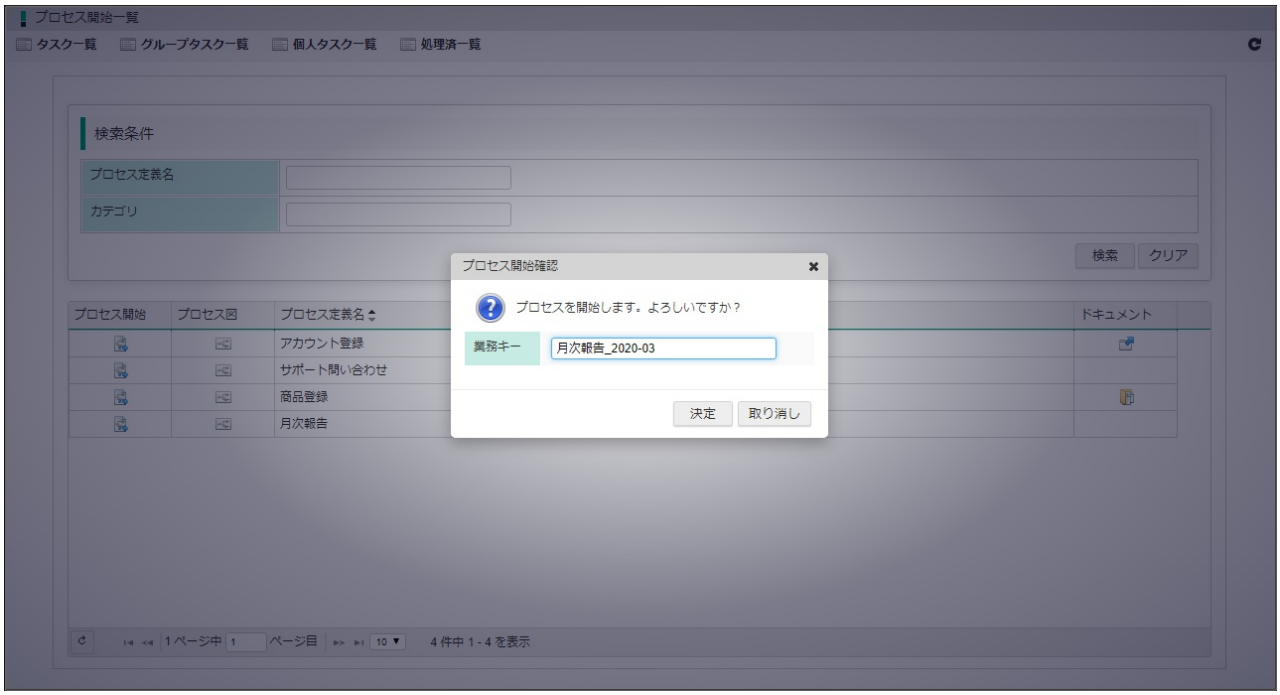


図：「プロセス開始一覧」

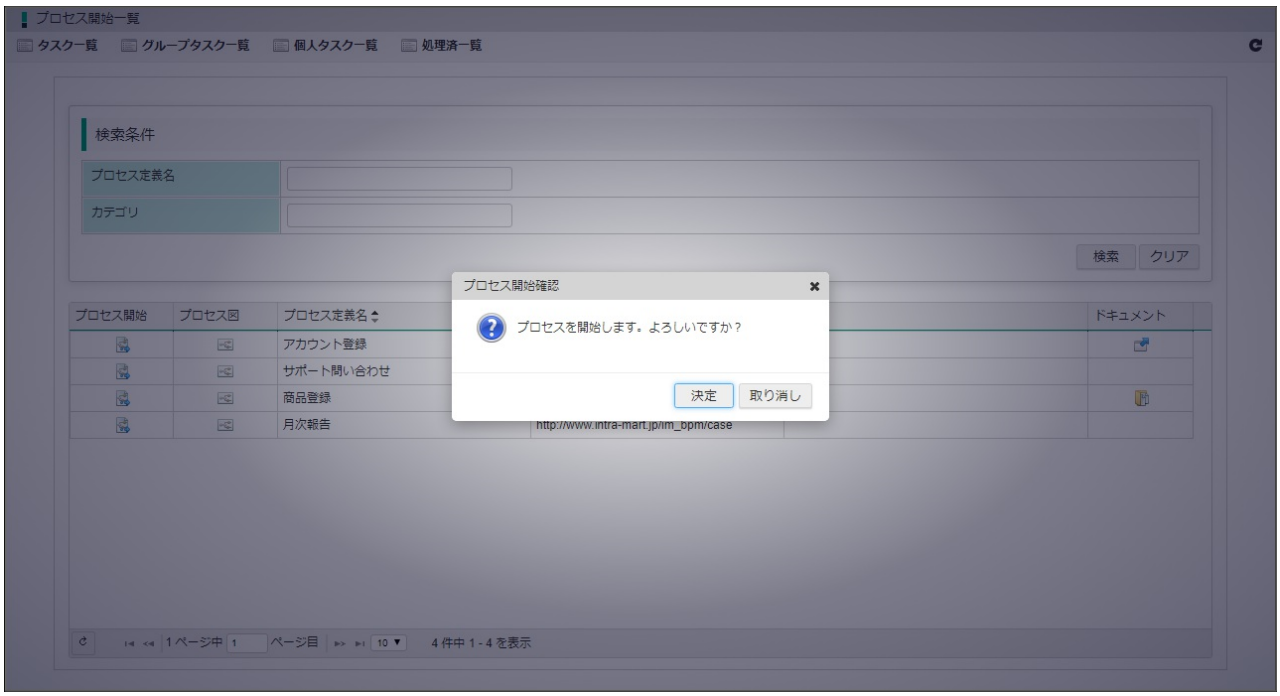
> **コラム**
>
> ケース定義のプロパティにフォームキーが設定されている場合は、該当するフォーム画面に遷移します。

> **コラム**
>
> ケース定義の「開始時にオプショナルタスクの追加を行う」設定が有効な場合、「ケース開始」画面が表示され、オプショナルタスクを追加してケースを開始できます。
> 「ケース開始」画面については「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。
> また、ケース定義の「アドホックタスクを使用する」が有効な場合でも、ケースの開始時にはアドホックタスクを追加することはできません。
>
> 
>
>
> 図：「ケース開始」

4. 「プロセス開始確認」ダイアログにて、必要に応じて業務キーを入力します。業務キーは省略可能です。ケース定義の設定により業務キーの入力有無を設定できます。



図：「プロセス開始確認」（業務キーあり）



図：「プロセス開始確認」（業務キーなし）

> **コラム**
>
> ケース定義のフォームキーIM-FormaDesignerのアプリケーションを設定する場合、当該アプリケーションに配置した画面アイテムの「フィールド識別ID」に bpm_business_key を設定することで、その入力値を業務キーとして登録できます。
> データ型「文字列」として登録されるフィールドのみ、IM-BPMの業務キー登録用のフィールドとして利用可能です。
> 業務キーの入力有無の設定に関しては、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」を参照してください。

タスクについて

プロセスインスタンスのタスクにおいて、ユーザが操作できるタスクがユーザタスクです。

ユーザタスクは、状態により「グループタスク」と「個人タスク」に分類できます。

- グループタスク

  担当者が割り振られていないユーザタスクです。

ユーザタスクに対して、操作権限があるユーザおよびグループのみ、操作できます。
グループタスクに分類されている場合、ユーザタスクを処理することはできません。

- 個人タスク

  自分に担当が割り振られているユーザタスクです。
  処理ができる状態のユーザタスクです。
  自分以外のユーザが操作できない状態です。

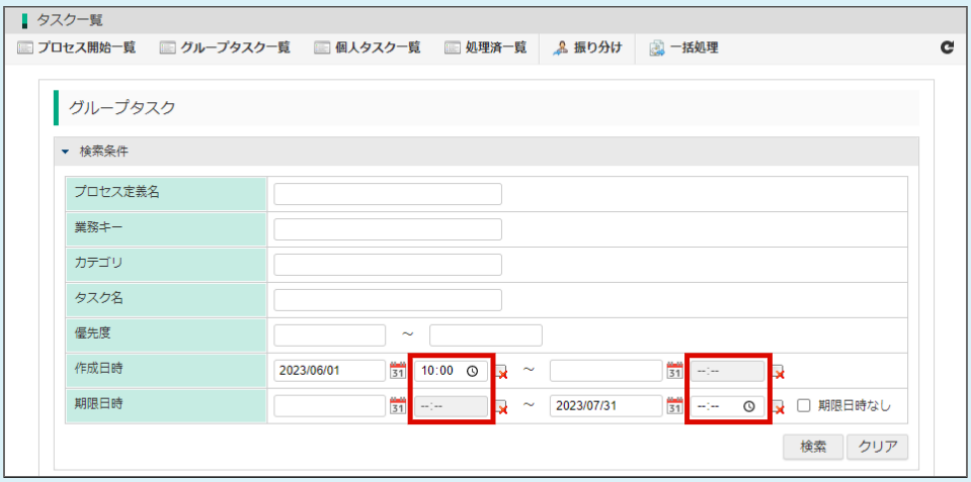
> **コラム**
>
> グループタスクと個人タスクについては「*グループタスクを操作する*」と「*個人タスクを操作する*」の各操作のページで詳細を確認してください。

グループタスクを操作する

項目

- 担当者に設定する
- 担当者を全ユーザから割り振る
- 担当者を処理対象のユーザから割り振る
- 表示項目を変更する

> **コラム**
>
> IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より日時検索条件に時刻入力欄が利用できます。
> 時刻入力時、FROM入力日時 0秒から、TO入力日時 59.999秒までを検索します。
> 時刻省略時、FROM入力日 0時0分0秒から、TO入力日 23時59分59.999秒までを検索します。



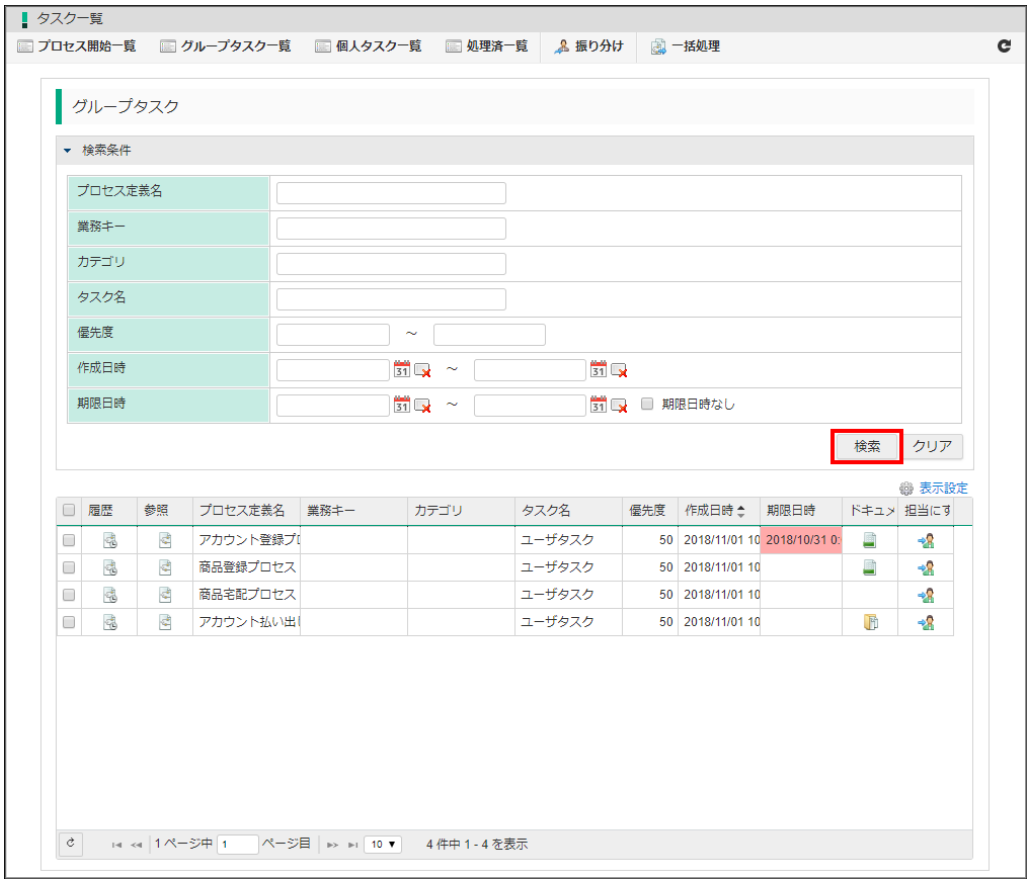
担当者に設定する

グループタスクに分類されているユーザタスクの担当を自分に設定します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

   ※ グループタスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

2. 担当にしたいグループタスクを検索します。



図：タスク一覧 - グループタスク

項目名	説明	検索条件
履歴	を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。 ※ケースインスタンスには、 が表示されません。	-
参照	を押下すると、プロセスインスタンス/ケースインスタンスの参照画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、または、「IM-BPM管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
期限日時	ユーザタスクの期限日時が表示されます。 期限日時を超過している場合、期限日時が装飾されて表示されます。	期限日時なしが選択されている場合、期限日時が設定されていないタスクのみ検索します。 期限日時なしが選択されている場合、期限日時の設定は反映されません。 範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-
担当にする	を押下すると、自分を担当にします。	-

3. 担当にしたいグループタスクの を押下します。

担当者を全ユーザから割り振る

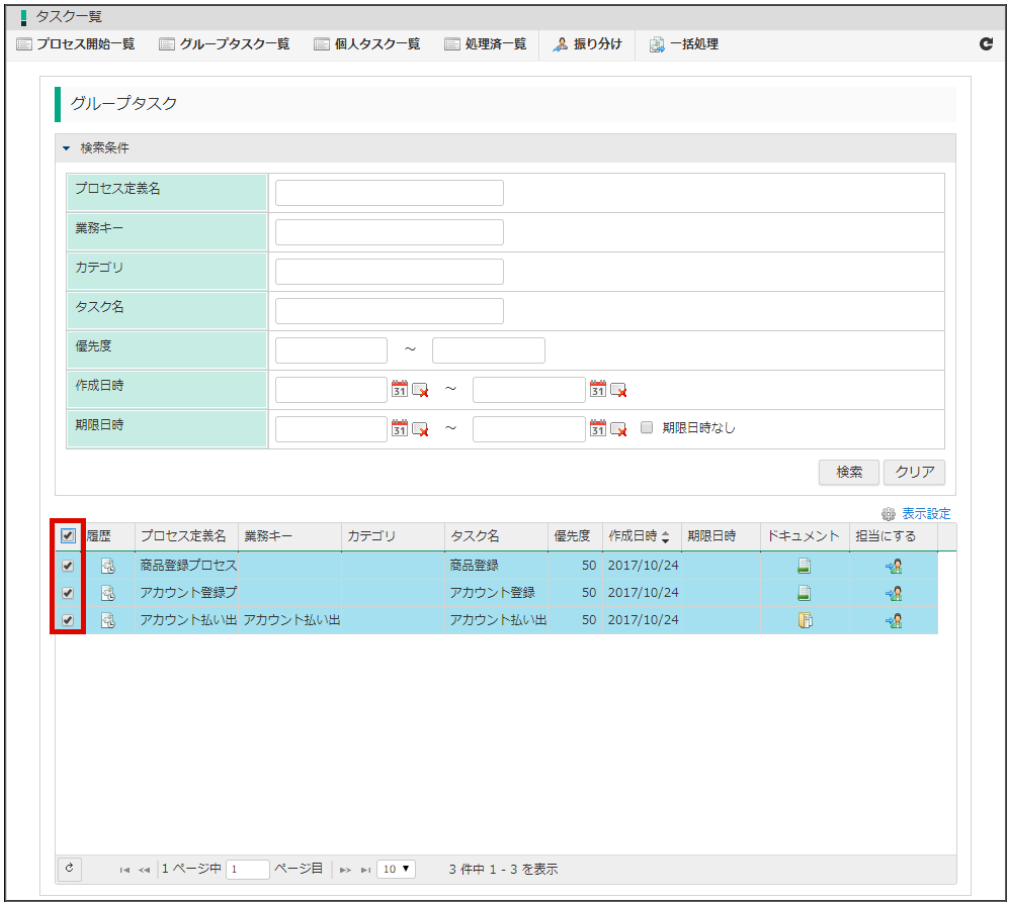
グループタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。
ここでは、全ユーザから担当を割り振る方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

   ※ グループタスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

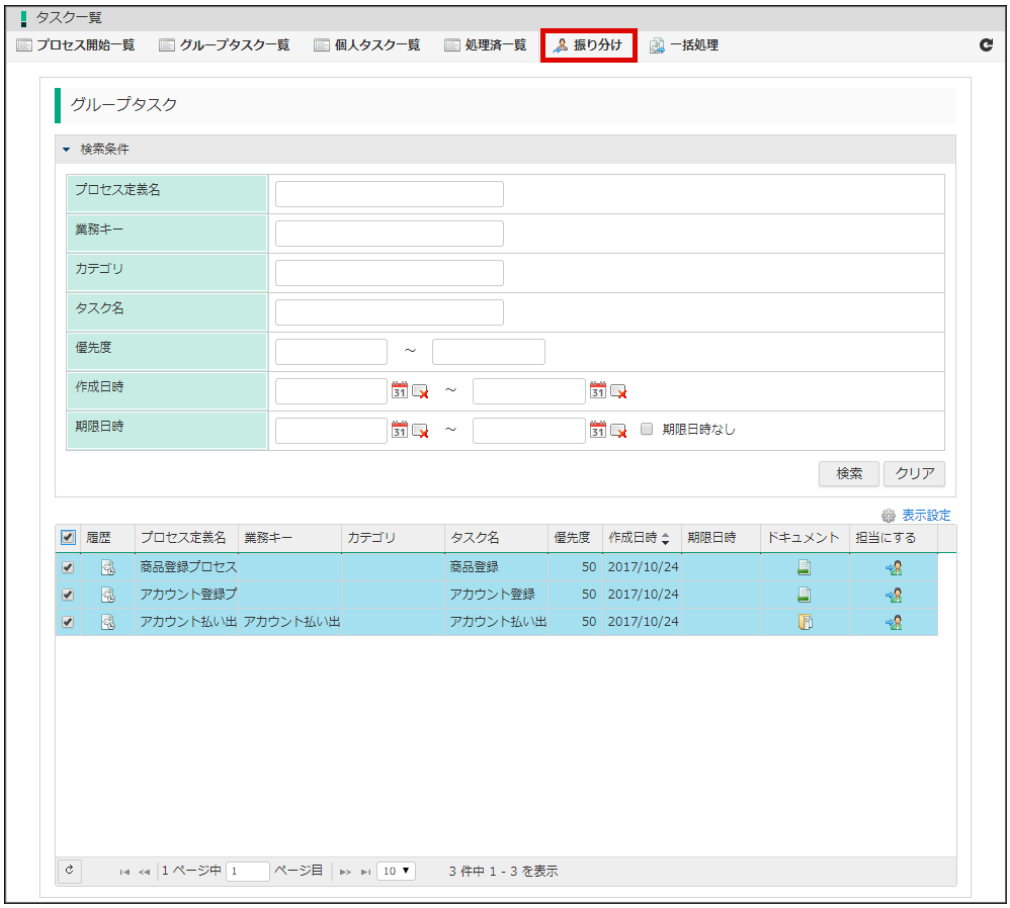
2. 担当にしたいグループタスクを検索します。

3. 担当にしたいグループタスクを選択します。複数選択可能です。



図：タスク一覧 - グループタスク

4. 「振り分け」を押下します。



図：タスク一覧

5. 「全ユーザから選択」を押下します。

図：担当者選択

6. ユーザを検索して、決定を押下します。

図：ユーザ検索

> **コラム**
>
> 認可設定 (IM-BPM REST API) にて「IM-BPM - ランタイム - タスク - 全ユーザから割当」の実行権限がないユーザは、「全ユーザから選択」が表示されず、「振り分ける」アイコンのみが表示されます。
>
>
>
> 図：担当者選択

担当者を処理対象のユーザから割り振る

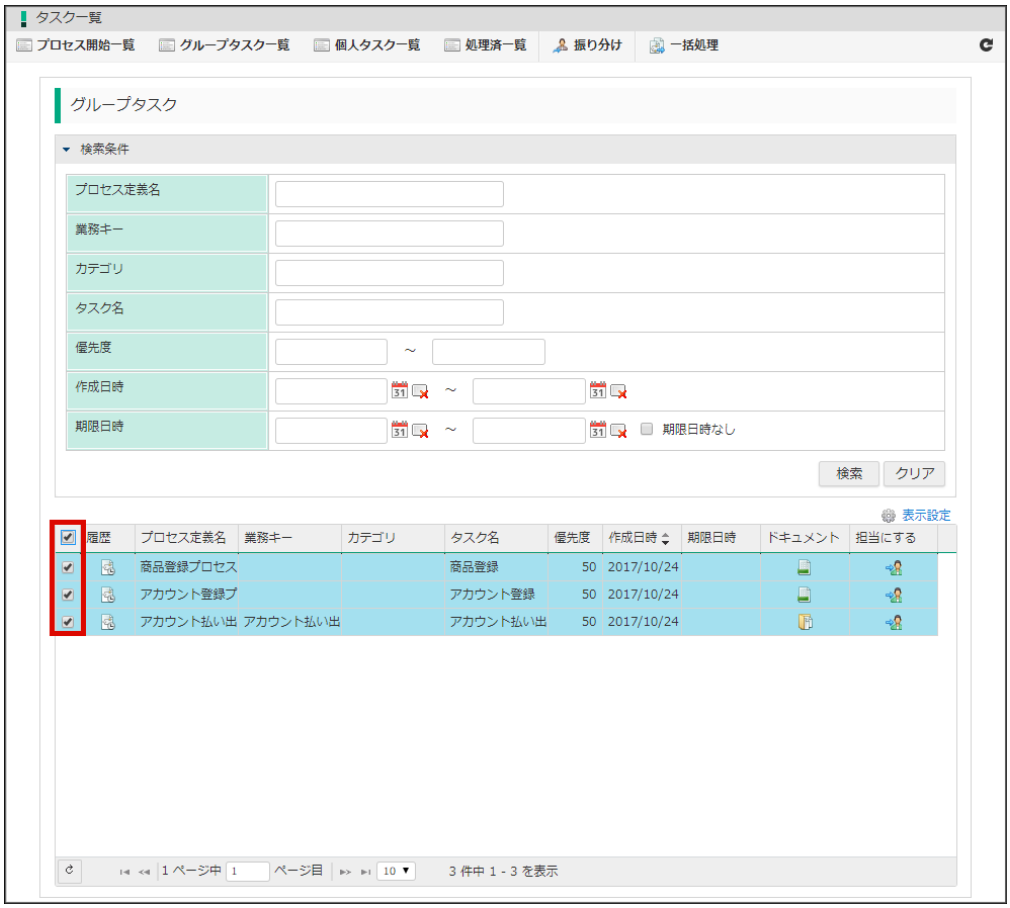
グループタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。
ここでは、処理対象のユーザから担当を割り振る方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

   ※ グループタスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

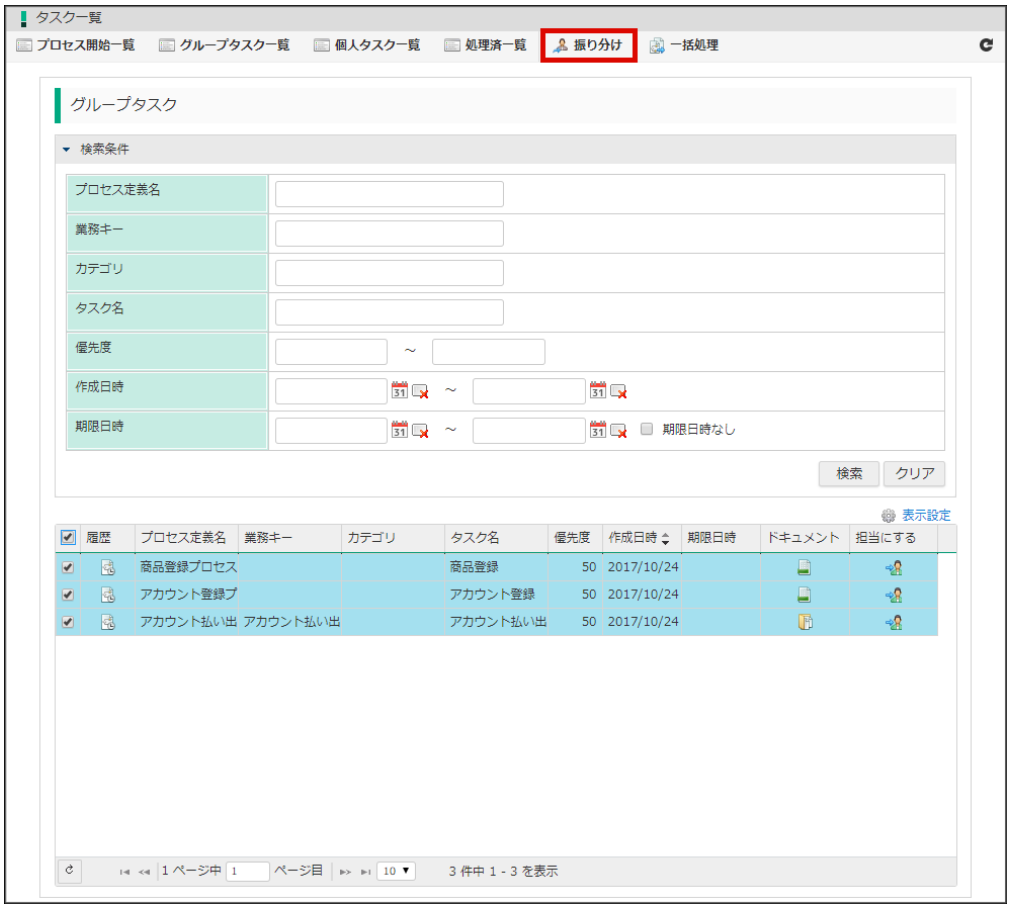
2. 担当にしたいグループタスクを検索します。

3. 担当にしたいグループタスクを選択します。複数選択可能です。



図：タスク一覧 - グループタスク

4. 「振り分け」を押下します。



図：タスク一覧

5. 担当者にしたいユーザの を押下します。

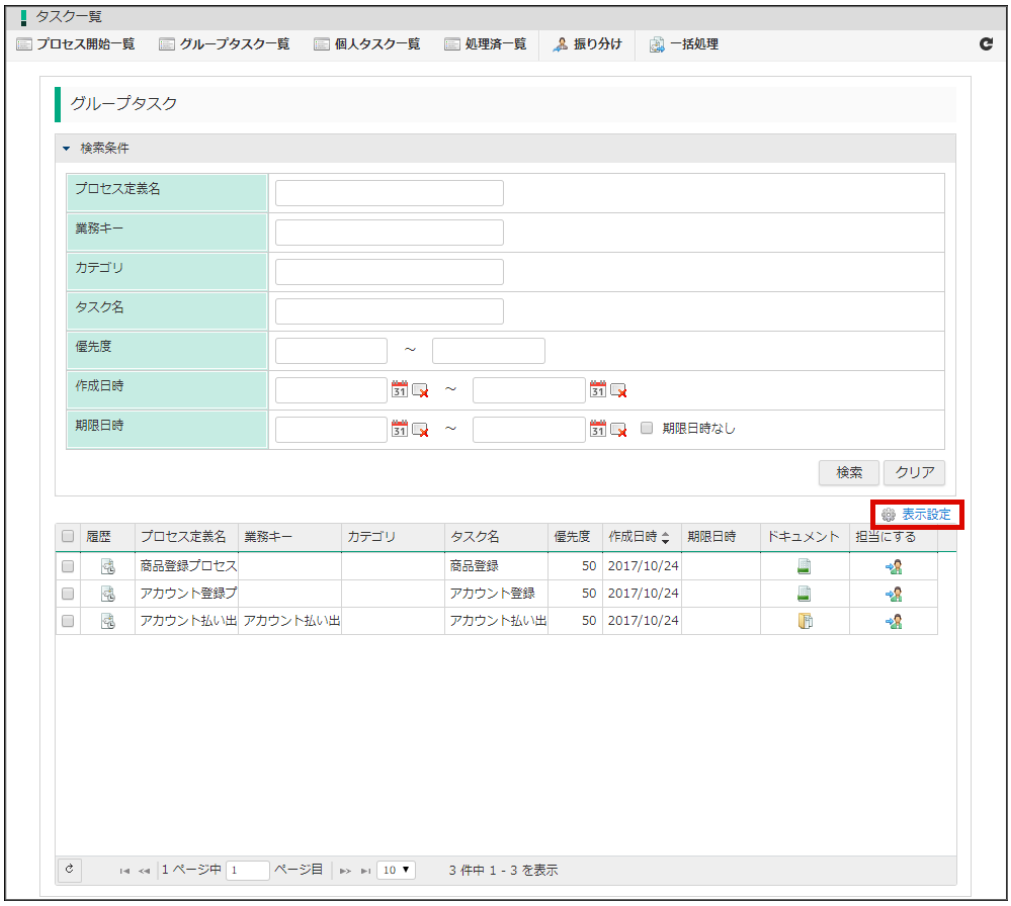
図：担当者選択

> **コラム**
>
> 担当者選択ダイアログにはIM-BPMのタスク処理権限を持つ、選択したタスクに共通な処理対象のユーザが表示されます。

表示項目を変更する

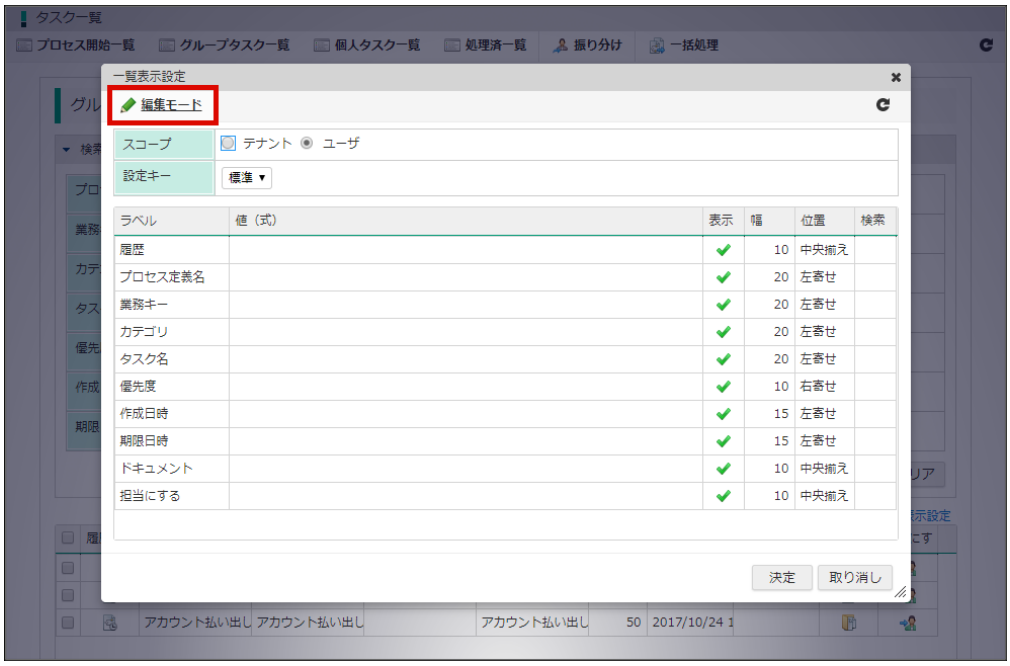
グループタスクに分類されているユーザタスクの一覧の表示項目を変更します。
一覧表示設定では、グループタスク一覧の表示項目の編集を行えます。
また、プロセスインスタンスの変数情報を表示する列を追加することもできます。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。
2. 「表示設定」リンクを押下します。



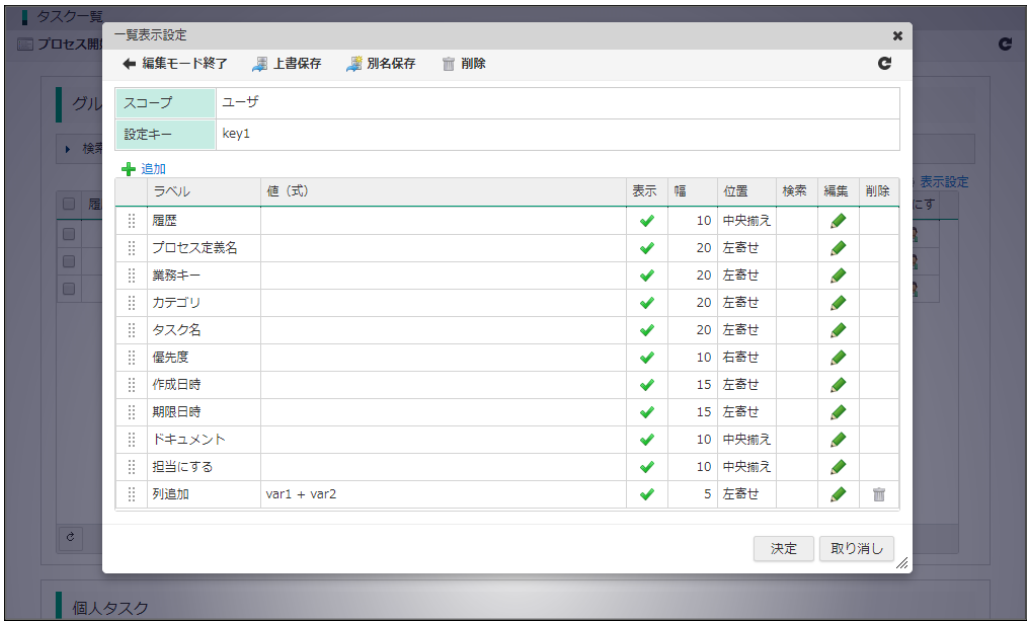
図：タスク一覧 - グループタスク

3. 設定キーで任意のキーを選択し「決定」を押下すると、選択した設定キーの一覧表示設定を反映します。
   表示項目を変更したい場合は、「編集モード」を押下します。



図：グループタスク - 一覧表示設定

4. 編集モードで一覧表示項目の設定を追加、変更できます。
   編集内容はユーザごとに保存されるため、他のユーザは変更内容を参照できません。



図：一覧表示設定 - 編集モード

- ヘッダメニュー

項目名	説明
編集モード終了	編集モードを終了します。編集中の情報は破棄されず画面上に保持しますが、保存されていない情報は画面の更新や設定キーの変更操作で破棄されます。
上書保存	編集対象の設定キーが自身で作成したものである場合に表示されます。編集内容を上書き保存します。
新規保存	編集対象の設定キーが「標準」または、「IM-BPM管理者」によって登録されたものである場合に表示されます。自身が編集した内容を新規の設定キーで保存します。
別名保存	変更した内容を別名で保存します。
削除	当該設定キーで保存された一覧表示設定を削除します。

- 一覧

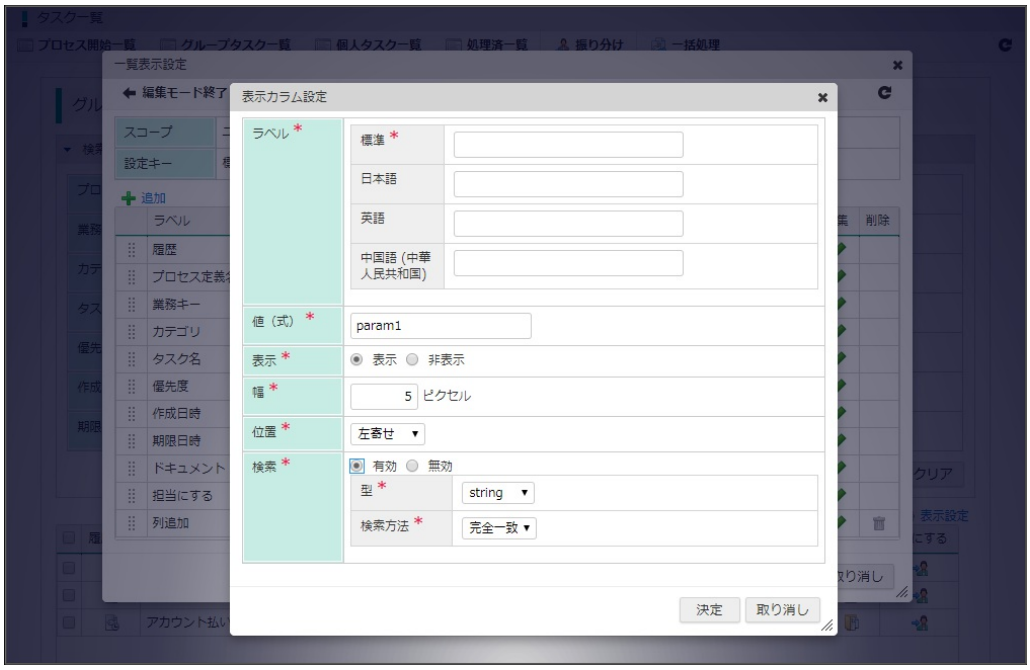
項目名	説明
⠿	ドラッグ＆ドロップで列の表示順を変更できます。
ラベル	列ヘッダラベルとして表示される文字列です。
値（式）	セルに表示する値の定義です。
表示	：この列は表示されます。 ：この列は表示されません。
幅	列の幅を表す値です。
位置	セル内の値の表示位置です。
編集	を押下すると「表示カラム設定」ダイアログが開き、表示項目の設定を変更できます。
削除	ユーザにより追加された項目の場合、 を押下すると表示項目が削除されます。

コラム

編集対象の設定キーが「IM-BPM管理者」によって作成されたものの場合、それ自体を上書き保存することはできません。
ただし、同名の設定キーで保存できます。
同名の設定キーで保存した場合、「IM-BPM管理者」が登録したものよりも、自身が登録したものが優先的に利用されます。
自身が同名で保存した設定キーを削除すれば、「IM-BPM管理者」が登録したものが利用できます。

5. 「追加」または を押下します。

6. 表示カラム設定ダイアログでカラムの設定を行えます。



図：表示カラム設定

項目名	説明
ラベル	一覧テーブルのヘッダに表示されるラベルを設定します。 ラベルは国際化に対応しています。 ユーザのロケールに合わせたラベルが利用されます。 自身が追加したカラムでない場合は、この項目は表示されません。
値（式）	一覧テーブルのセルの値の定義を設定します。 プロセスインスタンスの変数を利用して、JavaScriptの式を記述できます。 自身が追加したカラムでない場合は、この項目は表示されません。
表示	列の表示設定です。
幅	列の幅を設定します。
位置	セル内の値の表示位置を設定します。
検索 有効 / 無効	有効の場合、検索の条件として使用できます。 無効の場合、検索の条件として使用しません。 ※値（式）に英数字と一部の記号の組み合わせで設定されている場合のみ表示されます。
検索 型	検索対象の変数の型を設定します。 string, integer, long, double, date, datetime, booleanを選択できます。
検索 検索方法	検索する条件の検索方法を設定します。型により選択肢が異なります。 完全一致、 部分一致、 入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） を選択できます。

コラム

「値（式）」にはJavaScriptの式のみ記述できます。
文を記述することはできません。
また、式は閉じたスコープで実行されるため、プロセスインスタンスの変数以外のオブジェクトは参照できません。

コラム

「値（式）」の入力例

- 【例】プロセスインスタンスの変数「amount」に通貨単位プレフィックスを付与する

```
"$" + amount
```

- 【例】プロセスインスタンスの変数「number1」と「number2」を比較し、大きい方の値を表示する

```
number1 > number2 ? number1 : number2
```

コラム

ロケールの決定

ラベルに利用されるロケールの決定の詳細は、「アクセスコンテキスト仕様書」 - 「アカウントコンテキスト」- 「プロパティの解決順序」のロケールの項を参照してください。

コラム

検索機能

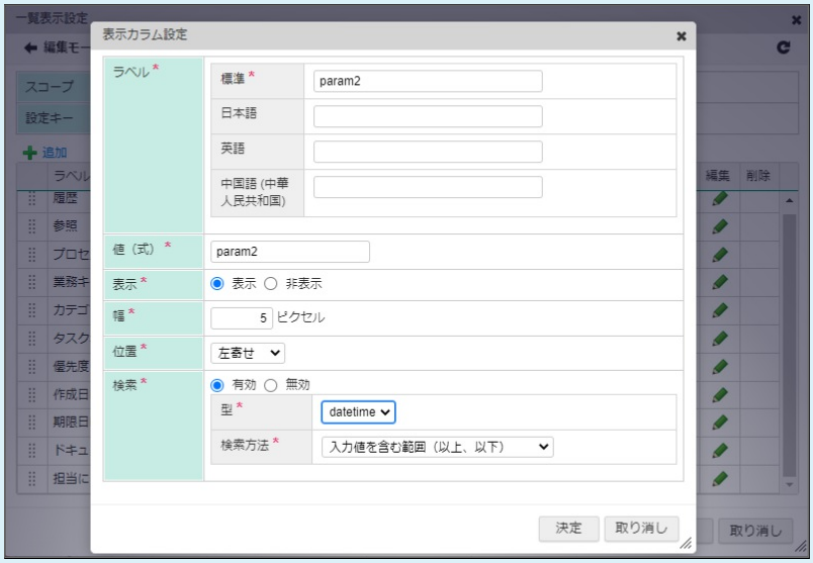
値（式）に英数字と一部の記号の組み合わせで設定されている場合のみ表示されます。日本語や記号（-, +）が含まれる変数には利用できません。
【例】
variable1 + variable2 JavaScriptの式のため、利用できません。
変数名１ 日本語のため、利用できません。

コラム

検索 datetime型

IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より表示カラム設定の「検索 型」にdatetimeが選択できます。

検索方法は 入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） が選択できます。
時刻入力時、FROM入力日時 0秒から、TO入力日時 59.999秒までを検索します。
時刻省略時、FROM入力日 0時0分0秒から、TO入力日 23時59分59.999秒までを検索します。



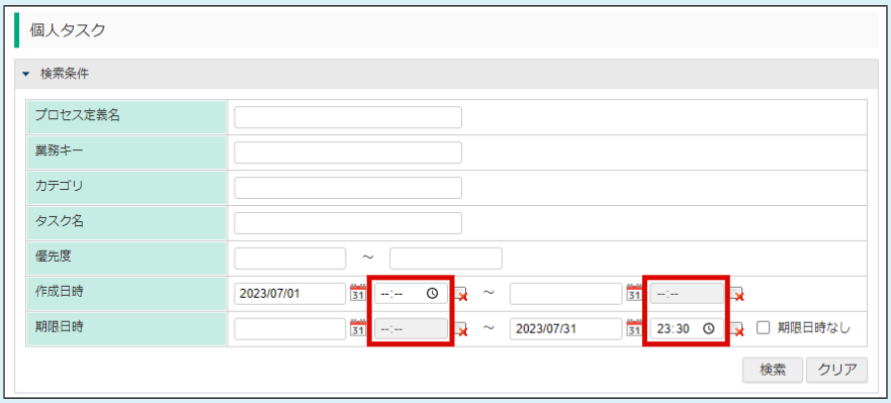
個人タスクを操作する

項目

- 担当を外す
- 処理する
- 一括で処理する
- 表示項目を変更する
- 処理済のタスクを確認する
- 開始済のプロセスインスタンスを確認する
- 処理の履歴を確認する

コラム

IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より日時検索条件に時刻入力欄が利用できます。
時刻入力時、FROM入力日時 0秒から、TO入力日時 59.999秒までを検索します。
時刻省略時、FROM入力日 0時0分0秒から、TO入力日 23時59分59.999秒までを検索します。



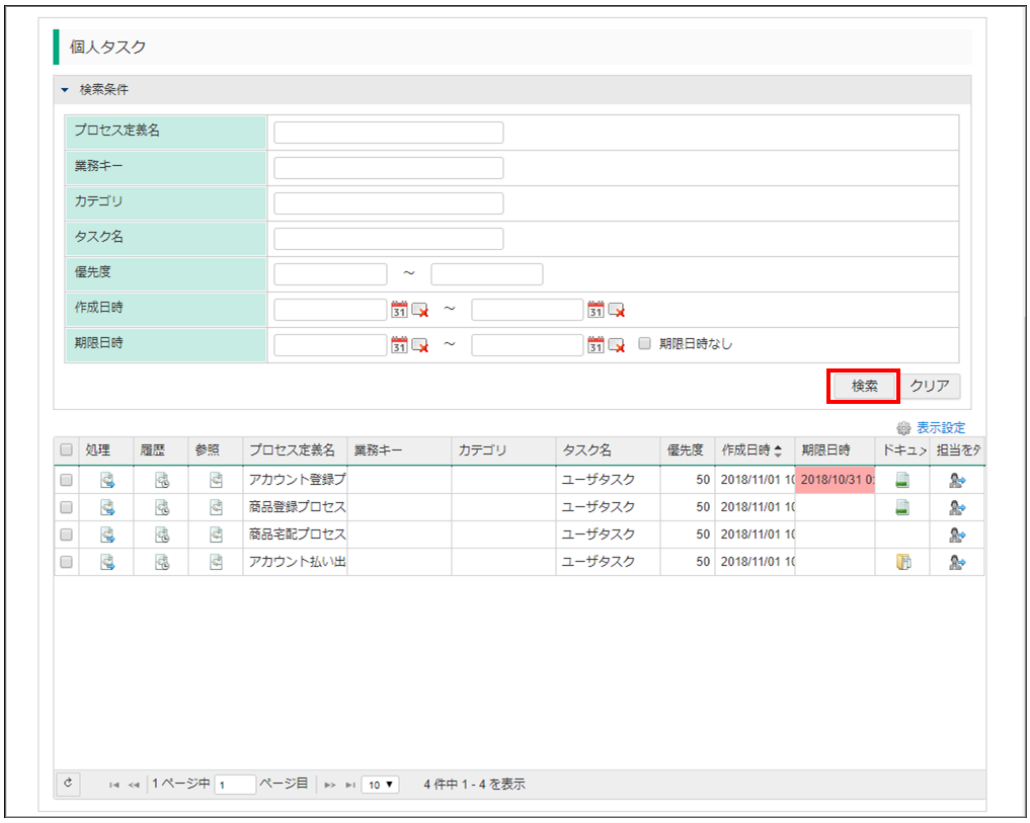
担当を外す

自分に割り当てられている個人タスクをグループタスクにします。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

   ※ 個人タスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

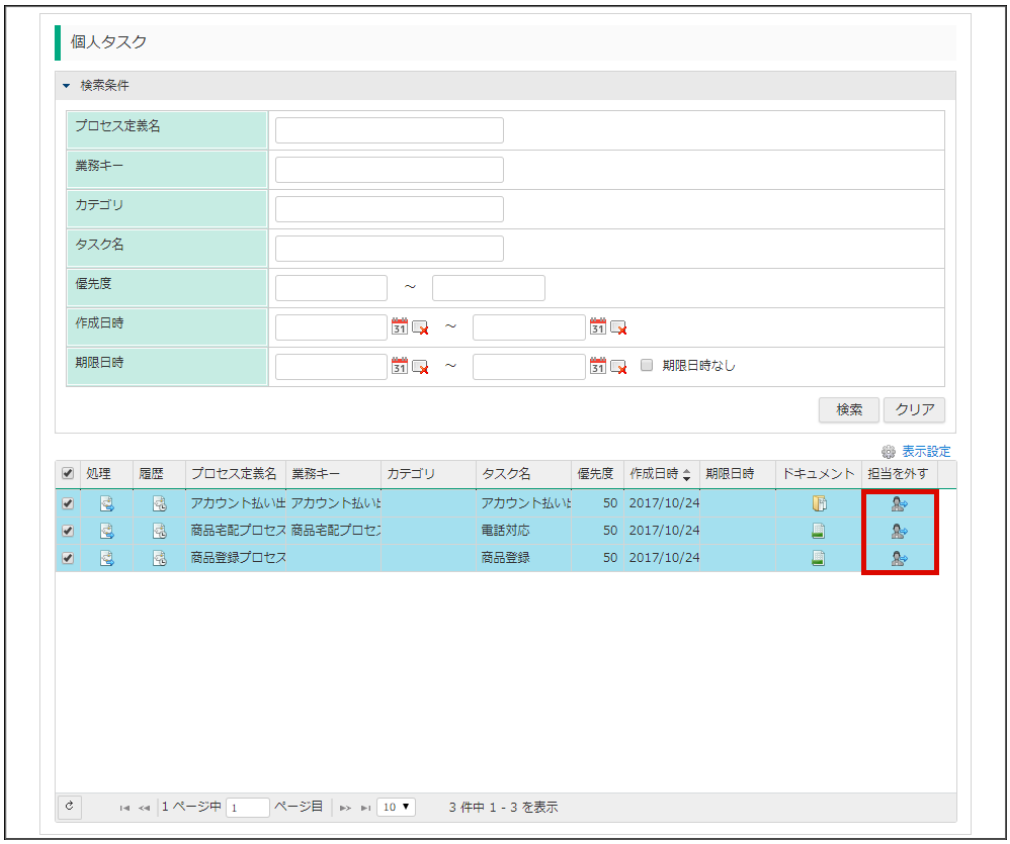
2. 担当から外したい個人タスクを検索します。



図：タスク一覧 - 個人タスク

項目名	説明	検索条件
処理	ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。 画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了され、次のアクティビティに遷移します。	-
履歴	を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。 ※ケースインスタンスには、 が表示されません。	-
参照	を押下すると、プロセスインスタンス/ケースインスタンスの参照画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、または、「IM-BPM管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
期限日時	ユーザタスクの期限日時が表示されます。 期限日時を超過している場合、期限日時が装飾されて表示されます。	期限日時なしが選択されている場合、期限日時が設定されていないタスクのみ検索します。 期限日時なしが選択されている場合、期限日時の設定は反映されません。 範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-
担当を外す	を押下すると、自分から担当を外します。	-

3. 担当を外したい個人タスクの を押下します。



図：タスク一覧 - 個人タスク

処理する

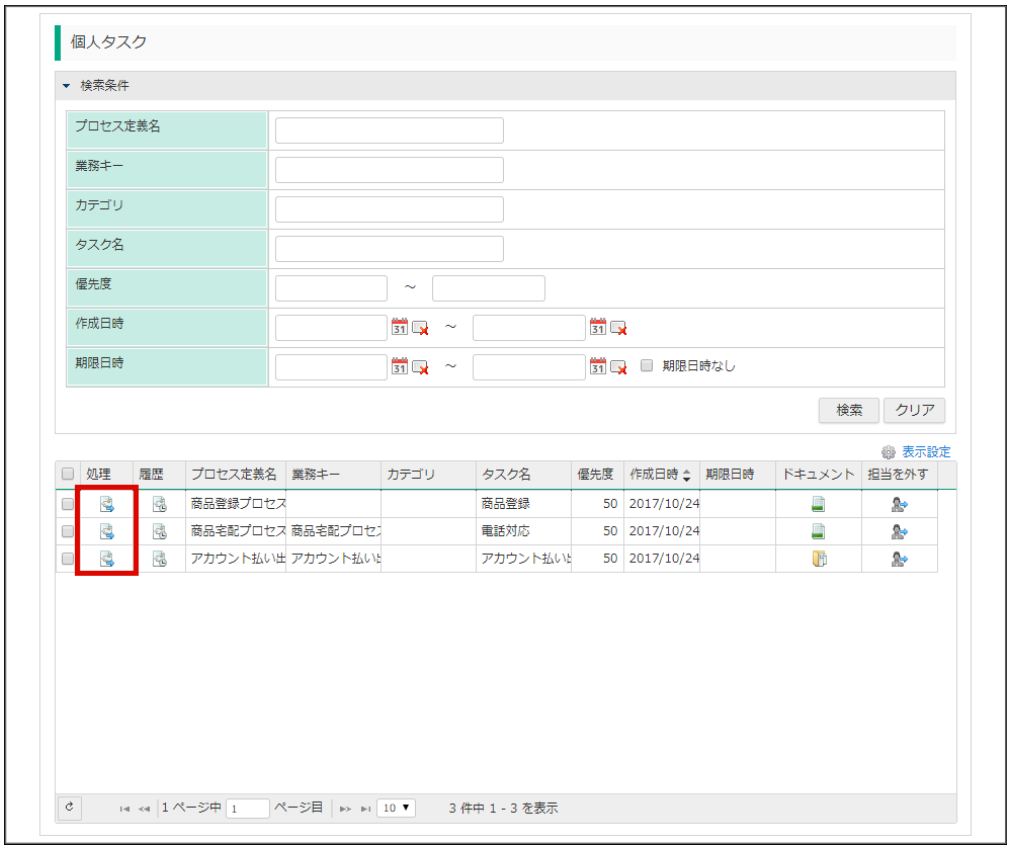
個人タスクを処理します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

   ※ 個人タスク一覧へ遷移しても同様の操作ができます。

2. 処理したい個人タスクを検索します。

3. 処理したい個人タスクの を押下します。



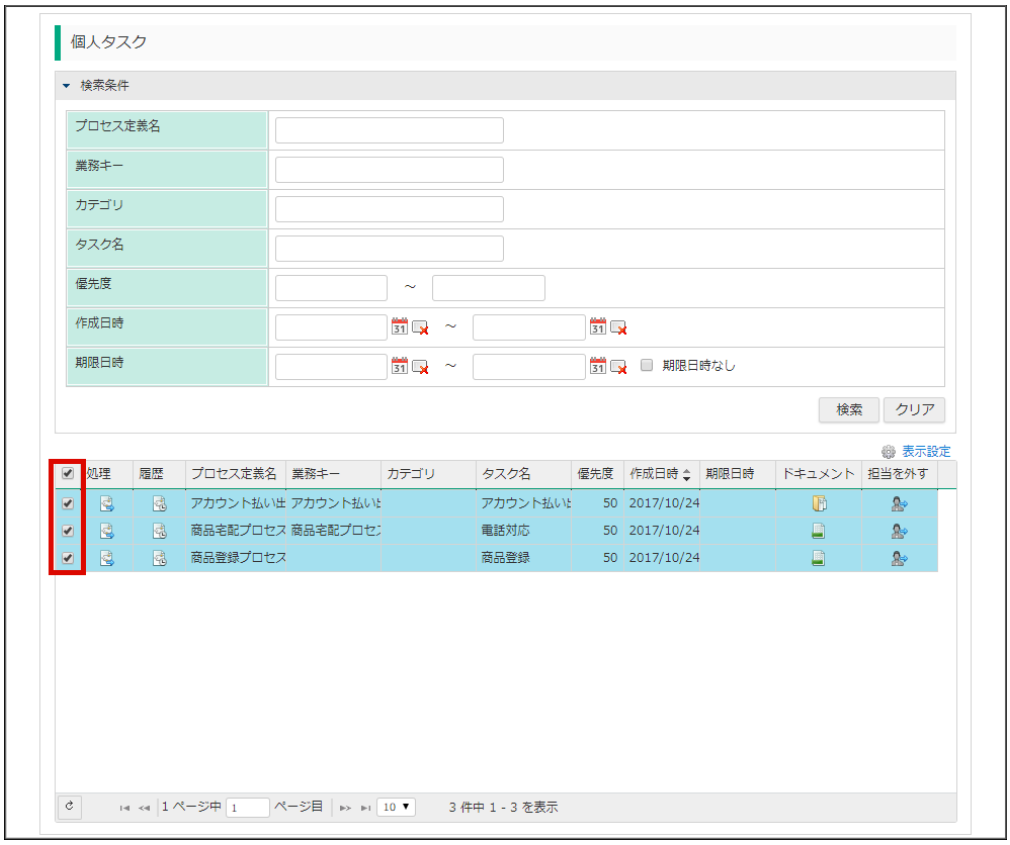
図：タスク一覧 - 個人タスク

ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。
画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了され、次のアクティビティに遷移します。

一括で処理する

個人タスクを一括で処理します。

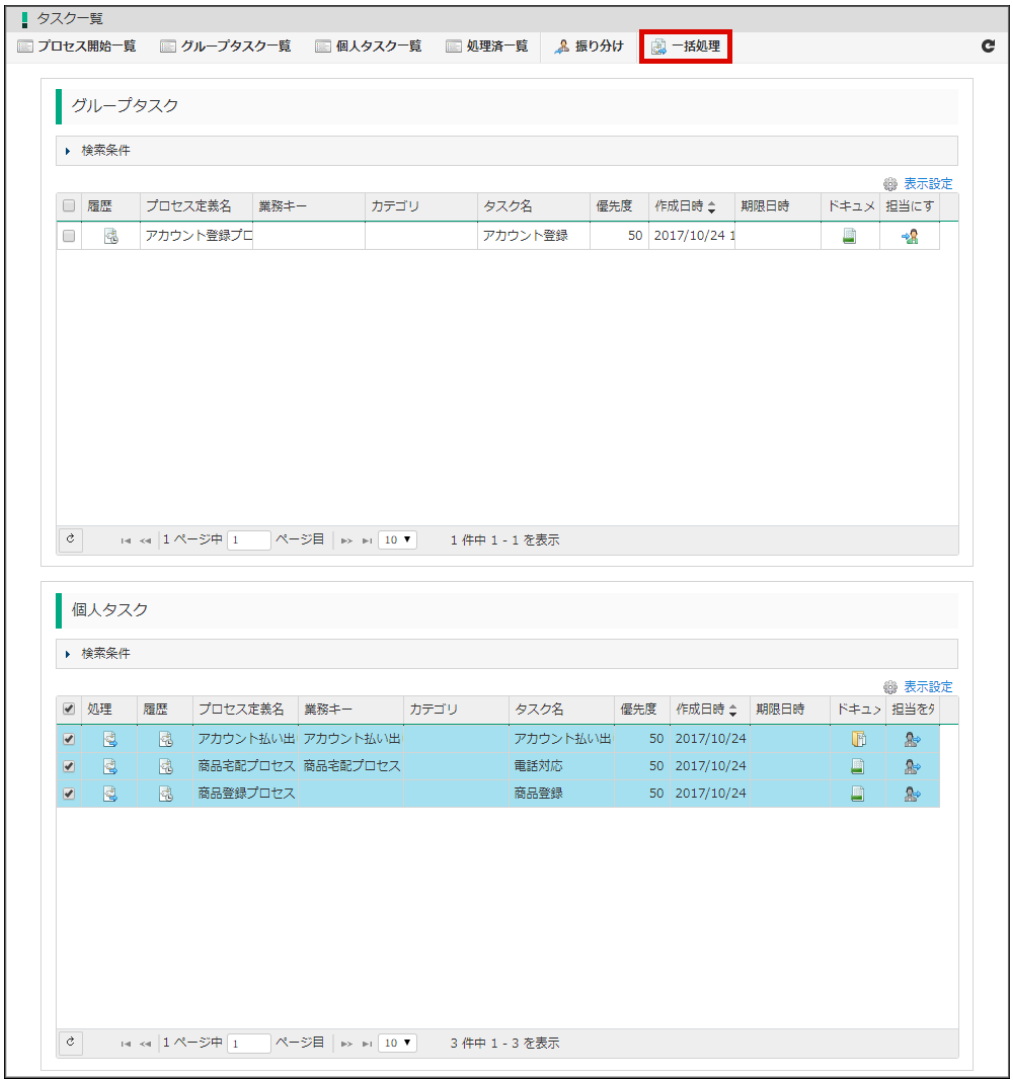
1. 処理したい個人タスクを検索します。
2. 処理したい個人タスクを選択します。複数選択可能です。



図：タスク一覧 - 個人タスク

3. 「一括処理」を押下します。

ユーザタスクに画面が設定されている場合は、該当する画面に遷移します。
画面が設定されていない場合は、そのままユーザタスクが完了されます。
個人タスクの選択されている上から順に処理されます。途中で処理を中断した場合、以降の処理は行われません。



図：タスク一覧

表示項目を変更する

個人タスクに分類されているユーザタスクの一覧の表示項目を変更します。
※個人タスク一覧画面の設定もここで設定された内容が反映されます。

> **コラム**
> 設定方法の詳細は「*グループタスクを操作する*」の「*表示項目を変更する*」を参照してください。

処理済のタスクを確認する

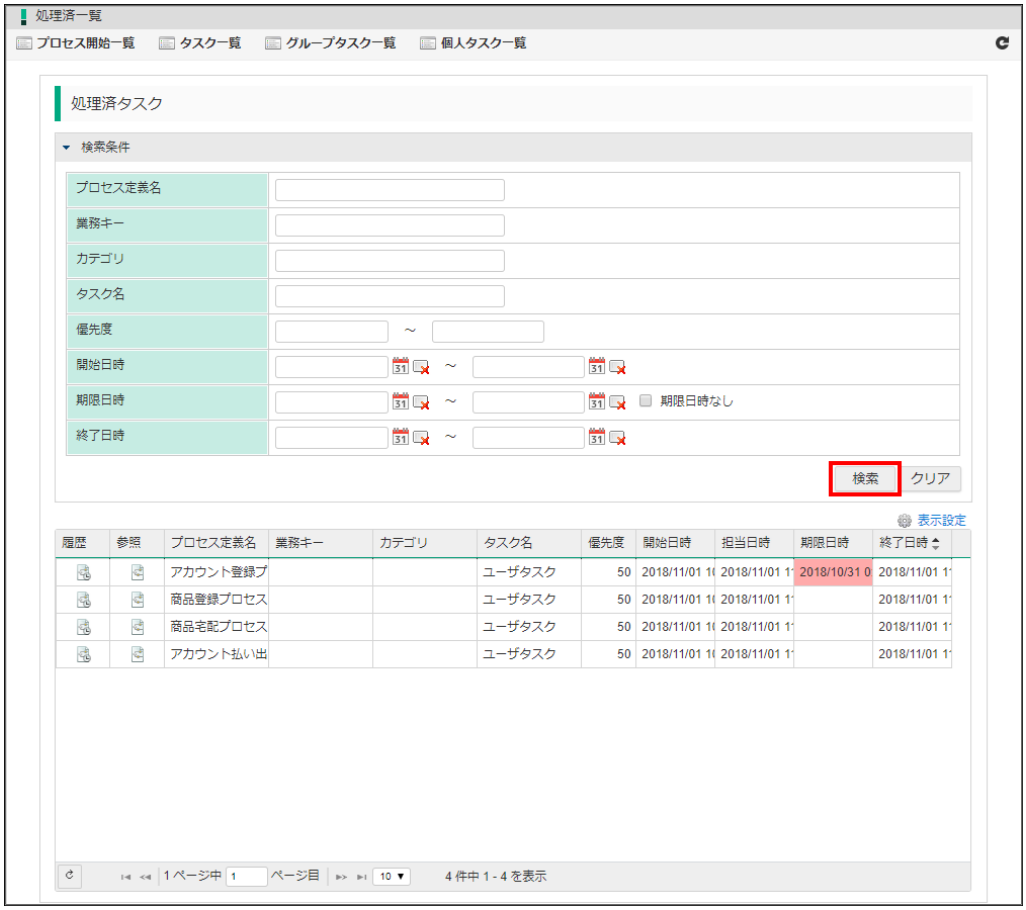
自分が処理したタスクを確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

2. 「処理済一覧」を押下します。

図：タスク一覧

3. 検索条件を任意に設定し、検索します。



図：処理済一覧 - 処理済タスク

項目名	説明	検索条件
履歴	を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。 ※ケースインスタンスには、 が表示されません。	-

項目名	説明	検索条件
参照	を押下すると、プロセスインスタンス/ケースインスタンスの参照画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、または、「IM-BPM管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
開始日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
期限日時	ユーザタスクの期限日時が表示されます。 期限日時を超過している場合、期限日時が装飾されて表示されます。	期限日時なしが選択されている場合、期限日時が設定されていないタスクのみ検索します。 期限日時なしが選択されている場合、期限日時の設定は反映されません。 範囲
担当日時	ユーザタスクの担当になった日時が表示されます。 再度担当を振りなおすと、振りなおした時点の日時が表示されます。	-
終了日時	ユーザタスクの終了日時が表示されます。	範囲

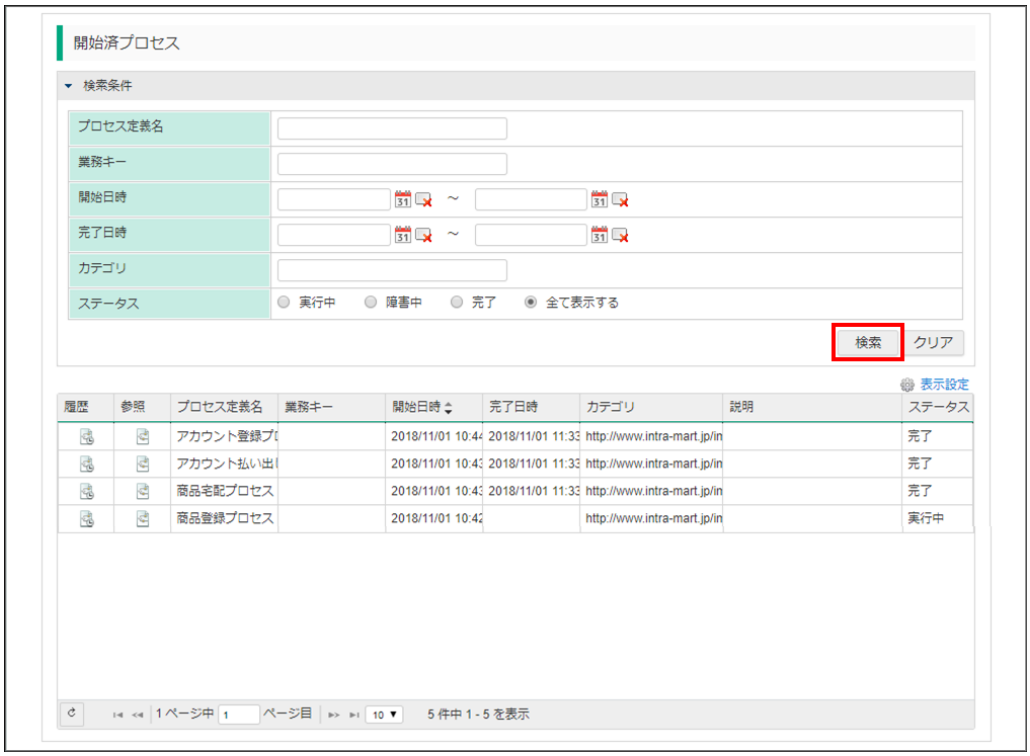
開始済のプロセスインスタンスを確認する

自分が開始したプロセスインスタンスを確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。
2. 「処理済一覧」を押下します。

図：タスク一覧

3. 検索条件を任意に設定し、検索します。



図：処理済一覧 - 開始済プロセス

項目名	説明	検索条件
履歴	を押下すると、プロセスインスタンスの履歴画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」または「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。 ※ケースインスタンスには、 が表示されません。	-
参照	を押下すると、プロセスインスタンス/ケースインスタンスの参照画面へ遷移します。 ※ この列は「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、または、「IM-BPM管理者」のロールが付与されたユーザでのみ表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
開始日時	開始日時が表示されます。	範囲
完了日時	完了日時が表示されます。	範囲
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	部分一致
説明	プロセス定義の説明文が表示されます。	-
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了	選択

処理の履歴を確認する

プロセスインスタンスの履歴を時系列で確認できます。

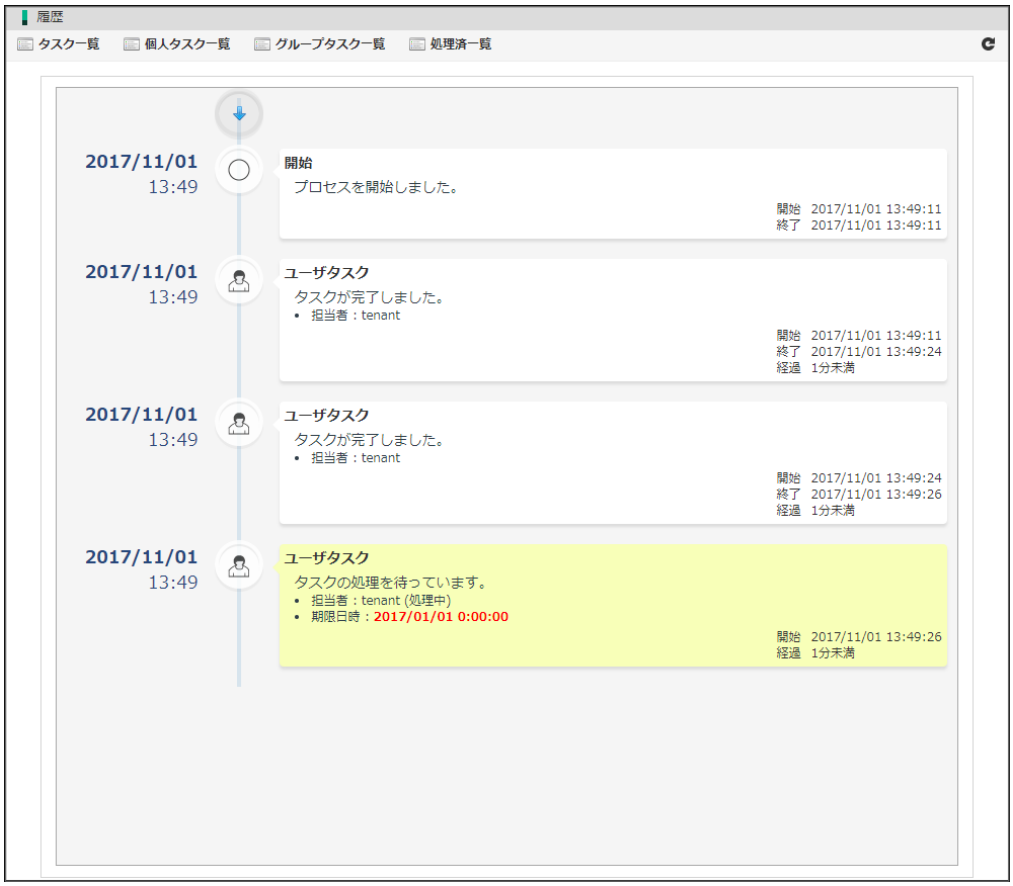
1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」を押下します。

※タスク一覧画面の個人タスク一覧、個人タスク一覧画面、処理済タスク一覧画面からも により履歴画面へ遷移できます。

> **コラム**
>
> 「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、または、「IM-BPM 管理者」のロールが付与されたユーザのみ履歴画面へ遷移できます。

2. グループタスクの一覧で を押下します。

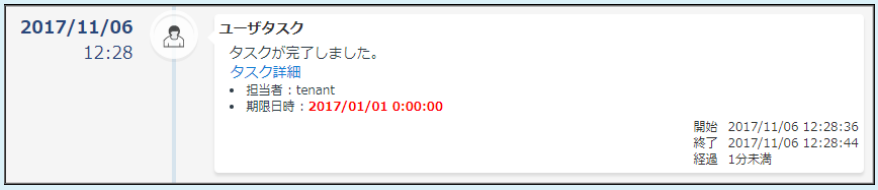
3. プロセスインスタンスの履歴が確認できます。



図：履歴

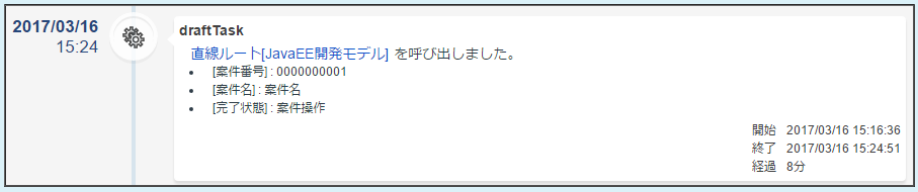
コラム

開始イベントやユーザタスク等の履歴からは、処理時の入力フォームの履歴を参照できます。
ユーザタスクの期限日時を超過している場合、期限日時が赤文字で表示されます。



コールアクティビティの履歴からは、呼び出し先のプロセスインスタンスの履歴に遷移できます。

申請タスク、または起票タスクの履歴からは、申請（起票）したワークフローの履歴を参照できます。

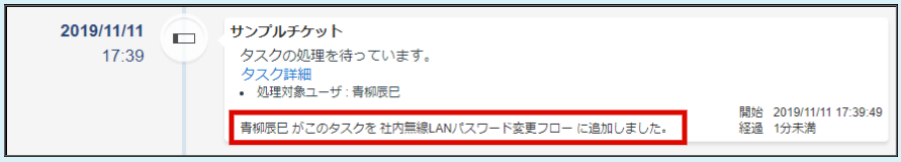


コラム

「オプショナル」の設定がされているタスクの場合、下部に「追加したユーザ」と「オプショナルタスクの詳細」リンクが表示されます。

コラム

アドホックタスクの場合、下部に「追加したユーザ」と「追加されたコンテナ」が表示されます。



4. を押下すると、履歴の時系列順序を変更できます。

プロセスインスタンスを参照する

プロセスインスタンスの関係者であるユーザは、プロセスインスタンスを参照できます。
「プロセスインスタンス参照」画面を表示するには「IM-BPM プロセス参照ユーザ」ロールが付与されている必要があります。

コラム

プロセスインスタンスの関係者については「IM-BPM 仕様書」 - 「関係者権限」を参照してください。

項目

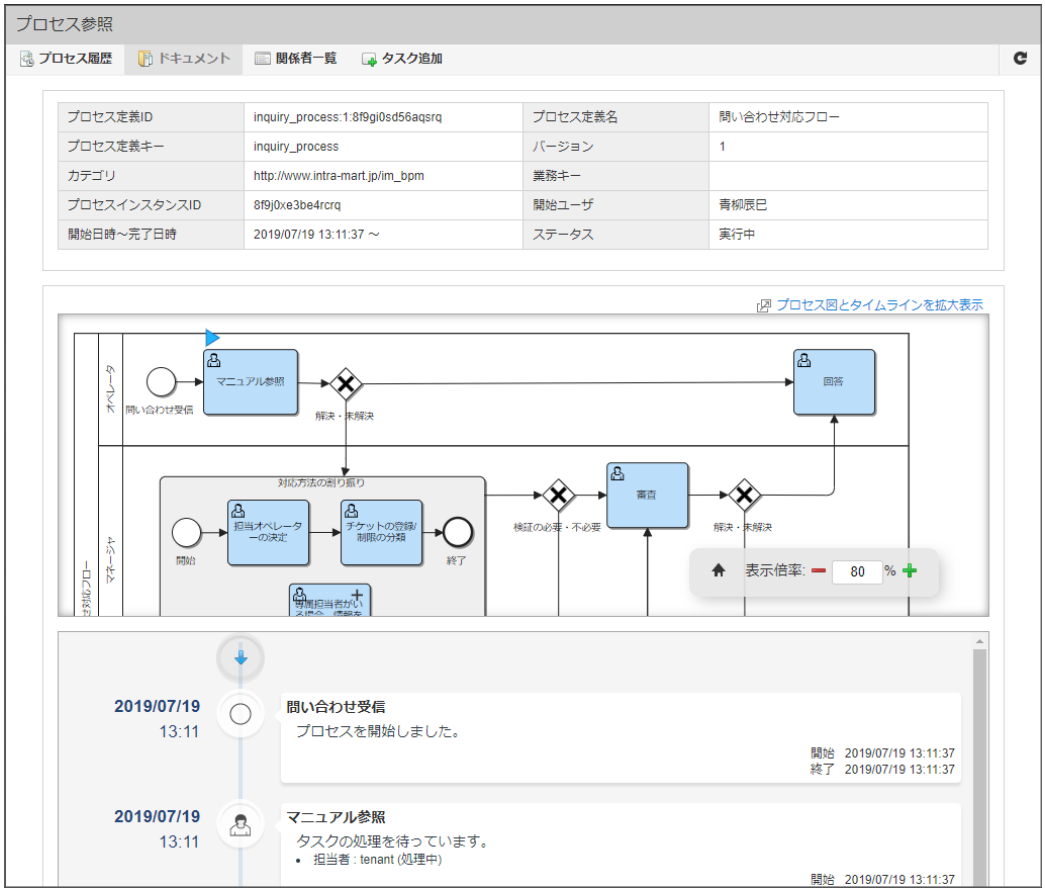
- プロセスインスタンス参照
- 関係者/関係グループ一覧
- タスク追加

プロセスインスタンス参照

自分が関係しているプロセスインスタンスを参照します。
「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」画面の、「 」をクリックします。
※ 「処理済一覧」へ遷移しても同様の操作ができます。

コラム

参照画面への遷移の方法は「*グループタスクを操作する*」を参照してください。



図：プロセス参照

項目名	説明
ドキュメント	プロセス定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
関係者一覧	プロセスインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。 詳細は「*関係者/関係グループ一覧*」を参照してください。
タスクの追加	オプショナルタスク/アドホックタスクを使用している定義は、ここからタスクを追加できます。 詳細は「*タスク追加*」を参照してください。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。
バージョン	バージョンが表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
業務キー	業務キーが表示されます。
プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
開始ユーザ	プロセスを開始したユーザが表示されます。
開始日時～完了日時	開始日時～完了日時が表示されます。
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了
プロセス図とタイムラインを拡大表示	プロセス図とタイムラインが別画面で拡大表示され開かれます。

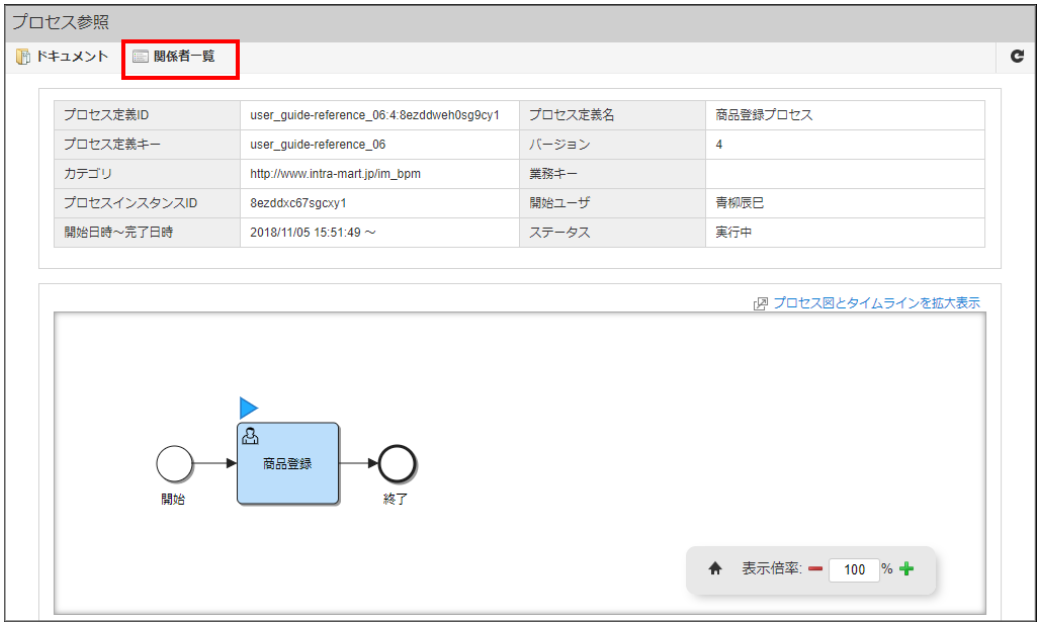
項目名	説明
プロセス図	プロセス図が表示されます。 コンテナが実行中の場合 が表示されます。 アクティビティが障害中の場合 が表示されます。 を押下すると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 を押下すると、プロセス図が縮小されます。 を押下すると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。
タイムライン	プロセスインスタンスの履歴を時系列で表示します。 詳細は「*個人タスクを操作する*」-「*処理の履歴を確認する*」を参照してください。

図：ドキュメント

> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」-「関連ドキュメント」を参照してください。

関係者/関係グループ一覧

プロセスインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。
「関係者一覧」ボタンをクリックします。



図：プロセス参照

- ユーザ
  関係者を確認できます。

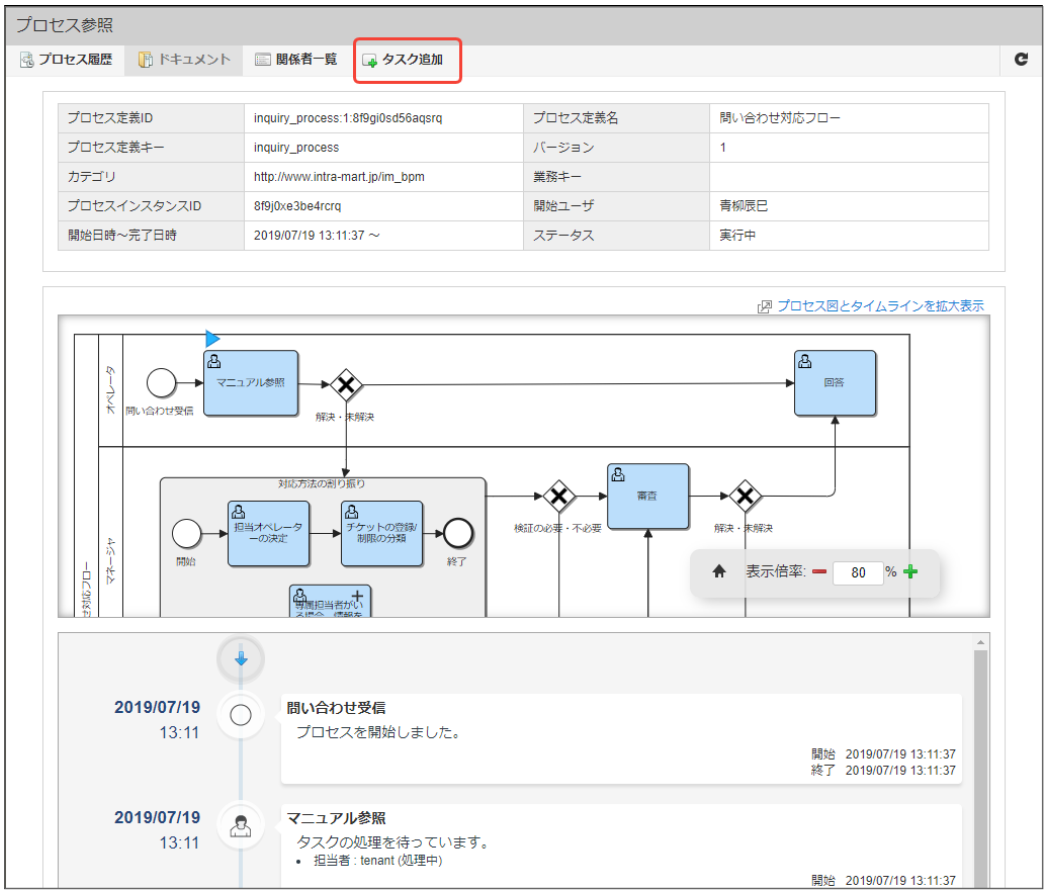
図：関係者／関係グループ一覧 - ユーザ

- グループ
  関係しているグループを確認できます。
  グループ名をクリックすることで、グループに所属するユーザを確認できます。

図：関係者／関係グループ一覧 - グループ

タスク追加

「オプショナルタスク」、または、「アドホックタスク」を使用している定義は、「タスク追加」画面が表示されます。
タスクの追加手順は「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。



図：プロセス参照

ケースインスタンスを参照する

ケースインスタンスの関係者であるユーザは、ケースインスタンスの状態を参照できます。
「ケースインスタンス参照」画面を表示するには「IM-BPM プロセス参照ユーザ」ロールが付与されている必要があります。

> **コラム**
>
> 以下のいずれかに該当するユーザは、ケースインスタンスの関係者です。
>
> - 担当者：ユーザタスクの担当になったユーザ
> - 処理対象ユーザ：ユーザタスクの処理対象ユーザ、または、処理対象グループに所属するユーザ
> - 開始者：ケースインスタンスを開始させたユーザ
> - 参加者：担当者/処理対象ユーザに一度でもなったユーザ、または、任意で追加されたユーザ

項目

- ケースインスタンス参照
- 画面構成
  - ヘッダエリア
  - ビューアエリア
  - タイムラインエリア
- 詳細情報
- 関係者/関係グループ一覧
- タスク追加

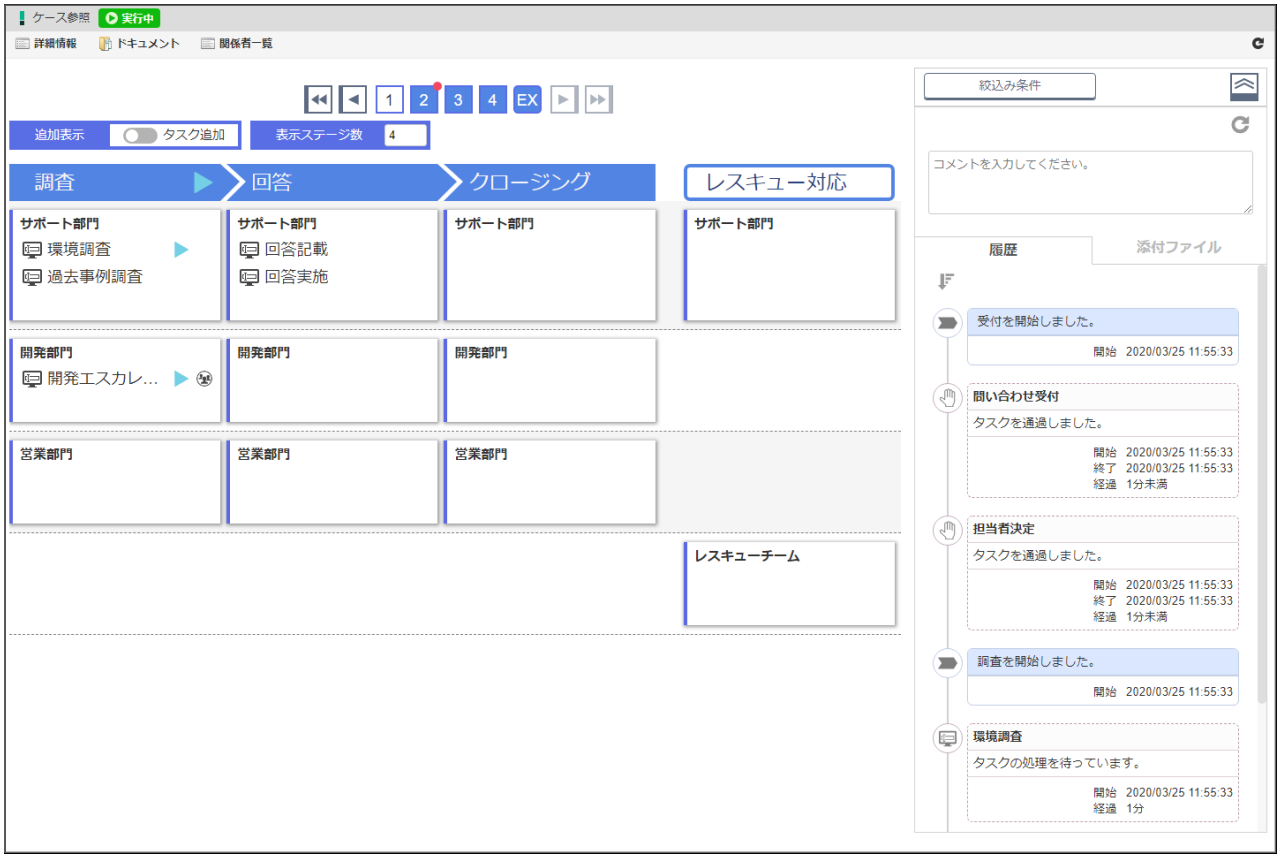
ケースインスタンス参照

自分が関係しているケースインスタンスを参照します。

「サイトマップ」→「BPM」→「タスク一覧」画面の、「 」をクリックします。

※ 「処理済一覧」へ遷移しても同様の操作ができます。

> **コラム**
>
> 参照画面への遷移の方法は「*グループタスクを操作する*」を参照してください。



図：「ケース参照」

画面構成

「ケース参照」画面は、大きく分けて以下の3つの部分で構成されています。

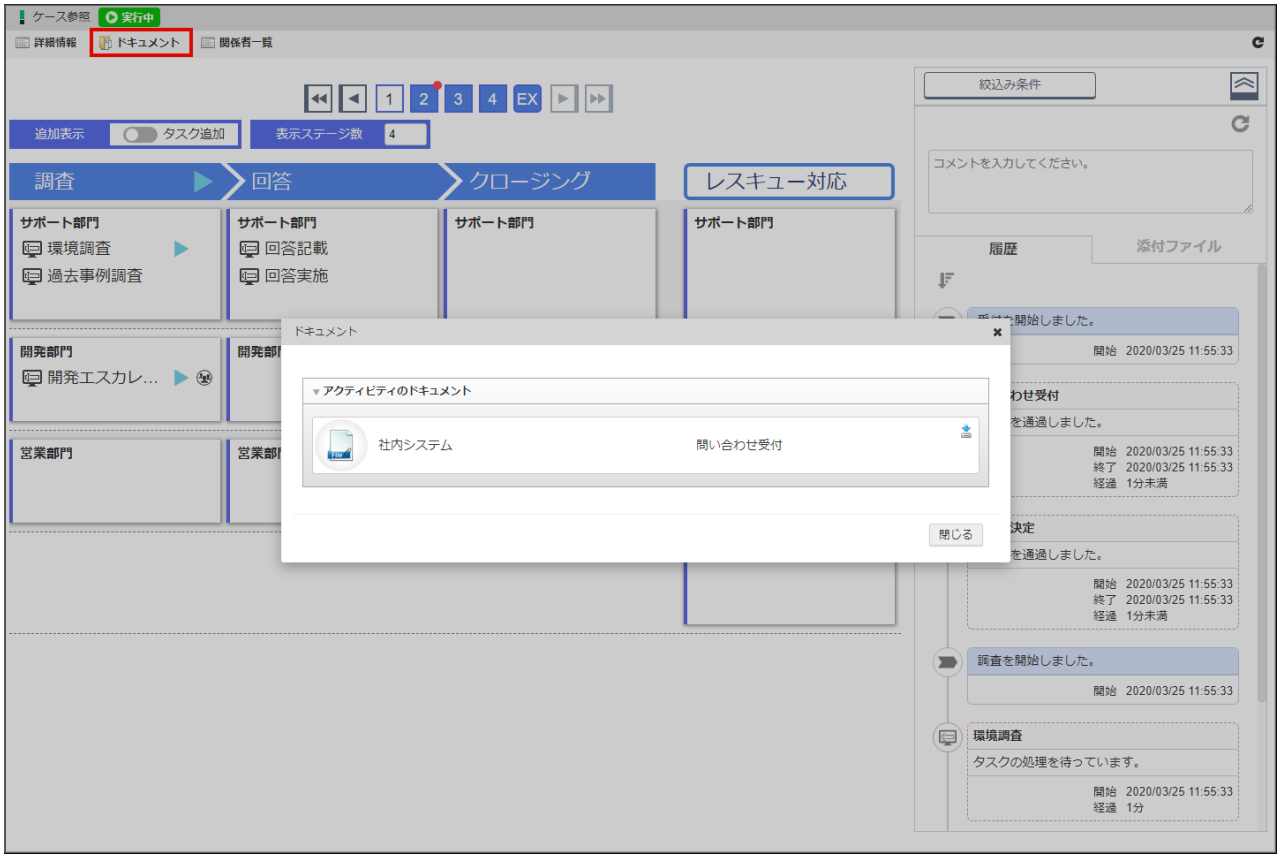
1. ヘッダエリア
2. ビューアエリア
3. タイムラインエリア

図：「ケース参照」 - 画面構成

ヘッダエリア

ヘッダエリアは以下の画面項目で構成されています。

項目名	説明
タイトル	このケースインスタンスの実行状態に応じて、「実行中」、「障害中」、または、「完了」と表示されます。
詳細情報	このケースインスタンスの詳細な情報を表示します。 詳細は「*詳細情報*」を参照してください。
ドキュメント	全アクティビティのドキュメントを表示します。
関係者一覧	ケースインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。 詳細は「*関係者/関係グループ一覧*」を参照してください。



図：「ドキュメント」

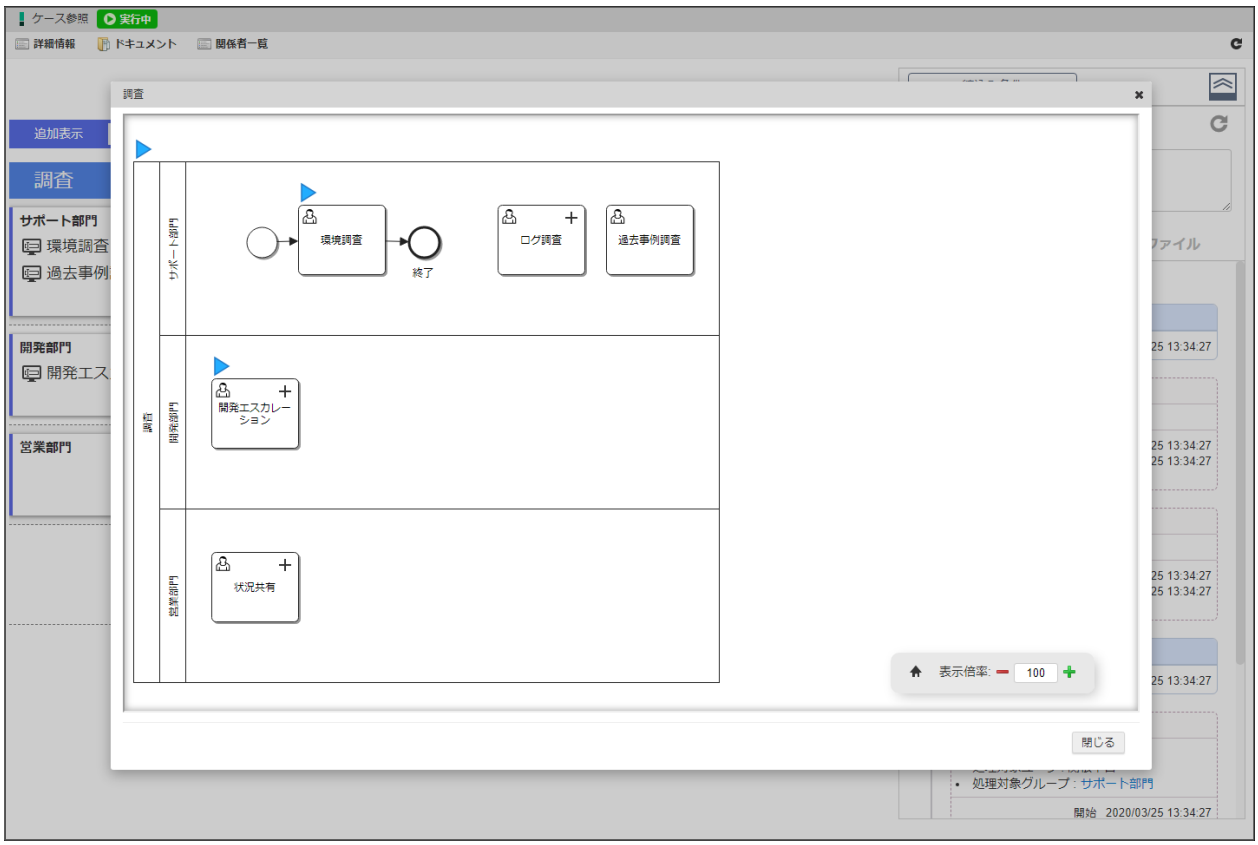
> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」 - 「関連ドキュメント」を参照してください。

ビューアエリア

ビューアエリアは、ケースインスタンスに設定されている各ステージと各関係者のタスクの情報を、表形式で表示します。
横方向に並んでいるのがステージ、縦方向に並んでいるのが関係者です。
表の1マス部分には、このステージにおける、この関係者に紐づけられたタスクが、一覧で表示されます。

図：「ケース参照」 - ステージと関係者

項目名	説明
追加表示	「タスク追加」スイッチをオンにすることで、タスク追加モードに切り替えられます。 詳細は「*タスク追加*」を参照してください。
ページング	表示するステージを切り替えます。 ◀ ▶ を押下することでページを移動できます。 ◀◀ ▶▶ を押下することで、ページの先頭・末尾に移動できます。 ステージが実行中の場合、 1 というように「赤い丸」が表示されます。
表示ステージ数	表示するステージ数を設定します。最大は8です。
ステージのヘッダ	ステージの名前が表示されます。 クリックすることで、ステージ図が表示されます。 このステージが実行中である場合は ▶ 、完了している場合は ✓ が表示されます。
ステージの関係者別タスク一覧	このステージにおける、関係者に紐づけられたタスクが一覧形式で表示されます。 各タスクが実行中である場合は ▶ 、完了している場合は ✓ が表示されます。

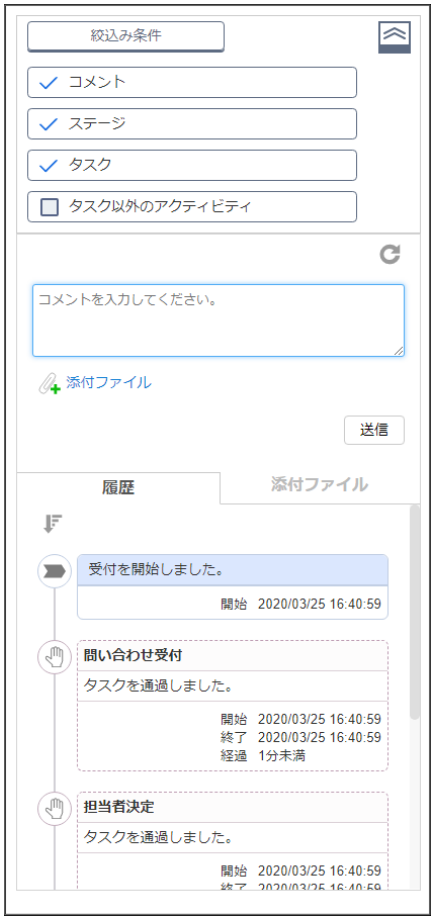


図：ステージ図

> **コラム**
>
> このケースインスタンスに例外ステージが設定されている場合、一番最後のステージのさらに右側に例外ステージが表示されます。

タイムラインエリア

タイムラインエリアは、ケースインスタンスの履歴情報を時系列で表示します。



図：「ケース参照」 - タイムラインエリア

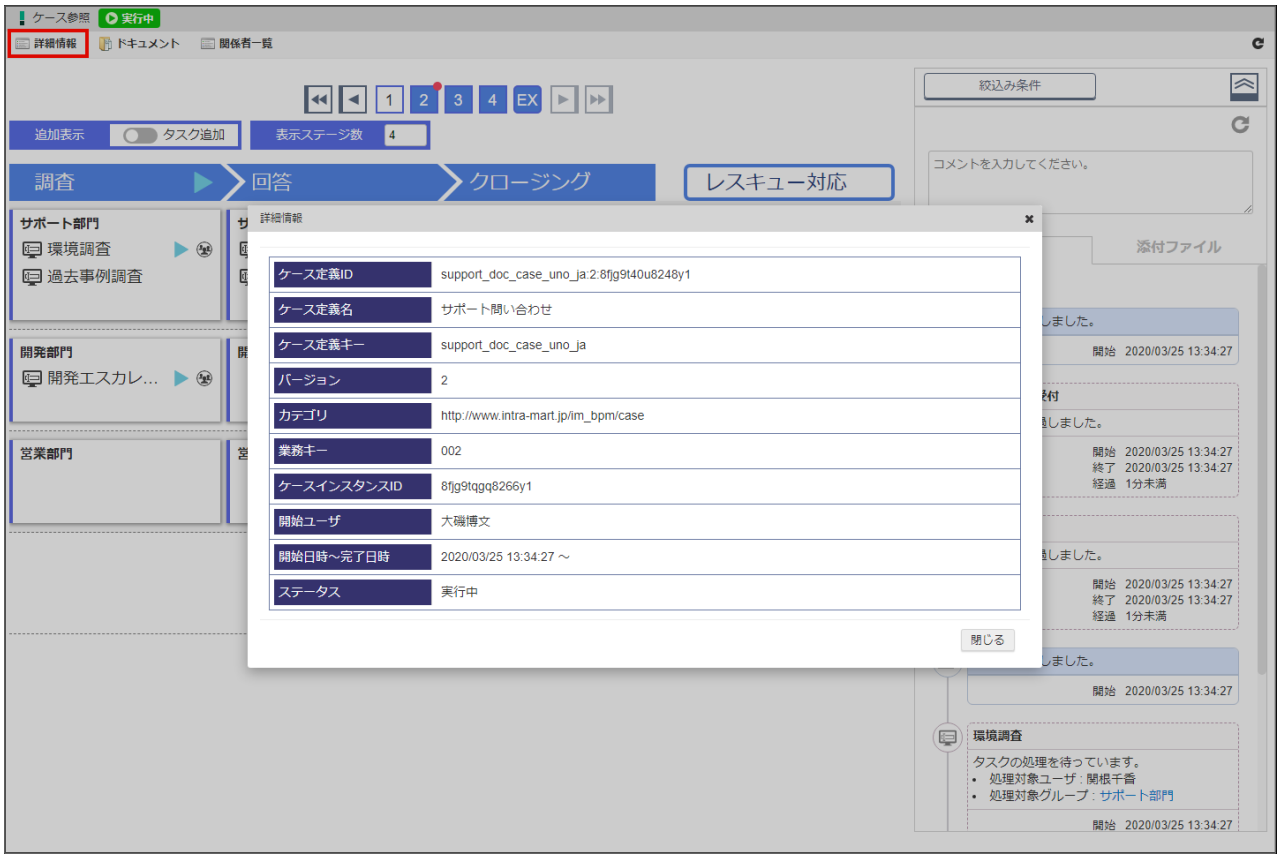
項目名	説明
絞込み条件	表示する履歴を絞込みます。 ▪ コメント ユーザが追加したコメントです。 ▪ ステージ ステージの履歴です。 ▪ タスク タスクの履歴です。 ▪ タスク以外のアクティビティ タスク以外のアクティビティです。初期状態では無効です。
タイムライン表示、非表示	をクリックすると、タイムラインの表示、非表示が切り替わります。
コメント	コメントを入力します。 必要に応じてファイルを添付することも可能です。 送信ボタンをクリックすることでコメントが登録され、履歴タブにてケースインスタンスの関係者が閲覧できます。
履歴タブ	このケースインスタンスの履歴情報を、絞り込み条件に応じて表示します。
添付ファイルタブ	コメントに添付されたファイルを表示します。
ソート	を押下すると、履歴の時系列順序を変更できます。

コラム

ケースインスタンスの開始履歴やユーザタスク等の処理履歴からは、入力フォームの内容を参照できます。
その他、ワークフローの履歴の参照などもできます。
詳細は「*処理の履歴を確認する*」を参照してください。

詳細情報

このケースインスタンスの詳細な情報を表示します。
「詳細情報」ボタンをクリックします。

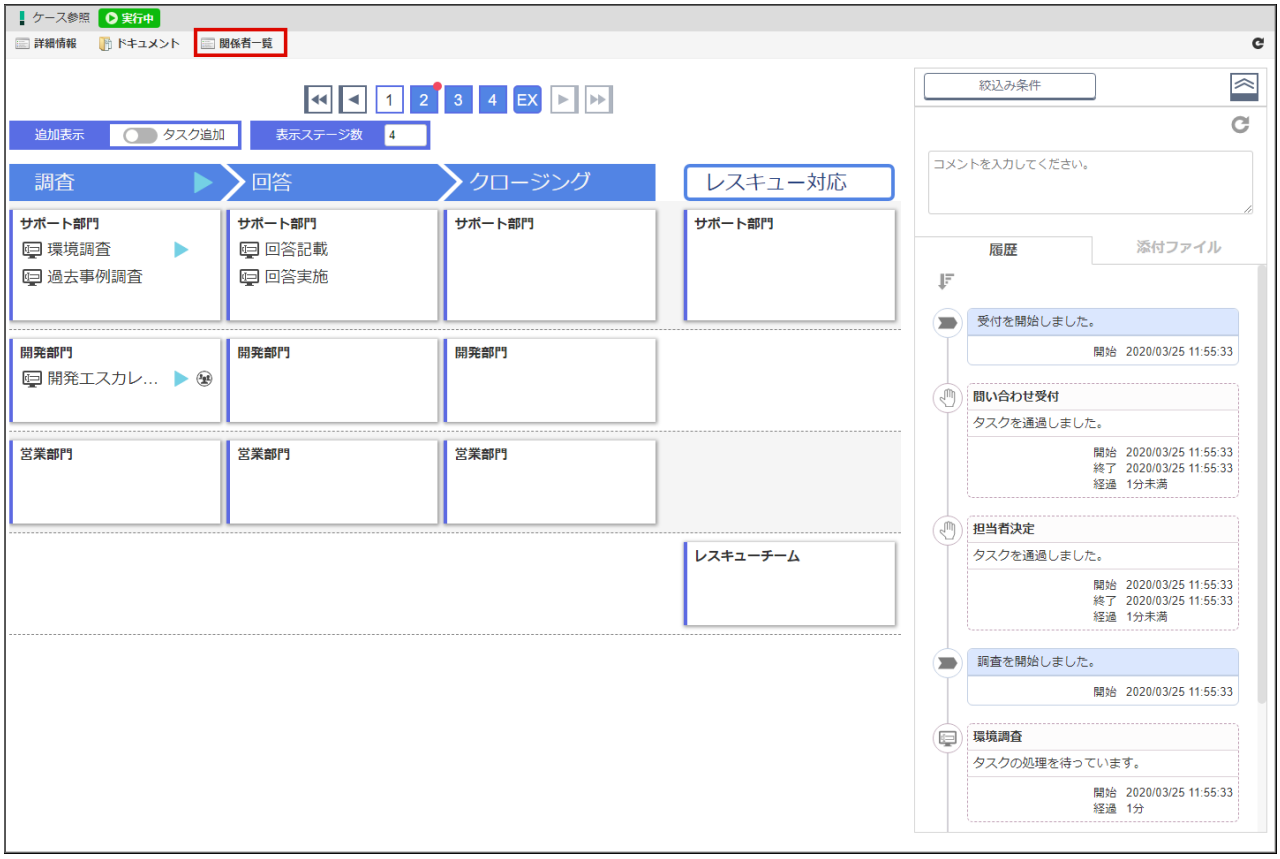


図：「詳細情報」

項目名	説明
ケース定義ID	このケースインスタンスのケース定義IDです。
ケース定義名	このケースインスタンスのケース定義名です。
ケース定義キー	このケースインスタンスのケース定義キーです。
バージョン	このケースインスタンスのケース定義のバージョンです。
カテゴリ	このケースインスタンスのケース定義のカテゴリです。
業務キー	このケースインスタンスの業務キーです。
ケースインスタンスID	このケースインスタンスのIDです。
開始ユーザ	このケースインスタンスを開始したユーザ名です。
開始日時~完了日時	このケースインスタンスを開始した日時、および、完了した日時です。 完了日時は、ケースインスタンスが完了している場合に表示されます。
ステータス	このケースインスタンスのステータスです。 実行中、障害中、または、完了

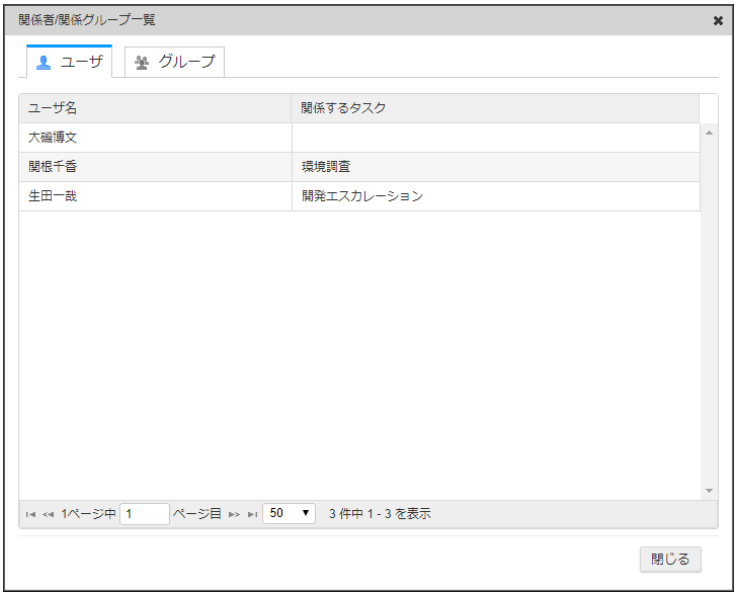
関係者/関係グループ一覧

ケースインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。
「関係者一覧」ボタンをクリックします。



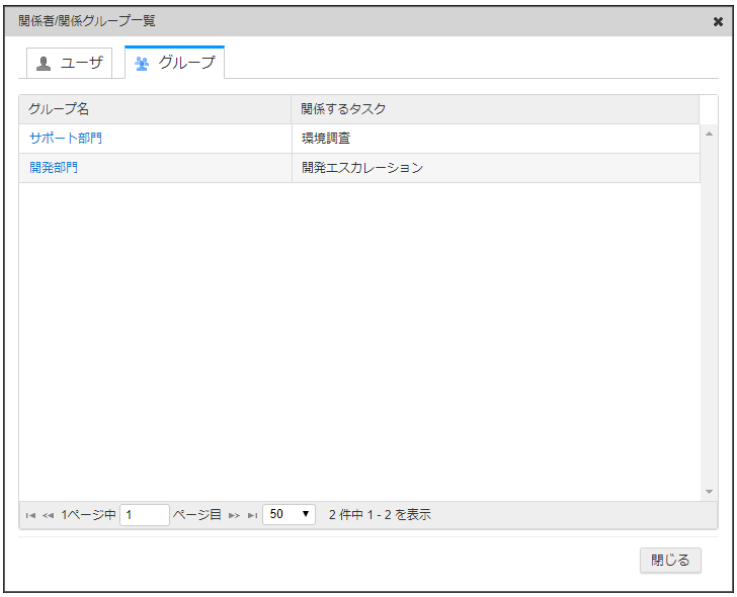
図：「ケース参照」

- ユーザ
  関係者を確認できます。



図：「関係者／関係グループ一覧」 - 「ユーザ」

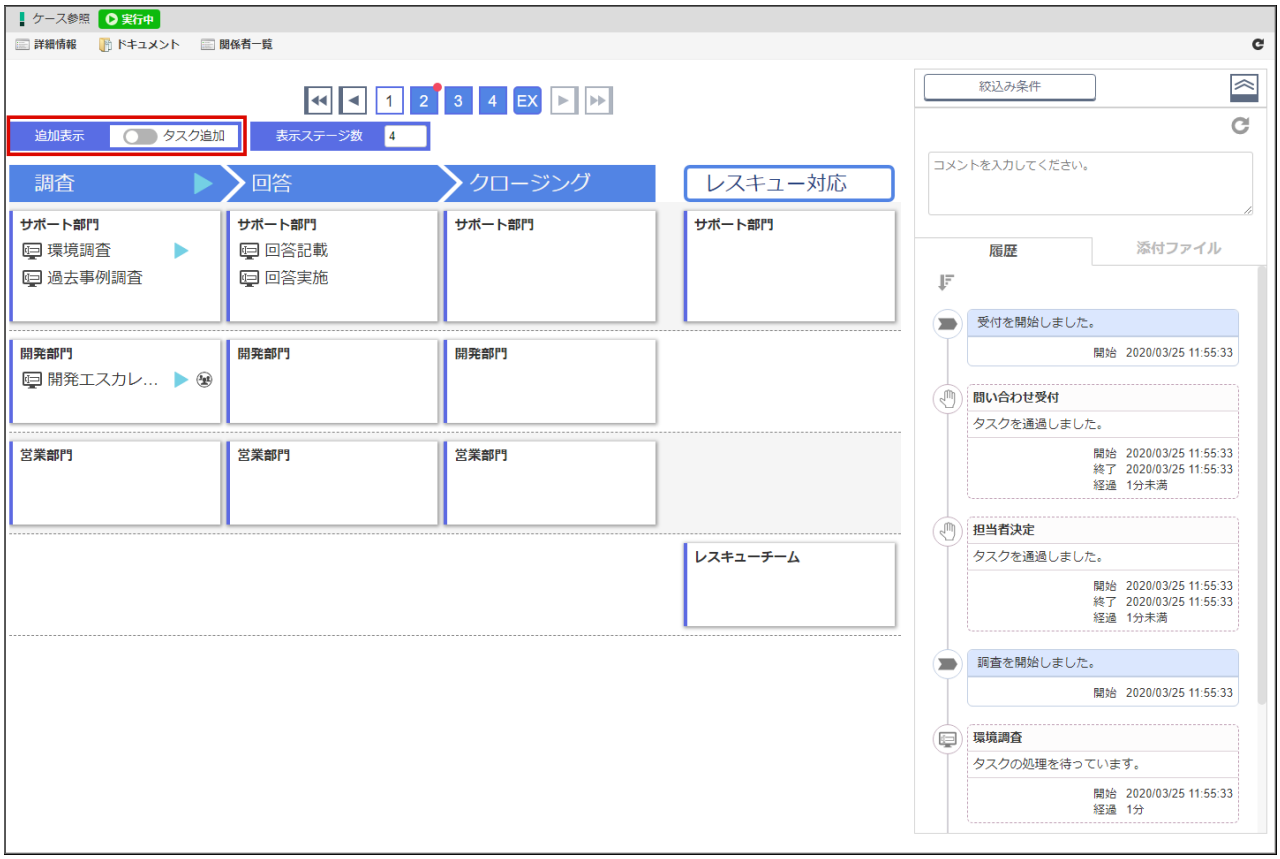
- グループ
  関係しているグループを確認できます。
  グループ名をクリックすることで、グループに所属するユーザを確認できます。



図：「関係者／関係グループ一覧」 - 「グループ」

タスク追加

「オプショナルタスク」、または、「アドホックタスク」を使用している定義の場合、タスク追加モードに切り替えられます。
タスクの追加手順は「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。



図：「ケース参照」

プロセスインスタンスにタスクを追加する

IM-BPMでは、プロセスインスタンスの実行の流れとは関係なく、ユーザが判断したタイミングでタスクを追加できる機能を用意しています。
追加できるタスクには以下の2種類が存在します。

- オプショナルタスク
- アドホックタスク

プロセスインスタンスにタスクを追加するための画面を「タスク追加」画面と呼びます。

「タスク追加」画面を表示するには「IM-BPM プロセス参照ユーザ」ロールが付与されている必要があります。

> **コラム**
>
> オプショナルタスクについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「オプショナルタスク」を参照してください。
> アドホックタスクについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「アドホックタスク」を参照してください。

> **コラム**
>
> プロセス定義の「開始時にオプショナルタスクの追加を行う」設定が有効な場合、「オプショナル」が設定されたタスクがプロセス定義内に存在していなくても、プロセスの開始時に「タスク追加」画面が表示されます。

タスク追加画面を開く

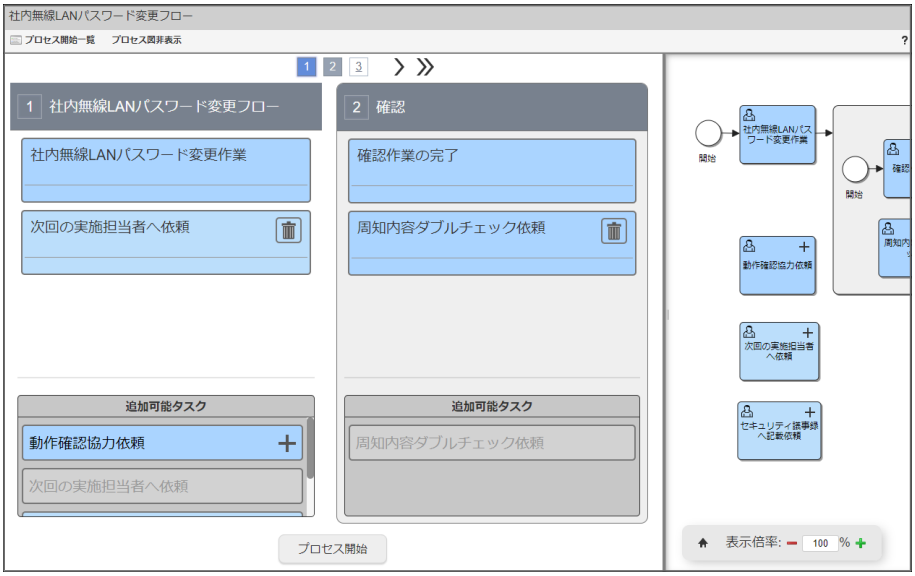
以下の2通りの方法にて、「タスク追加」画面を開くことができます。

- プロセス開始の際にオプショナルタスクを追加する場合

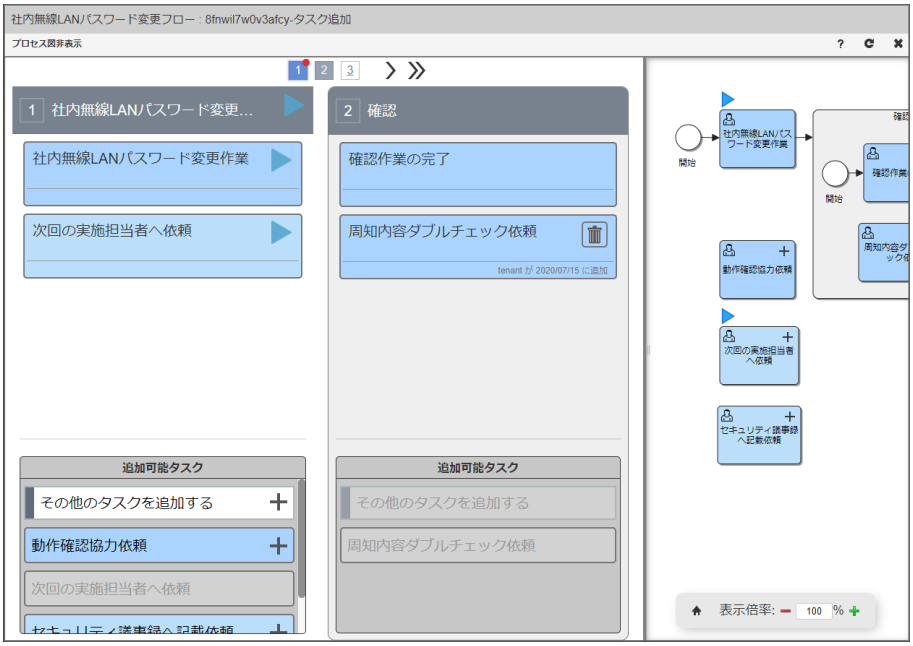
  「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス開始一覧」画面の「 」をクリックします。

- 開始済みのプロセスに対してオプショナルタスク、または、アドホックタスクを追加する場合

  「プロセス詳細」画面、または、「プロセス参照」画面から「タスク追加」ボタンをクリックします。
  プロセス詳細画面への遷移方法は、「*プロセスインスタンス詳細*」を、参照画面への遷移の方法は「*プロセスインスタンスを参照する*」を参照してください。



図：「プロセス開始一覧」画面から開いた「タスク追加」画面

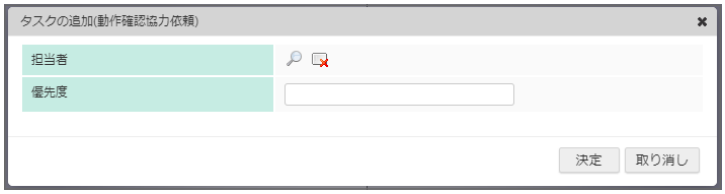


図：「プロセス詳細」画面、または、「プロセス参照」画面から開いた「タスク追加」画面

項目名	説明
プロセス開始一覧	「プロセス開始一覧」画面に戻ります。 このボタンは、「プロセス開始一覧」画面からこの画面を開いた場合に表示されます。
プロセス図表示	プロセス図を表示します。
プロセス図非表示	プロセス図を非表示にします。
ページング	をクリックすることでページを移動できます。 をクリックすることで、ページの先頭・末尾に移動できます。 コンテナの表示順は、プロセスエディタで設定されているソート順に従います。 ページングの数字にマウスオーバーすることで、コンテナ名を確認できます。 コンテナが実行中の場合、 というように「赤い丸」が表示されます。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。 下の「追加可能タスク一覧」に表示されているタスクは、プロセス直下に追加可能なタスクです。
コンテナ名	サブプロセス名、または、イベントサブプロセス名が表示されます。 コンテナが実行中の場合、 が表示されます。 コンテナが完了している場合、 が表示されます。
タスク一覧	プロセス、または、サブプロセス内のタスクが表示されます。 「追加可能タスク一覧」からタスクを追加すると、ここに表示されます。 タスクが実行中の場合、 が表示されます。 タスクが完了している場合、 が表示されます。 このコンテナが実行中でない場合、 オプショナルタスクには が表示され、クリックすることで削除できます。 また、オプショナルタスクをクリックすることでパラメータを編集できます。
追加可能タスク一覧	このコンテナに追加可能なオプショナルタスクが表示されます。 また、このプロセス定義の「アドホックタスクを使用する」設定が有効である場合、先頭に「その他のタスクを追加する」ボタンが表示されます。 これらをクリックすることで、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。 追加できない状態のタスクはグレーアウト、かつ、「＋」が表示されません。
プロセス開始ボタン	「プロセス開始」をクリックすると、タスク一覧に追加したタスクを含めてプロセスを開始します。 このボタンはプロセスを開始する際に表示されます。

オプショナルタスクを追加する

「追加可能タスク一覧」にて追加したいオプショナルタスクをクリックすると、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。
このダイアログでは、プロセスエディタの「タスク追加時のパラメータ」にて設定されたパラメータの入力を行います。
パラメータの値を入力して「決定」ボタンをクリックすると、オプショナルタスクが追加されます。
パラメータがないオプショナルタスクの場合、パラメータを入力するダイアログは表示されず追加されます。



図：オプショナルタスクの追加

> **コラム**
>
> グレーアウトしているオプショナルタスクは、すでに追加済みであり、現在実行中のタスクです。
> 実行中のタスクが完了した後、再度同一のオプショナルタスクを追加できます。
> ただし、対象のタスクに対して「実行中のタスクを複数追加可能にする」設定が有効な場合は、同時に同一のオプショナルタスクを複数追加できます。

オプショナルタスクを編集する

「タスク一覧」に追加されたオプショナルタスクをクリックすると、「タスクの編集」ダイアログが表示されます。
ダイアログにて編集したいパラメータの値を修正し、「決定」ボタンをクリックすることでパラメータを変更できます。
オプショナルタスクを削除する場合は、「タスク一覧」の をクリックします。

図：オプショナルタスクの編集

アドホックタスクを追加する

「追加可能タスク一覧」にて「その他のタスクを追加する」ボタンをクリックすると、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。
このダイアログには、プロセス定義の「アドホックタスクのフォームキー」に設定されたチケットマスタに基づく、「チケット登録」画面が表示されます。
フォームの内容を入力して 「登録」ボタンをクリックすると、アドホックタスクが追加されます。

図：アドホックタスクの追加

> **コラム**
> チケットマスタについての詳細は「チケットモジュール管理者操作ガイド」を参照してください。

> **コラム**
> アドホックタスクは、同時に複数追加できます。
> また、追加済みのアドホックタスクを編集することはできません。

ケースインスタンスにタスクを追加する

IM-BPMでは、ケースインスタンスの実行の流れとは関係なく、ユーザが判断したタイミングでタスクを追加できる機能を用意しています。
追加できるタスクには以下の2種類が存在します。

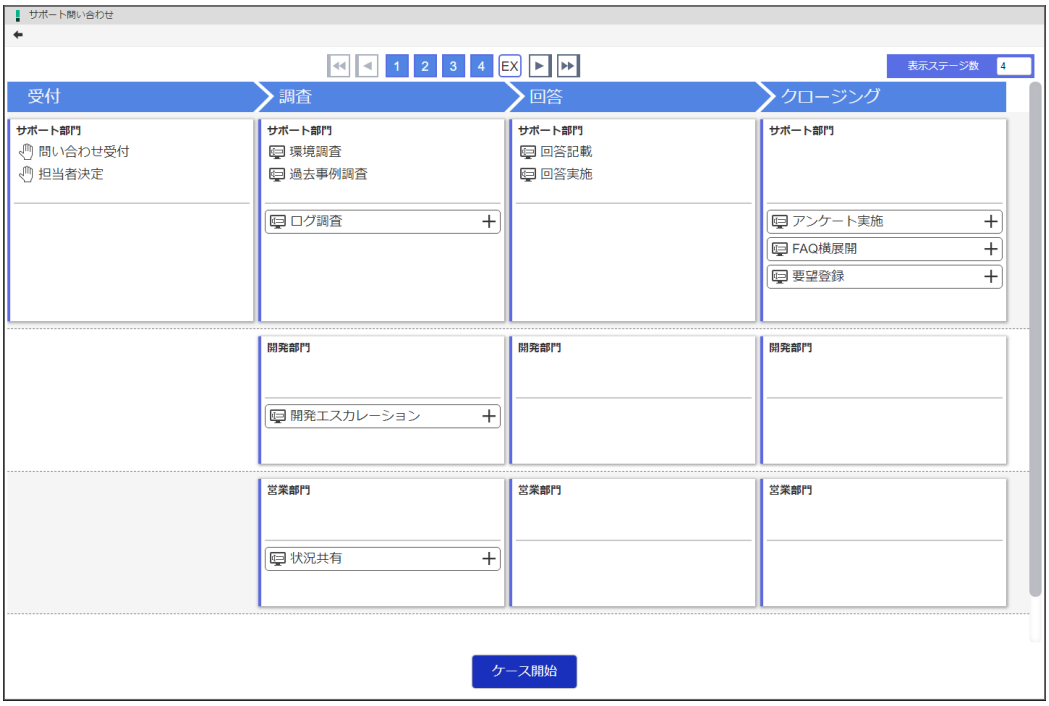
- オプショナルタスク
- アドホックタスク

> **コラム**
> オプショナルタスクについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「オプショナルタスク」を参照してください。
> アドホックタスクについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「アドホックタスク」を参照してください。

タスクを追加できる画面

以下の画面においてタスクを追加できます。

- 「ケース開始」画面
  オプショナルタスクを追加してケースインスタンスを開始する画面です。
  「ケース開始」画面への遷移方法は、「*ケースインスタンスの開始*」を参照してください。
- 「ケース参照」画面
  ケースインスタンスの状態を参照する画面です。
  「タスク追加」スイッチをオンにすることで、タスク追加モードに切り替えることが可能です。
  「ケース参照」画面の詳細は、「*ケースインスタンスを参照する*」を参照してください。
- 「ケース詳細」画面
  IM-BPM管理者向けの、ケースインスタンスの詳細を確認する画面です。
  「タスク追加」スイッチをオンにすることで、タスク追加モードに切り替えることが可能です。
  「ケース参照」画面の詳細は、「*ケースインスタンス詳細*」を参照してください。



図：「ケース開始」

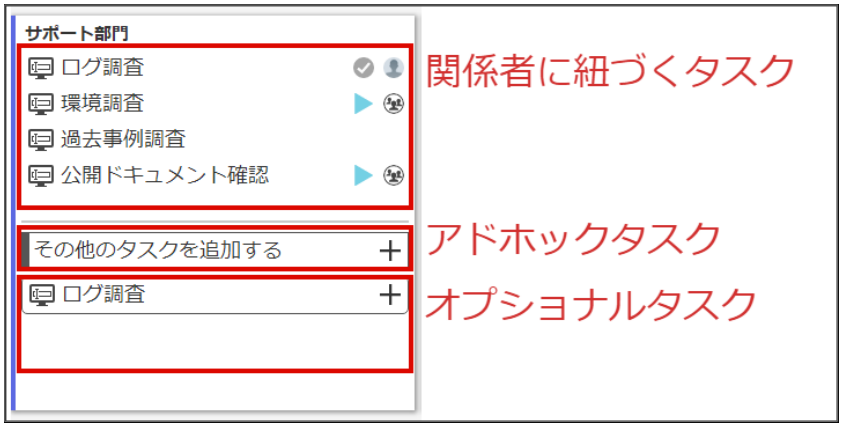
図：「ケース参照」

図：「ケース詳細」

> **コラム**
>
> ケース定義の「開始時にオプショナルタスクの追加を行う」設定が有効な場合、「オプショナル」が設定されたタスクがケース定義内に存在していなくても、ケースの開始時に「ケース開始」画面が表示されます。

ステージの関係者別タスク一覧

ステージの関係者別タスク一覧には、上部にそのステージにおける関係者に紐づけられたタスク、および、下部に追加可能なタスクが一覧で表示されています。



図：ステージの関係者別タスク一覧

上部には、必須タスクとして設定されたタスク、および、既に追加されているオプショナルタスクとアドホックタスクが表示されます。
未到達のステージに追加されているオプショナルタスクには が表示され、削除が可能です。
また、オプショナルタスクをクリックすることでパラメータを編集できます。

下部には、画面に応じて、以下のようにこのステージと関係者に対して追加可能なタスクが表示されます。

- 「ケース開始」画面の場合
  追加可能なオプショナルタスクが表示されます。
  このケース定義の「アドホックタスクを使用する」設定に関わらず、アドホックタスクを追加することはできません。
- 「ケース参照」画面、および、「ケース詳細」画面の場合
  追加可能なオプショナルタスクが表示されます。
  このケース定義の「アドホックタスクを使用する」設定が有効である場合、下部の先頭に「その他のタスクを追加する」ボタンが表示されます。

追加可能なタスクをクリックすることで、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。
追加できない状態のタスクはグレーアウトで表示されます。

オプショナルタスクを追加する

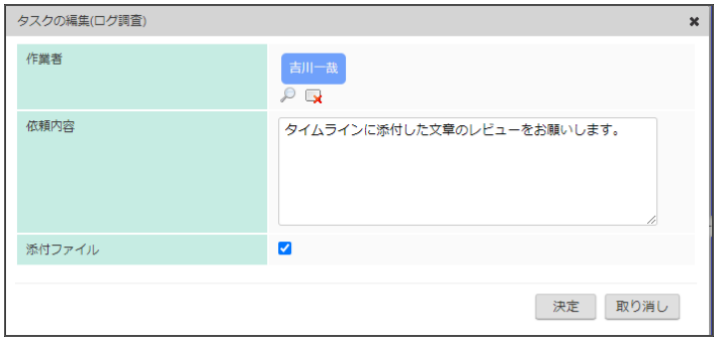
ステージの関係者別タスク一覧にて、追加したいオプショナルタスクをクリックすると、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。
このダイアログでは、ケースエディタの「タスク追加時のパラメータ」にて設定されたパラメータの入力を行います。
パラメータの値を入力して「決定」ボタンをクリックすると、オプショナルタスクが追加されます。
パラメータがないオプショナルタスクの場合、パラメータを入力するダイアログは表示されず追加されます。

図：オプショナルタスクの追加

> **コラム**
>
> グレーアウトしているオプショナルタスクは、すでに追加済みであり、現在実行中のタスクです。
> 実行中のタスクが完了した後、再度同一のオプショナルタスクを追加できます。
> ただし、対象のタスクに対して「実行中のタスクを複数追加可能にする」設定が有効な場合は、同時に同一のオプショナルタスクを複数追加できます。

オプショナルタスクを編集する

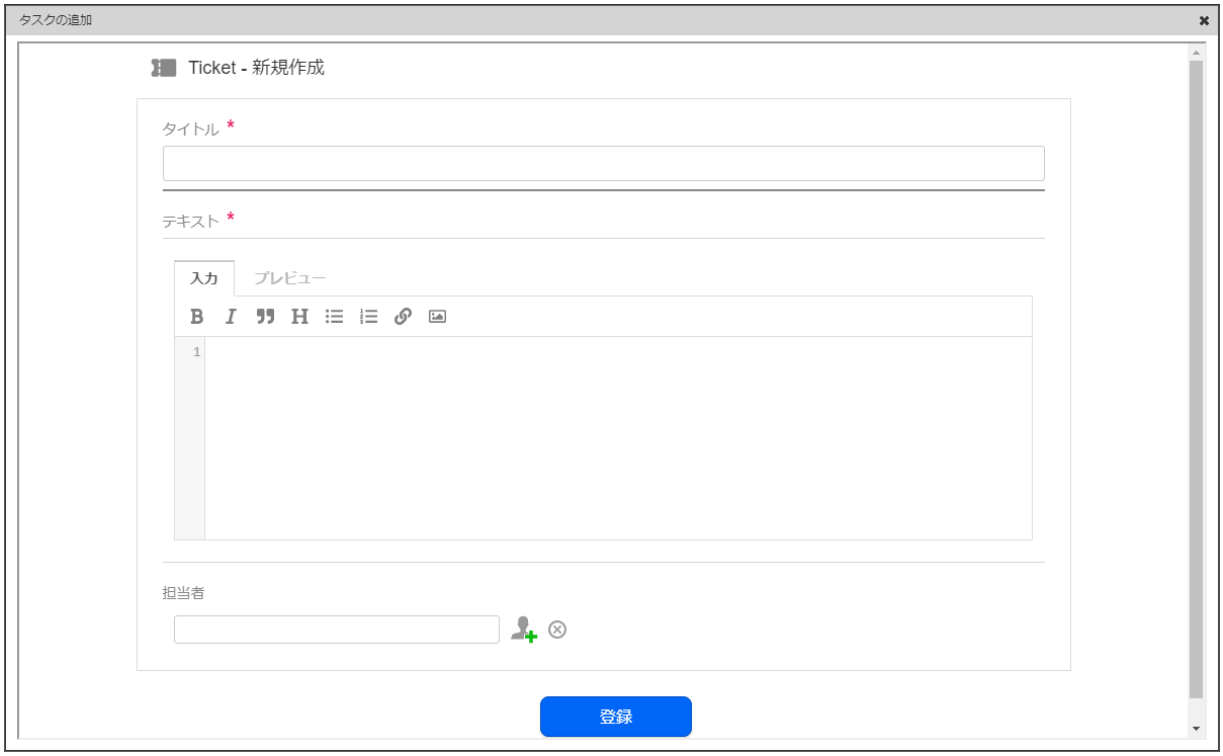
未到達のステージに追加されているオプショナルタスクをクリックすると、「タスクの編集」ダイアログが表示されます。
ダイアログにて編集したいパラメータの値を修正し、「決定」ボタンをクリックすることでパラメータを変更できます。
オプショナルタスクを削除する場合は、オプショナルタスクの をクリックします。



図：オプショナルタスクの編集

アドホックタスクを追加する

ステージの関係者別タスク一覧にて、「その他のタスクを追加する」ボタンをクリックすると、「タスクの追加」ダイアログが表示されます。
このダイアログには、ケース定義の「アドホックタスクのフォームキー」に設定されたチケットマスタに基づく、「チケット登録」画面が表示されます。
フォームの内容を入力して 「登録」ボタンをクリックすると、アドホックタスクが追加されます。



図：アドホックタスクの追加

> **コラム**
> チケットマスタについての詳細は「チケットモジュール管理者操作ガイド」を参照してください。

> **コラム**
> アドホックタスクは、同時に複数追加できます。
> また、追加済みのアドホックタスクを編集することはできません。

ポートレット

IM-BPMでは、以下のポートレットが用意されています。

項目
- 個人タスクポートレット

個人タスクポートレット

個人タスクポートレットは、ポータルから個人タスクの確認と操作を行えます。

図：個人タスクポートレット

図：個人タスクポートレット（ドキュメント）

> **コラム**
>
> 操作方法は、「*個人タスクを操作する*」を参照してください。

プロセスインスタンスを一覧表示する

プロセスインスタンスの関係者であるユーザは、「プロセス一覧」画面より自身が関係するプロセスインスタンスを参照できます。
「プロセス一覧」画面を表示するには、「IM-BPM 管理者」「IM-BPM プロセス参照ユーザ」「IM-BPM ユーザ」ロールのいずれかが付与されている必要があります。

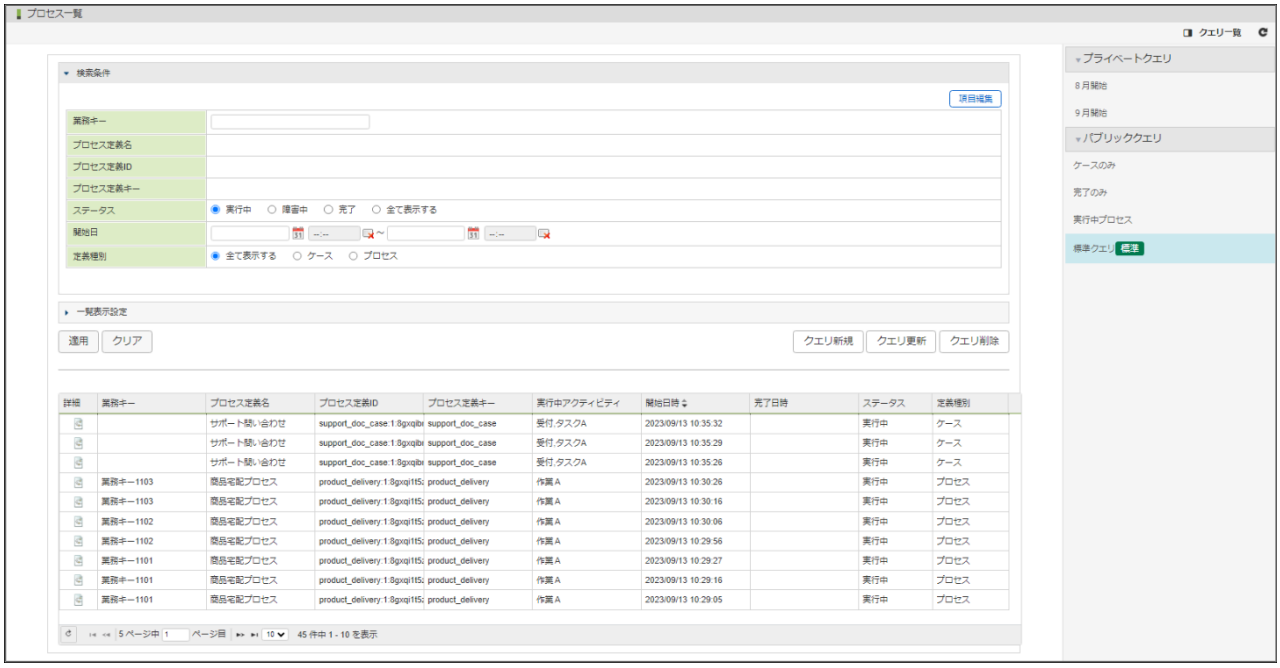
項目

- プロセス一覧
- 検索条件を編集する
- 一覧表示設定を編集する
- クエリ
  - プライベートクエリ
  - パブリッククエリ

プロセス一覧

自分が関係しているプロセスインスタンスを一覧表示します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス一覧」をクリックします。
2. プロセスインスタンスを検索します。



図：プロセス一覧

項目名	説明
検索条件	一覧の検索条件を入力します。 検索条件欄のカスタマイズを行います。詳細は「*検索条件を編集する*」を参照してください。
一覧表示設定	結果一覧の表示内容を設定します。 詳細は「*一覧表示設定を編集する*」を参照してください。 ※変更した表示内容は、適用ボタンクリック時に結果一覧へ反映されます。
適用ボタン	一覧表示設定の内容を反映し、検索処理を行います。
クリアボタン	入力した検索条件をクリアします。 ※ラベルや非表示の検索条件はクリアしません。
クエリ新規ボタン	クエリの新規作成を行います。 詳細は「*クエリ*」を参照してください。
クエリ更新ボタン	クエリの更新を行います。 詳細は「*クエリ*」を参照してください。
クエリ削除ボタン	クエリの削除を行います。
結果一覧	検索条件に一致するプロセスインスタンスを表示します。 ※ユーザのロールにより表示されるプロセスインスタンスは変わります。
クエリ一覧アイコン	画面右側のクエリ一覧の表示・非表示を行います。
最新情報アイコン	結果一覧の最新化を行います。（検索条件は、アイコンクリック直前の適用実行時の条件）
プライベートクエリ	ユーザが作成した「*クエリ*」の一覧を表示します。 詳細は「*プライベートクエリ*」を参照してください。
パブリッククエリ	「IM-BPM 管理者」が作成した「*クエリ*」の一覧を表示します。 詳細は「*パブリッククエリ*」を参照してください。

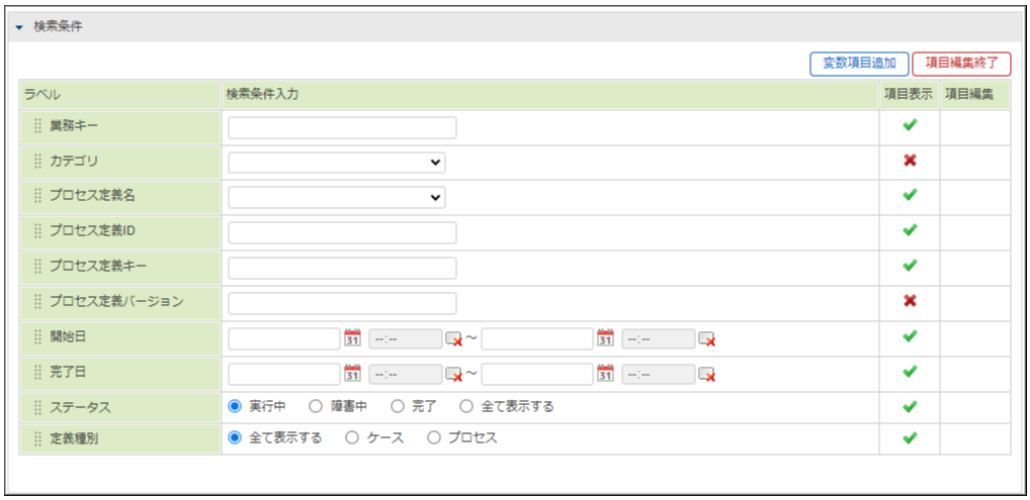
コラム

ロールによる一覧の表示範囲

- IM-BPM 管理者：すべてのプロセスインスタンスを一覧表示します。
- IM-BPM プロセス参照ユーザ：ユーザが関係者であるプロセスインスタンスを一覧表示します。
- IM-BPM ユーザ：ユーザが関係者であるプロセスインスタンスを一覧表示します。
- ※ 関係者については「IM-BPM 仕様書」 - 「関係者権限」を参照してください。

検索条件を編集する

検索条件欄のカスタマイズを行います。「項目編集」をクリックしてください。
※ 「IM-BPM 管理者」の場合のみ「変数項目追加」ボタンが表示されます。
※ カスタマイズした内容はクエリに保存できます。



図：検索条件欄（編集時）

- 検索条件欄

項目名	説明
項目編集ボタン	検索条件欄を編集モードに切り替わります。 ヘッダ行、ラベル列の並び替えアイコン、項目表示列、項目編集列が表示されます。
変数項目追加ボタン	変数項目追加ダイアログを表示します。 検索項目にプロセスインスタンスの変数を追加します。 ※「IM-BPM 管理者」のみ利用可能です。
項目編集終了ボタン	検索条件欄の編集モードを終了します。 ヘッダ行、ラベル列の並び替えアイコン、項目表示列、項目編集列を非表示にします。 項目表示列にて非表示とした検索項目も非表示にします。
ラベル列	検索項目の項目名です。編集モード時、ドラック＆ドロップにて表示順を並び替えが行えます。
検索条件入力列	検索条件を入力します。 一部の項目（後述）は、「IM-BPM 管理者」の編集モードでしか入力できません。
項目表示列	検索項目を表示・非表示を設定します。 非表示とした場合、通常モードでは検索項目が表示されません。 検索条件があり、項目を非表示とした場合でも入力した検索条件は有効です。
項目編集列	変数項目の編集・削除を行うアイコンを表示します。 ※ 変数項目は「IM-BPM 管理者」のみ編集と削除ができます。

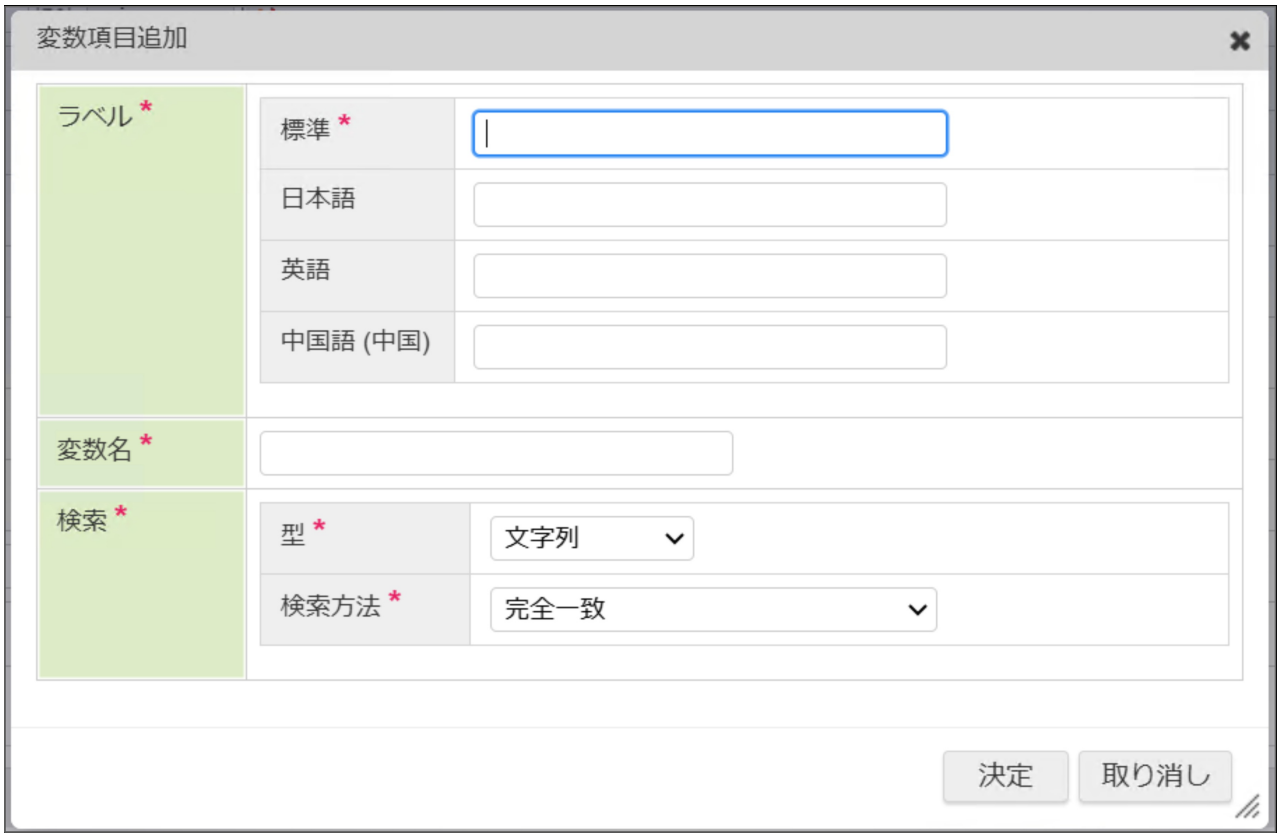
- 検索項目

項目名	検索条件	補足説明
業務キー	部分一致	
カテゴリ	単一選択	「IM-BPM 管理者」のみ条件を選択できます。
プロセス定義名	単一選択	「IM-BPM 管理者」のみ条件を選択できます。
プロセス定義ID	完全一致	「IM-BPM 管理者」のみ条件を入力できます。
プロセス定義キー	完全一致	「IM-BPM 管理者」のみ条件を入力できます。
プロセス定義バージョン	完全一致	「IM-BPM 管理者」のみ条件を入力できます。
開始日時	範囲	
完了日時	範囲	
ステータス	選択	実行中、障害中、完了、全て表示する より選択
定義種別	選択	全て表示する、プロセス、ケース より選択
変数項目（追加時）	変数の検索方法にて設定	

コラム

プロセス定義の絞り込みには「プロセス定義キー」や「プロセス定義名」を推奨します。
「プロセス定義ID」はバージョンやプロセスを開始する環境によって値が変わるため、検索条件値としてクエリ保存する際は注意してください。

- 変数項目追加ダイアログ（検索条件）

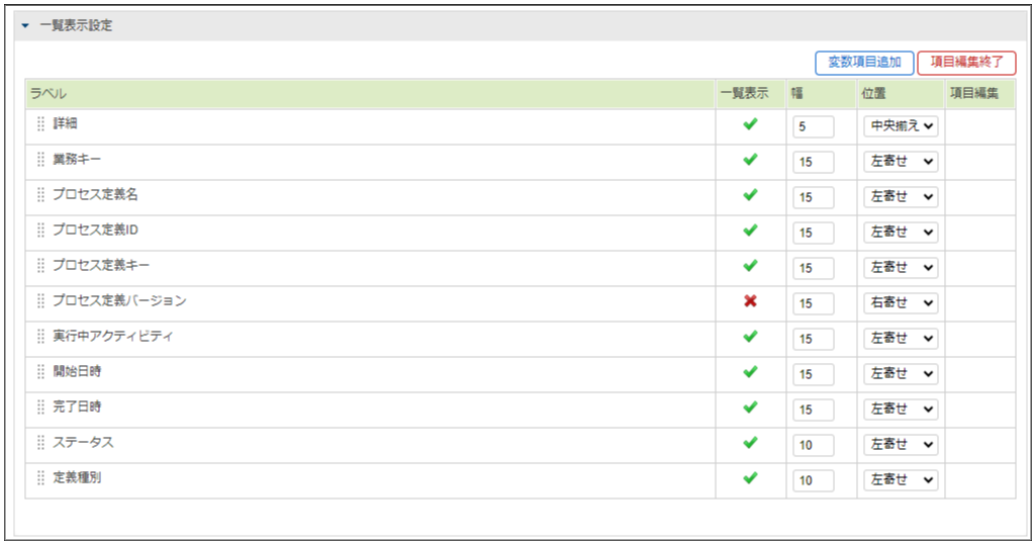


図：変数項目追加ダイアログ（検索条件）

項目名	説明
ラベル	検索項目または一覧表示項目に表示されるラベルを設定します。 ラベルは国際化に対応しています。 ユーザのロケールに合わせたラベルが利用されます。
変数名	検索する変数名を設定します。
検索 型	検索対象の変数の型を設定します。 文字列、整数、長整数、浮動小数点数、日付、日時、真偽値を選択できます。
検索 検索方法	検索する条件の検索方法を設定します。型により選択肢が変わります。 文字列：完全一致、完全一致（大小区分なし）、部分一致、部分一致（大小区分なし） 整数：完全一致、入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） 長整数：完全一致、入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） 浮動小数点数：完全一致、入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） 日付：完全一致、入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） 日時：入力値を含む範囲（以上、以下）、 入力値を含まない範囲（超過、未満） 真偽値：完全一致

一覧表示設定を編集する

一覧表示のカスタマイズを行います。「項目編集」をクリックしてください。
※ 「IM-BPM 管理者」の場合のみ「変数項目追加」ボタンが表示されます。
※ カスタマイズした内容はクエリに保存できます。



図：一覧表示設定欄（編集時）

- 一覧表示設定欄

項目名	説明
項目編集ボタン	一覧表示設定欄を編集モードに切り替わります。 ラベル列の並び替えアイコン、項目編集列が表示されます。
変数項目追加ボタン	変数項目追加ダイアログを表示します。 一覧表示項目にプロセスインスタンスの変数を追加します。 ※「IM-BPM 管理者」のみ利用可能です。
項目編集終了ボタン	一覧表示設定欄の編集モードを終了します。 ラベル列の並び替えアイコン、項目編集列を非表示にします。
ラベル列	一覧表示項目の項目名です。編集モード時、ドラック＆ドロップにて表示順を並び替えが行えます。
一覧表示列	項目を表示・非表示を設定します。 非表示とした場合、結果一覧には表示されなくなります。
幅列	項目を幅を設定します。
位置列	表示する値の位置を指定します。 ※ 中央揃え、左寄せ、右寄せ より選択。
項目編集列	変数項目の編集・削除を行うアイコンを表示します。 ※ 変数項目は「IM-BPM 管理者」のみ編集と削除ができます。

- 一覧項目

項目名	説明
詳細	を押下すると、定義種別とロールに応じた画面を表示します。 「IM-BPM 管理者」、かつ、プロセス定義の場合は「*プロセスインスタンス詳細*」を開きます。 「IM-BPM 管理者」、かつ、ケース定義の場合は「*ケースインスタンス詳細*」を開きます。 「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、かつ、プロセス定義の場合は「*プロセスインスタンスを参照する*」を開きます。 「IM-BPM プロセス参照ユーザ」、かつ、ケース定義の場合は「*ケースインスタンスを参照する*」を開きます。 「IM-BPM ユーザ」は詳細列は非表示です。
業務キー	業務キーが表示されます。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。
プロセス定義バージョン	プロセス定義バージョンが表示されます。
実行中アクティビティ	実行中のアクティビティ名が表示されます。
開始日時	開始日時が表示されます。

項目名	説明
完了日時	完了日時が表示されます。
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了
定義種別	定義種別が表示されます。 プロセス：プロセス定義 ケース：ケース定義
変数項目（追加時）	変数の設定値が表示されます。

- 変数項目追加ダイアログ（一覧表示設定）

図：変数項目追加ダイアログ（一覧表示設定）

項目名	説明
ラベル	一覧表示項目に表示されるラベルを設定します。 ラベルは国際化に対応しています。 ユーザのロケールに合わせたラベルが利用されます。
値（式）	一覧テーブルのセルの値の定義を設定します。 プロセスインスタンスの変数を利用して、JavaScriptの式を記述できます。 詳細は「*表示項目を変更する*」の「注釈：「値（式）」の入力例」を参照してください。

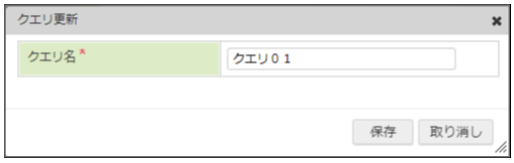
クエリ

カスタマイズした検索項目、検索条件値、一覧表示設定、結果のソート順や表示件数を保存する機能です。
クエリを選択すると保存内容を表示し検索処理を行います。
クエリを作成する際は、元としたクエリの設定内容を引き継ぎます。
※ 元のクエリに暗黙検索条件（後述）が設定されていた場合、その内容も引き継ぎます。

> **コラム**
> クエリはエクスポート・インポートが可能です。
> 詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「インポート/エクスポートで扱う情報」を参照してください。

プライベートクエリ

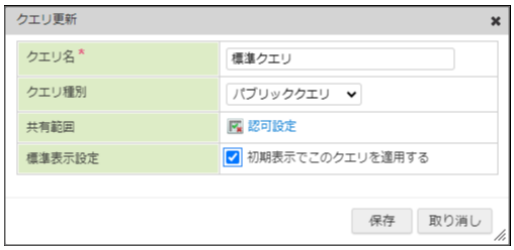
ユーザが作成するクエリです。作成者以外のユーザは利用できません。



図：クエリ保存画面

パブリッククエリ

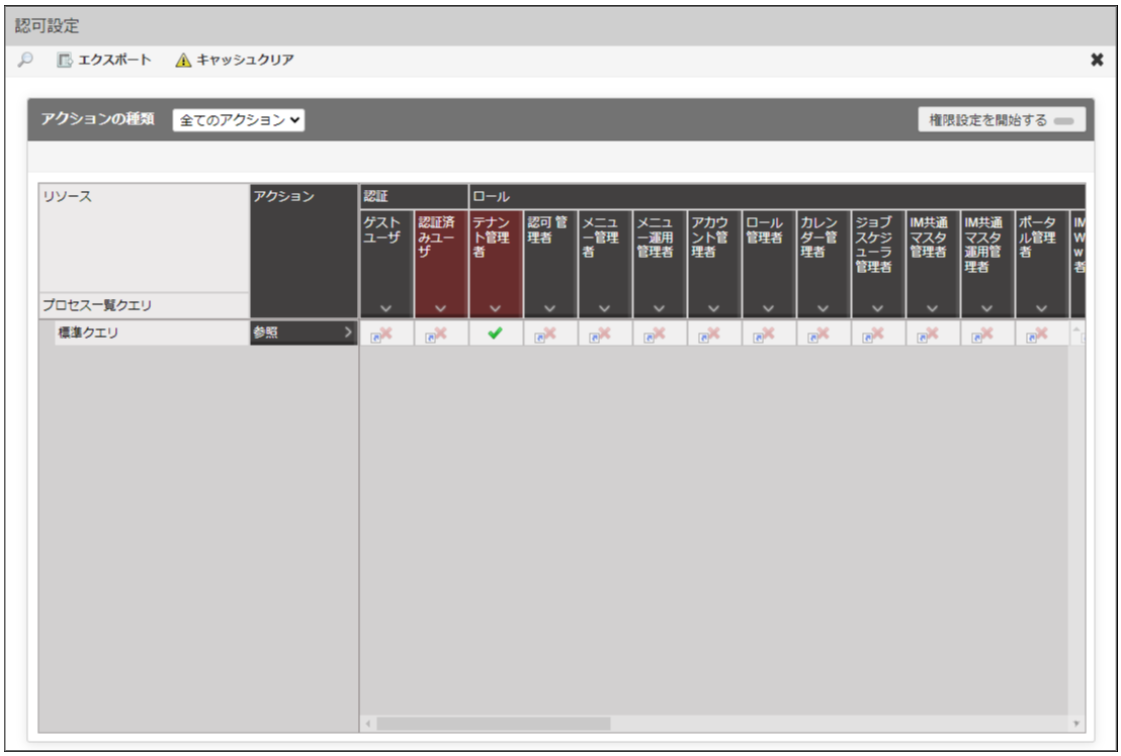
「IM-BPM 管理者」が作成するクエリです。共有範囲を設定することで「IM-BPM 管理者」以外も利用できます。
クエリの共有範囲は認可設定にて行います。
検索条件欄・一覧表示設定欄にて非表示とした項目は「IM-BPM 管理者」以外のユーザには表示されません。（編集モードでも非表示です）



図：クエリ保存画面

- クエリ保存

項目名	説明
クエリ名	クエリ名を入力します。
クエリ種別	クエリの種別を選択します。 パブリックかプライベートを選択します。 ※ 「IM-BPM 管理者」のみ表示されます。
共有範囲	クエリを共有する範囲を認可設定にて行います。 ※ クエリ新規時は非表示です。 ※ クエリ種別がパブリック、かつ、「IM-BPM 管理者」の場合のみクエリ更新時に表示されます。
標準表示設定	「プロセス一覧」画面を表示した際に初期表示させるクエリに設定します。



図：認可設定画面

> **コラム**
>
> 暗黙検索条件
>
> - パブリッククエリにて検索項目非表示、かつ、検索条件値ありとした項目は、「IM-BPM 管理者」以外のユーザには表示されませんが、検索処理時の条件としては有効です。
> - 条件値を設定したいが、その条件値を「IM-BPM 管理者」以外には公開したくない場合にご利用ください。

管理者編

ここでは IM-BPMの提供する管理者で、操作できる画面について説明します。
管理者の認可権限を持っているユーザのみ操作可能です。

管理者権限を付与することにより、プロセス全体の状況を把握し、分析～実行～評価～改善のPDCAサイクルを円滑に行えます。
一般ユーザと管理者を区別することにより業務の役割を明確にできます。

プロセス定義

ここでは IM-BPMのプロセス定義の機能を紹介します。

デプロイする

デプロイする資材は、プロセスデザイナで作成できます。
デプロイ資材に含まれるプロセス定義ファイルをデプロイすることにより、プロセス定義を IM-BPM上で動作させられます。
デプロイする資材に関しての詳細は、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」を参照してください。

項目

- プロセスデザイナでデプロイする
- プロセスデザイナ（デスクトップ版）で作成したデプロイ資材をデプロイする
- デプロイ内容を確認する

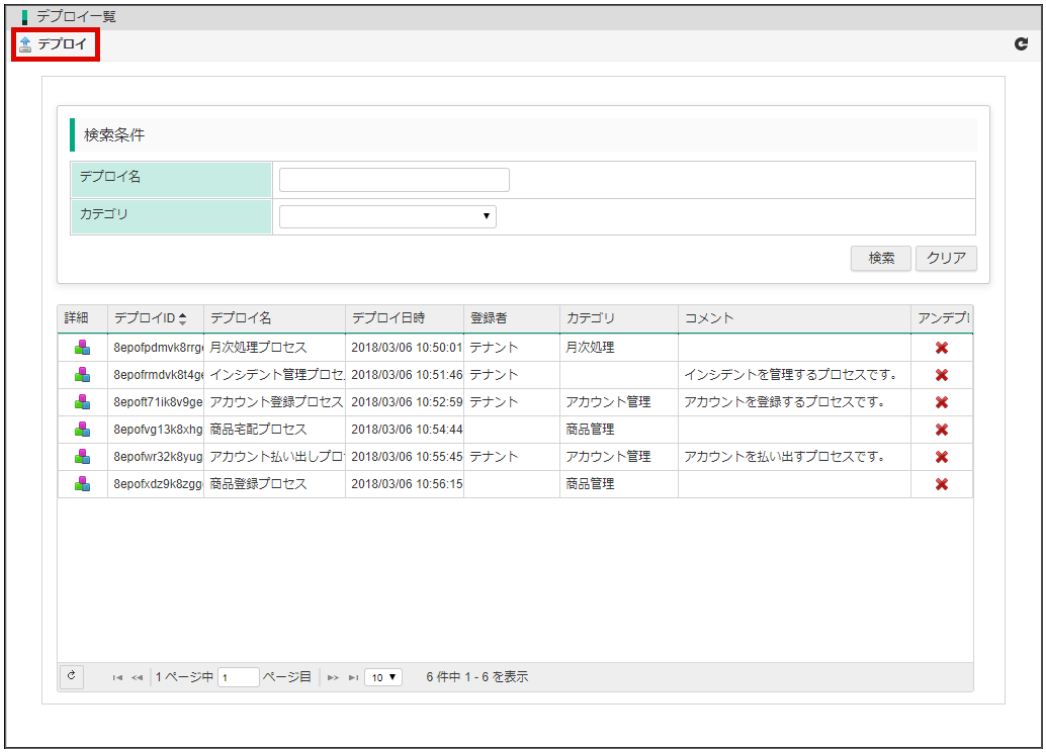
プロセスデザイナでデプロイする

作成したデプロイ資材を「 プロセスデザイナ」からデプロイする方法は、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」-「プロセス定義/ケース定義のデプロイ」を参照してください。

プロセスデザイナ（デスクトップ版）で作成したデプロイ資材をデプロイする

プロセスデザイナ（デスクトップ版）で作成したデプロイ資材をデプロイします。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。
2. 「デプロイ」を押下します。



図：デプロイ一覧

3. デプロイ名とカテゴリを任意入力し、プロセスデザイナ（デスクトップ版）で作成したデプロイ資材を選択してデプロイを押下します。

図：デプロイ

項目名	説明
デプロイ名	デプロイ名を入力します。省略した場合、ファイル名がデプロイ名に設定されます。
カテゴリ	カテゴリを入力します。または、既存のカテゴリから選択します。
ファイル	デプロイするファイルを選択します。

コラム

同一のプロセス定義キーのプロセス定義をデプロイした場合、バージョンが1上がったプロセス定義がデプロイされます。
旧バージョンのプロセス定義が削除されることはありません。
バージョンを上げても、実行中のプロセスインスタンスは以前のバージョンのプロセス定義で動作します。
実行中のプロセスインスタンスを新しいバージョンで動作させたい場合は、マイグレーションを検討してください。
プロセス定義のバージョンについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「プロセス定義のバージョンについて」を参照してください。
マイグレーションについての詳細は「*プロセスインスタンスのマイグレーションを行う*」を参照してください。

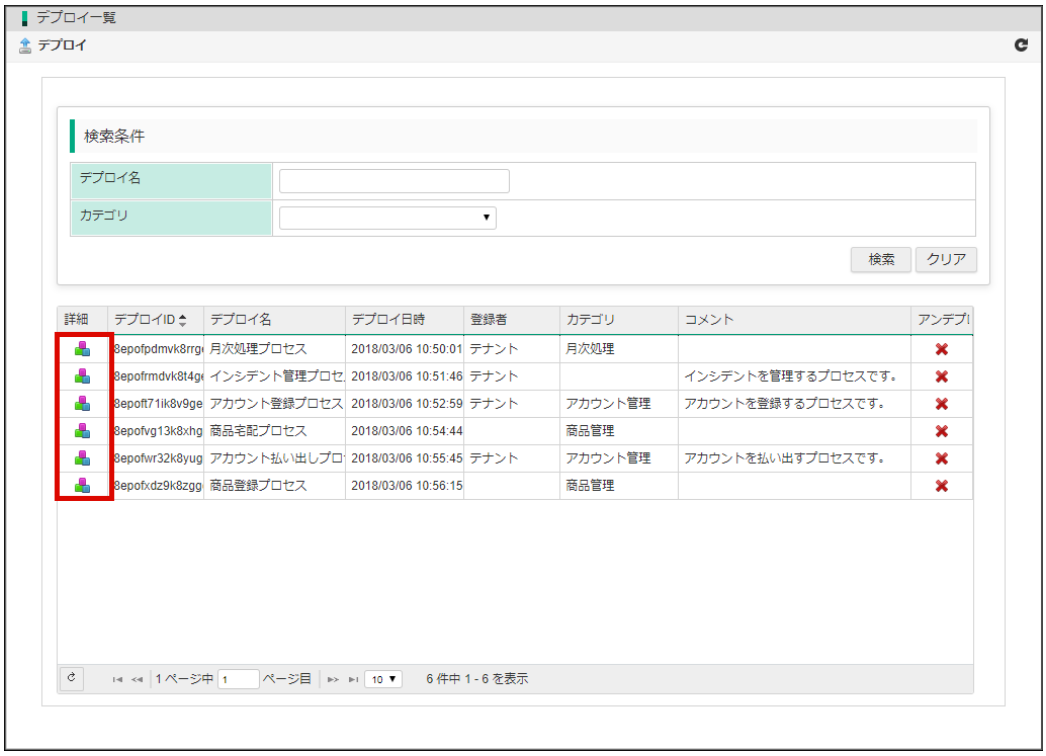
コラム

「プロセスデザイナ（デスクトップ版）」を使用する場合は、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」-「プロセスデザイナ（デスクトップ版）」を参照してください。

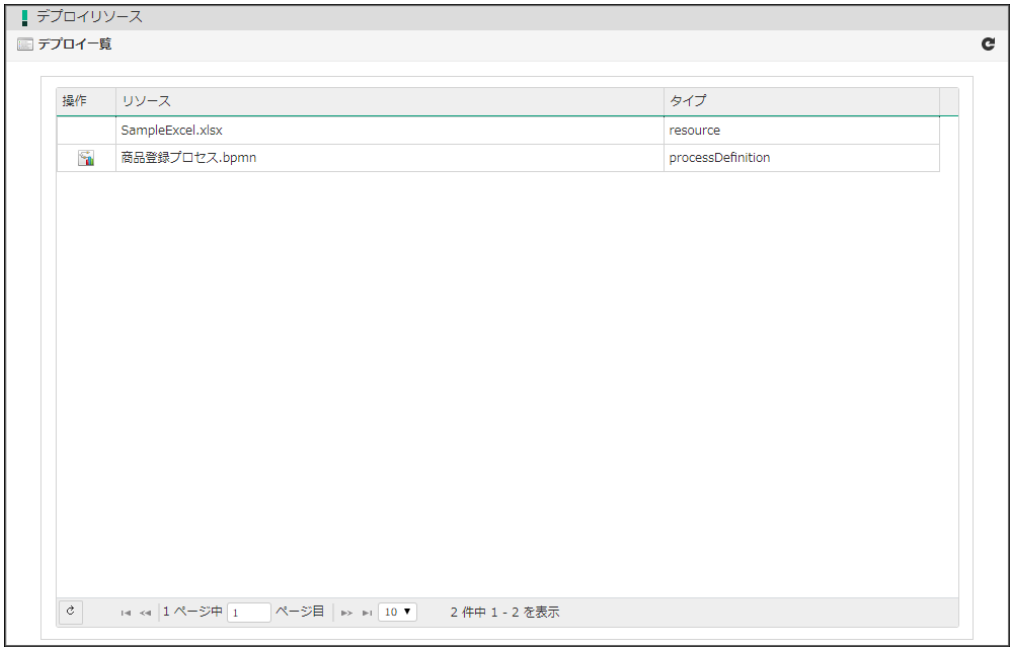
デプロイ内容を確認する

デプロイしたモジュールの内容を確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。
2. デプロイの内容を確認したいデプロイ情報を検索します。
3. デプロイの内容を確認したいデプロイ情報の を押下します。



図：デプロイ一覧



図：デプロイリソース

項目名	説明
操作	を押下すると、 リソースがプロセス定義ファイルの場合、プロセス定義詳細画面に遷移します。 リソースがケース定義ファイルの場合、ケース定義詳細画面を開きます。
リソース	デプロイ資材を展開したファイル名が表示されます。
タイプ	タイプが表示されます。 タイプの種類は以下です。 processDefinition：プロセス定義ファイルかケース定義ファイル resource：上記以外

アンデプロイする

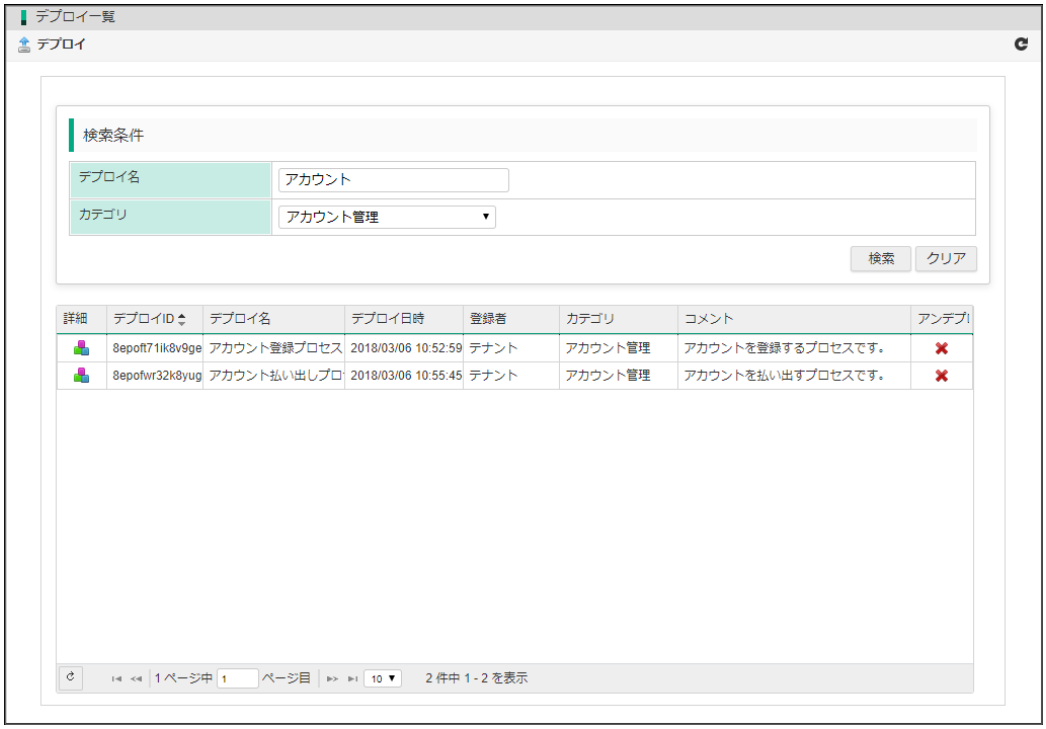
デプロイしたモジュールをアンデプロイ（削除）します。

注意

アンデプロイを行うと、過去の履歴を含め現在のプロセスインスタンスの情報も全て削除されます。
十分に注意して作業を行ってください。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「デプロイ一覧」を押下します。

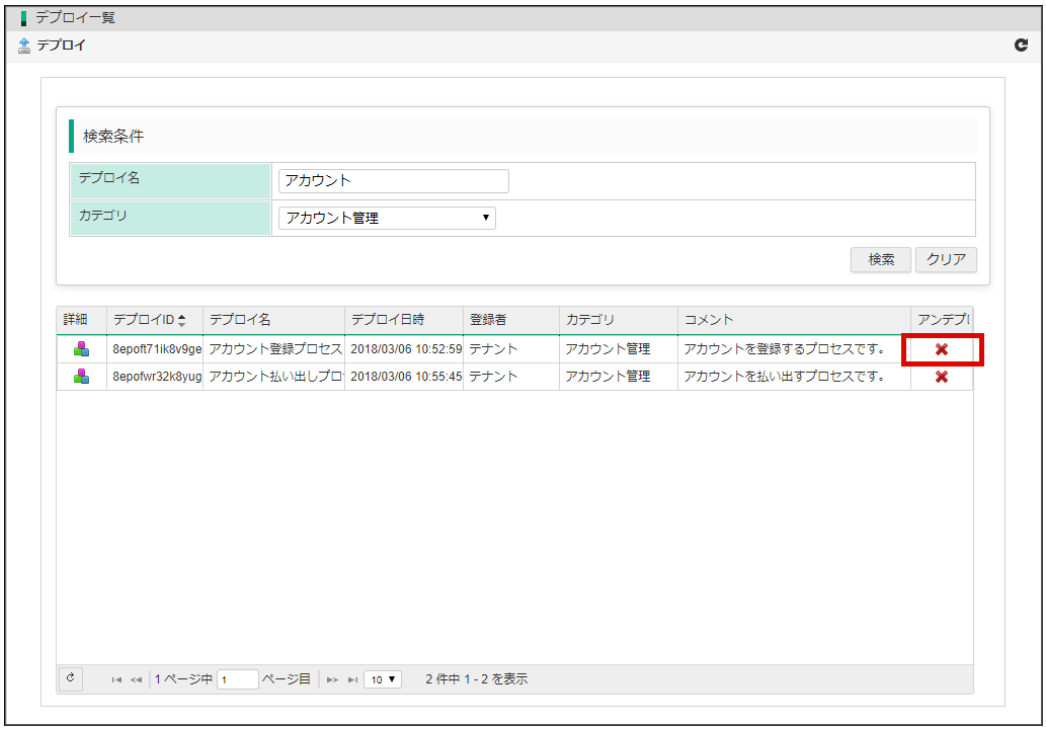
2. アンデプロイしたいデプロイ情報を検索します。



図：デプロイ一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、デプロイリソース画面に遷移します。	-
デプロイID	デプロイIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。	-
デプロイ名	デプロイ名が表示されます。	部分一致
デプロイ日時	デプロイした日時が表示されます。	-
登録者	プロセスデザイナからデプロイした場合のみ、登録者が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	単一選択
コメント	プロセスデザイナからデプロイした場合のみ、コメントが表示されます。	-
アンデプロイ	を押下すると、アンデプロイします。	-

3. アンデプロイしたいデプロイ情報の を押下します。



図：デプロイ一覧

プロセス定義を確認する

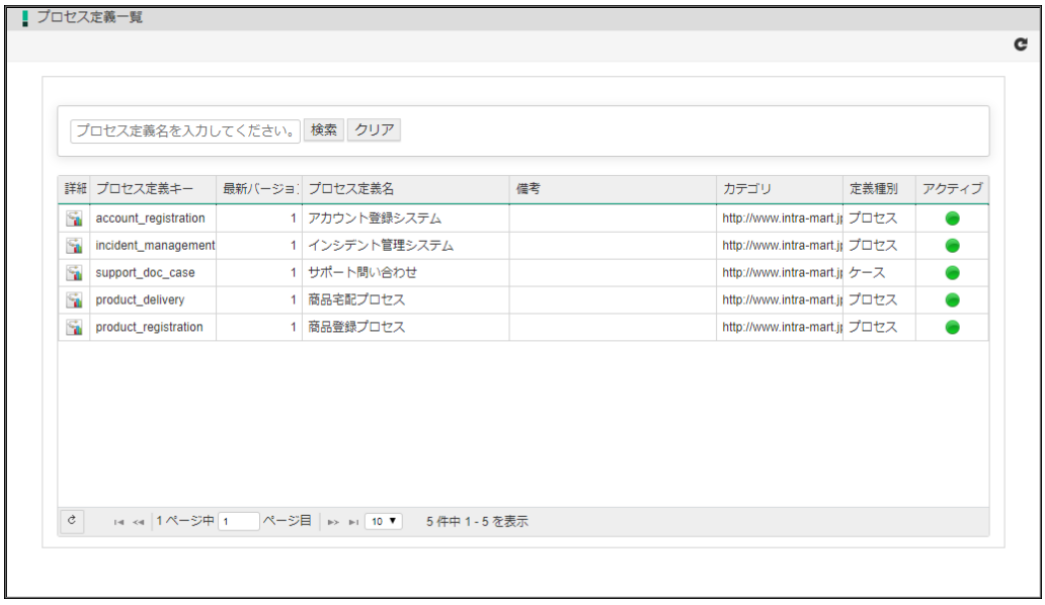
項目

- プロセス定義一覧
- プロセス定義詳細

プロセス定義一覧

プロセス定義の一覧を確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス定義一覧」を押下します。
2. プロセス定義を検索します。



図：プロセス定義一覧

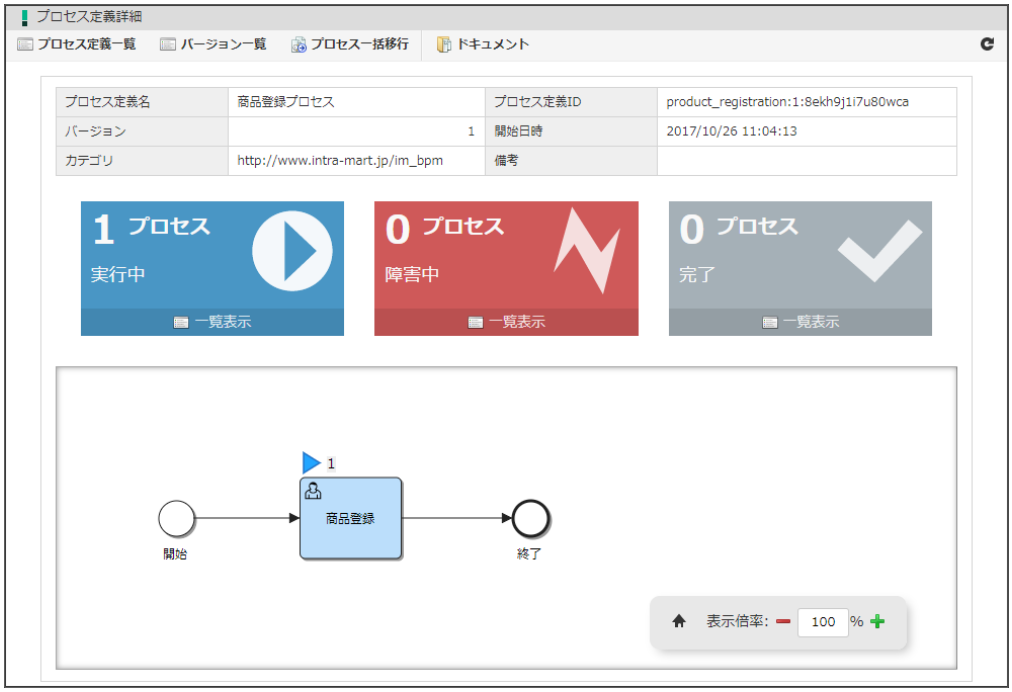
項目名	説明	検索条件

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、 プロセス定義の場合、プロセス定義詳細画面に遷移します。 ケース定義の場合、ケース定義詳細画面を開きます。	-
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	-
最新バージョン	最新バージョンが表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
備考	備考が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	-
定義種別	定義種別が表示されます。 プロセス：プロセス定義 ケース：ケース定義	-
アクティブ	プロセス定義が有効か無効か表示されます。 ：有効 ：無効	-

プロセス定義詳細

プロセス定義の詳細を確認します。

プロセス定義一覧から を押下することにより遷移します。



図：プロセス定義詳細

項目名	説明
ドキュメント	プロセス定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
バージョン	バージョンが表示されます。
開始日時	開始日時が表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
備考	備考が表示されます。

項目名	説明
実行中	実行中のプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、管理者向けプロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を実行中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
障害中	障害中のプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、管理者向けプロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を障害中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
完了	完了したプロセスインスタンスの件数が表示されます。 「一覧表示」を押下すると、管理者向けプロセス一覧画面へ遷移し、該当のプロセス定義を完了で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
プロセス図	プロセス図が表示されます。 各アクティビティの滞在している件数が表示されます。 を押下すると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 を押下すると、プロセス図が縮小されます。 を押下すると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。
完了プロセス数の推移	完了プロセス数の推移が表示されます。 完了したプロセス数が1年前から1ヶ月単位で表示されます。
平均処理時間の推移（プロセス）	平均処理時間の推移（プロセス）が表示されます。
平均処理時間の推移（タスク）	平均処理時間の推移（タスク）が表示されます。 全てのタスクの合算が表示されます。
平均処理時間（タスク）	平均処理時間（タスク）が表示されます。 指定した月の平均処理時間が表示されます。

図：ドキュメント

> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」 - 「関連ドキュメント」を参照してください。

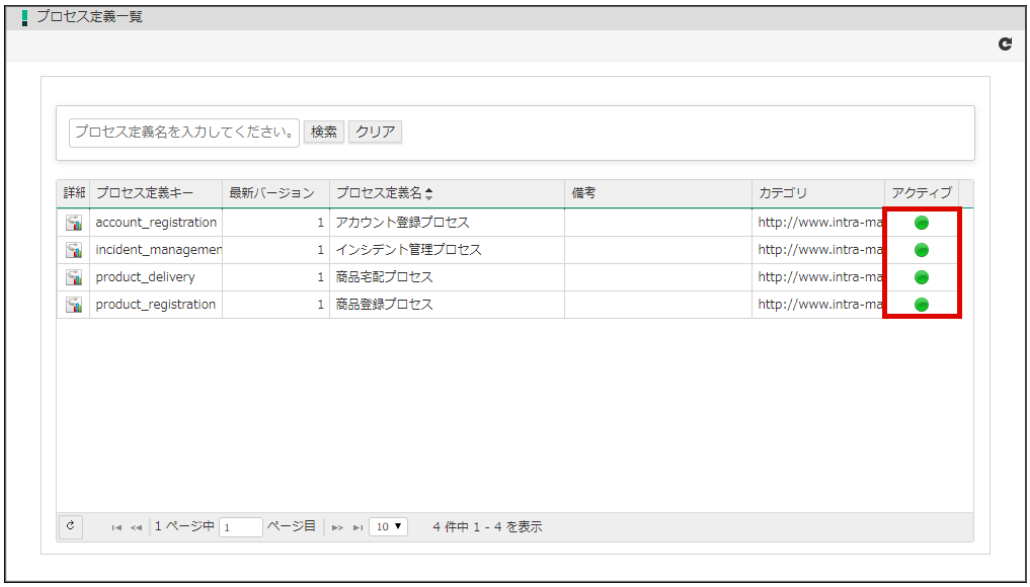
プロセス定義の無効化

プロセス定義を無効化します。

プロセス定義を無効化するとプロセスインスタンスを開始できなくなります。
実行中のプロセスインスタンスに関しては、無効化してもプロセスを進めることが可能です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセス定義一覧」を押下します。

2. 無効化したいプロセス定義を検索します。



図：プロセス定義一覧

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、詳細画面に遷移します。	-
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	-
最新バージョン	最新バージョンが表示されます。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
備考	備考が表示されます。	-
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	-
アクティブ	プロセス定義が有効か無効か表示されます。 ：有効 ：無効	-

3. 無効化したいプロセス定義の を押下し、無効化します。

   有効化したいプロセス定義の を押下し、有効化します。

ケース定義

ここでは IM-BPMのケース定義の機能を紹介します。

デプロイする

デプロイする資材は、プロセスデザイナで作成できます。
デプロイ資材に含まれるケース定義ファイルをデプロイすることにより、ケース定義を IM-BPM上で動作させられます。
デプロイする資材に関しての詳細は、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」を参照してください。

項目

- プロセスデザイナでデプロイする
- デプロイ内容を確認する

プロセスデザイナでデプロイする

作成したデプロイ資材を「 プロセスデザイナ」からデプロイする方法は、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」-「プロセス定義/ケース定義のデプロイ」を参照してください。

デプロイ内容を確認する

デプロイしたモジュールの内容を確認します。

確認方法はプロセス定義と同様のため「*プロセス定義*」の「*デプロイする*」を参照してください。

アンデプロイする

デプロイしたモジュールをアンデプロイ（削除）します。

アンデプロイ方法はプロセス定義と同様のため「*プロセス定義*」の「*アンデプロイする*」を参照してください。

> **注意**
> アンデプロイを行うと、過去の履歴を含め現在のケースインスタンスの情報も全て削除されます。
> 十分に注意して作業を行ってください。

ケース定義を確認する

項目
- ケース定義一覧
- ケース定義詳細

ケース定義一覧

ケース定義の一覧を確認します。

確認方法はプロセス定義と同様のため「*プロセス定義*」の「*プロセス定義を確認する*」を参照してください。

ケース定義詳細

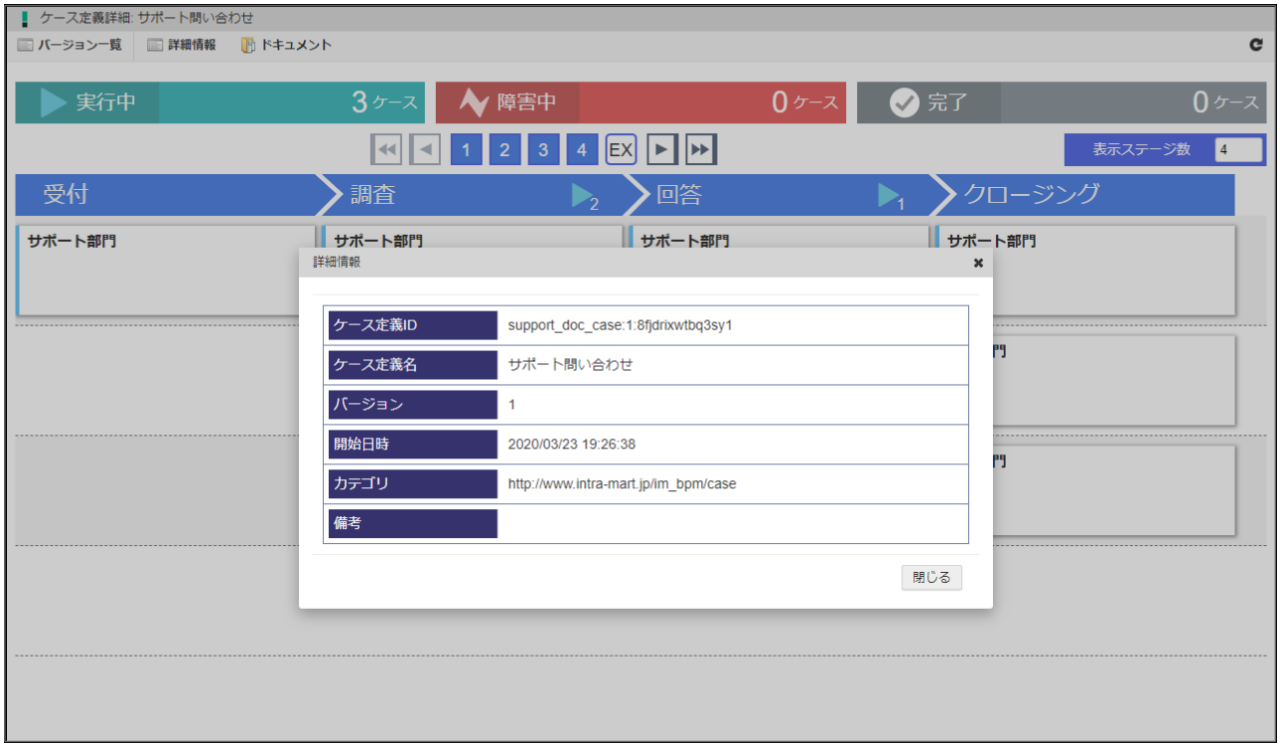
ケース定義の詳細を確認します。

プロセス定義一覧から を押下することにより開きます。

図：ケース定義詳細

項目名	説明
バージョン一覧	プロセス定義バージョン一覧を開きます。
詳細情報	詳細情報を表示します。
ドキュメント	ケース定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。

項目名	説明
実行中	実行中のケースインスタンスの件数が表示されます。 押下すると、管理者向けプロセス一覧画面を開き、該当のケース定義を実行中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
障害中	障害中のケースインスタンスの件数が表示されます。 押下すると、管理者向けプロセス一覧画面を開き、該当のケース定義を障害中で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
完了	完了したケースインスタンスの件数が表示されます。 押下すると、管理者向けプロセス一覧画面を開き、該当のケース定義を完了で検索します。件数が0件の場合は遷移できません。
ページング	表示するステージを切り替えます。 を押下することでページを移動できます。 を押下することで、ページの先頭・末尾に移動できます。
表示ステージ数	表示するステージ数を設定します。最大は8です。
ステージ図	ステージを押下すると、ステージ図が表示されます。
ケース一覧	ステージの「実行中」、「障害中」、タスクの「実行中」、「障害中」、を表すアイコンを押下するとケース一覧を表示します。

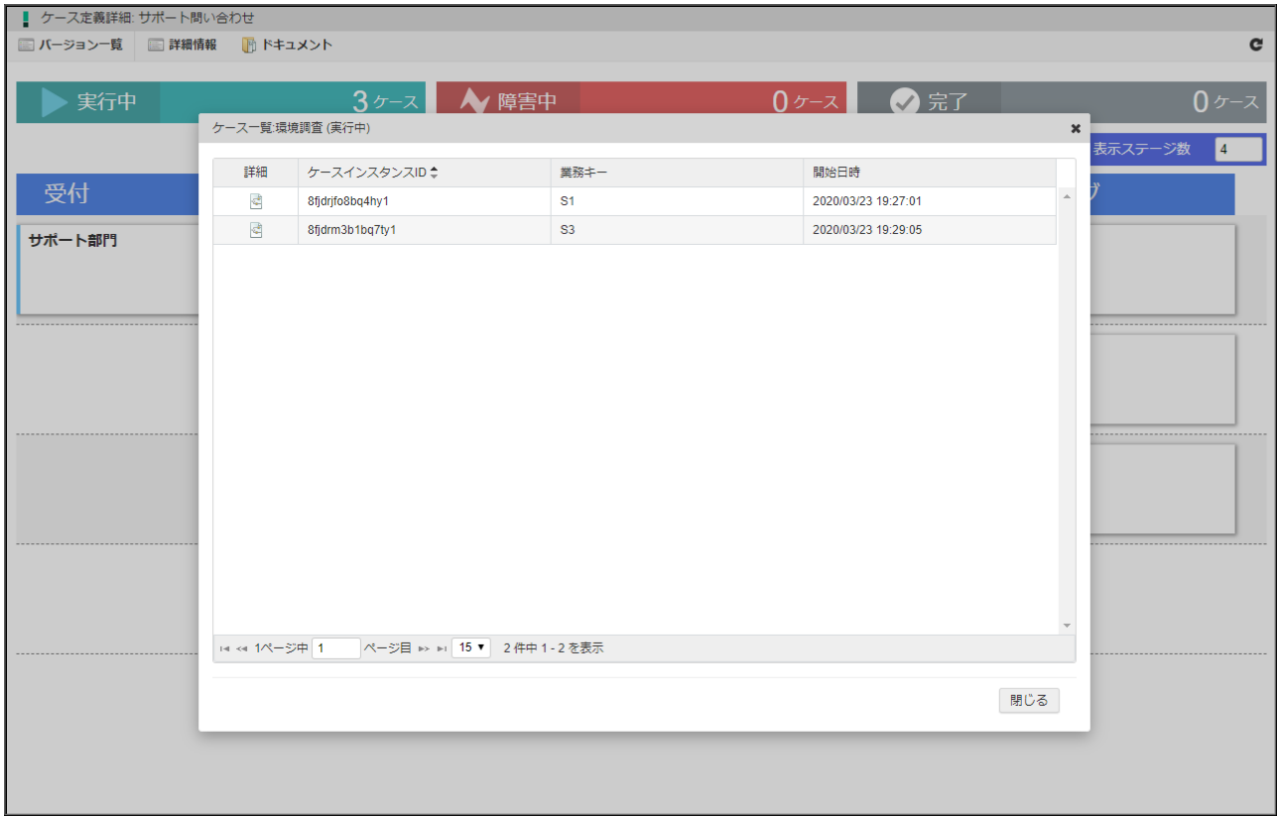


図：詳細情報

項目名	説明
ケース定義ID	ケース定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
ケース定義名	ケース定義名が表示されます。
バージョン	バージョンが表示されます。
開始日時	開始日時が表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
備考	備考が表示されます。

図：ドキュメント

> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」 - 「関連ドキュメント」を参照してください。



図：ケース一覧

項目名	説明
詳細	を押下すると、ケース詳細画面を開きます。 詳細は「*ケースインスタンス詳細*」を参照してください。
ケースインスタンスID	ケースインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
業務キー	業務キーが表示されます。

項目名	説明
開始日時	開始日時が表示されます。

ケース定義の無効化

ケース定義を無効化します。

ケース定義を無効化するとケースインスタンスを開始できなくなります。
実行中のケースインスタンスに関しては、無効化してもケースを進めることが可能です。

無効化する方法はプロセス定義と同様のため「*プロセス定義*」の「*プロセス定義の無効化*」を参照してください。

プロセスインスタンス

ここでは IM-BPMのプロセスインスタンスの機能を紹介します。

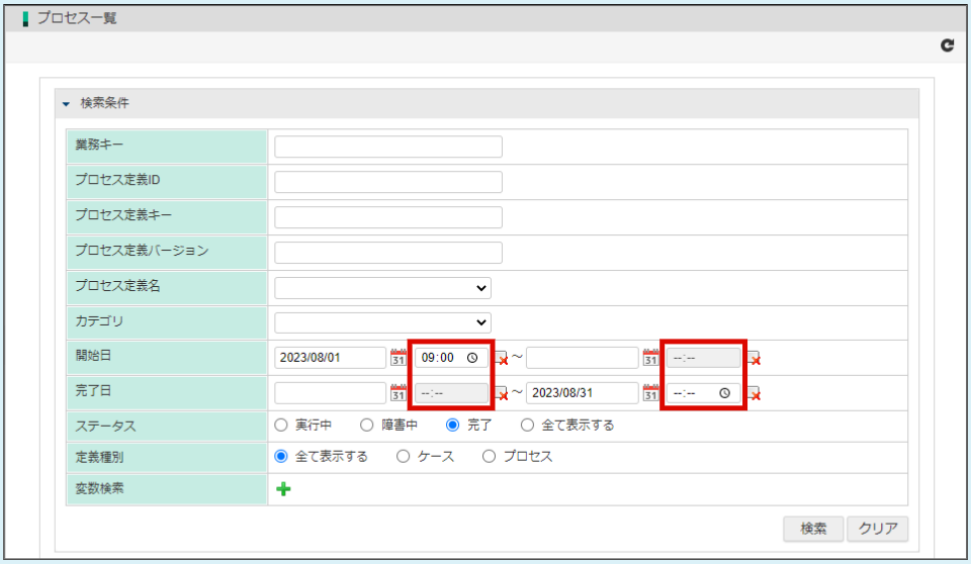
プロセスインスタンスを確認する

項目

- プロセスインスタンス一覧
  - プロセスインスタンス一覧を確認する
  - 表示項目を変更する
  - 変数検索を利用する
- プロセスインスタンス詳細
- 障害中のサービスを再実行する
- プロセスインスタンスの履歴を確認する
- 関係者/関係グループを確認する
- タスク追加
- プロセスインスタンスを削除する
- プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する

コラム

IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より日時検索条件に時刻入力欄が利用できます。
時刻入力時、FROM入力日時 0秒から、TO入力日時 59.999秒までを検索します。
時刻省略時、FROM入力日 0時0分0秒から、TO入力日 23時59分59.999秒までを検索します。



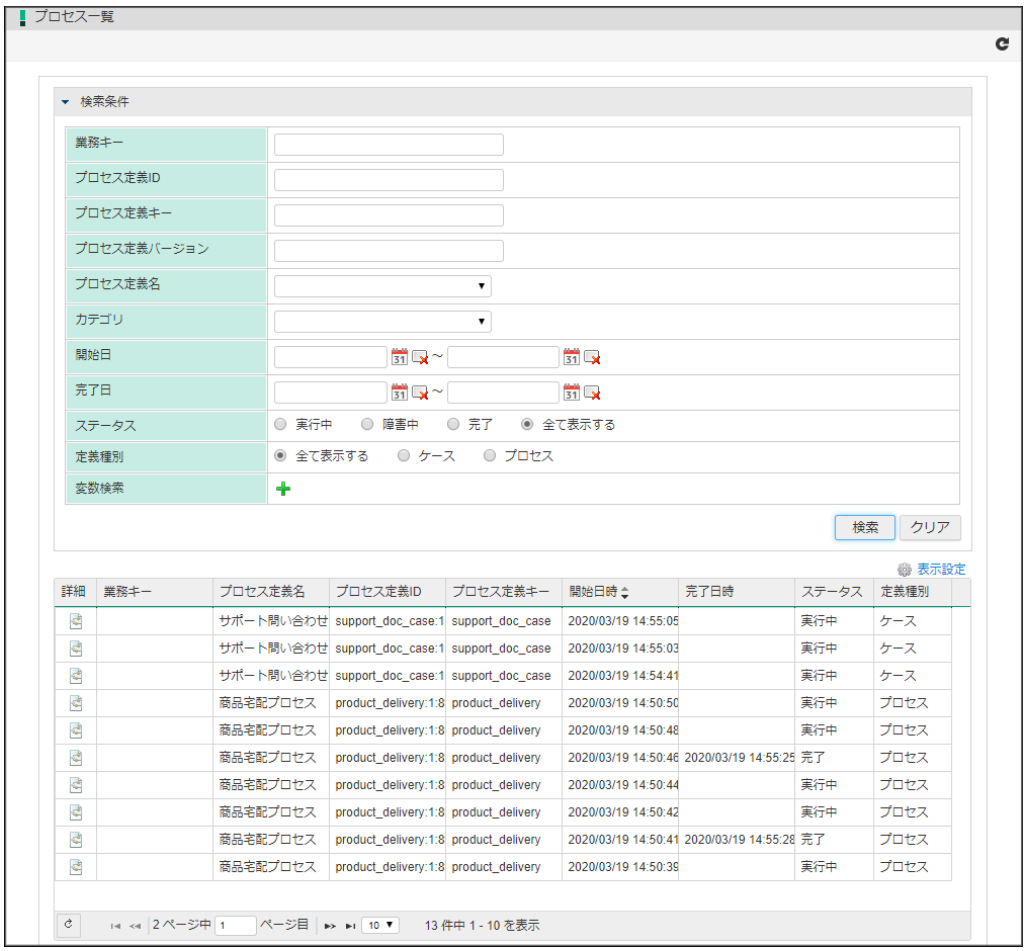
プロセスインスタンス一覧

プロセスインスタンス一覧を確認する

プロセスインスタンスの一覧を確認します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「管理者向けプロセス一覧」を押下します。

2. プロセスインスタンスを検索します。



図：管理者向けプロセス一覧

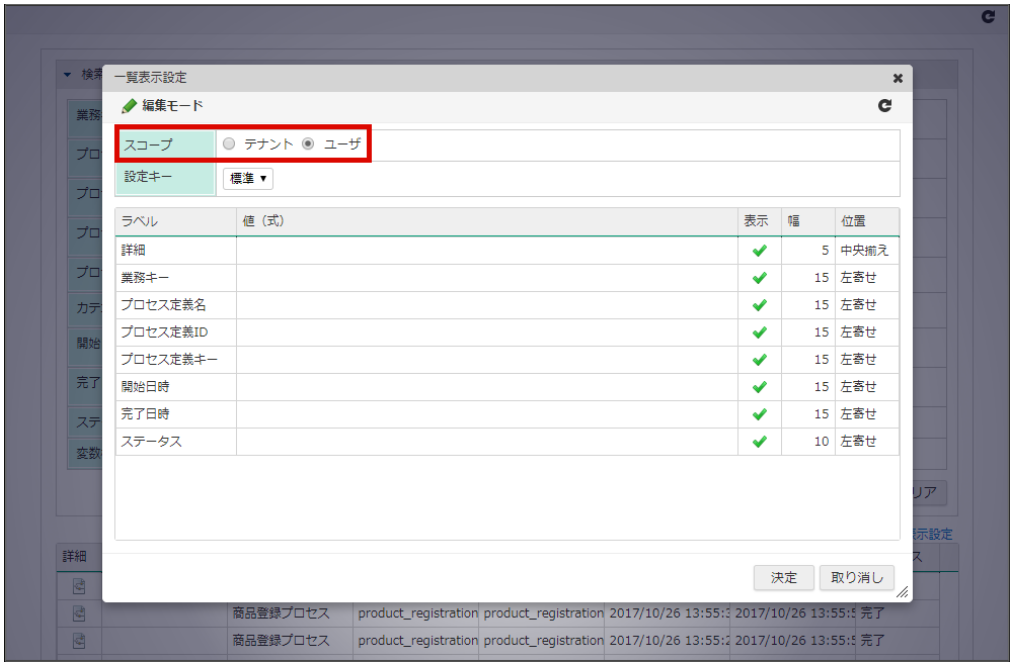
項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、 プロセス定義の場合、プロセス詳細画面に遷移します。 ケース定義の場合、ケース詳細画面を開きます。 プロセス定義の場合の詳細は「*プロセスインスタンス詳細*」を参照してください。 ケース定義の場合の詳細は「*ケースインスタンス詳細*」を参照してください。	-
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	単一選択
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。	完全一致
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。	完全一致
開始日時	開始日時が表示されます。	範囲
完了日時	完了日時が表示されます。	範囲
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了	選択
定義種別	定義種別が表示されます。 プロセス：プロセス定義 ケース：ケース定義	選択

表示項目を変更する

プロセスインスタンスの一覧の表示項目を変更します。
一覧表示設定では、プロセスインスタンス一覧の表示項目の編集を行えます。
また、プロセスインスタンスの変数情報を表示する列を追加することもできます。

1. 一覧テーブルの右上にある「表示設定」リンクを押下します。

2. スコープ（一覧表示設定の公開範囲）を選択します。



図：一覧表示設定

項目名	説明
テナント	「IM-BPM管理者」のみ編集可能なスコープです。 このスコープで登録した設定キーは、テナント内の全ユーザが参照できます。「IM-BPM管理者」以外編集することはできません。
ユーザ	個人で編集可能なスコープです。このスコープで登録した設定キーは、他のユーザからは参照できません。

3. 設定キーで任意のキーを選択し「決定」を押下すると、選択した設定キーの一覧表示設定を反映します。
表示項目を変更したい場合は、「編集モード」を押下します。

> **コラム**
>
> 設定方法の詳細は「*グループタスクを操作する*」の「*表示項目を変更する*」を参照してください。
> ※管理者向けプロセス一覧では表示設定による検索条件の追加はできません。

変数検索を利用する

プロセスの変数名による検索条件を追加します。

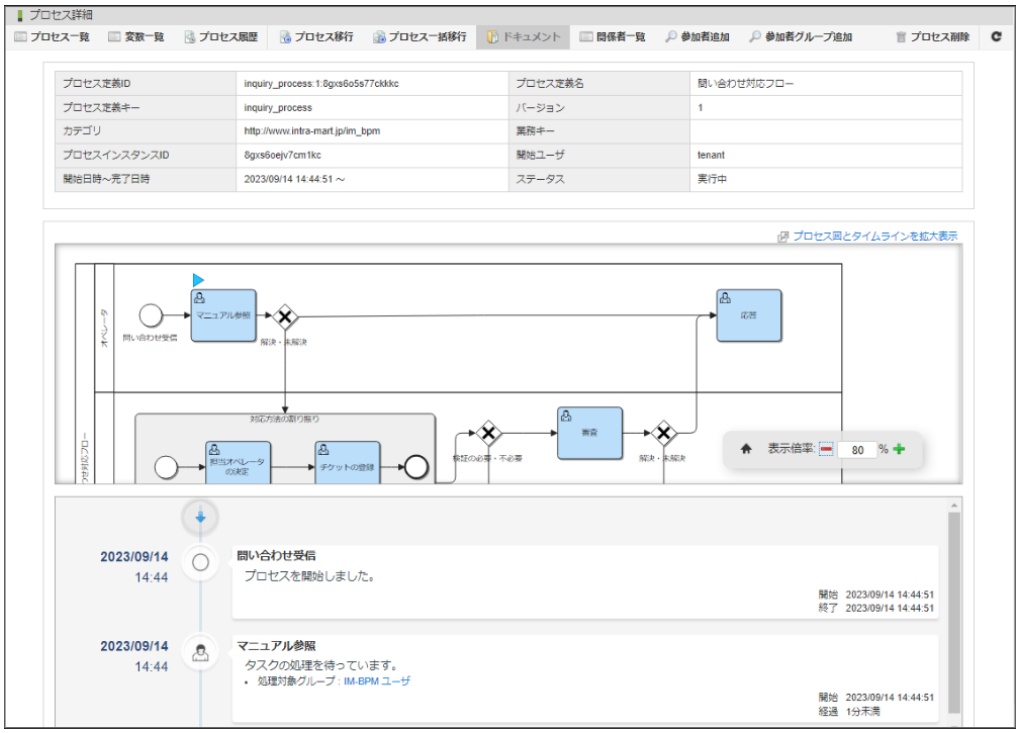
図：変数検索追加

項目名	説明
変数名	検索する変数名を設定します。
型	変数の型を設定します。 string, integer, long, double, date, datetime, booleanを選択できます。
演算子	検索条件の演算子（検索の方法）を設定します。型により選択肢が異なります。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, like, lessThan, lessThanOrEquals, greaterThan, greaterThanOrEquals, from-to
値	検索する値を設定します。
削除	追加した変数検索条件を削除します。

> **コラム**
>
> datetime型は、IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より利用できます。

プロセスインスタンス詳細

プロセスインスタンスの詳細を確認します。
「管理者向けプロセス一覧」画面で「 」をクリックすることにより遷移します。



図：プロセス詳細

項目名	説明
ドキュメント	プロセス定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
関係者一覧	プロセスインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。 詳細は「*関係者/関係グループを確認する*」を参照してください。
タスクの追加	オプショナルタスクを使用している定義は、ここからタスクを追加できます。 詳細は「*タスク追加*」を参照してください。
参加者追加	プロセスインスタンスに関係するユーザを追加します。 詳細は「*プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する*」を参照してください。
参加者グループ追加	プロセスインスタンスに関係するグループを追加します。 詳細は「*プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する*」を参照してください。
プロセス定義ID	プロセス定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセス定義キー	プロセス定義キーが表示されます。
バージョン	バージョンが表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
業務キー	業務キーが表示されます。
プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
開始ユーザ	プロセスを開始したユーザが表示されます。
開始日時～完了日時	開始日時～完了日時が表示されます。
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了
プロセス図とタイムラインを拡大表示	プロセス図とタイムラインが別画面で拡大表示され開かれます。

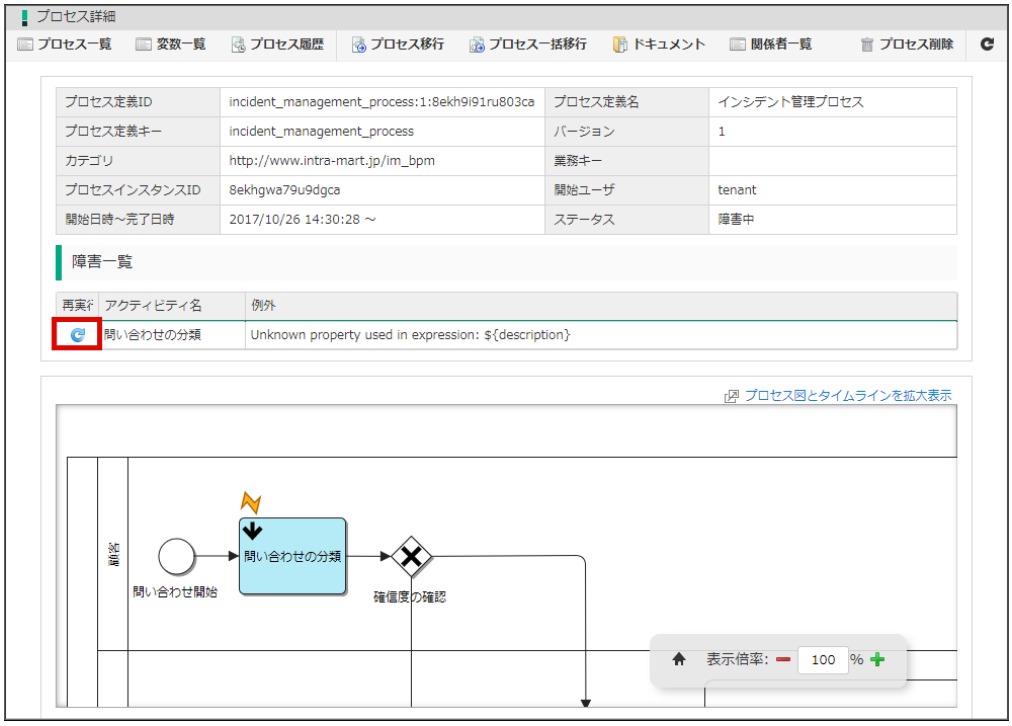
項目名	説明
プロセス図	プロセス図が表示されます。 コンテナが実行中の場合 が表示されます。 アクティビティが障害中の場合 が表示されます。 を押下すると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 を押下すると、プロセス図が縮小されます。 を押下すると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。
タイムライン	プロセスインスタンスの履歴を時系列で表示します。 詳細は「*個人タスクを操作する*」-「*処理の履歴を確認する*」を参照してください。

図：ドキュメント

> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」-「関連ドキュメント」を参照してください。

障害中のサービスを再実行する

プロセスインスタンスに障害中のサービスが存在する場合、「プロセス詳細」画面に障害中の一覧が表示されます。
この一覧で を押下すると、障害中のサービスを再実行できます。
再実行して障害が発生しなかった場合、次のアクティビティに遷移します。



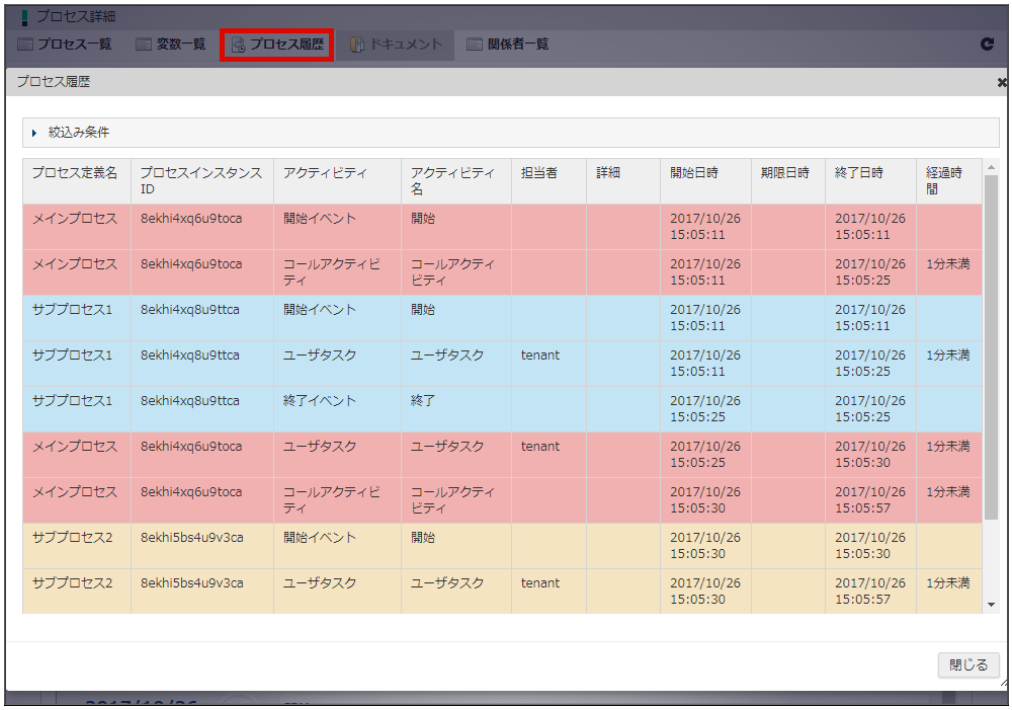
図：プロセス詳細

項目名	説明
再実行	を押下すると、再実行されます。
アクティビティ名	アクティビティ名が表示されます。
例外	例外内容が表示されます。

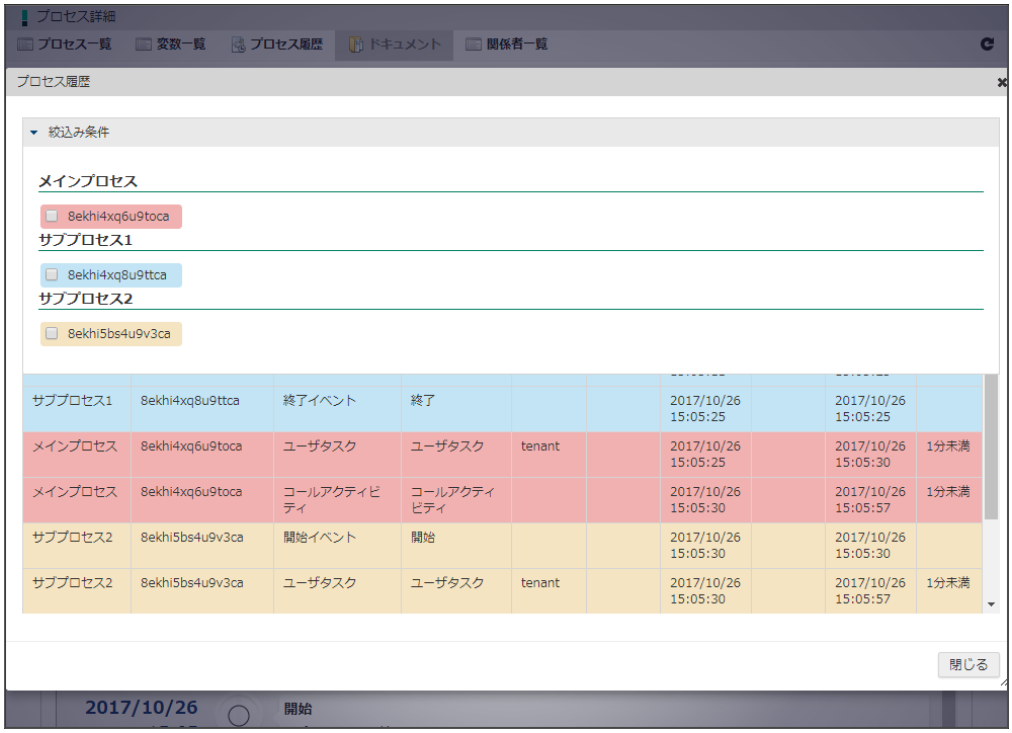
> **コラム**
>
> 再実行時に再度障害が発生した場合は、発生原因を解消後、もう一度再実行してください。

プロセスインスタンスの履歴を確認する

プロセスインスタンスの履歴を確認します。
親と子のすべてのプロセスインスタンスの履歴を通して確認できます。



図：プロセス履歴



図：プロセス履歴（絞込み条件）

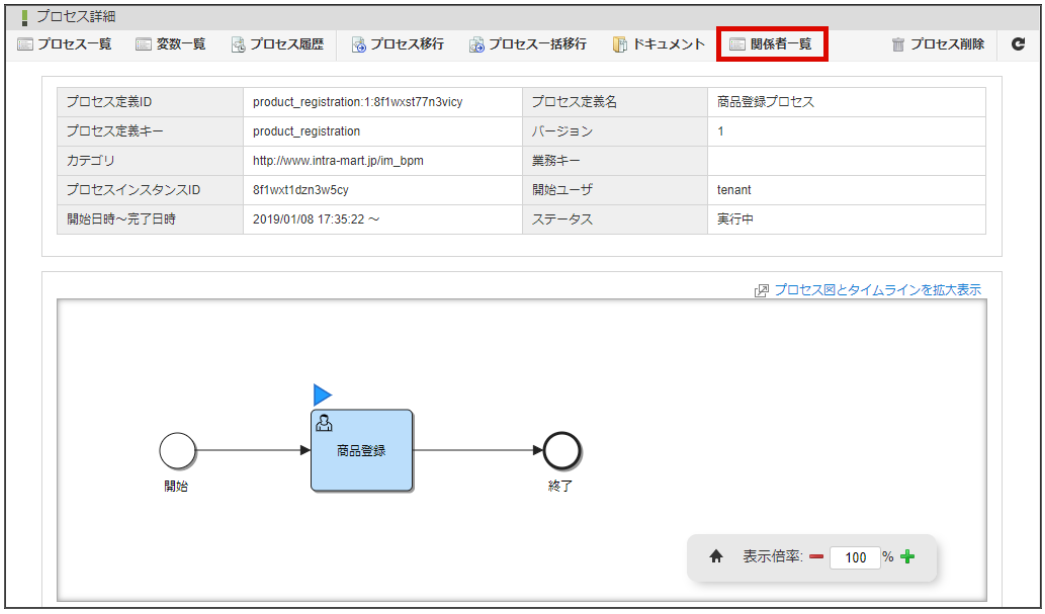
プロセスインスタンスごとに、履歴一覧を絞り込むことが可能です。
プロセスインスタンスIDにチェックを入れることで、該当するプロセスインスタンスの履歴のみが一覧に表示されます。
絞込み条件のプロセスインスタンスIDは、プロセス定義ごとに表示されています。

> **コラム**
>
> プロセスインスタンスが一つの場合は、絞込み条件は表示されません。

項目名	説明
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。
プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。
アクティビティ	アクティビティの種別が表示されます。
アクティビティ名	アクティビティ名が表示されます。
担当者	ユーザタスクの担当者が表示されます。
詳細	詳細が表示されます。 ワークフロータスクの状態などが表示されます。
開始日時	開始日時が表示されます。
期限日時	期限日時が表示されます。
終了日時	終了日時が表示されます。
経過時間	経過時間が表示されます。

関係者/関係グループを確認する

プロセスインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。
「関係者一覧」をクリックします。



図：プロセス詳細

- ユーザ
  関係者を確認できます。

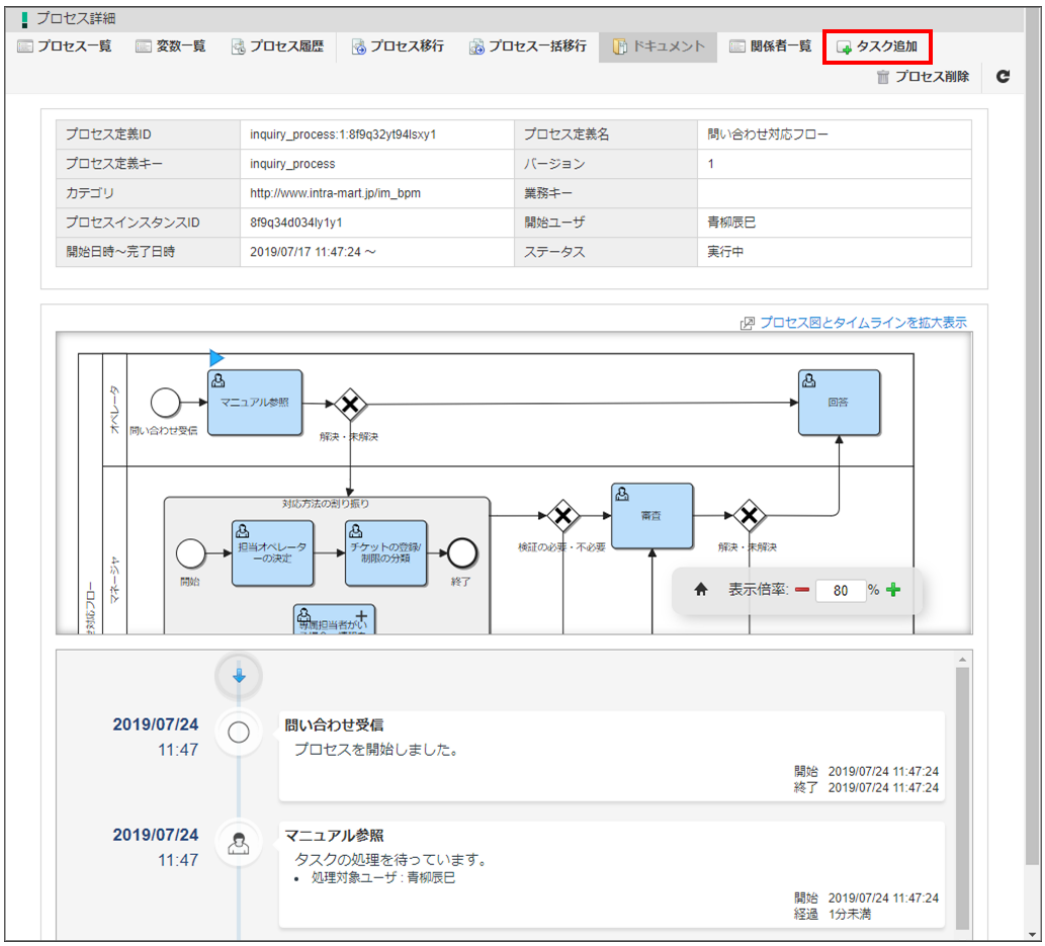
図：関係者／関係グループ一覧 - ユーザ

- グループ
  関係しているグループを確認できます。
  グループ名をクリックすることで、グループに所属するユーザを確認できます。

図：関係者／関係グループ一覧 - グループ

タスク追加

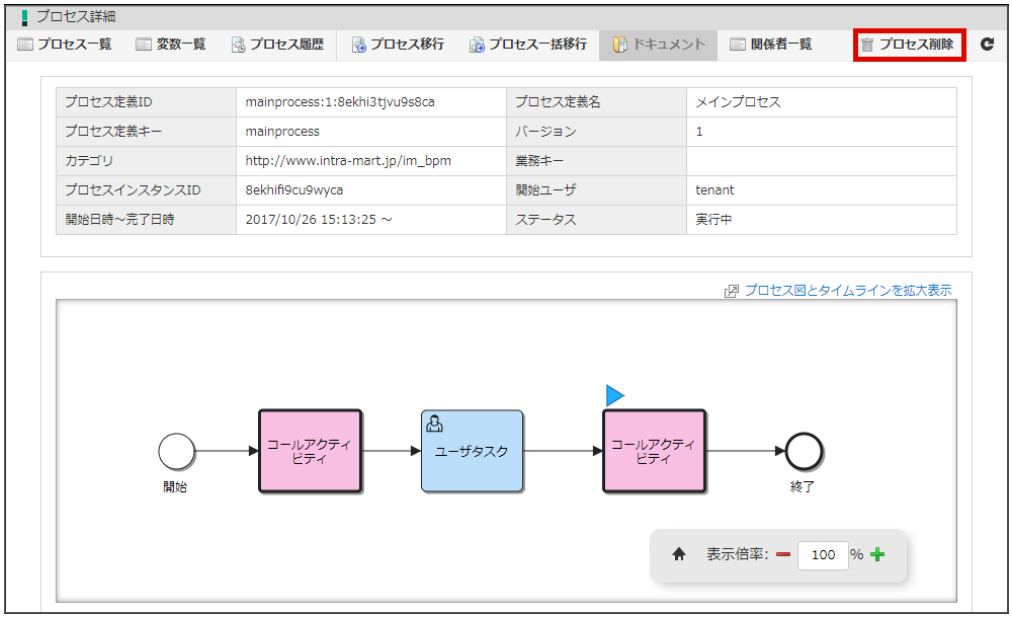
「オプショナルタスク」、または、「アドホックタスク」を使用している定義は、「タスク追加」画面が表示されます。
タスクの追加手順は「*プロセスインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。



図：プロセス詳細

プロセスインスタンスを削除する

プロセスインスタンスを削除します。



図：プロセス詳細

コラム

親プロセスインスタンスが存在する場合、子プロセスインスタンスを削除することはできません。
子プロセスインスタンスを削除したい場合、親プロセスインスタンスを削除する必要があります。
親プロセスインスタンスを削除することにより、子プロセスインスタンスも同時に削除されます。

コラム

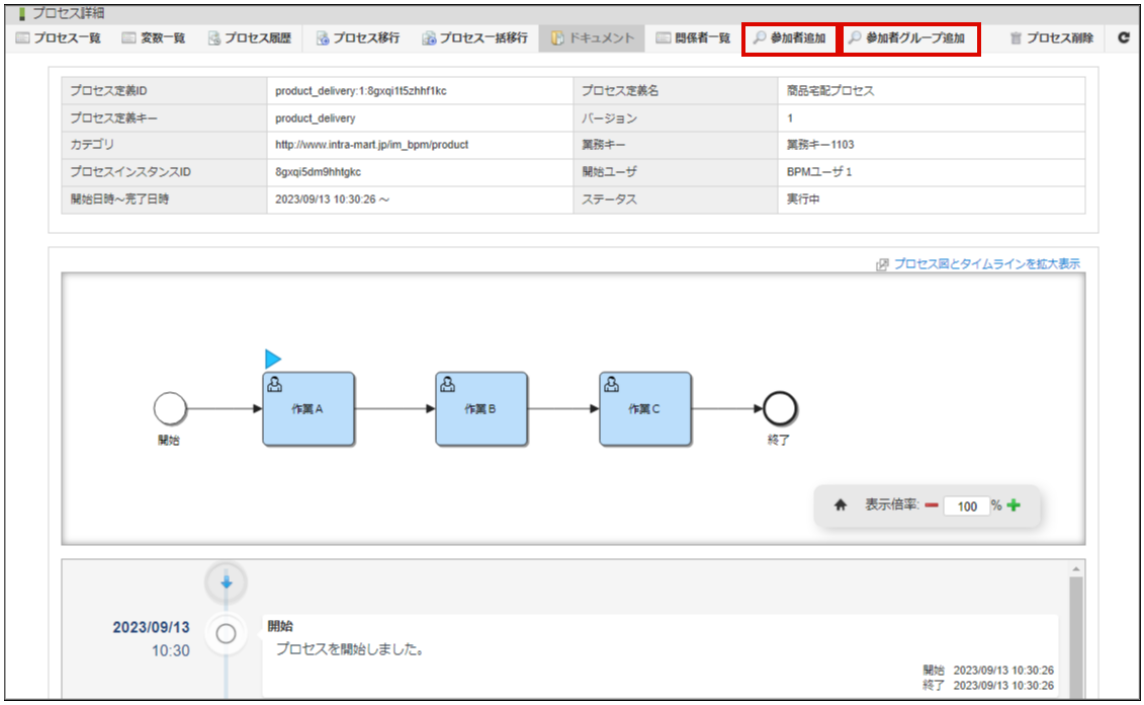
完了したプロセスインスタンスを削除することはできません。

注意

削除されたプロセスインスタンスを元に戻すことはできません。

プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加する

プロセスインスタンスに参加者、参加者グループを追加します。



図：プロセス詳細

- 参加者追加
  「ユーザ検索」でユーザの検索ができます。
- 参加者グループ追加
  「ロール検索」でロールの検索ができます。

コラム

完了したプロセスインスタンスには参加者、参加者グループを追加できません。

プロセスインスタンスの変数を確認する

プロセスインスタンスの変数を確認します。
プロセス詳細から「変数一覧」を押下することにより遷移します。
変数の追加や削除、編集を行うこともできます。

項目

- 変数参照
- 変数操作
  - 変数を追加する
  - 変数を編集する
  - 変数を削除する

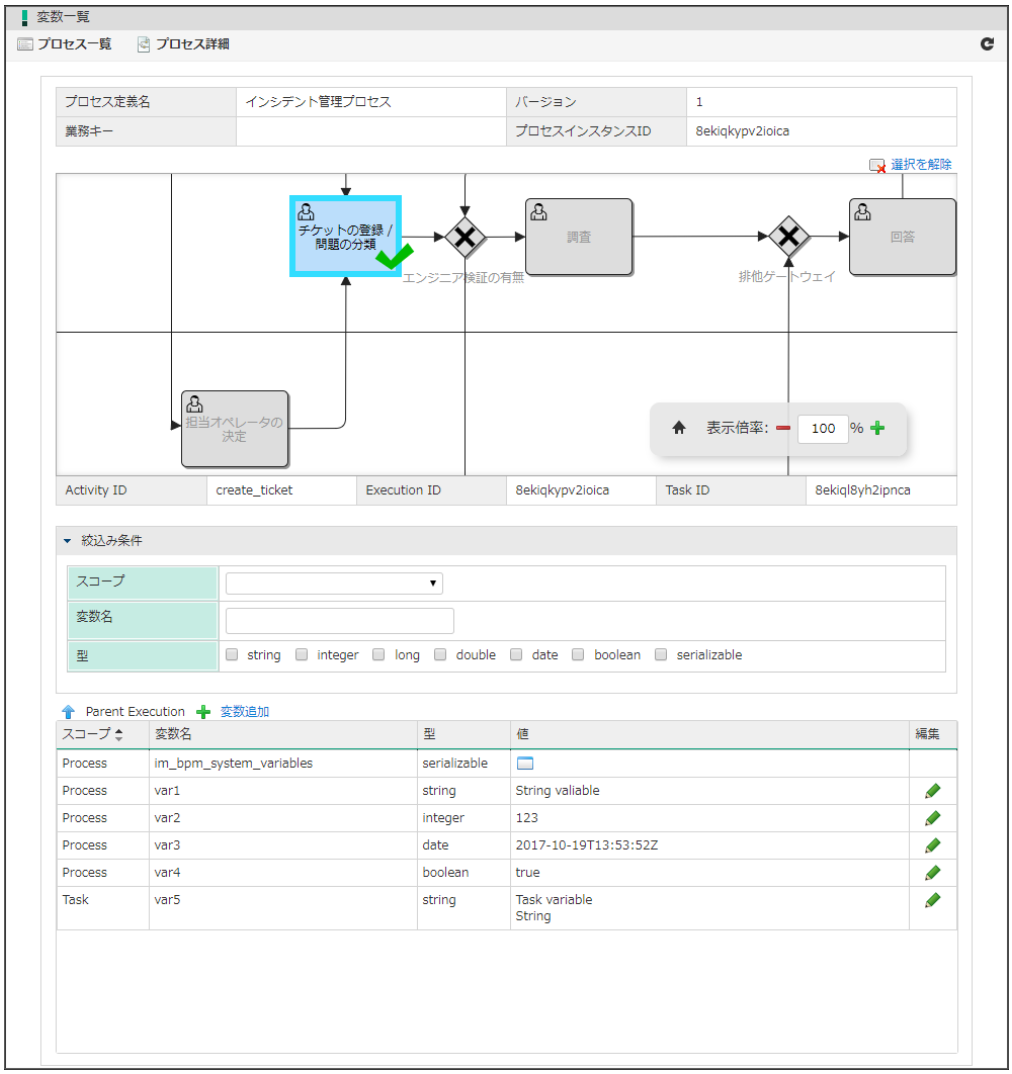
変数参照

プロセスが完了か未完了かによらず、プロセスインスタンスの変数を確認できます。
以下のような変数を参照できます。

- 未完了プロセス
  - プロセスのグローバル変数（スコープ：Process）
  - エグゼキューションのローカル変数（スコープ：Execution）
  - ユーザタスクのローカル変数（スコープ：Task）
- 完了プロセス
  - プロセスのグローバル変数（スコープ：Process）

> **コラム**
>
> スコープとは、変数の参照可能範囲を指します。
> 変数のスコープは、それぞれ以下のような参照範囲を表します。
>
> - Process：当該のプロセス内のどこからでも参照できます。
> - Execution：当該のアクティビティが実行されているエグゼキューション内からのみ参照できます。
> - Task：当該のユーザタスクからのみ参照できます。

> **コラム**
>
> 以下のアクティビティは内部でユーザタスクを利用して動作しているため、タスクのローカル変数を設定できます。
>
> - 申請タスク
> - 起票タスク



図：変数一覧

1. プロセス図で任意のアクティビティを選択します。

アクティビティを選択しない場合、プロセスのグローバル変数を参照できます。
実行中のアクティビティのみ選択できます。
完了したプロセスでは、アクティビティを選択することはできません。

2. エグゼキューション選択プルダウンが表示される場合、エグゼキューションを選択します。

   ひとつのアクティビティに対して複数のエグゼキューションが存在する場合に表示されます。
   例えば、マルチインスタンスを設定したタスク等がこれに該当します。

3. 変数の一覧に対する絞込みを行います。

   スコープの択一選択、変数名の部分一致、型の複数選択により絞込みが可能です。
   選択、および入力を確定させることで、都度絞込みが実行されます。

4. 変数の一覧を確認します。

項目名	説明
スコープ	スコープが表示されます。 ▪ Process ▪ Execution ▪ Task
変数名	変数名が表示されます。
型	変数の型が表示されます。
値	変数の値が表示されます。
編集	を押下すると、変数更新ダイアログがポップアップします。

5. 参照しているエグゼキューションの親エグゼキューションの変数を見る場合は、 Parent Execution リンクを押下します。

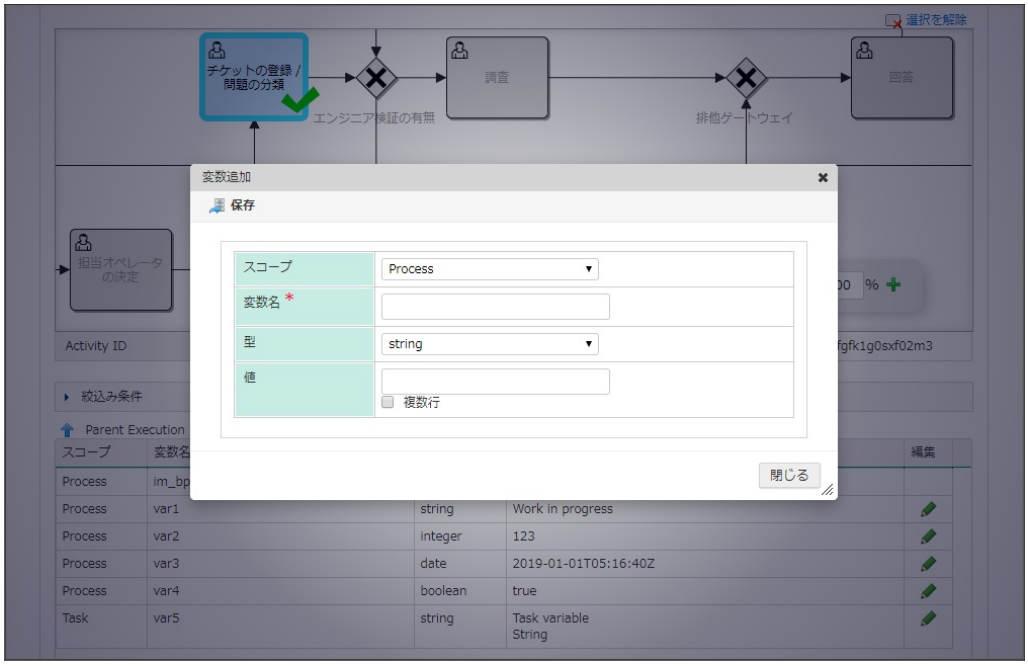
> **コラム**
>
> 変数一覧で値を参照できる変数は、以下の6種類のデータ型のもののみです。
> string, integer, long, double, date, boolean
>
> 型が serializable と表示される変数については、変数値を確認することはできません。
> 例えばMap型やList型、配列等の値をもつ変数が serializable と表示されます。

変数操作

未完了プロセスのみ変数の追加や削除、編集ができます。

変数を追加する

現在表示している変数一覧と同じスコープをもつ変数を追加できます。



図：変数追加ダイアログ

1. 「変数追加」リンクを押下します。
2. スコープを選択します。
3. 追加する変数を定義します。
    1. スコープを選択します。
    2. 変数名を同一のスコープ内で一意となるように入力します。
    3. 型を選択します。
    4. 値を入力します。
       string 型の場合、「複数行」チェックボックスのチェックをオンにすることで複数行のテキストを入力できます。
       date 型は「ISO 8601拡張形式」で入力してください。
4. 「保存」メニューを押下します。

> **コラム**
>
> **ISO 8601拡張形式**
> yyyy-MM-dd'T'hh:mm:ss'Z' のように日付を表現する国際規格です。
>
> 表記例
> 2016-12-01T12:34:56Z （末尾に Z を記述した場合、協定世界時（UTC）として扱われます）
> 2016-12-01T12:34:56+09:00 （タイムゾーンはプラス記号またはマイナス記号を用いて表現します）

変数を編集する

変数値を編集できます。
スコープや型を変更することはできません。

図：変数更新ダイアログ

1. 変数一覧より、編集対象の変数の を押下します。
2. 値を編集します。
3. 「保存」メニューを押下します。

> **コラム**
>
> 以下のデータ型の変数値を編集できます。
> string, integer, long, double, date, boolean

> **コラム**
>
> データ型を決定せずに登録されている変数の場合、データ型を選択できます。

> **注意**
>
> 編集可能なデータ型の変数であれば、IM-BPMが内部的に利用している変数を含むすべての変数を編集するできます。
> プロセスの実行に関わる変数値を予期しない値に変更した場合、プロセスが正常に実行できなくなる可能性があります。

変数を削除する

変数を削除できます。
削除はデータベースレコードの削除によって行われます。論理削除ではありません。

1. 変数一覧より、削除対象の変数の を押下します。
2. 「削除」メニューを押下します。

> **注意**
>
> IM-BPMが内部的に利用している変数を含む、すべての変数を削除できます。
> プロセスを実行するために必須となる変数を削除した場合、プロセスが正常に実行できなくなる可能性があります。

プロセスインスタンスのマイグレーションを行う

項目

- マイグレーションとは
- マイグレーション
- 一括マイグレーション

マイグレーションとは

プロセスインスタンスのマイグレーションとは、現在の実行中の状態を移行できる機能です。
状態のみ移行します。内部で保持している変数の情報は追加、および、削除は行いません。
マイグレーションは同一プロセス定義のみならず、異なるプロセス定義間でも行えます。

> **コラム**
> 移行先のプロセス定義の分岐や合流が不明確な場合は、マイグレーションできない場合があります。

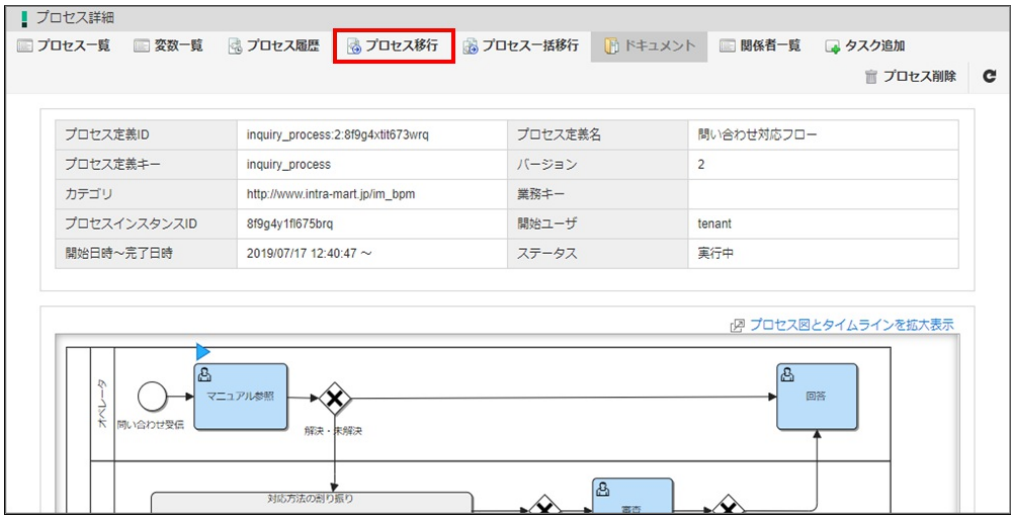
> **注意**
> いくつかの制限事項があります。制限事項に関しては「制限事項」を参照してください。

マイグレーション

マイグレーションを行います。

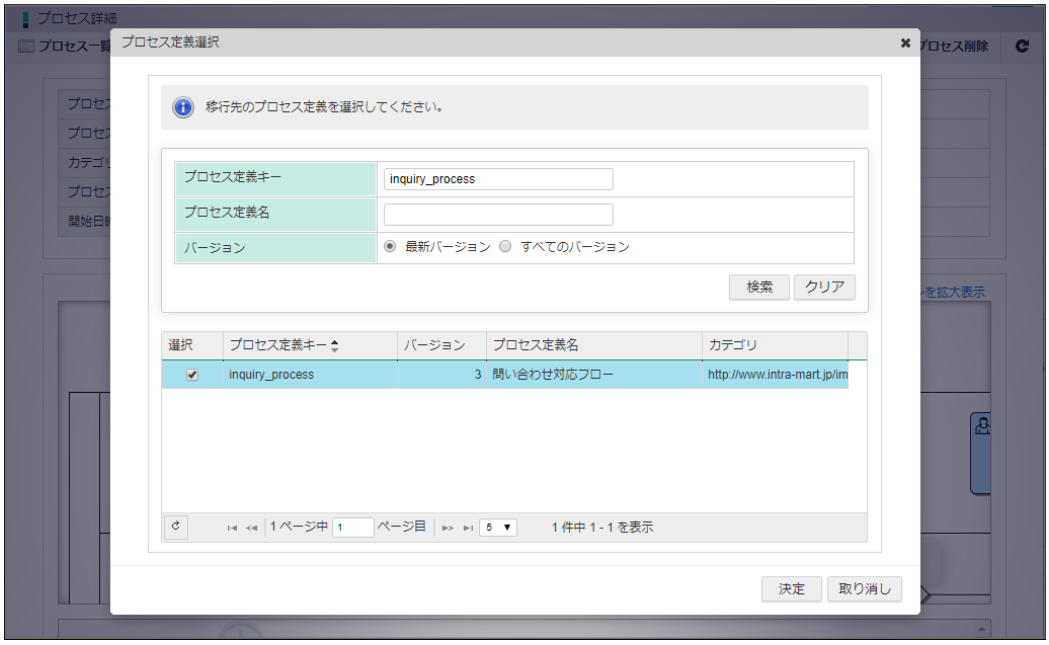
1. マイグレーションしたいプロセスインスタンスのプロセス詳細画面に遷移します。
   プロセス詳細画面への遷移方法は、「*プロセスインスタンス詳細*」を参照してください。

2. 「プロセス移行」をクリックします。



図：プロセス詳細

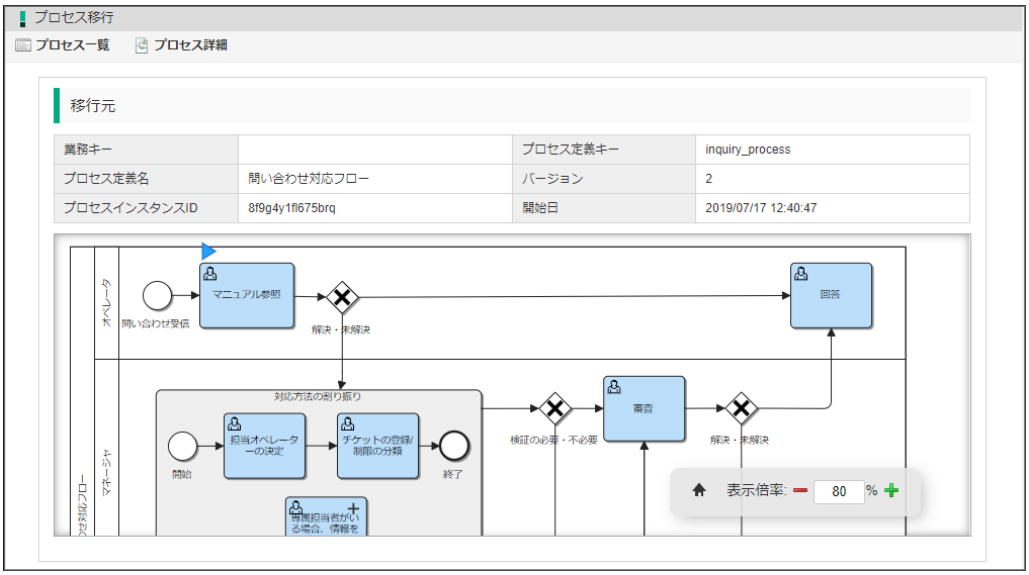
3. 移行先のプロセス定義を選択します。



図：プロセス定義選択

4. 「プロセス移行」画面に遷移します。

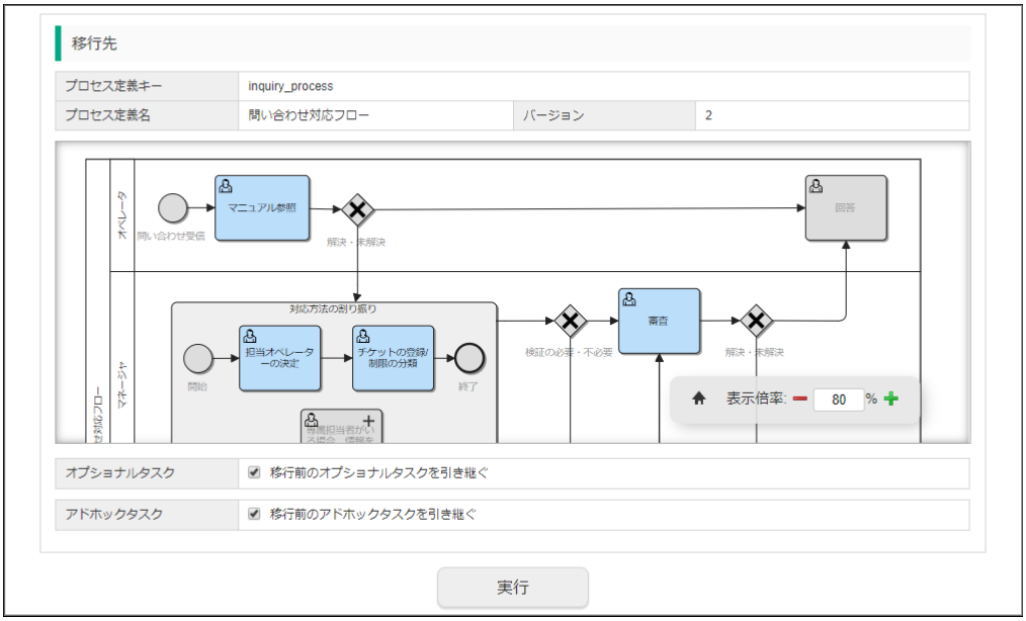
- 移行元



図：移行元

項目名	説明
移行元の業務キー	移行元の業務キーが表示されます。
移行元のプロセス定義キー	移行元のプロセス定義キーが表示されます。
移行元のプロセス定義名	移行元のプロセス定義名が表示されます。
移行元のバージョン	移行元のバージョンが表示されます。
移行元のプロセスインスタンスID	移行元のプロセスインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
移行元の開始日	移行元の開始日が表示されます。
移行元のプロセス図	移行元のプロセス図が表示されます。 アクティビティが実行中の場合 が表示されます。 アクティビティが障害中の場合 が表示されます。 をクリックすると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 をクリックすると、プロセス図が縮小されます。 をクリックすると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。

- 移行先



図：移行先

項目名	説明
移行先のプロセス定義キー	移行先のプロセス定義キーが表示されます。
移行先のプロセス定義名	移行先のプロセス定義名が表示されます。
移行先のバージョン	移行先のバージョンが表示されます。
移行先のプロセス図	移行先のプロセス図が表示されます。 をクリックすると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 をクリックすると、プロセス図が縮小されます。 をクリックすると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。
移行先のオプショナルタスク	移行元、移行後の双方にオプショナルタスクが存在する場合、項目「オプショナルタスク」が表示されます。 「移行前のオプショナルタスクを引き継ぐ」にチェックを入れると、オプショナルタスクを引き継ぐことができます。
移行先のアドホックタスク	移行元、移行後の双方がアドホックタスクを使用する場合、項目「アドホックタスク」が表示されます。 「移行前のアドホックタスクを引き継ぐ」にチェックを入れると、アドホックタスクを引き継ぐことができます。

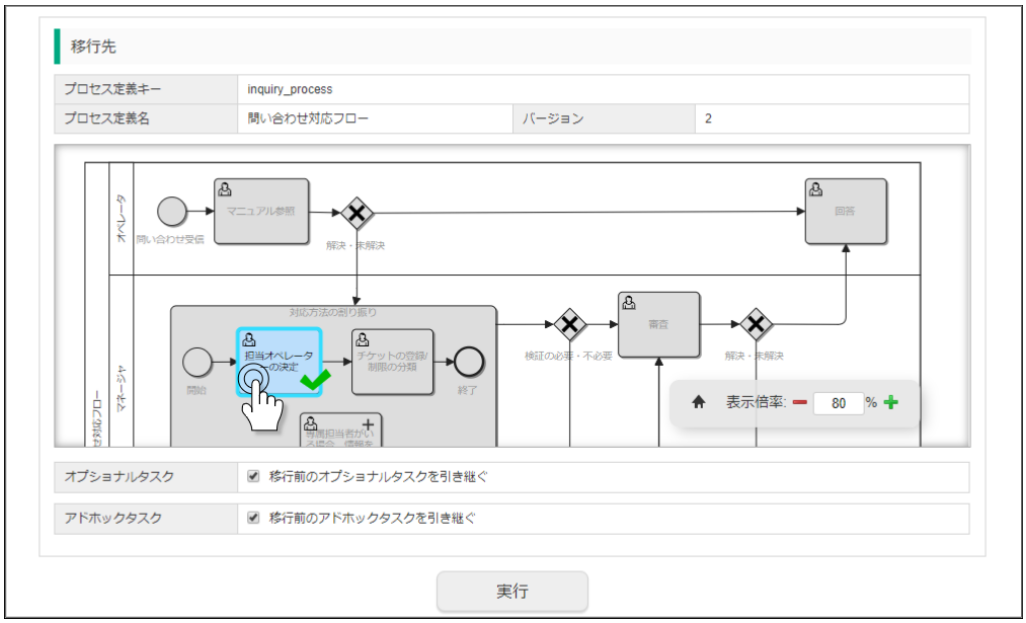
コラム

引き継ぐことができるオプショナルタスクはマイグレーション前に実行中のアクティビティで、マイグレーション後にそのアクティビティIDで追加ができる状態になるものです。
オプショナルタスクが複数実行されている場合は、その数分追加されます。

コラム

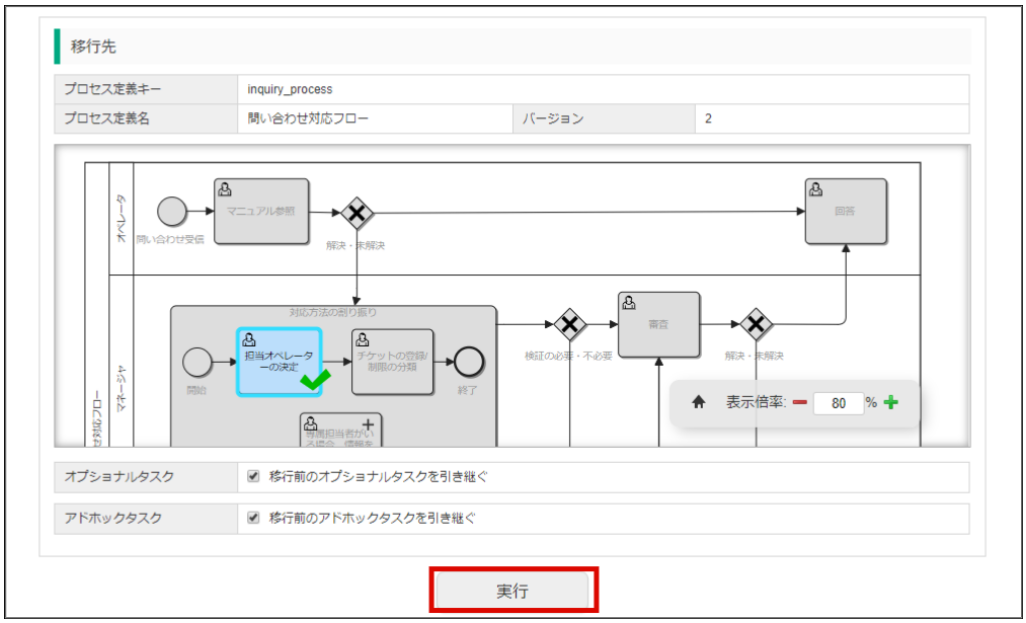
移行後のプロセスインスタンスにおいて、移行前のアドホックタスクが所属するコンテナと同一のアクティビティIDを持つコンテナに対して、アドホックタスクが追加されます。
実行中であるコンテナのみを対象とします。

5. 移行したい移行先のプロセス図からアクティビティを選択します。
ダブルクリックで選択できます。既に選択されているアクティビティをダブルクリックすると選択を解除できます。
アクティビティは複数選択できますが、既に選択されているアクティビティによって選択できるアクティビティは限定されます。



図：プロセス移行

6. 「実行」をクリックします。



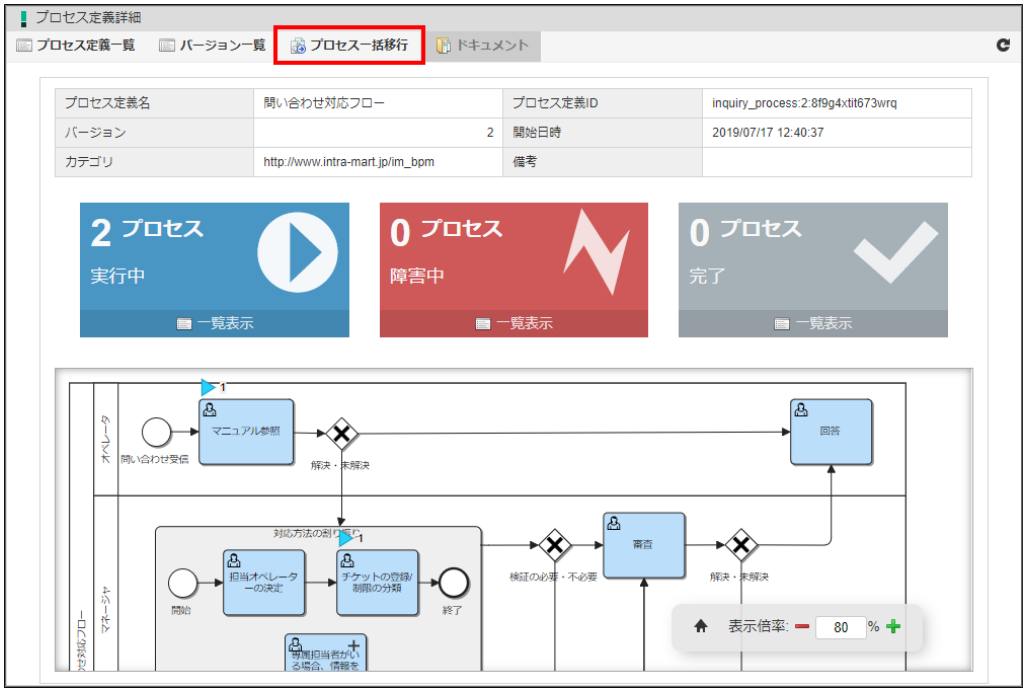
図：プロセス移行

一括マイグレーション

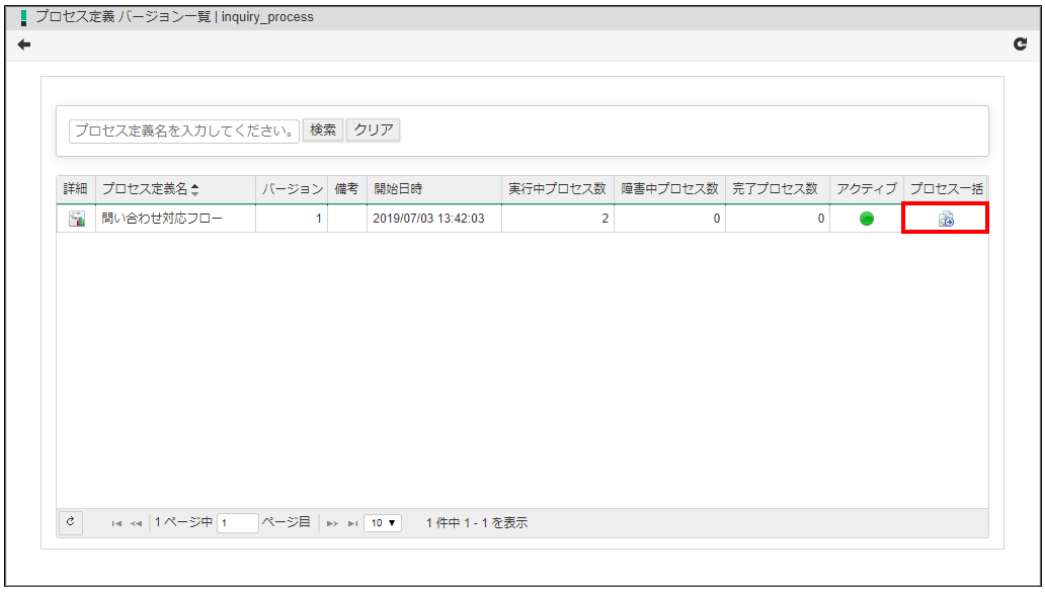
複数のプロセスインスタンスを一括でマイグレーションを行います。
同一のプロセス定義のプロセスインスタンスを一括でマイグレーションできます。

1. プマイグレーションしたいプロセス定義のプロセス定義詳細画面に遷移します。
   プロセス定義詳細画面への遷移方法は、「*プロセス定義詳細*」を参照してください。
   プロセス定義バージョン一覧画面からも、バージョンを指定して一括マイグレーションを行うことができます。

2. 「プロセス一括移行」をクリックします。プロセス定義バージョン一覧の場合は をクリックします。

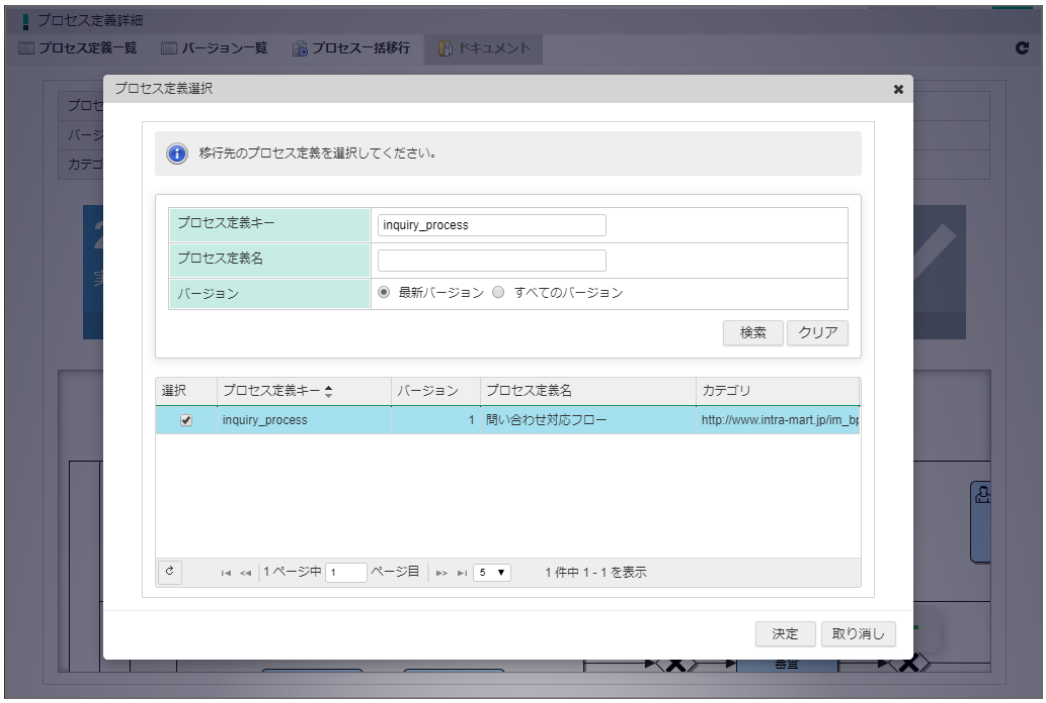


図：プロセス定義詳細



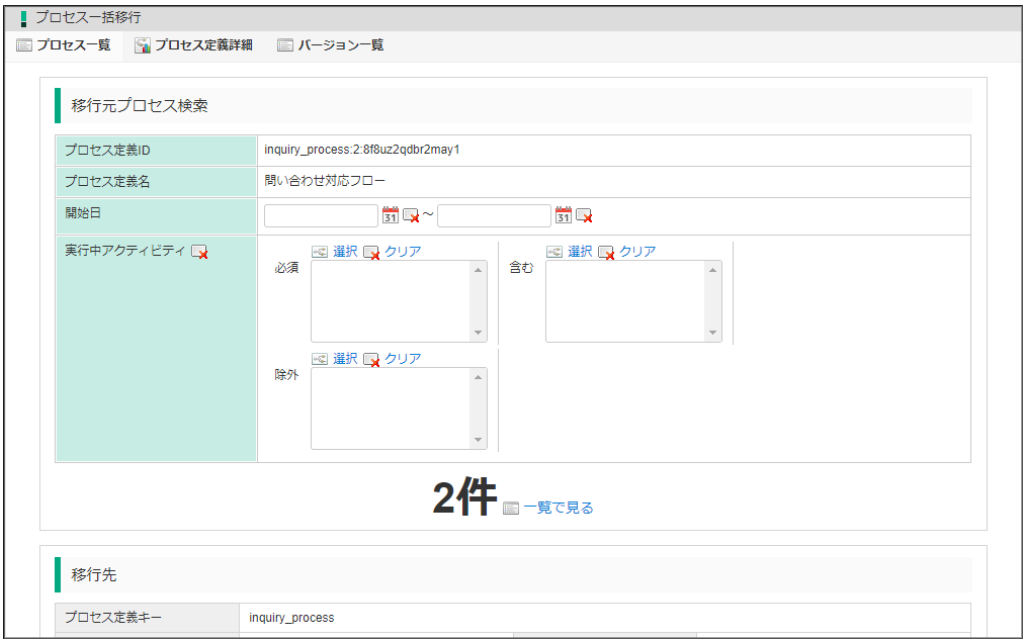
図：プロセス定義バージョン一覧

3. 移行先のプロセス定義を選択します。



図：プロセス定義選択

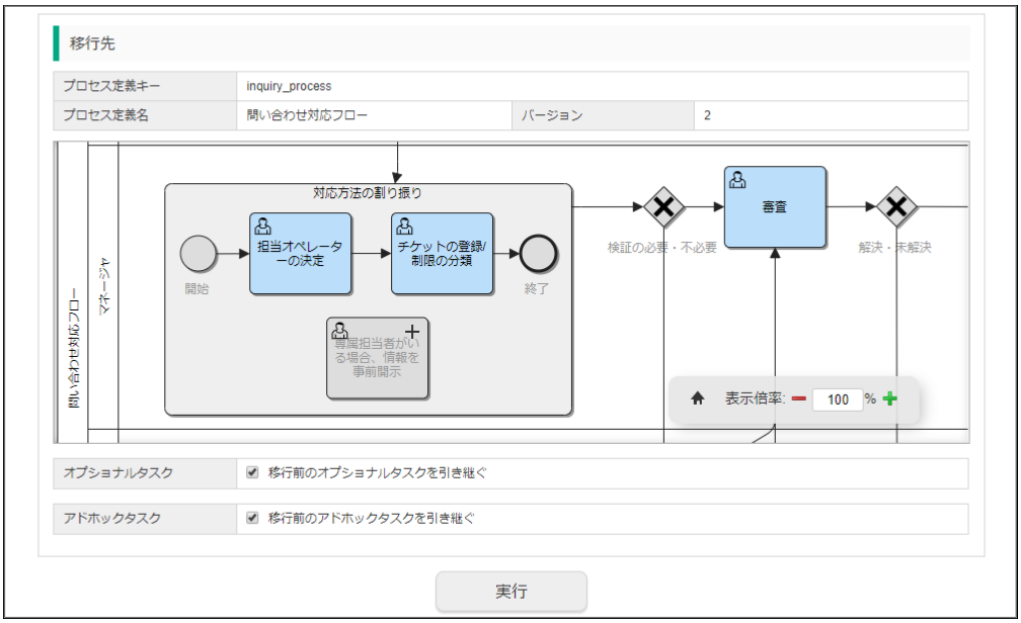
4. プロセス一括移行画面に遷移します。
   - 移行元



図：移行元

項目名	説明
移行元のプロセス定義ID	移行元のプロセス定義IDが表示されます。
移行元のプロセス定義名	移行元のプロセス定義名が表示されます。
移行元の開始日	移行元のプロセスインスタンスの開始日の条件を設定します。
移行元の実行中アクティビティ	移行元の実行中アクティビティの状態を設定します。 必須、含む、除外が設定できます。プロセス図を表示し設定できます。
移行元のプロセスインスタンス件数	開始日と実行中アクティビティに設定された条件でのプロセスインスタンスの件数が表示されます。
一覧で見る	開始日と実行中アクティビティに設定された条件でのプロセスインスタンスの一覧が確認できます。

- 移行先

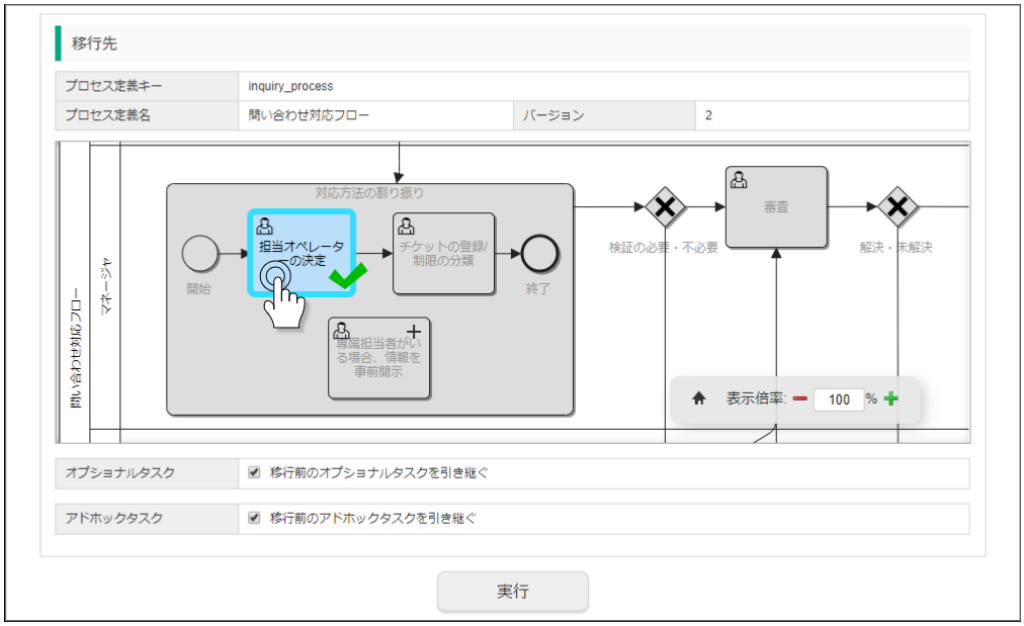


図：移行先

項目名	説明
移行先のプロセス定義キー	移行先のプロセス定義キーが表示されます。
移行先のプロセス定義名	移行先のプロセス定義名が表示されます。
移行先のバージョン	移行先のバージョンが表示されます。

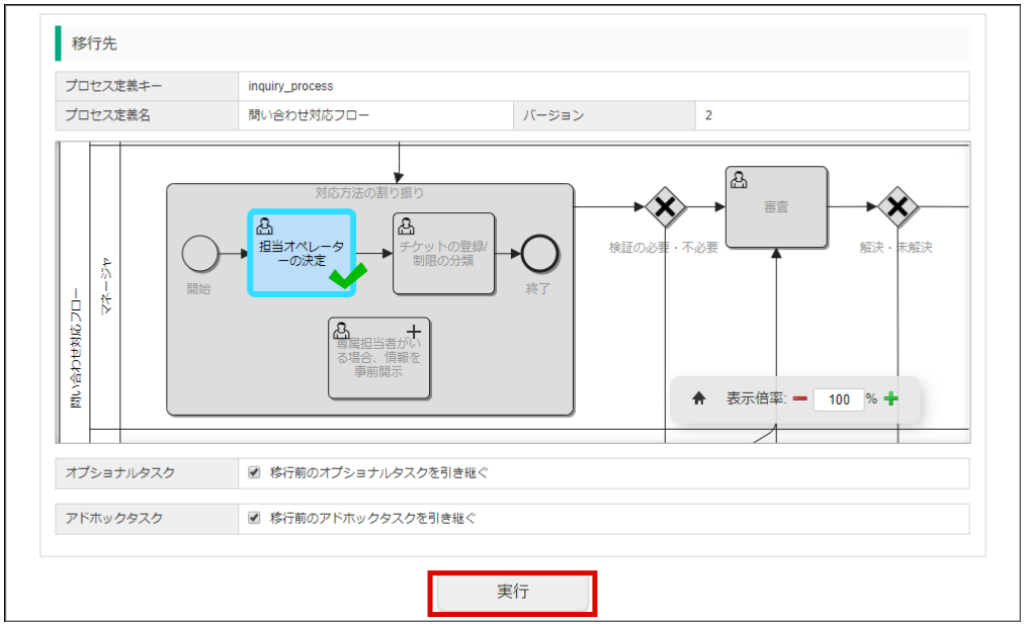
項目名	説明
移行先のプロセス図	移行先のプロセス図が表示されます。 をクリックすると、ホーム（初期表示位置）に移動します。 をクリックすると、プロセス図が縮小されます。 をクリックすると、プロセス図が拡大されます。 テキストボックスに任意の数値を入力すると、その表示の大きさに変更されます。 表示倍率の最小値は20%、最大値は250%です。
移行先のオプショナルタスク	移行元、移行後の双方にオプショナルタスクが存在する場合、項目「オプショナルタスク」が表示されます。 「移行前のオプショナルタスクを引き継ぐ」にチェックを入れると、オプショナルタスクを引き継ぐことができます。
移行先のアドホックタスク	移行元、移行後の双方がアドホックタスクを使用する場合、項目「アドホックタスク」が表示されます。 「移行前のアドホックタスクを引き継ぐ」にチェックを入れると、アドホックタスクを引き継ぐことができます。

5. 移行したい移行先のプロセス図からアクティビティを選択します。
   ダブルクリックで選択できます。既に選択されているアクティビティをダブルクリックすると選択を解除できます。
   アクティビティは複数選択できますが、既に選択されているアクティビティによって選択できるアクティビティは限定されます。



図：プロセス一括移行

6. 「実行」をクリックします。



図：プロセス一括移行

7. 結果画面に遷移します。

図：プロセス一括移行結果

項目名	説明
実行数	実行数が表示されます。
成功数	成功数が表示されます。
失敗数	失敗数が表示されます。
結果一覧をダウンロード	結果一覧をCSV形式でダウンロードします。
移行エラー一覧 詳細	をクリックすると、プロセスインスタンス詳細画面へ遷移します。
移行エラー一覧 プロセスインスタンスID	エラーになったプロセスインスタンスIDが表示されます。
移行エラー一覧 エラーメッセージ	エラーメッセージが表示されます。
移行エラー一覧 結果	結果が表示されます。
移行成功一覧 詳細	をクリックすると、プロセスインスタンス詳細画面へ遷移します。
移行成功一覧 プロセスインスタンスID	プロセスインスタンスIDが表示されます。
移行成功一覧 結果	結果が表示されます。

ケースインスタンス

ここでは IM-BPMのケースインスタンスの機能を紹介します。

ケースインスタンスを確認する

項目

- ケースインスタンス一覧
  - ケースインスタンス一覧を確認する
- ケースインスタンス詳細
- 障害中のサービスを再実行する
- タイムライン

ケースインスタンス一覧

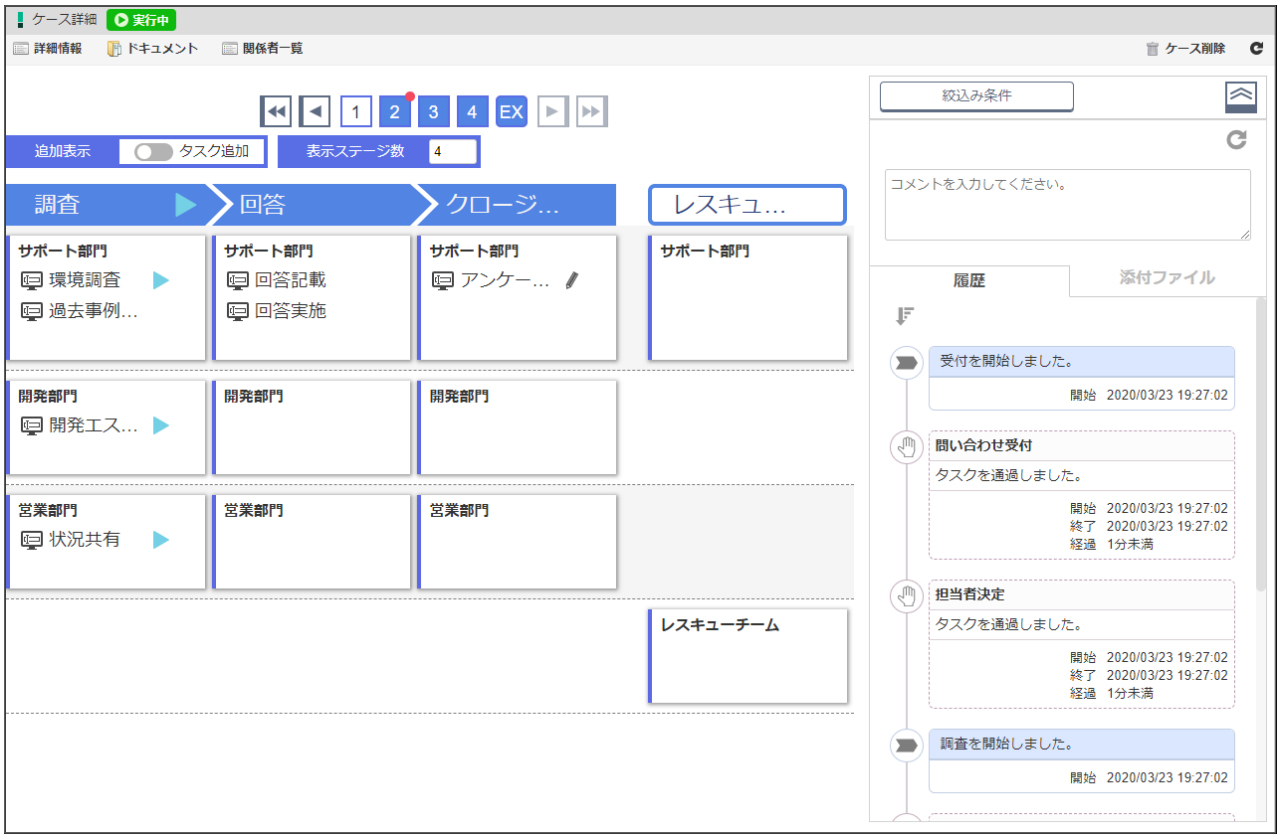
ケースインスタンス一覧を確認する

ケースインスタンスの一覧を確認します。

確認方法はプロセスインスタンスと同様のため「*プロセスインスタンス*」の「*プロセスインスタンスを確認する*」を参照してください。

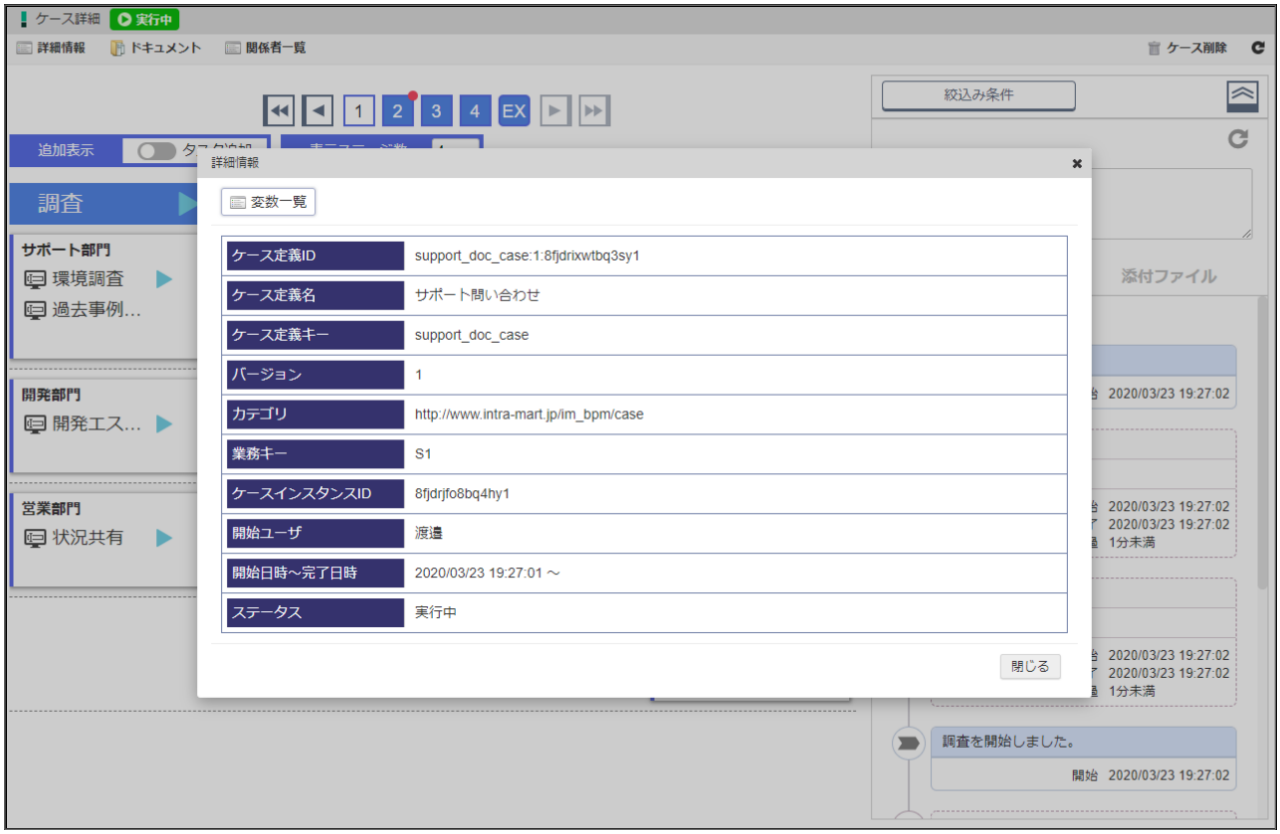
ケースインスタンス詳細

ケースインスタンスの詳細を確認します。
「管理者向けプロセス一覧」画面で「 」を押下することにより開きます。



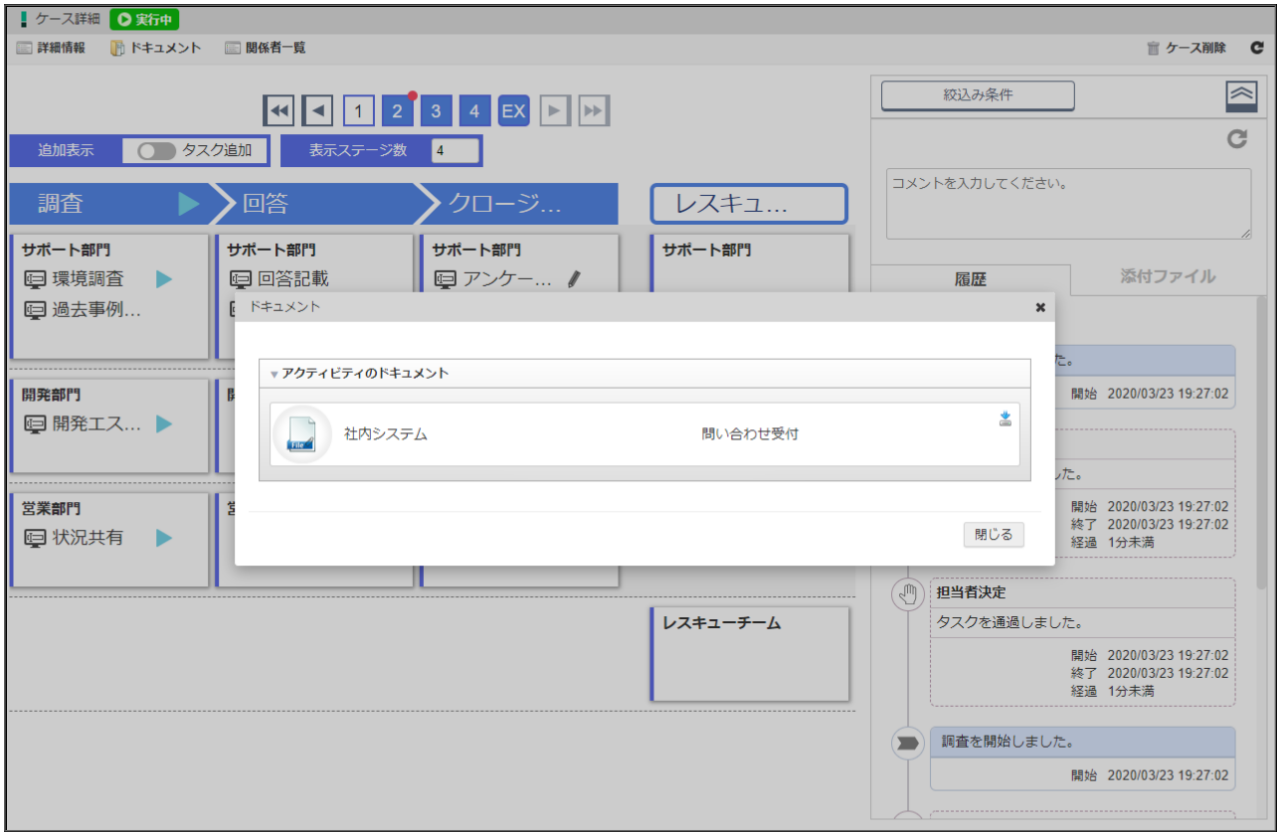
図：ケース詳細

項目名	説明
詳細情報	詳細情報を表示します。
ドキュメント	ケース定義および、全アクティビティのドキュメントを表示します。
関係者一覧	ケースインスタンスに関係しているユーザ、グループを確認します。 詳細は「*関係者/関係グループ一覧*」を参照してください。
ケース削除	ケースインスタンスを削除します。 詳細は「*プロセスインスタンスを削除する*」を参照してください。
タスク追加	オプショナルタスク、および、アドホックタスクを使用している定義は、ここからタスクを追加できます。 タスク追加の仕様の詳細は「*ケースインスタンスにタスクを追加する*」を参照してください。
ページング	表示するステージを切り替えます。 ◀ ▶ を押下することでページを移動できます。 ◀◀ ▶▶ を押下することで、ページの先頭・末尾に移動できます。 ステージが実行中の場合、 1 というように「赤い丸」が表示されます。
表示ステージ数	表示するステージ数を設定します。最大は8です。
ステージ図	ステージを押下すると、ステージ図が表示されます。
タイムライン	ケースインスタンスの履歴を時系列で表示します。 詳細は「*タイムライン*」を参照してください。



図：詳細情報

項目名	説明
変数一覧ボタン	変数一覧画面を開きます。
ケース定義ID	ケース定義IDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
ケース定義名	ケース定義名が表示されます。
ケース定義キー	ケース定義キーが表示されます。
バージョン	バージョンが表示されます。
カテゴリ	カテゴリが表示されます。
業務キー	業務キーが表示されます。
ケースインスタンスID	ケースインスタンスIDが表示されます。システムで払い出されたIDです。
開始ユーザ	ケースを開始したユーザが表示されます。
開始日時～完了日時	開始日時～完了日時が表示されます。
ステータス	ステータスが表示されます。 実行中、障害中、完了

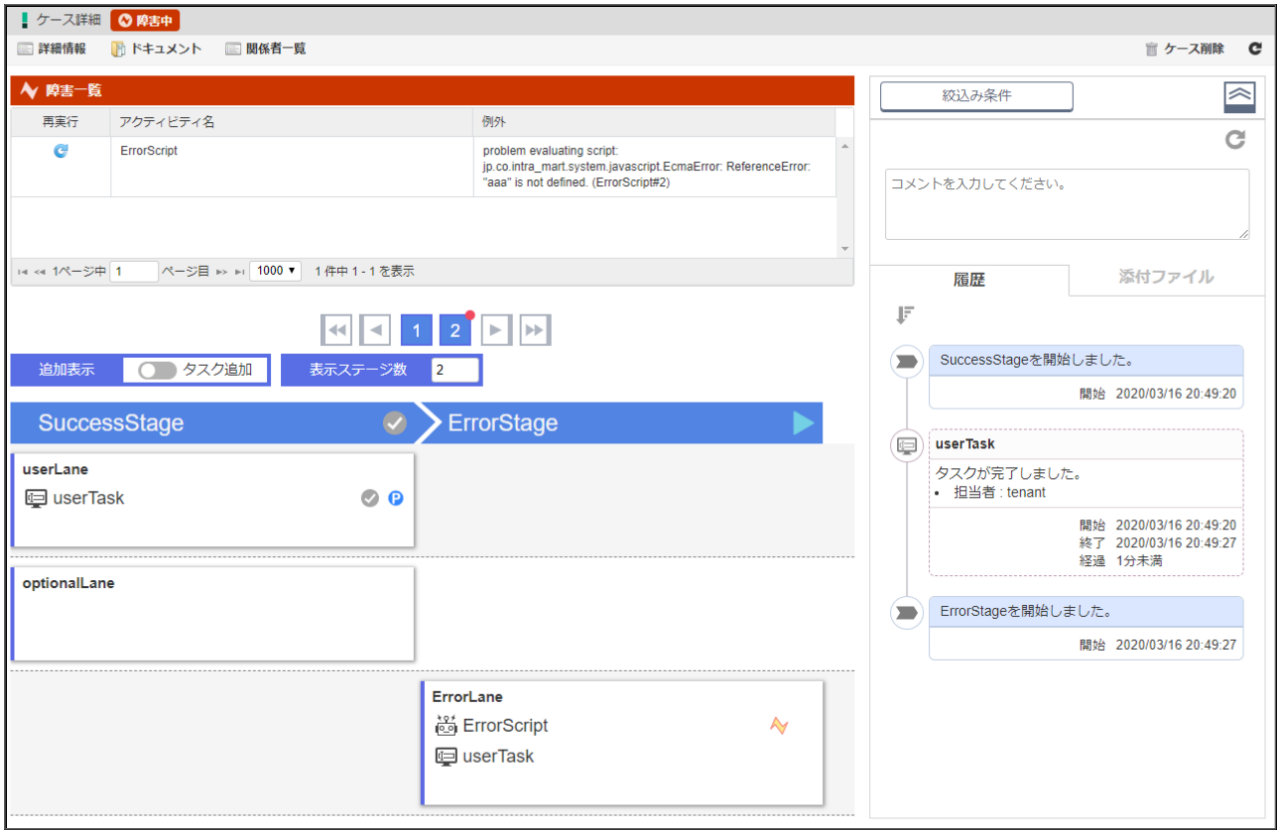


図：ドキュメント

> **コラム**
>
> ドキュメントの設定については、「IM-BPM プロセスデザイナ 操作ガイド」 - 「関連ドキュメント」を参照してください。

障害中のサービスを再実行する

ケースインスタンスに障害中のサービスが存在する場合、「ケース詳細」画面に障害中の一覧が表示されます。
この一覧で を押下すると、障害中のサービスを再実行できます。
再実行して障害が発生しなかった場合、次のアクティビティに遷移します。



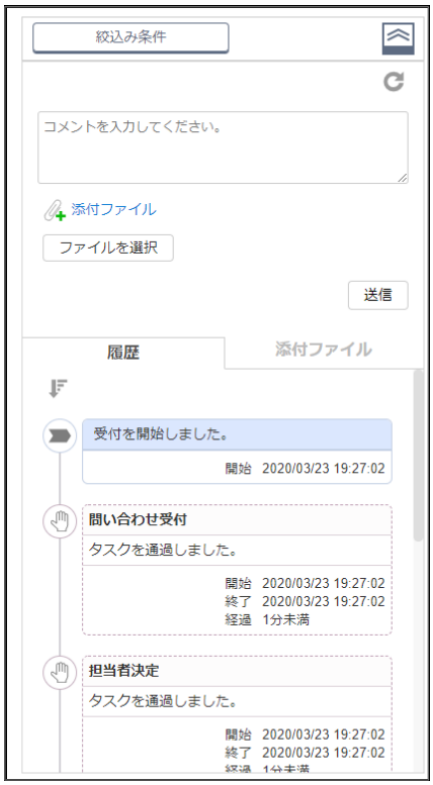
図：ケース詳細

項目名	説明
再実行	を押下すると、再実行されます。
アクティビティ名	アクティビティ名が表示されます。
例外	例外内容が表示されます。

> **コラム**
> 再実行時に再度障害が発生した場合は、発生原因を解消後、もう一度再実行してください。

タイムライン

ケースインスタンスの履歴を時系列で確認できます。



図：ケース詳細 - タイムライン

項目名	説明
絞込み条件	表示する履歴を絞込みます。 ▪ コメント ユーザが追加したコメントです。 ▪ ステージ ステージの履歴です。 ▪ タスク タスクの履歴です。 ▪ タスク以外のアクティビティ タスク以外のアクティビティです。初期状態では無効です。
タイムライン表示、非表示	を押下すると、タイムラインの表示、非表示が切り替わります。
コメント	コメントを入力します。 必要に応じてファイルを添付することも可能です。 送信ボタンをクリックすることでコメントが登録され、履歴タブにてケースインスタンスの関係者が閲覧できます。
履歴タブ	このケースインスタンスの履歴情報を、絞り込み条件に応じて表示します。

項目名	説明
添付ファイルタブ	コメントに添付されたファイルを表示します。
ソート	を押下すると、履歴の時系列順序を変更できます。

コラム

ケースの開始時やユーザタスク等の履歴からは、処理時の入力フォームの履歴を参照できます。
その他、ワークフローの履歴の参照などもできます。
詳細は「*処理の履歴を確認する*」を参照してください。

タスク

ここでは IM-BPM管理者によるタスクに関する機能を紹介します。

タスクを管理する

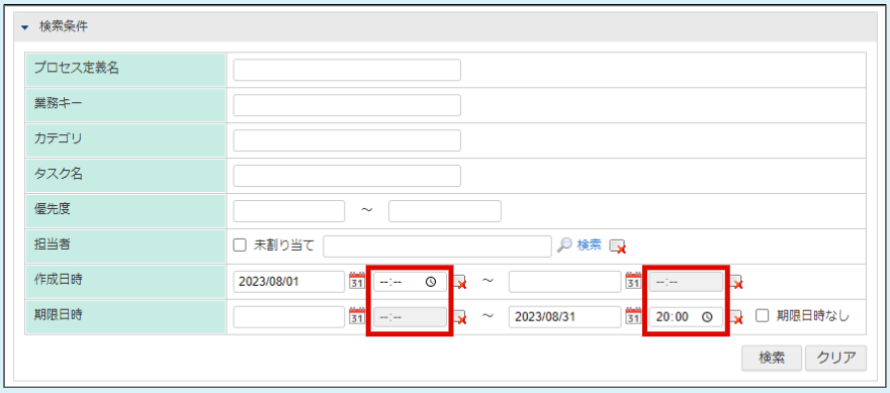
プロセス定義の権限やタスクの権限に関わらず操作できる機能です。

項目

- タスクの一覧を確認する
- 表示項目を変更する
- 担当者を全ユーザから割り振る
- 担当者を処理対象のユーザから割り振る

コラム

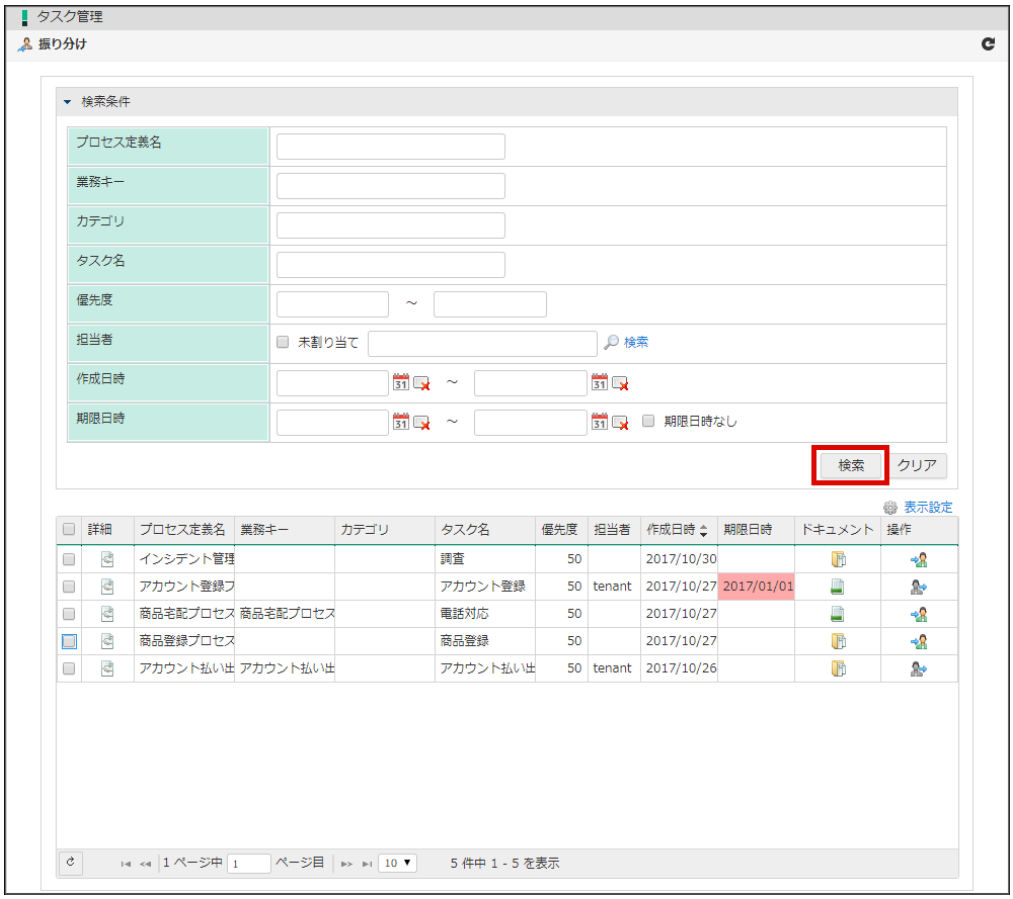
IM-BPM for Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) より日時検索条件に時刻入力欄が利用できます。
時刻入力時、FROM入力日時 0秒から、TO入力日時 59.999秒までを検索します。
時刻省略時、FROM入力日 0時0分0秒から、TO入力日 23時59分59.999秒までを検索します。



タスクの一覧を確認する

タスクの一覧を確認します。
現在未完了のタスクが一覧の対象です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク管理」を押下します。
2. タスクを検索します。



図：タスク管理

項目名	説明	検索条件
詳細	を押下すると、 プロセス定義の場合、プロセス詳細画面が開きます。 ケース定義の場合、ケース詳細画面を開きます。 プロセス定義の場合の詳細は「*プロセスインスタンス詳細*」を参照してください。 ケース定義の場合の詳細は「*ケースインスタンス詳細*」を参照してください。	-
プロセス定義名	プロセス定義名が表示されます。	部分一致
業務キー	業務キーが表示されます。	部分一致
カテゴリ	カテゴリが表示されます。	完全一致
タスク名	タスク名が表示されます。	部分一致
優先度	優先度が表示されます。	範囲
担当者	担当者名が表示されます。	未割り当てが選択されている場合、未割り当てのタスクのみ検索します。 未割り当てが選択されている場合、担当の設定は反映されません。 完全一致
作成日時	ユーザタスクの作成日時が表示されます。	範囲
期限日時	ユーザタスクの期限日時が表示されます。 期限日時を超過している場合、期限日時が装飾されて表示されます。	期限日時なしが選択されている場合、期限日時が設定されていないタスクのみ検索します。 期限日時なしが選択されている場合、期限日時の設定は反映されません。 範囲
ドキュメント	プロセス定義および、ユーザタスクのドキュメントが表示されます。	-

項目名	説明	検索条件
操作	各タスクの状況により、動作が異なります。 ：担当を自分にする ：担当を外す	-

表示項目を変更する

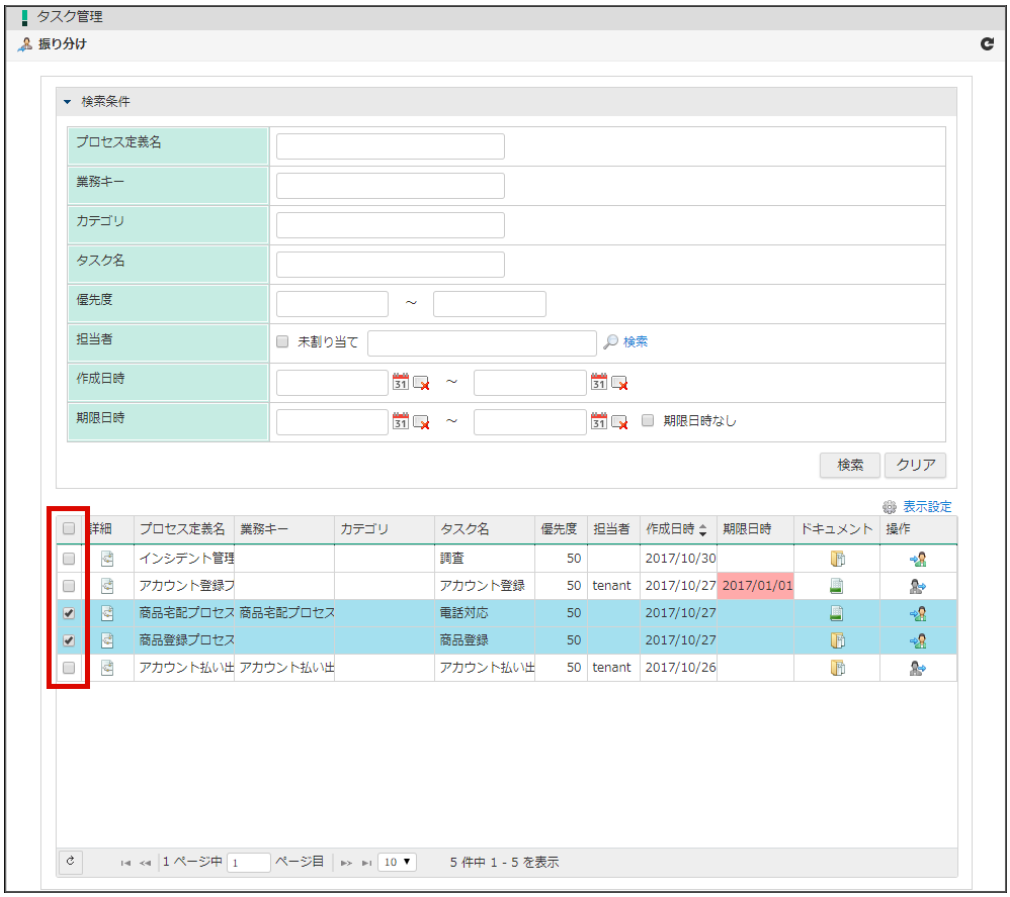
タスクの一覧の表示項目を変更します。

> **コラム**
> 設定方法の詳細は「*グループタスクを操作する*」の「*表示項目を変更する*」を参照してください。

担当者を全ユーザから割り振る

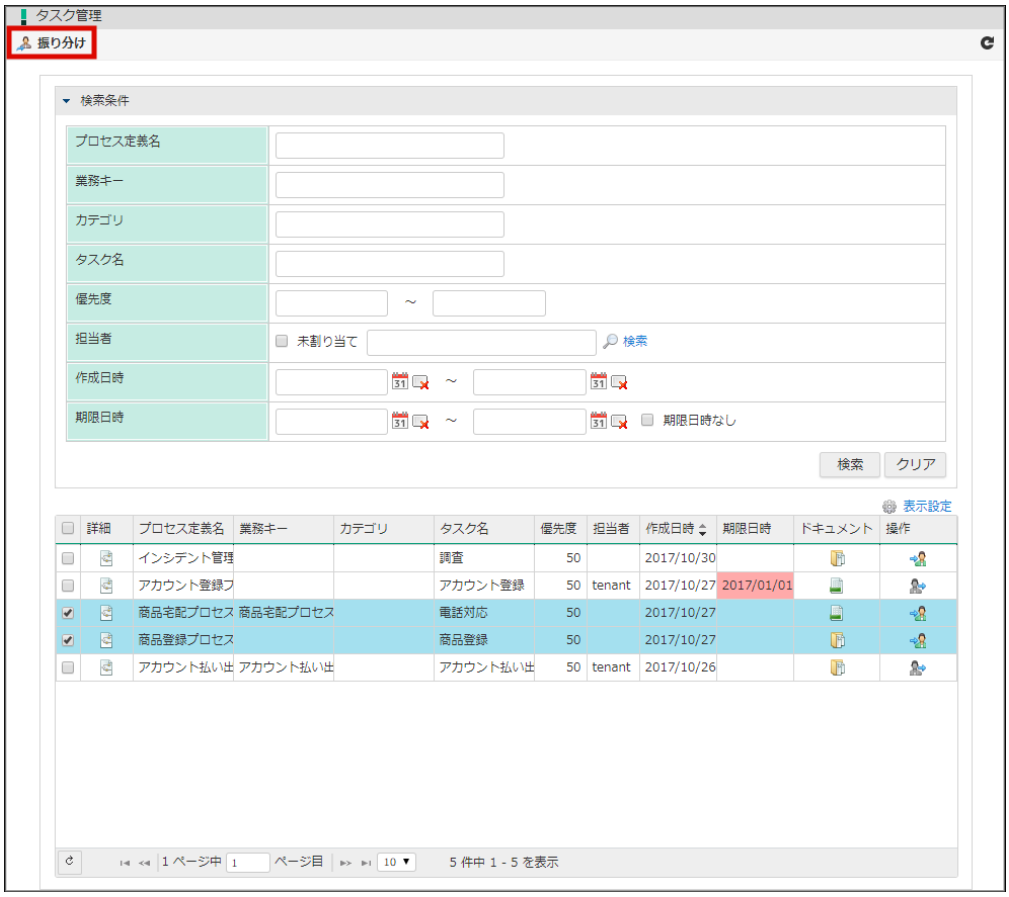
グループタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。
ここでは、全ユーザから担当を割り振る方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク管理」を押下します。
2. 担当にしたいグループタスクを検索します。
3. 担当にしたいグループタスクを選択します。複数選択可能です。個人タスクを選択している場合、「振り分け」の押下時にエラーが発生します。



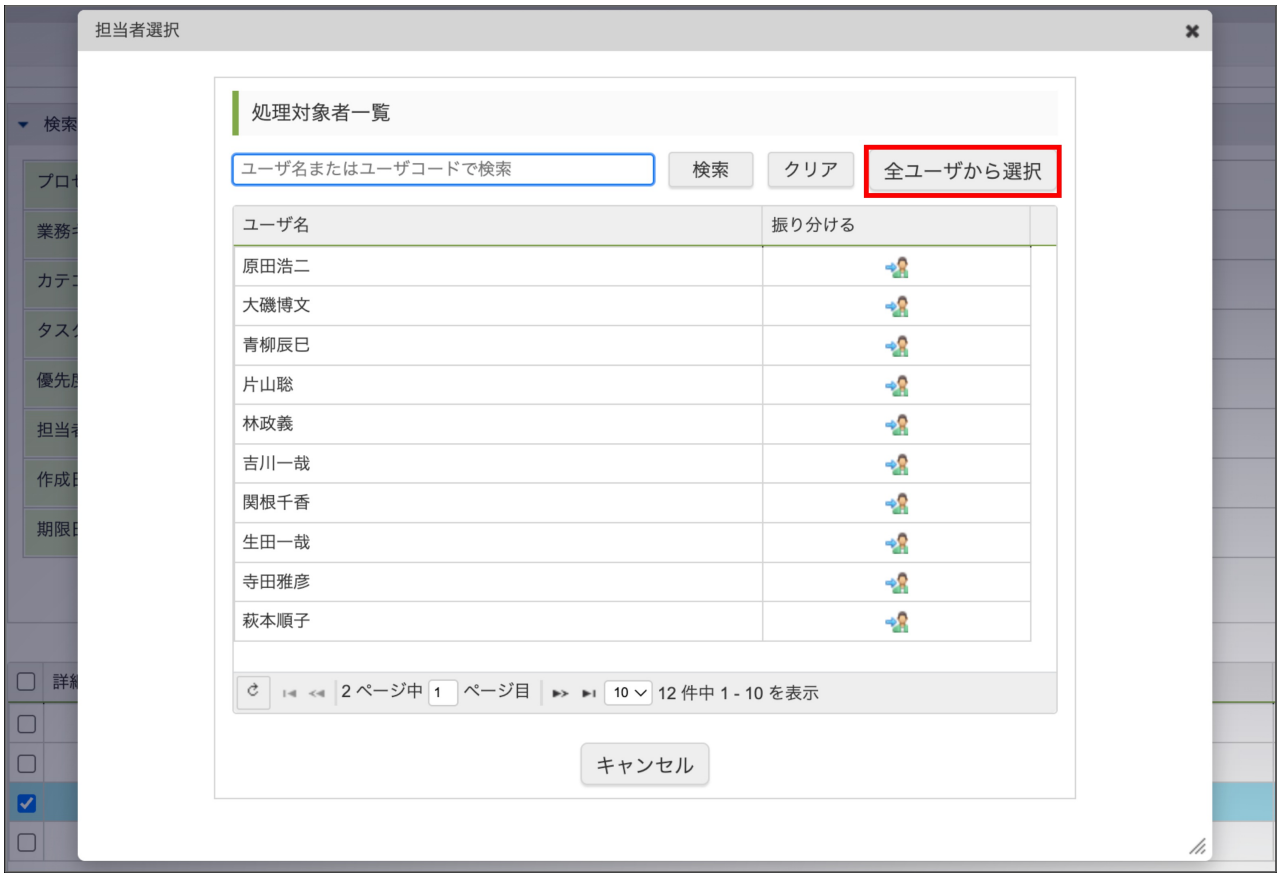
図：タスク管理

4. 「振り分け」を押下します。



図：タスク管理

5. 「全ユーザから選択」を押下します。



図：担当者選択

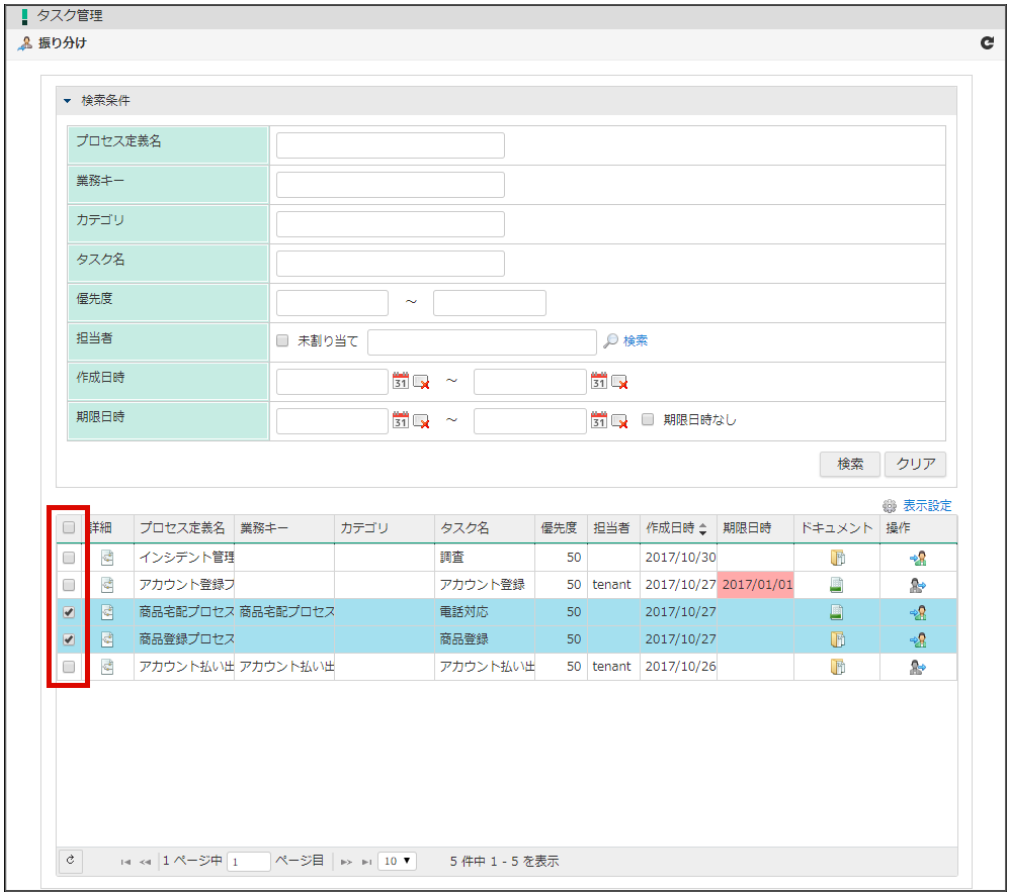
6. ユーザを検索して、決定を押下します。

図：ユーザ検索

担当者を処理対象のユーザから割り振る

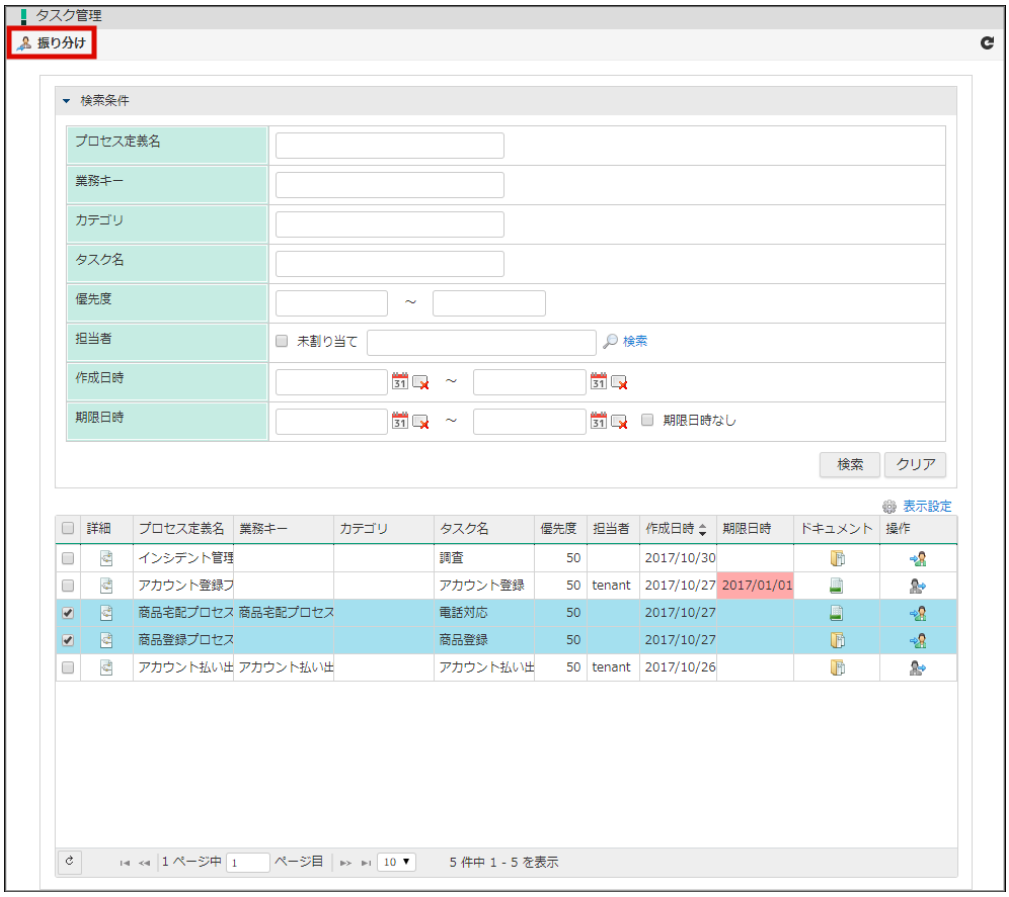
グループタスクに分類されているユーザタスクの担当にユーザを指定します。
ここでは、処理対象のユーザから担当を割り振る方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「タスク管理」を押下します。
2. 担当にしたいグループタスクを検索します。
3. 担当にしたいグループタスクを選択します。複数選択可能です。個人タスクを選択している場合、「振り分け」の押下時にエラーが発生します。



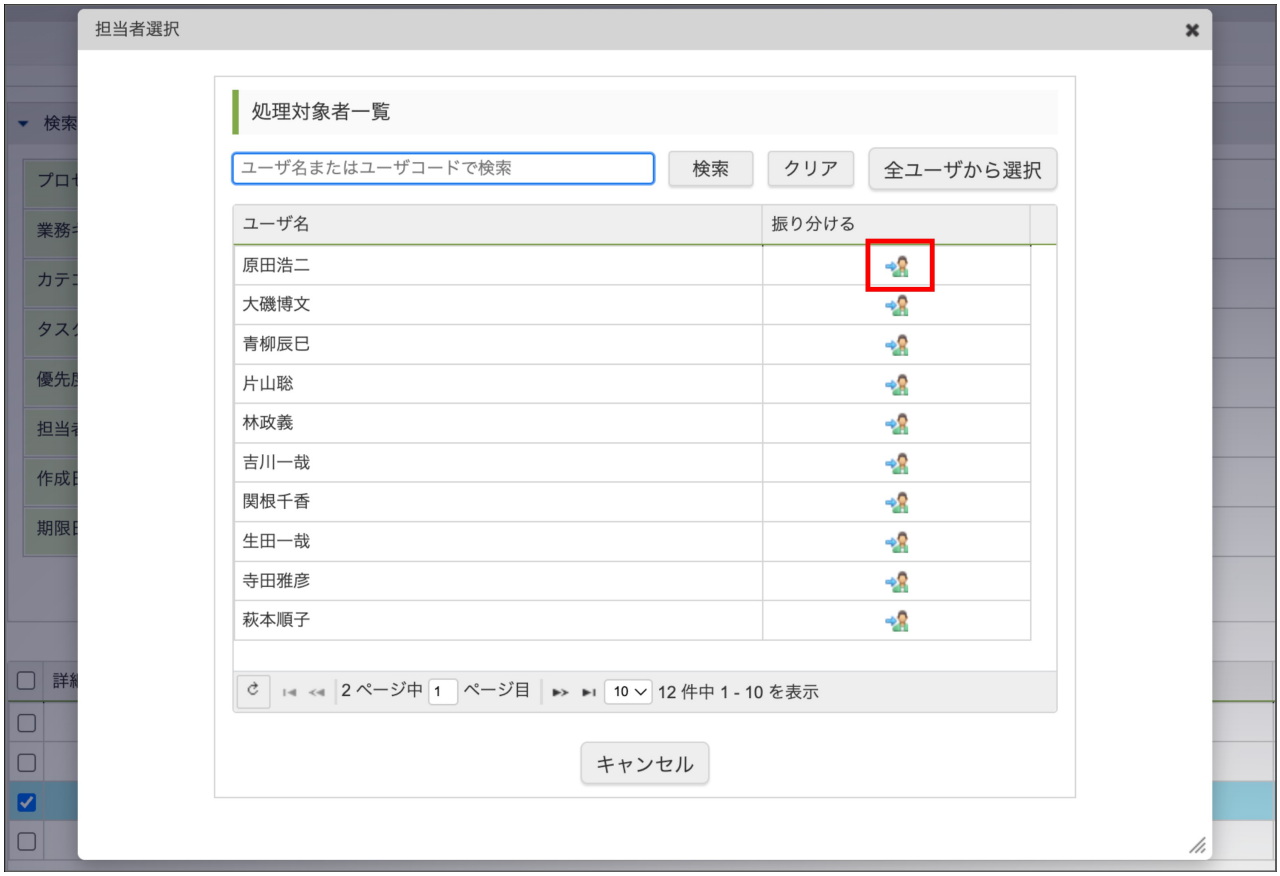
図：タスク管理

4. 「振り分け」を押下します。



図：タスク管理

5. 担当者にしたいユーザの を押下します。



図：担当者選択

> **コラム**
> 担当者選択ダイアログにはIM-BPMのタスク処理権限を持つ、選択したタスクに共通な処理対象のユーザが表示されます。

BAM

ここでは IM-BPM for Accel Platform のBAMの機能を紹介します。

全体管理画面

全体の状況を管理する画面です。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「全体管理」を押下します。

図：全体管理画面

- タスク

項目名	説明
ユーザタスク数	ユーザタスク数が表示されます。
割当済ユーザタスク数	割当済のユーザタスク数が表示されます。
未割当ユーザタスク数	未割当のユーザタスク数が表示されます。
障害中の実行数	障害中の実行数が表示されます。
集約待ち実行数	集約待ち実行数が表示されます。
タイマー待ち実行数	タイマー待ち実行数が表示されます。
シグナル待ち実行数	シグナル待ち実行数が表示されます。
メッセージ待ち実行数	メッセージ待ち実行数が表示されます。
Workflowタスク数	Workflowタスク数が表示されます。

- プロセス

項目名	説明
プロセス数	プロセスインスタンス数が表示されます。
障害中のプロセス数	障害中のプロセスインスタンス数が表示されます。
プロセス定義毎のプロセス数	プロセス定義毎のプロセス定義名とプロセスインスタンス数が表示されます。

- プロセス定義

項目名	説明
プロセス定義数	プロセス定義数が表示されます。
カテゴリ毎のプロセス定義数	カテゴリ毎のプロセス定義数カテゴリとプロセス定義数が表示されます。

- 期間別・開始完了数

項目名	説明
開始されたプロセス数	開始されたプロセスインスタンス数が、本日・１週間・１ヶ月の期間別で表示されます。
完了されたプロセス数	完了されたプロセスインスタンス数が、本日・１週間・１ヶ月の期間別で表示されます。
開始されたユーザタスク数	開始されたユーザタスク数が、本日・１週間・１ヶ月の期間別で表示されます。
完了されたユーザタスク数	完了されたユーザタスク数が、本日・１週間・１ヶ月の期間別で表示されます。

- 期間別・平均経過時間（週）

項目名	説明
１週間で完了されたプロセス定義毎のプロセスの平均経過時間	１週間で完了されたプロセスインスタンスのプロセス定義と経過時間（平均）とプロセスインスタンス数が表示されます。

- 期間別・平均経過時間（月）

項目名	説明
１ヶ月で完了されたプロセス定義毎のプロセスの平均経過時間	１ヶ月で完了されたプロセスインスタンスのプロセス定義と経過時間（平均）とプロセスインスタンス数が表示されます。

Elasticsearch、Kibana連携

連携の方法については、「IM-BPM 仕様書」 - 「Elasticsearch連携機能」を参照してください。

プロセスモニタ

ここでは IM-BPM for Accel Platform のプロセスモニタの機能を紹介します。

利用するための前提

「プロセスモニタ画面」を使用するために事前に実施する必要のある項目は
「差配管理画面」と同様であるため「差配管理」-「*利用するための前提*」を参照してください。

制限事項

アドホックタスク

- プロセスモニタ画面のアクティビティ選択モーダルで表示されるプロセス図ではアドホックタスクは表示されません。

ケース定義

- ケース定義ではプロセス管理ユーザ・グループを指定できないため
  ケース定義で作成したプロセス定義は表示されません。

デスクトップ版プロセスデザイナ

- デスクトップ版プロセスデザイナではプロセス管理ユーザ・グループの設定欄がありません。
  Web版プロセスデザイナに取込み後にプロセス管理ユーザ・グループの設定を行ってください。

iPad(Mobile Safari)ではプロセスモニタ画面を利用できません。

- iPad(Mobile Safari)ではプロセスモニタ画面を利用できません。

画面構成とイベント

ユーザタスクの滞留状況、平均処理時間を日付ごとにグラフ表示し確認する画面です。

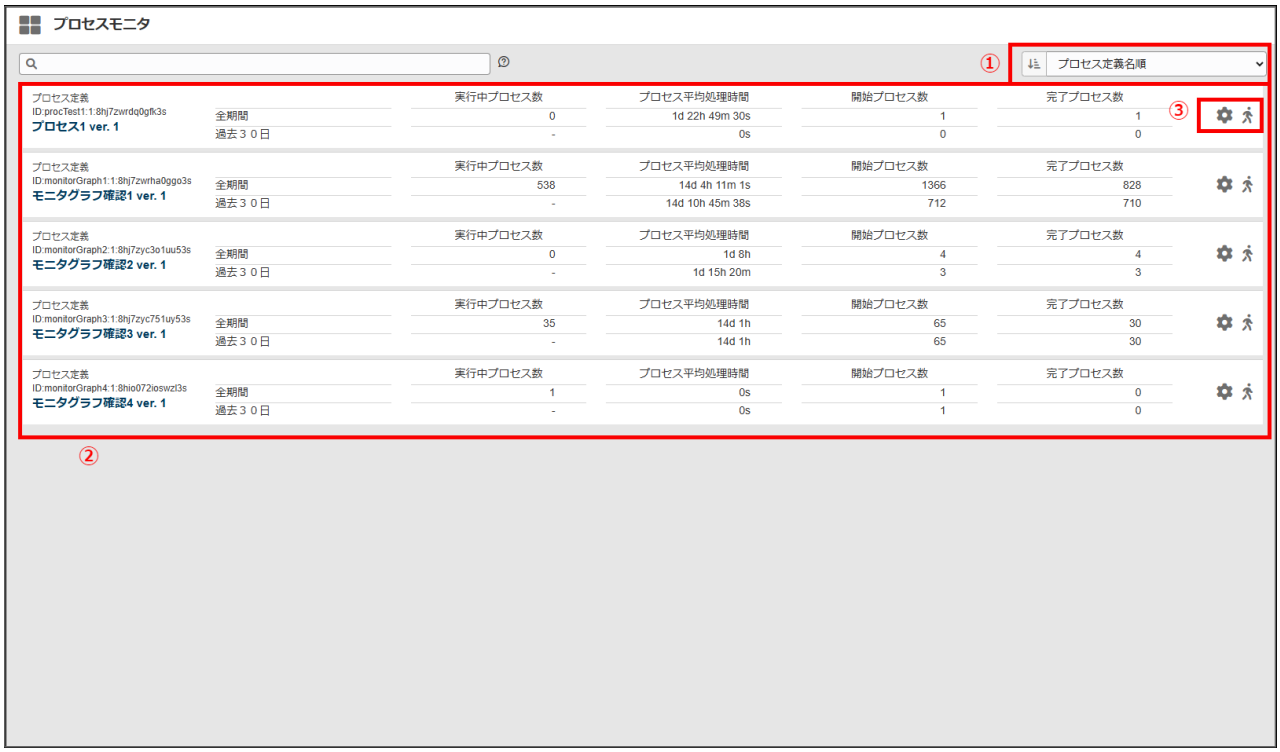
項目

- プロセスモニタの一覧画面を表示する
- プロセスモニタのモニタリング画面を表示する
- プロセスにKPIを設定する
- 差配管理画面を表示する
- 担当者選択モーダルを表示する
- グラフデータをCSV出力する

プロセスモニタの一覧画面を表示する

「サイトマップ」→「BPM」→「プロセスモニタ」を押下します。

> **コラム**
>
> プロセスモニタの一覧画面はデプロイ済のプロセスのうち、ログインユーザがプロセス管理ユーザ・グループとして設定されているプロセスが表示されます。
> なお、コールアクティビティを利用して階層化しているプロセスは、他プロセスのコールアクティビティからは呼び出されない最上位階層のプロセスのみ表示します。
> 表示対象のプロセスに複数バージョンがある場合、バージョン毎の明細行を表示します。



図：プロセスモニタ画面-一覧

1. 画面のヘッダエリア

項目名	説明
検索	検索エリアに入力したキーワードでプロセス定義名を検索し一致したプロセスのみ表示します。
ソート	プルダウンリストを選択することにより選択項目でソートができます。 矢印アイコンを押下することで昇順、降順を切替えることができます。

2. 画面の一覧エリア

項目名	説明
プロセス定義	「プロセス定義ID」と「プロセス定義名にバージョン番号が結合された文字列」が表示されます。 リンクを押下することで該当するプロセス定義情報でモニタリング画面が表示されます。
実行中プロセス数	開始済のプロセスで終了イベントに到達していないプロセス数です。

項目名	説明
プロセス平均処理時間（全期間）	全ての期間で終了イベントに到達したプロセスの平均処理時間です。 平均処理時間が1秒未満の場合は1sを表示します。 完了プロセスがなく、平均処理時間が取得できない場合は0sを表示します。
プロセス平均処理時間（過去３０日）	システム日付から過去３０日の間に終了イベントに到達したプロセスの平均処理時間です。 平均処理時間が1秒未満の場合は1sを表示します。 完了プロセスがなく、平均処理時間が取得できない場合は0sを表示します。
開始プロセス数（全期間）	全ての期間で開始したプロセス数です。
開始プロセス数（過去３０日）	システム日付から過去３０日の間に開始したプロセス数です。
完了プロセス数（全期間）	全ての期間で終了イベントに到達したプロセス数です。
完了プロセス数（過去３０日）	システム日付から過去３０日の間に終了イベントに到達したプロセス数です。

3. アイコン

項目名	説明
KPI設定アイコン	KPI設定モーダルが表示されます。 詳細は「*プロセスにKPIを設定する*」を参照してください。
差配管理アイコン	差配管理画面が別タブで表示されます。 詳細は「*差配管理画面を表示する*」を参照してください。

プロセスモニタのモニタリング画面を表示する

「一覧画面」でモニタリングしたいプロセス定義名を押下しモニタリング画面を表示します。

図：プロセスモニタ画面-モニタリング

1. 画面のヘッダエリア
   - 画面項目とイベント

項目名	説明
選択中プロセス定義	「一覧画面」で選択したプロセス定義の情報が表示されます。
実行中プロセス数	「一覧画面」で選択したプロセス定義の実行中プロセス数が表示されます。
KPI設定アイコン	KPI設定モーダルが表示されます。 詳細は「*プロセスにKPIを設定する*」を参照してください。
差配管理アイコン	差配管理画面が別タブで表示されます。 詳細は「*差配管理画面を表示する*」を参照してください。

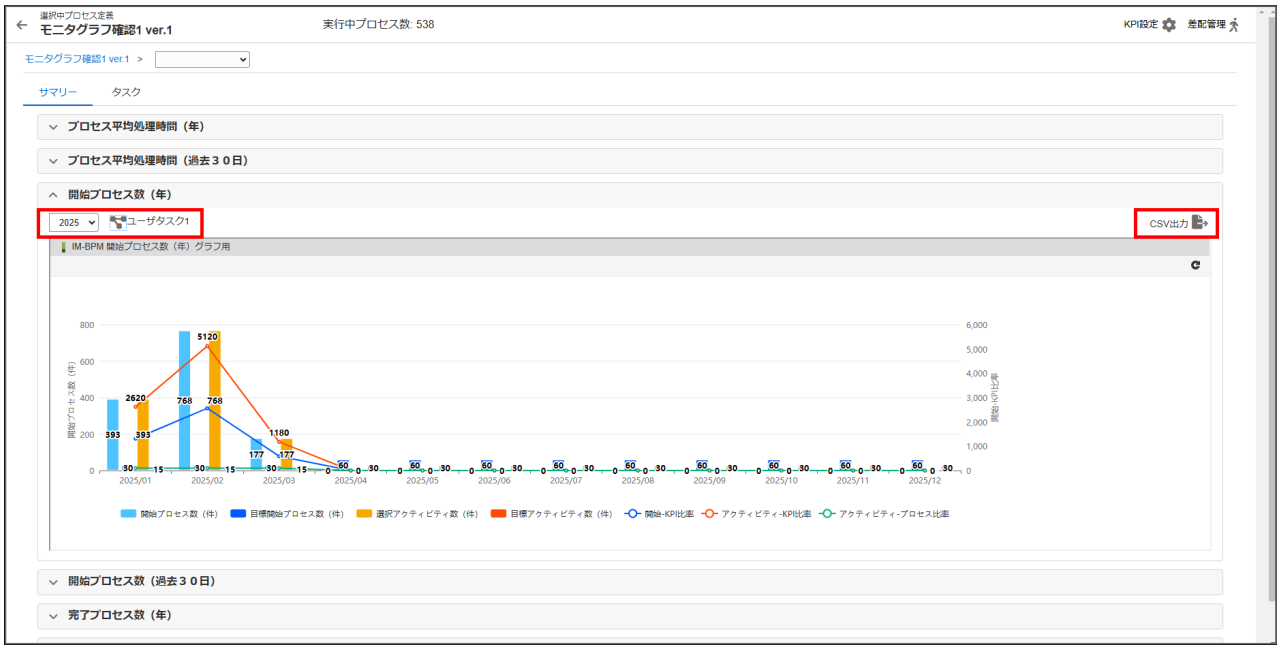
項目名	説明
パンくずリスト	選択中プロセス定義にサブプロセスが存在する場合にプルダウンリストで表示されます。 プルダウンリストを選択することで選択したプロセス定義情報でモニタリング画面が再表示されます。 リンクを押下することでリンクのプロセス定義情報でモニタリング画面が再表示されます。

2. サマリータブ
   - グラフの種類

項目名	説明
プロセス平均処理時間（年）	年プルダウンリストで選択した年のプロセス平均処理時間を月ごとにグラフで表示します。
プロセス平均処理時間（過去３０日）	ログインユーザのタイムゾーンの現在日時を基準に過去３０日のプロセス平均処理時間を日ごとにグラフで表示します。
開始プロセス数（年）	年プルダウンリストで選択した年の開始プロセス数を月ごとにグラフで表示します。
開始プロセス数（過去３０日）	ログインユーザのタイムゾーンの現在日時を基準に過去３０日の開始プロセス数を日ごとにグラフで表示します。
完了プロセス数（年）	年プルダウンリストで選択した年の完了プロセス数を月ごとにグラフで表示します。
プロセス平均処理時間（過去３０日）	ログインユーザのタイムゾーンの現在日時を基準に過去３０日の完了プロセス数を日ごとにグラフで表示します。

> **コラム**
>
> プロセスモニターグラフについての詳細は「IM-BPM 仕様書」 - 「プロセスモニターグラフ」を参照してください。

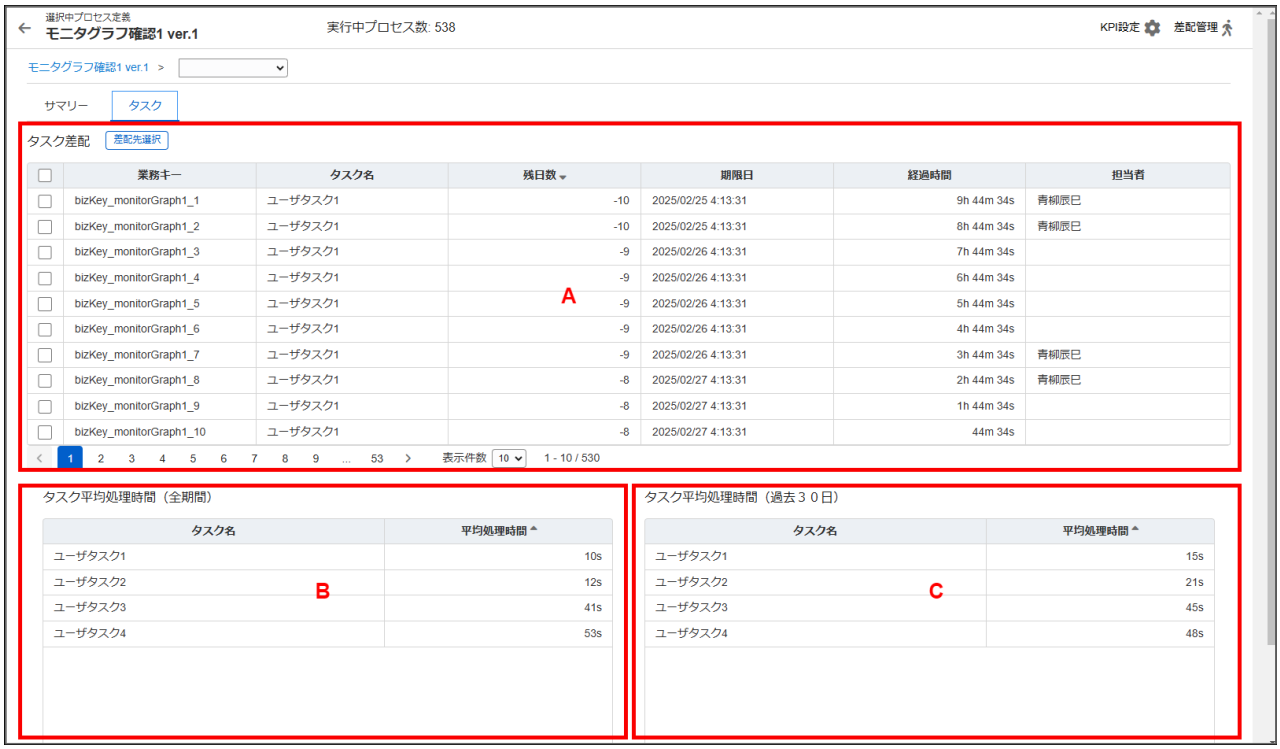
   - イベント



図：プロセスモニタ画面-モニタリング-イベント

イベント名	説明
年選択プルダウンリスト	初期選択はログインユーザのタイムゾーンにおける「年」です。 プルダウンリストの表示範囲は初期選択を上限とし選択した「年」を含む前後11年分選択可能です。
アクティビティ選択アイコン	アクティビティ選択モーダルが表示されます。 選択中のプロセス定義からグラフ表示するアクティビティを選択できます。
CSV出力アイコン	選択中のプロセス定義のグラフデータをCSV出力できます。

3. タスクタブ



図：プロセスモニタ画面-モニタリング-タスクタブ

- 画面項目

項目名	説明
A.タスク差配	選択中プロセス定義の実行中タスクの情報が表示されます。
B.タスク平均処理時間（全期間）	選択中プロセス定義に含まれるタスクの平均処理時間が表示されます。 集計対象の期間は全期間です。 平均処理時間が1秒未満の場合は1sを表示します。 完了プロセスがなく、平均処理時間が取得できない場合は0sを表示します。
C.タスク平均処理時間（過去３０日）	選択中プロセス定義に含まれるタスクの平均処理時間が表示されます。 集計対象の期間は過去３０日です。 平均処理時間が1秒未満の場合は1sを表示します。 完了プロセスがなく、平均処理時間が取得できない場合は0sを表示します。

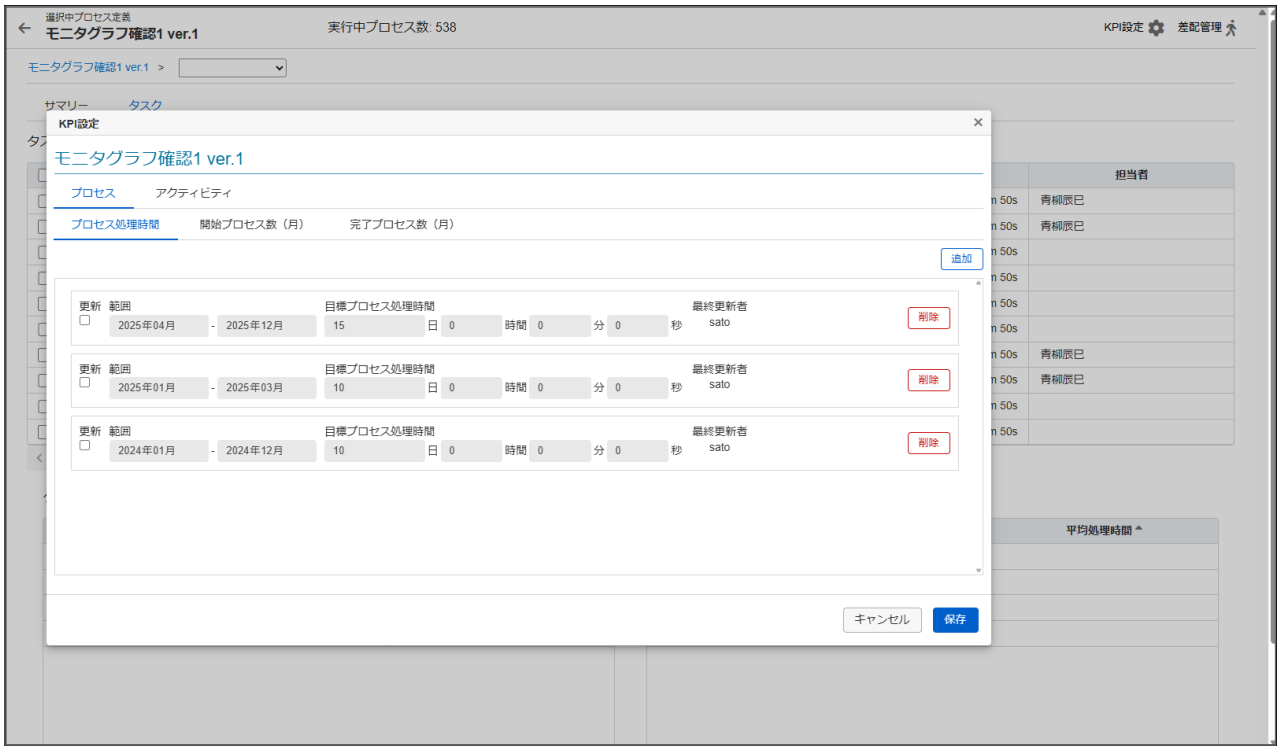
- イベント

イベント名	説明
差配先選択ボタン	差配対象のタスクのチェックボックスをオンにし差配先選択ボタンを押下することで新たに担当者を差配できます。 差配対象のタスクは複数選択が可能です。

プロセスにKPIを設定する

KPI設定アイコンを押下することでKPI設定モーダルが表示されます。
KPI設定モーダルではプロセス定義IDごとに以下の項目のKPIを設定できます。

- プロセスタブ

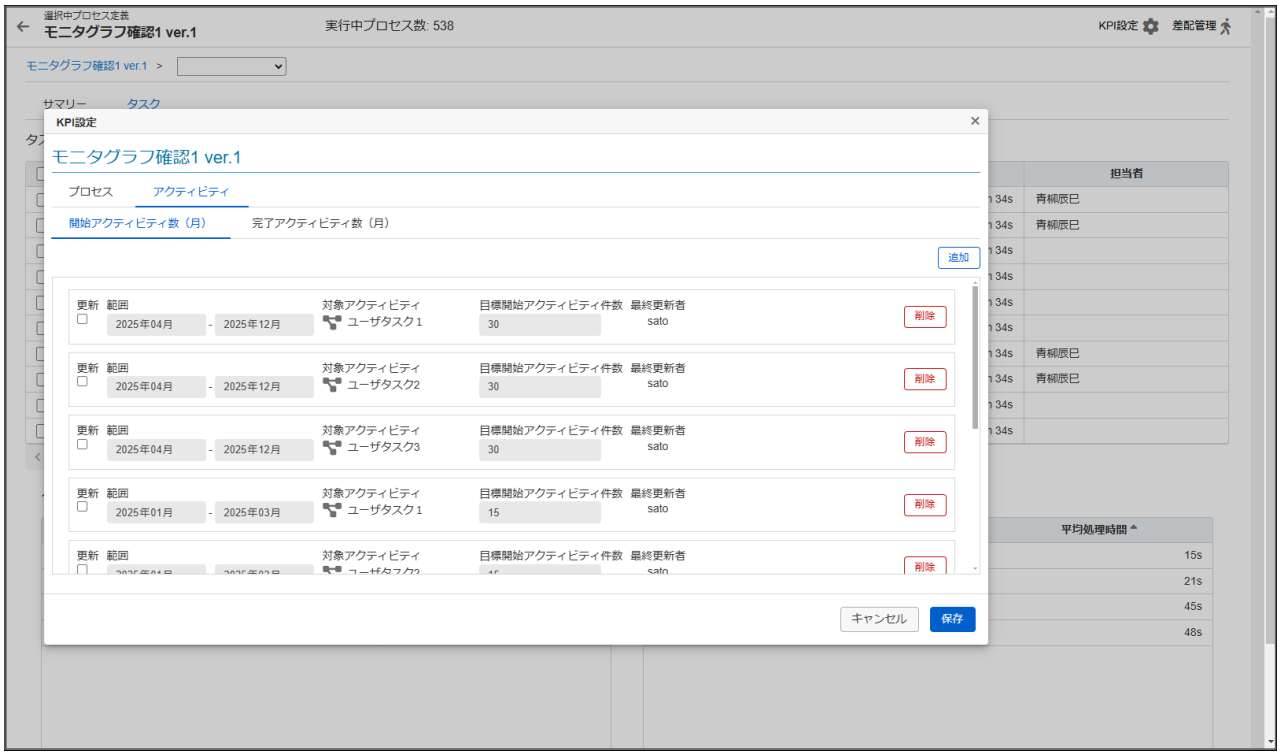


図：KPI設定モーダル-プロセス

タブ	説明
プロセス処理時間タブ	プロセスのKPIを設定します。 設定したKPI値（目標プロセス平均処理時間）は「プロセス平均処理時間（年）」グラフ、「プロセス平均処理時間（過去30日）」グラフに表示されます。
開始プロセス数タブ	プロセスのKPIを設定します。 設定したKPI値（目標開始プロセス件数）は「開始プロセス数（年）」グラフ「開始プロセス数（過去30日）」グラフに表示されます。
完了プロセス数タブ	プロセスのKPIを設定します。 設定したKPI値（目標完了プロセス件数）は「完了プロセス数（年）」グラフ、「完了プロセス数（過去30日）」グラフに表示されます。

項目名	説明
追加ボタン	新規でKPIの設定を追加できます。
更新チェックボックス	チェックを入れることで既存のKPIに対して設定値を編集できます。
範囲	KPIを反映する期間を開始・終了年月で設定します。
目標プロセス処理時間	プロセス処理時間タブを選択した時のみ表示されるKPIの設定です。 日・時・分・秒で設定します。
目標開始プロセス件数	開始プロセス数タブを選択した時のみ表示されるKPIの設定です。 目標とする開始プロセス件数を入力します。
目標完了プロセス件数	完了プロセス数タブを選択した時のみ表示されるKPIの設定です。 目標とする完了プロセス件数を入力します。
最終更新者	KPI設定モーダルで編集した最終更新者です。
削除ボタン	KPI設定を削除できます。

- アクティビティタブ



図：KPI設定モーダル-アクティビティ

タブ	説明
開始アクティビティ数タブ	選択したアクティビティのKPIを設定します。 設定したKPI値（目標開始アクティビティ件数）は「開始プロセス数（年）」グラフ「開始プロセス数（過去30日）」グラフに表示されます。
完了アクティビティ数タブ	選択したアクティビティのKPIを設定します。 設定したKPI値（目標完了アクティビティ件数）は「完了プロセス数（年）」グラフ、「完了プロセス数（過去30日）」グラフに表示されます。

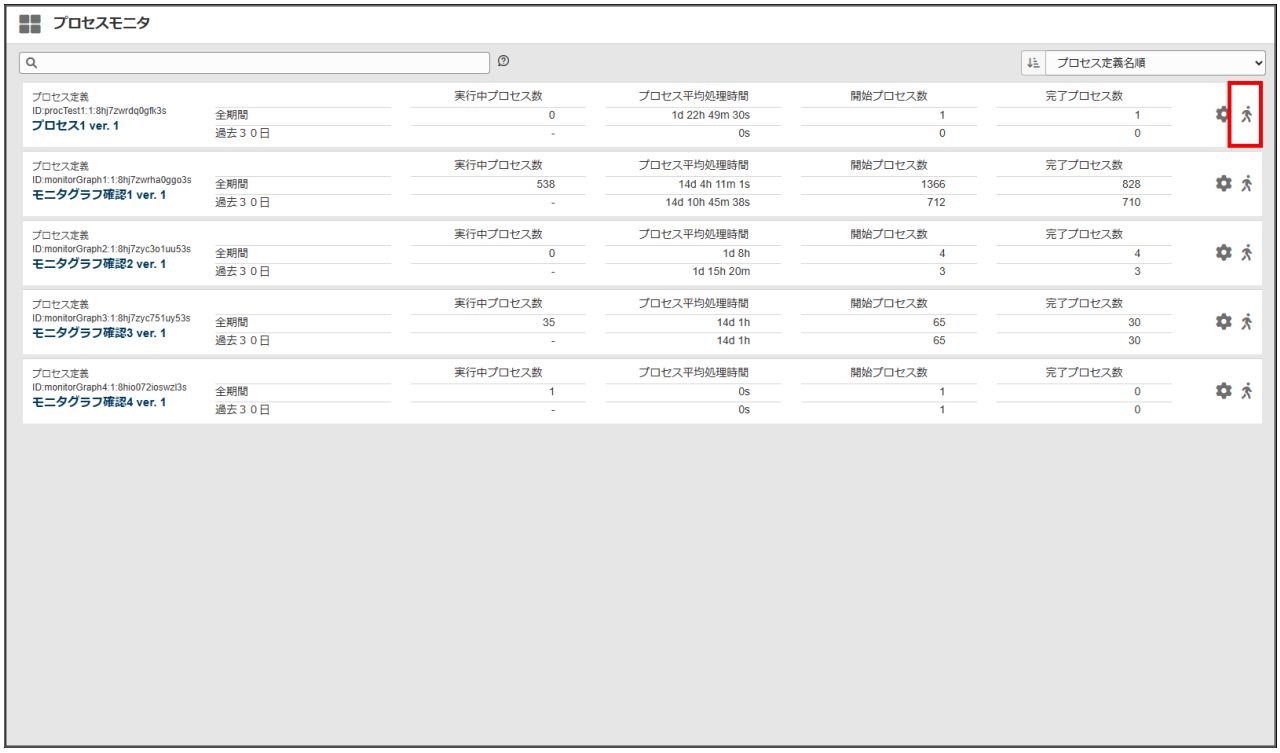
項目名	説明
追加ボタン	新規でKPIの設定を追加できます。
更新チェックボックス	チェックを入れることで既存のKPIに対して設定値を編集できます。
範囲	KPIを反映する期間を開始・終了年月で設定します。
対象アクティビティ	KPIを設定するアクティビティを選択します。 アイコンを押下するとアクティビティ選択モーダルが表示されます。
目標開始アクティビティ件数	開始アクティビティ数タブを選択した時のみ表示されるKPIの設定値です。 目標とする開始アクティビティ件数を入力します。
目標完了アクティビティ件数	完了アクティビティ数タブを選択した時のみ表示されるKPIの設定値です。 目標とする完了アクティビティ件数を入力します。
最終更新者	KPI設定モーダルで編集した最終更新者です。
削除ボタン	KPI設定を削除できます。

- フッタエリア

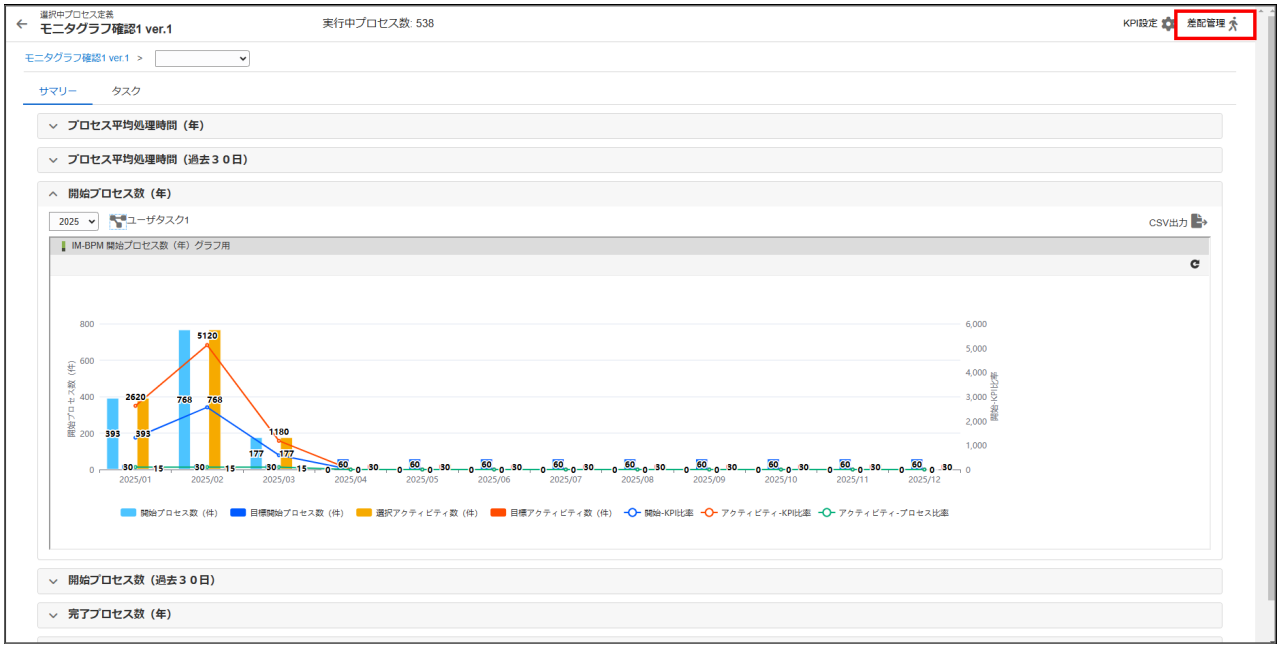
項目名	説明
キャンセルボタン	KPI設定モーダルで編集した内容を破棄しモーダルを閉じます。
保存ボタン	KPI設定モーダルで編集した内容を保存します。 入力に誤りがあると入力チェックエラーとなり、エラーメッセージが表示されます。

差配管理画面を表示する

差配管理アイコンを押下することでブラウザの別タブに「差配管理画面」を表示します。
「差配管理画面」のプロセス図に、「プロセスモニタ画面」で選択したプロセス定義を表示します。



図：プロセスモニタ画面-一覧-差配管理アイコン

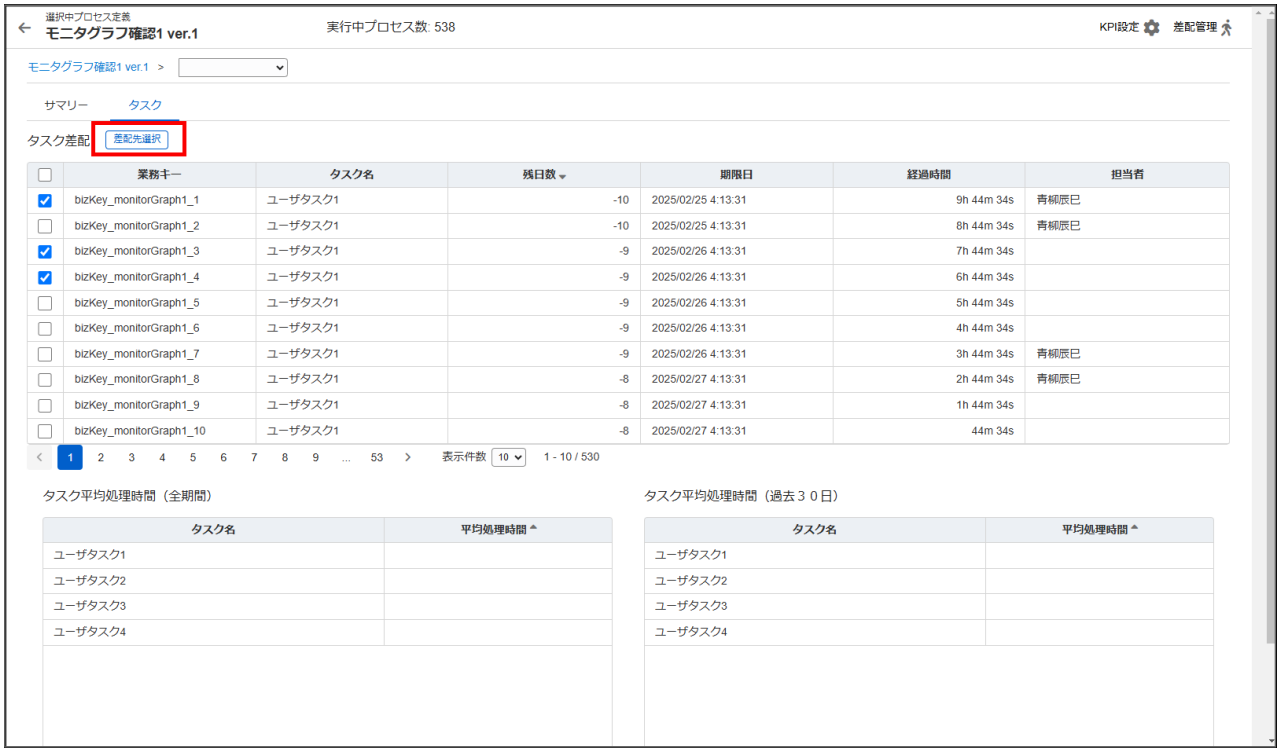


図：プロセスモニタ画面-モニタリング-差配管理アイコン

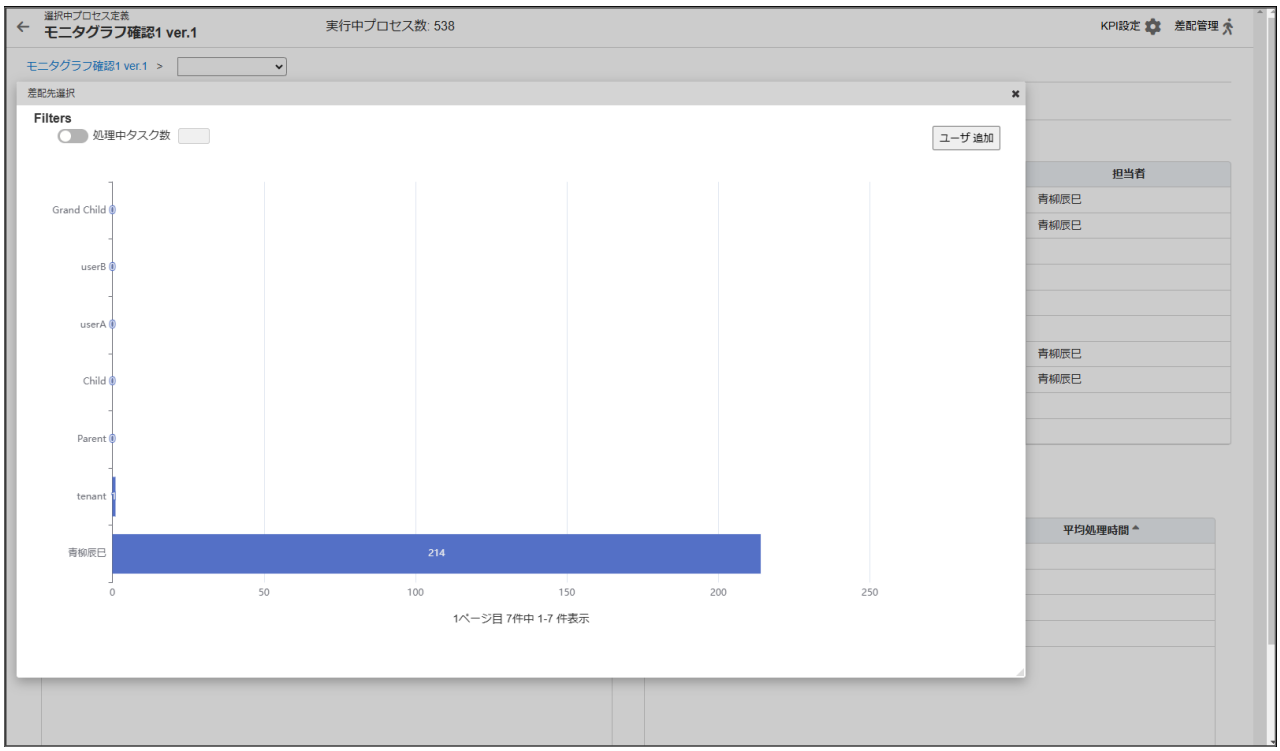
> **コラム**
>
> 差配管理画面の詳細は「*画面構成とイベント*」を参照してください。

担当者選択モーダルを表示する

タスク差配の実行中タスク一覧からタスクを選択し、差配先選択ボタンを押下すると担当者選択モーダルが表示されます。



図：プロセスモニタ画面-差配先選択ボタン



図：プロセスモニタ画面-担当者選択モーダル

> **コラム**
>
> 担当者選択モーダルの詳細は「*差配するタスク担当者を選択する*」を参照してください。

グラフデータをCSV出力する

各グラフのCSV出力ボタンを押下するとグラフデータのCSV出力が可能です。
CSV出力されたデータのカラムは以下を参照してください。

グラフ名	カラム名	説明
プロセス平均処理時間（年） 開始プロセス数（年） 完了プロセス数（年）	month	グラフの横軸に対応する日付のカラムです。

グラフ名	カラム名	説明
プロセス平均処理時間（過去３０日） 開始プロセス数（過去３０日） 完了プロセス数（過去３０日）	day	グラフの横軸に対応する日付のカラムです。
プロセス平均処理時間（年） プロセス平均処理時間（過去３０日）	avg_processing_time	「プロセス平均処理時間」の数値です。
プロセス平均処理時間（年） プロセス平均処理時間（過去３０日）	target_avg_processing_time	「目標プロセス平均処理時間」の数値です。
プロセス平均処理時間（年） プロセス平均処理時間（過去３０日）	avg_kpi_ratio	「平均-KPI比率」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日）	start_counter	「開始プロセス数」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日）	target_start_counter	「目標開始プロセス数」の数値です。
完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	complete_counter	「完了プロセス数」の数値です。
完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	target_complete_counter	「目標完了プロセス数」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日） 完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	activity_counter	「選択アクティビティ数」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日） 完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	target_activity_counter	「目標アクティビティ数」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日）	start_kpi_ratio	「開始-KPI比率」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日）	start_act_ratio	「アクティビティ-KPI比率」の数値です。
完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	comp_kpi_ratio	「完了-KPI比率」の数値です。
完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	comp_act_ratio	「アクティビティ-KPI比率」の数値です。
開始プロセス数（年） 開始プロセス数（過去３０日）	start_proc_ratio	「アクティビティ-プロセス比率」の数値です。
完了プロセス数（年） 完了プロセス数（過去３０日）	comp_proc_ratio	「アクティビティ-プロセス比率」の数値です。

差配管理

ここでは IM-BPM for Accel Platform の差配管理の機能を紹介します。

利用するための前提

差配管理画面を使用するために事前に実施する必要のある項目です。

項目

- 適切なロールを付与する
- プロセス管理ユーザ・グループを設定する
- 評価観点集計ジョブ（日次）

適切なロールを付与する

差配管理機能に必要な認可を付与するために適切なロールを付与します。

テナント環境セットアップ時は「テナント管理者」、「IM-BPM管理者」、「IM-BPMプロセス運用管理者」に認可が付与されています。
要件に合わせて任意のユーザにロールを付与してください。

> **コラム**
>
> 「IM-BPM管理者」や「IM-BPMプロセス運用管理者」の詳細については、「IM-BPM 仕様書」-「ロール」を参照してください。

> **コラム**
>
> ユーザの設定については、「IM-共通マスタ 管理者操作ガイド」-「ユーザ」を参照してください。

プロセス管理ユーザ・グループを設定する

プロセス管理ユーザ・グループを設定します。

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「プロセスデザイナ」を押下します。
2. 対象となるプロセス定義の編集画面を開きます。
3. プロセスデザイナ右側のプロセスプロパティタブを選択し、プロセス管理ユーザおよびプロセス管理グループを設定してください。

> **コラム**
>
> 差配管理画面ではログインユーザがプロセス管理ユーザおよびプロセス管理グループに該当するユーザとして設定されているプロセス定義のみ差配対象として表示されます。

> **コラム**
>
> プロセス定義の作成方法については、「IM-BPM チュートリアルガイド」 - 「基礎編」を参照してください。

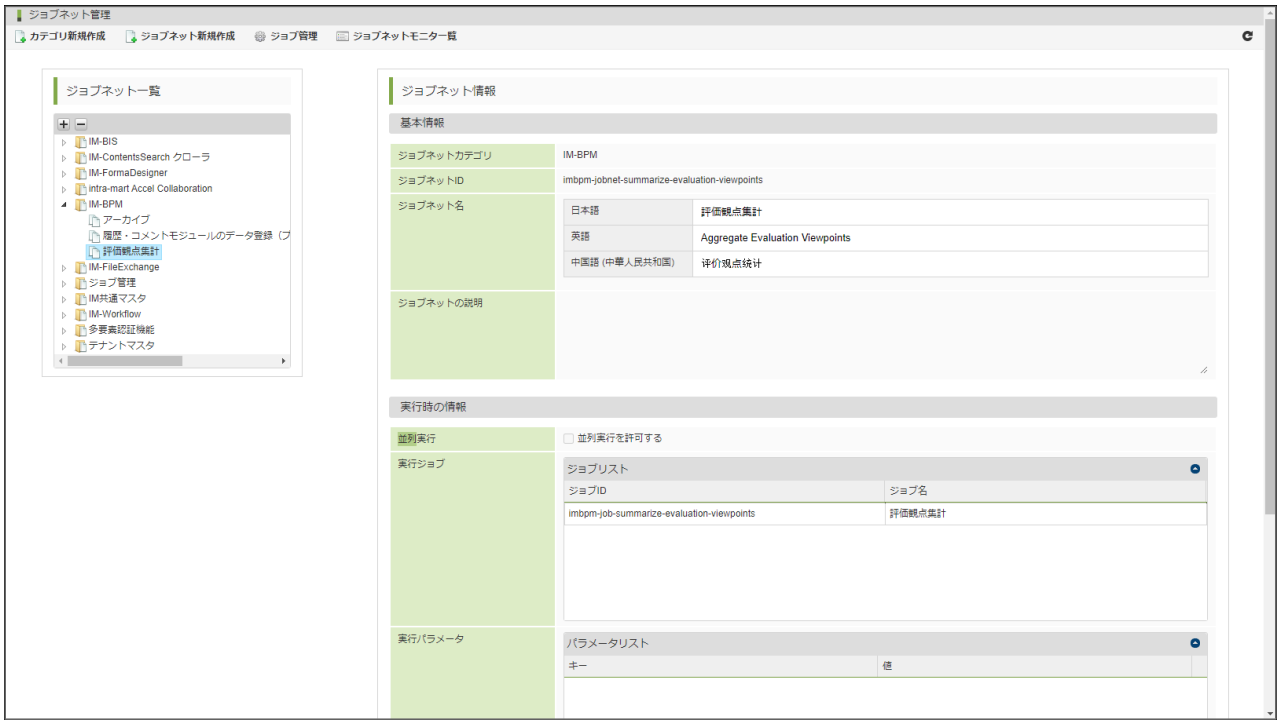
図：プロセスデザイナ

評価観点集計ジョブ（日次）

- 評価観点集計ジョブはタスクの状況を集計する日次実行ジョブです。

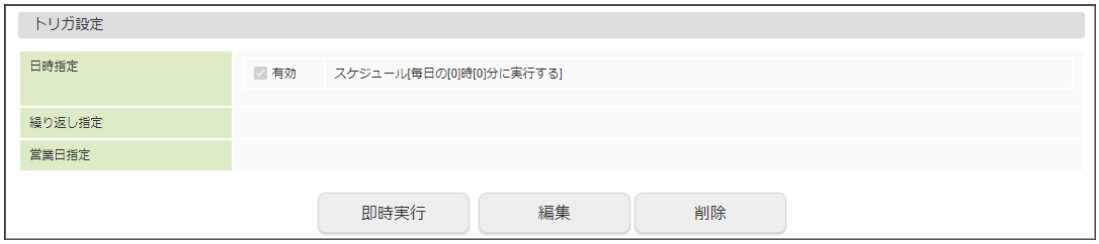
> **コラム**
>
> 評価観点集計ジョブの詳細な仕様については、「IM-BPM 仕様書」 - 「評価観点集計ジョブ」を参照してください。

- 評価観点集計ジョブの設定を表示します。
  1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブ管理」→「ジョブネット設定」を押下します。
  2. ジョブネット一覧を開いたら、「IM-BPM」→「評価観点集計」を押下します。



図：評価観点集計

  3. 評価観点集計のジョブネット情報のページ下部のトリガー設定に日時設定があります。



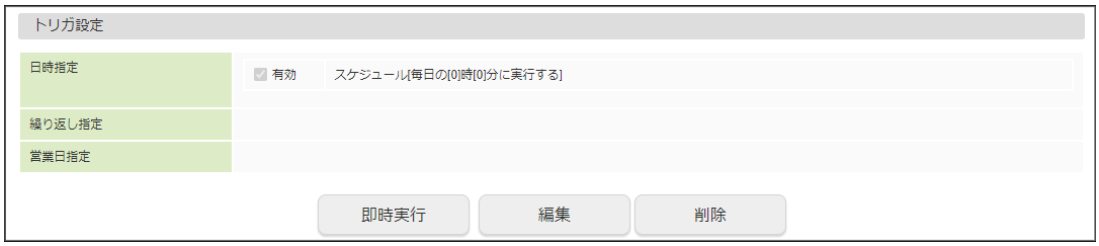
図：ジョブネット情報

> **コラム**
>
> テナント環境セットアップ時の日時設定は毎日0時0分にスケジュールされています。

> **注意**
>
> 差配管理画面を使用しない場合は、評価観点集計ジョブの日時実行をオフにしてください。
>
>
>

図：ジョブネット情報の編集

- 評価観点集計ジョブは手動で即時実行することも可能です。
  1. 評価観点集計のジョブネット情報が表示されたらページ下部の即時実行を押下します。



図：ジョブネット情報

2. ジョブネットモニタで実行した評価観点集計ジョブの実行が成功していれば実施完了です。

図：ジョブネットモニタ

> **コラム**
>
> 集計データが多い場合、評価観点集計ジョブの即時実行はジョブの完了までに処理時間がかかります。

制限事項

アドホックタスク

- 差配管理ではアドホックタスクの件数はカウントされません。

コールアクティビティ

- コールアクティビティに呼び出されるプロセスのタスク数はカウントされません。

ケース定義

- ケース定義ではプロセス管理ユーザ・グループを指定できないため
  ケース定義で作成したプロセス定義は表示されません。

デスクトップ版プロセスデザイナ

- デスクトップ版プロセスデザイナではプロセス管理ユーザ・グループの設定欄がありません。
  Web版プロセスデザイナに取込み後にプロセス管理ユーザ・グループの設定を行ってください。

iPad(Mobile Safari)では差配管理画面を利用できません。

- iPad(Mobile Safari)では差配管理画面を利用できません。

画面構成とイベント

ユーザタスクの滞留状況の確認、およびタスク担当者の変更をする画面です。

項目

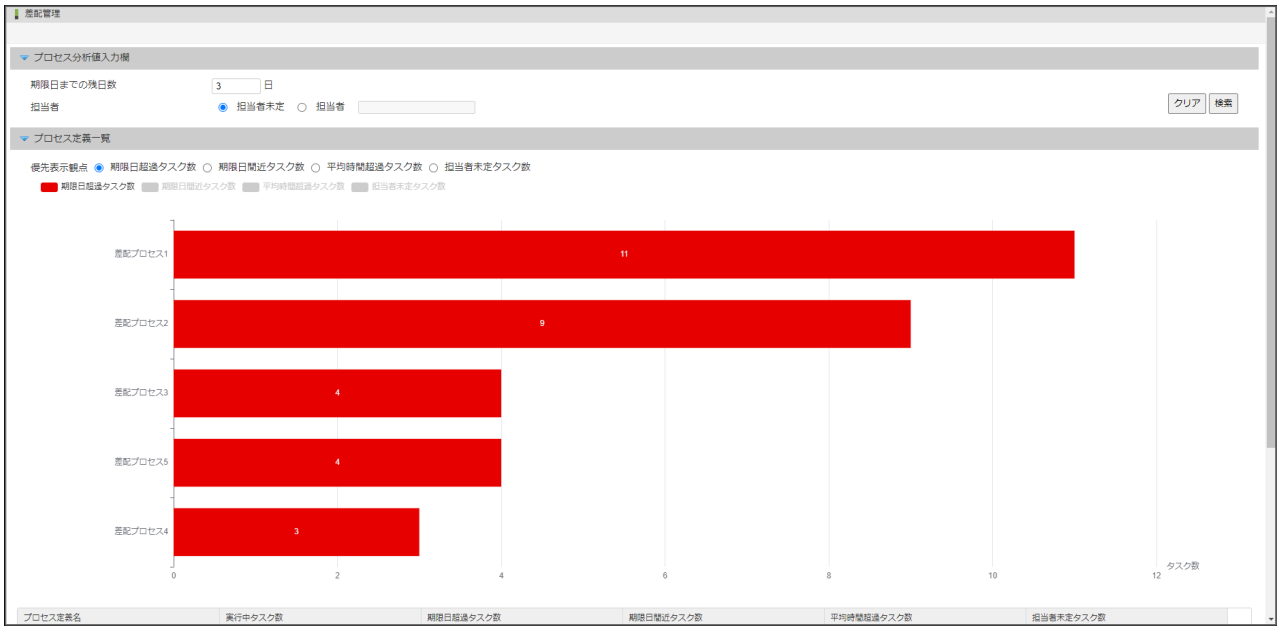
- プロセス定義の一覧を表示する
- プロセス図を表示する
- タスク分析を表示する
- 差配するタスク担当者を選択する

プロセス定義の一覧を表示する

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「差配管理」を押下します。

> **コラム**
>
> 差配管理画面の初期表示時の検索条件は「期日までの残日数：3」、「担当者：担当者未定」で検索したプロセス定義が一覧表示されます。

2. 差配管理したいプロセス定義の検索条件を入力します。

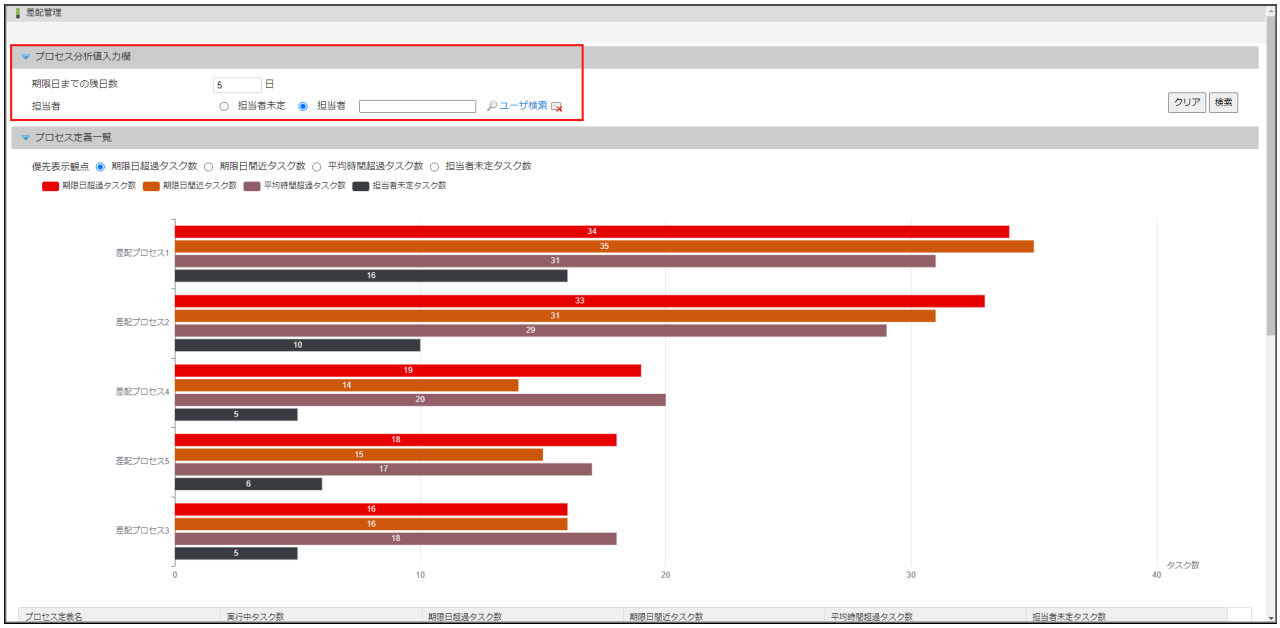


図：差配管理画面-プロセス分析値入力欄

- プロセス分析値入力欄

項目名	説明
期限日までの残日数	入力した日数が、プロセス定義一覧画面にて表示する期限日間近タスク数の計算に用いられます。
担当者	選択した担当者が担当するタスク数をプロセス定義一覧にて表示します。担当者はユーザ検索ダイアログから検索条件に追加できます。
ユーザ検索	ユーザ検索アイコンまたはリンクを押下するとユーザ検索ダイアログが表示されます。 検索条件に追加したい任意のユーザを選択してください。 「ユーザ検索」の右にあるアイコンを押下することで選択したユーザ情報を削除できます。
クリア	検索条件を初期値に戻します。
検索	入力された検索条件をもとにプロセス定義を検索します。

3. 検索を押下しプロセス定義一覧を表示します。



図：差配管理画面-プロセス定義一覧

- プロセス定義一覧

項目名	説明

項目名	説明
優先表示観点	優先表示するタスク状況を選択します。選択したタスク状況を降順でグラフおよびリストテーブルを表示します。
プロセス定義名	プロセス定義の名称が表示されます。
実行中タスク数	実行中のタスク件数が表示されます。
期限日超過タスク数	期限日を超過したタスク件数が表示されます。
期限日間近タスク数	システム日付からタスクの期限日までの日数（ただし休日を除く）が、0以上かつプロセス分析値入力欄で入力した残日数以下であるタスクの件数が表示されます。
平均時間超過タスク数	平均処理時間を超過したタスク件数が表示されます。
担当者未定タスク数	担当者未定のタスク件数が表示されます。

コラム

各タスク数はデプロイされているすべてのバージョンのプロセスのうち、ログインユーザがプロセス管理ユーザ・グループとして設定されているバージョンのプロセスから計算されます。

コラム

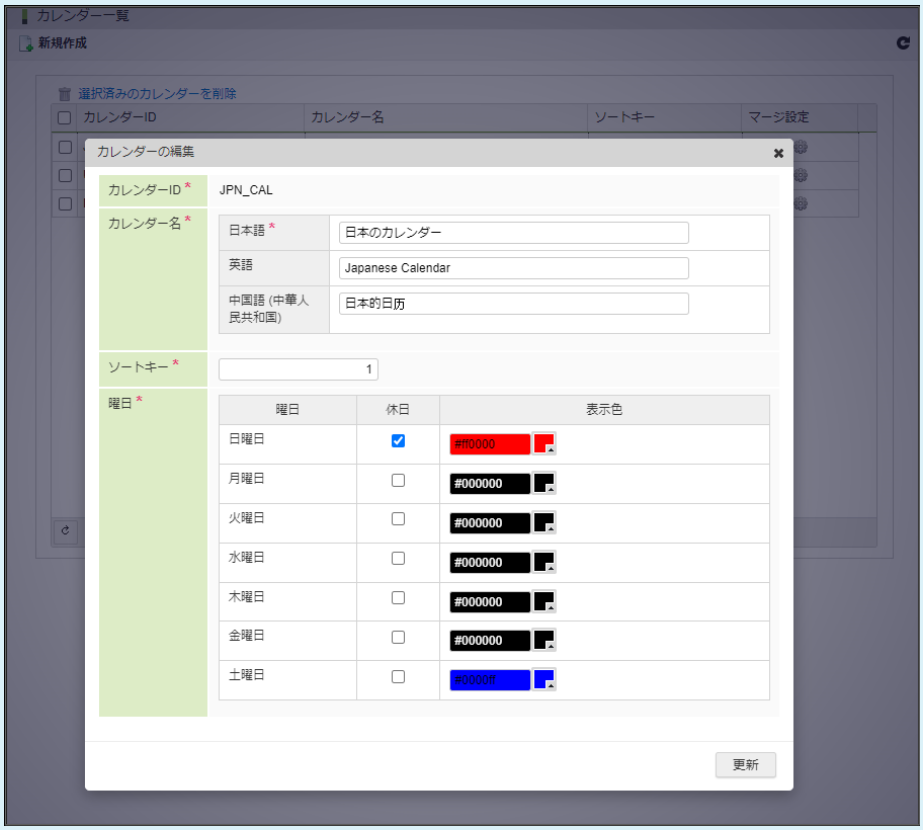
期限日が未設定のユーザタスクは、期限日超過タスク数と期限日間近タスク数がカウントされません。

コラム

担当者が未定のユーザタスクは、平均時間超過タスクがカウントされません。

コラム

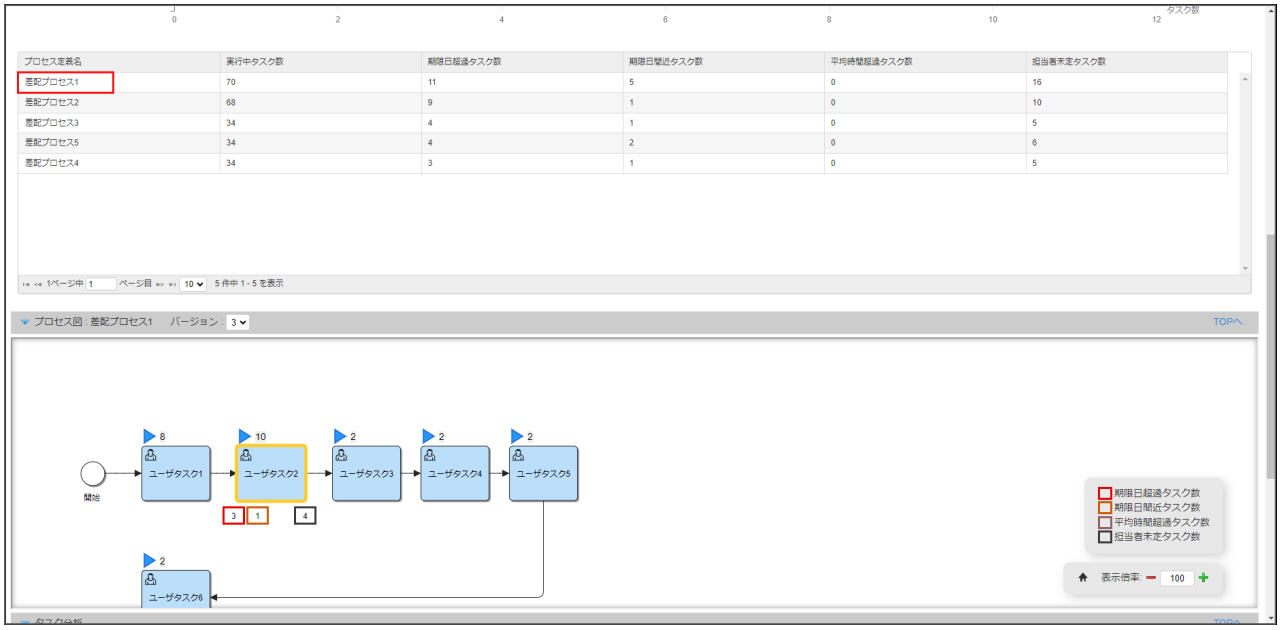
「差配管理画面」の休日は以下で設定された休日に基づき判定されます。
「テナント管理」-「カレンダーメンテナンス」-「各ロケールのカレンダー名」



図：休日設定

プロセス図を表示する

差配管理したいプロセス定義名（リストテーブル）を押下しプロセス図を表示します。



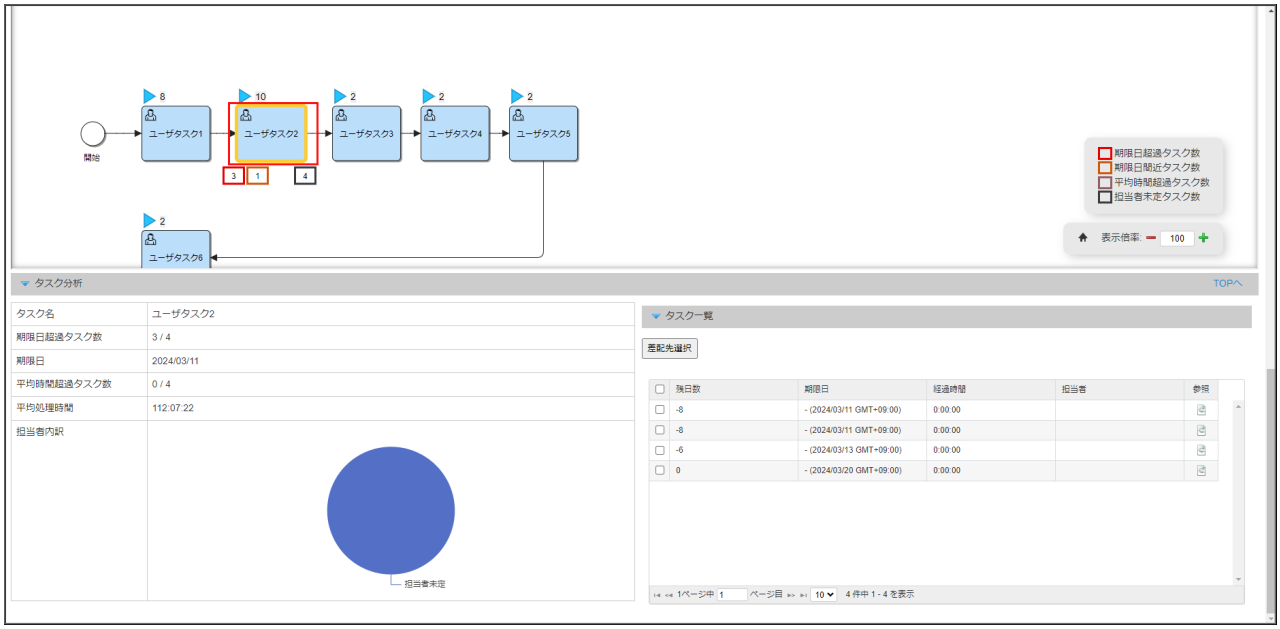
図：差配管理画面-プロセス図

- プロセス図

項目名	説明
プロセス図	選択したプロセス定義名が表示されます。
バージョン	プロセス図として表示するプロセス定義のバージョンを選択します。 ログインユーザがプロセス管理ユーザ・グループとして設定されているプロセス定義のバージョンのみ表示されます。
期限日超過タスク数	期限日を超過したタスク件数が表示されます。
期限日間近タスク数	システム日付からタスクの期限日までの日数（ただし休日を除く）が、0以上かつプロセス分析値入力欄で入力した残日数以下であるタスクの件数が表示されます。
平均時間超過タスク数	平均処理時間を超過したタスク件数が表示されます。
担当者未定タスク数	担当者未定のタスク件数が表示されます。

タスク分析を表示する

分析したいタスクをプロセス図から選択しタスク分析を表示します。



図：差配管理画面-タスク分析

- タスク分析

項目名	説明
タスク名	選択したタスク名が表示されます。
期限日超過タスク数	選択したタスクの総件数と期限日超過タスク数の割合が表示されます。
期限日	選択されているタスクの期限日のうち、最短のものが表示されます。
平均時間超過タスク数	選択したタスクの総件数と平均時間超過タスク数の割合が表示されます。
平均処理時間	選択したタスクの処理時間の平均時間が表示されます。
担当者内訳	選択したタスクの担当者の内訳が円グラフで表示されます。

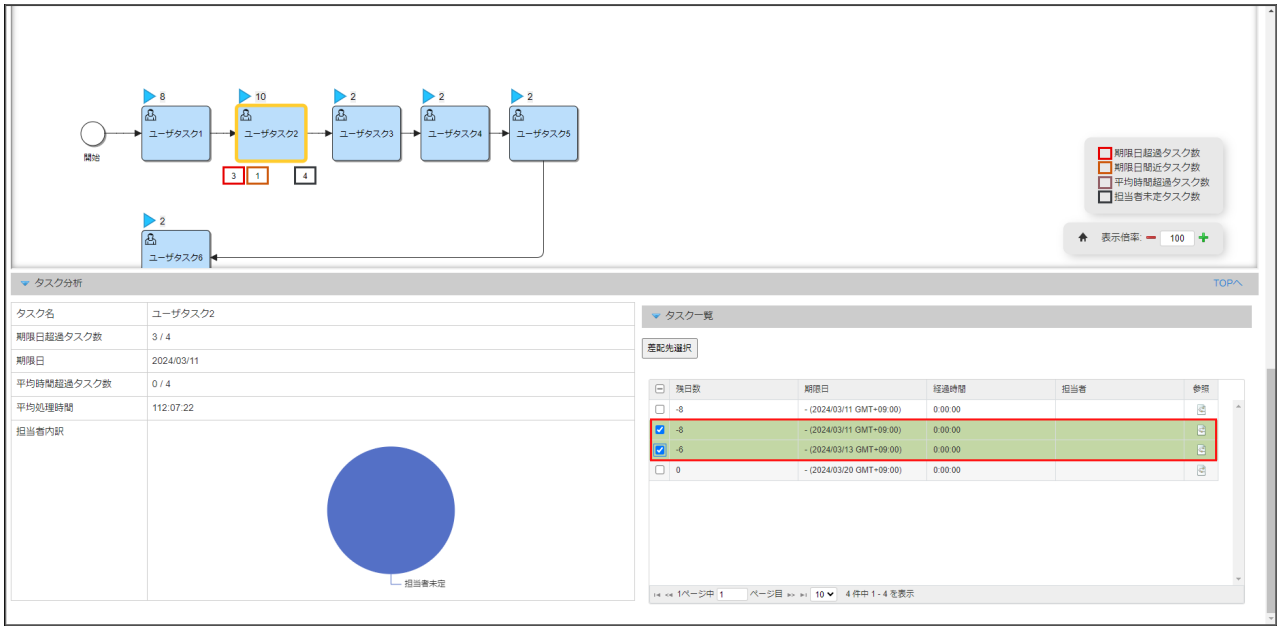
- タスク一覧

項目名	説明
差配先選択	タスク一覧で選択したプロセスインスタンス内のタスク担当者を一括選択するモーダル画面を表示します。
残日数	システム日付から期限日までの営業日数が表示されます。
期限日	タスクの期限日が表示されます。
経過時間	タスク担当者割り当てからの経過時間（時分秒）が表示されます。
担当者	タスク担当者が表示されます。
参照	選択したプロセスインスタンスの「プロセス参照」画面を表示します。

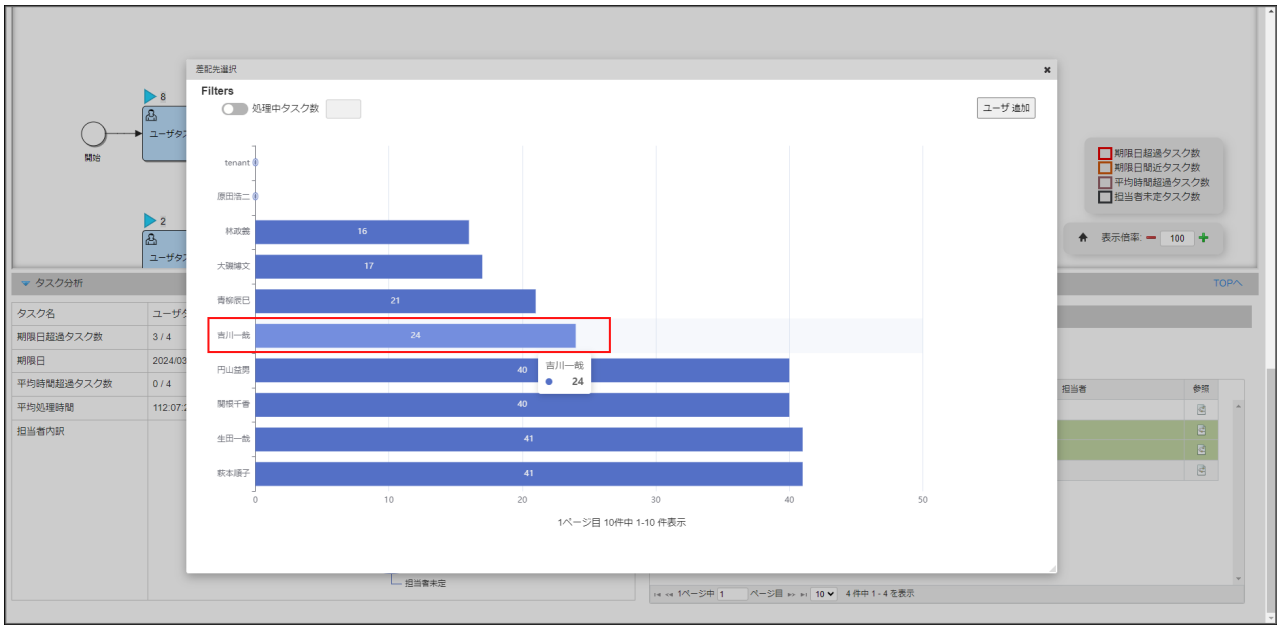
差配するタスク担当者を選択する

1. 担当者を変更したいプロセスインスタンスを選択し差配者選択を押下します。

> **コラム**
>
> 担当者選択モーダル画面の初期表示ではプロセス定義の処理対象ユーザおよび処理対象グループに含まれるユーザと現担当者が担当者の候補として一覧表示されます。
> グラフの値は各候補者の処理中タスク数です。（選択したプロセス定義・バージョンだけでなくそれ以外の全ての処理中タスク数も含みます）



図：差配管理画面-差配タスク選択

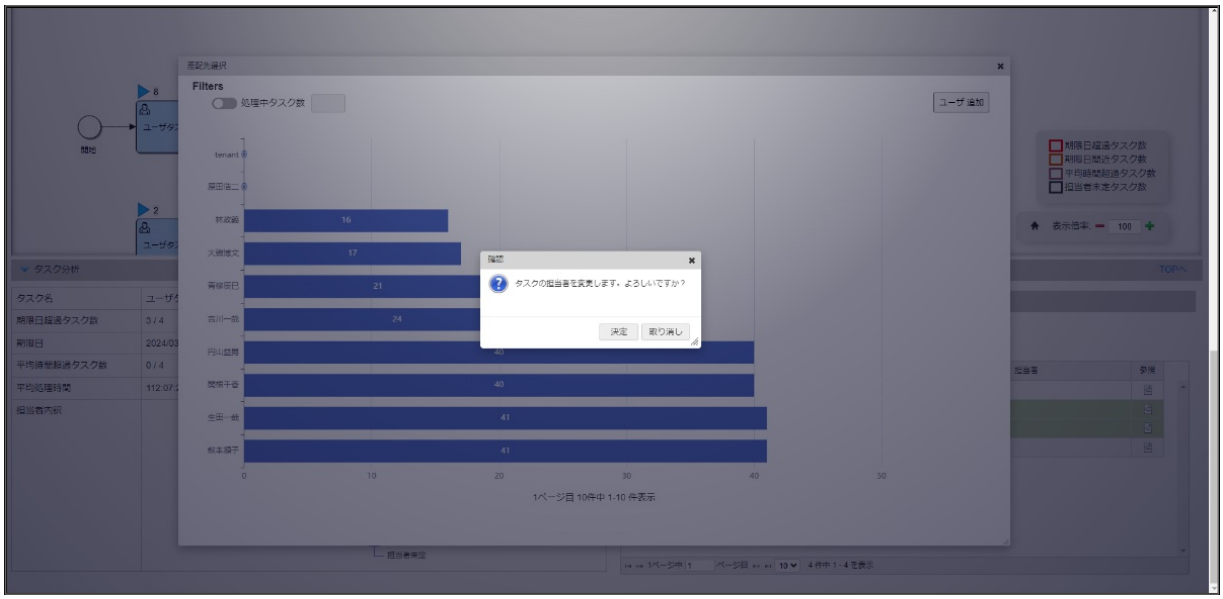


図：差配管理画面-担当者選択モーダル

項目名	説明
処理中タスク数	フィルタする処理中タスク数を入力します。入力値未満のタスク数の候補者のみ表示されます。
ユーザ追加	ユーザ検索ダイアログを表示します。追加されたユーザは候補者として一覧に追加されます。
候補者グラフ	候補者のユーザ名と実行中タスク数が棒グラフで表示されます。グラフを押下することで担当者の選択ができます。

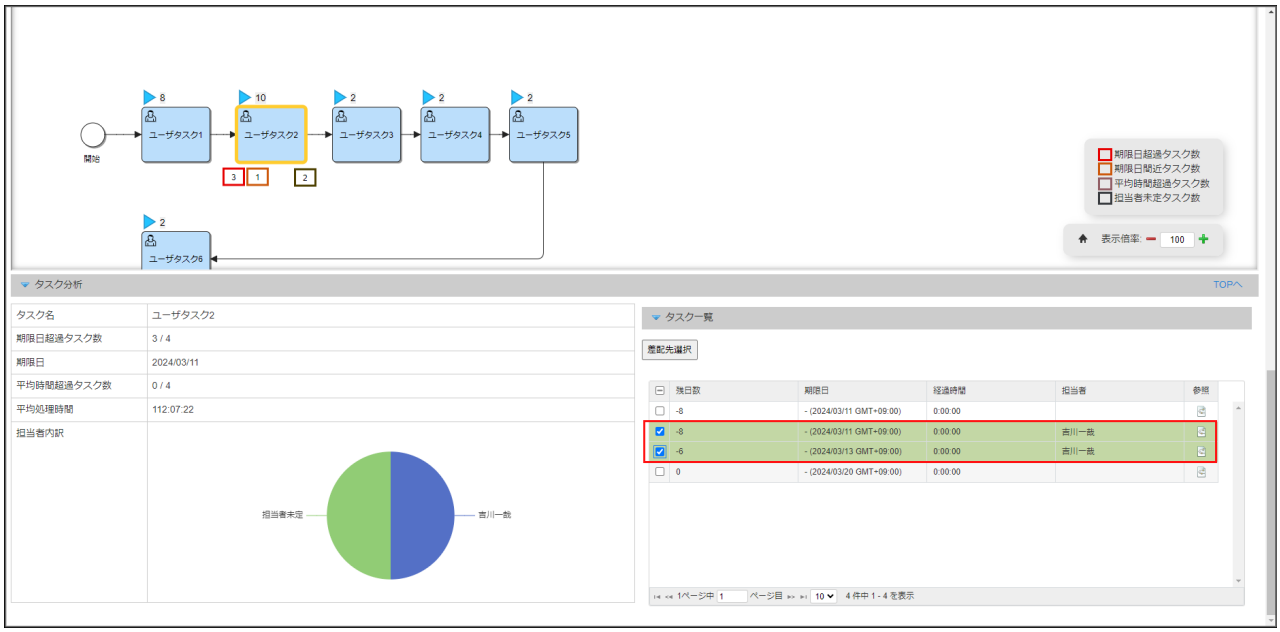
2. 担当に差配するユーザのグラフ部分を押下します。

3. 確認ダイアログが表示されたら「決定」を押下します。



図：差配管理画面-担当者選択モーダル

4. 担当者が変更されました。



図：差配管理画面-タスク分析

ポートレット管理

IM-BPMのポートレットは、以下の設定を行えます。

> **コラム**
>
> ポートレットの設定方法については、「ポータル 管理者操作ガイド」を参照してください。

項目

- 個人タスクポートレット

個人タスクポートレット

個人タスクポートレットは、ページ引数に一覧表示設定の設定キーや検索条件を設定することで、表示項目の変更やタスクの絞り込みを行えます。

図：ポートレット編集

ページ引数に設定するパラメータについては、以下の通りです。

項目名	キー	検索条件
一覧表示設定の設定キー	retains%5Bcondition%5D%5BviewId%5D	-
プロセス定義名	retains%5Bcondition%5D%5BprocessDefinitionNameLike%5D	部分一致
業務キー	retains%5Bcondition%5D%5BprocessInstanceBusinessKeyLike%5D	部分一致
カテゴリ	retains%5Bcondition%5D%5BtaskCategory%5D	完全一致
タスク名	retains%5Bcondition%5D%5BnameLike%5D	部分一致
優先度（最小）	retains%5Bcondition%5D%5BminimumPriority%5D	範囲
優先度（最大）	retains%5Bcondition%5D%5BmaximumPriority%5D	範囲
作成日時（以降）	retains%5Bcondition%5D%5BcreatedAfter%5D	範囲
作成日時（以前）	retains%5Bcondition%5D%5BcreatedBefore%5D	範囲
期限日時（以降）	retains%5Bcondition%5D%5BdueAfter%5D	範囲
期限日時（以前）	retains%5Bcondition%5D%5BdueBefore%5D	範囲
期限日時なし	retains%5Bcondition%5D%5BwithoutDueDate%5D	trueの場合、期限日時が設定されていないタスクのみ検索します。 真偽値

コラム

ページ引数の設定値は、個人タスク一覧画面で実際に検索条件を入力して検索を行い、ブラウザのアドレスバーに表示されたURLのパラメータ部分を利用できます。

「ページ引数」の入力例

- 【例】一覧表示キー「foo」、プロセス定義名（部分一致）「bar」、カテゴリ（完全一致）「baz」のタスクをポートレットに表示させたい場合は、以下のように設定します。

```
retains%5Bcondition%5D%5BviewId%5D=foo&retains%5Bcondition%5D%5BprocessDefinitionNameLike%5D=bar&retains%5
```

インポート/エクスポート

ここでは IM-BPM管理者によるインポート/エクスポートに関する機能を説明します。

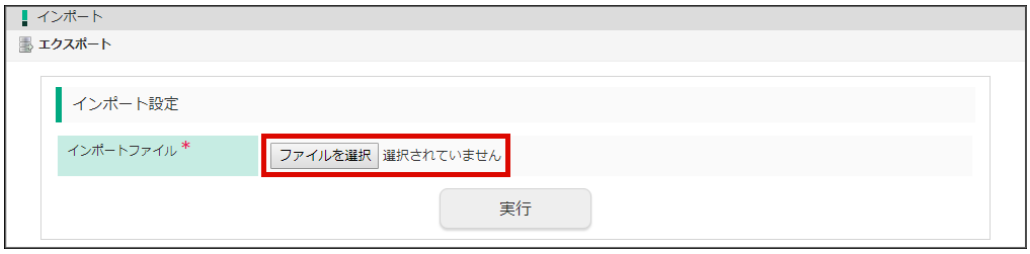
インポート

項目

- インポートを行う

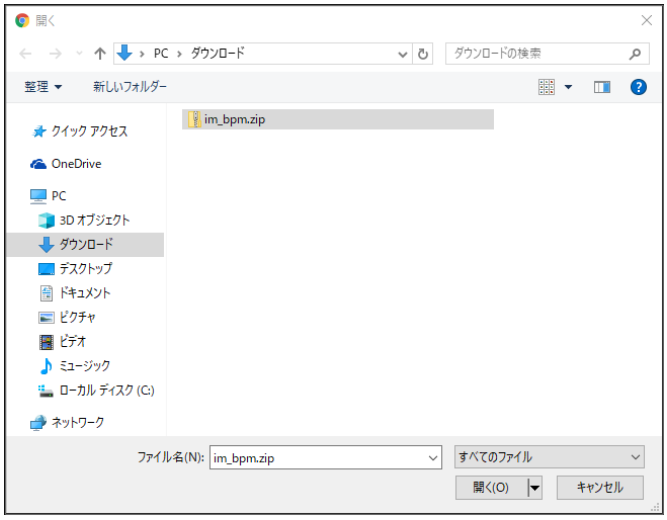
インポートを行う

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「インポート」を押下し、「インポート」画面を表示します。
2. 「ファイル選択」ボタンを押下し、ファイル選択ダイアログを開きます。



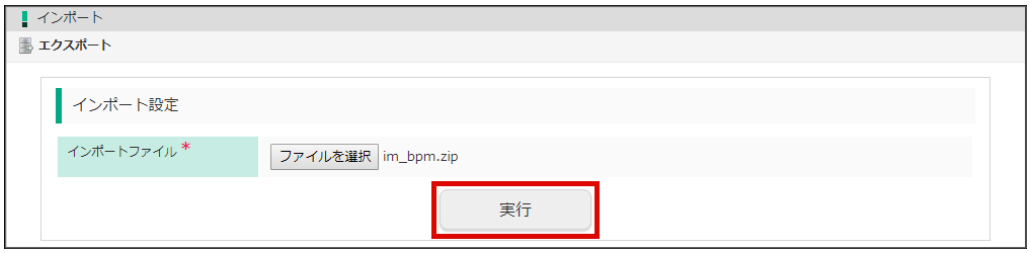
図：インポート - インポート設定

3. ダイアログから、インポートする資材を選択し、「開く」ボタンを押下します。



図：ファイル選択ダイアログ

4. 「実行」ボタンを押下し、インポート処理を実行します。



図：インポート設定 - 実行

エクスポート

項目

- すべてのデータをエクスポートする
- 指定のデータをエクスポートする
- エクスポートするデプロイメントの内容を確認する

すべてのデータをエクスポートする

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「エクスポート」を押下し、「エクスポート」画面を表示します。
2. エクスポートタイプのラジオボタン「全て」にチェックが入っていることを確認します。

図：エクスポート - エクスポート設定

3. 「実行」ボタンを押下し、エクスポートを実行します。

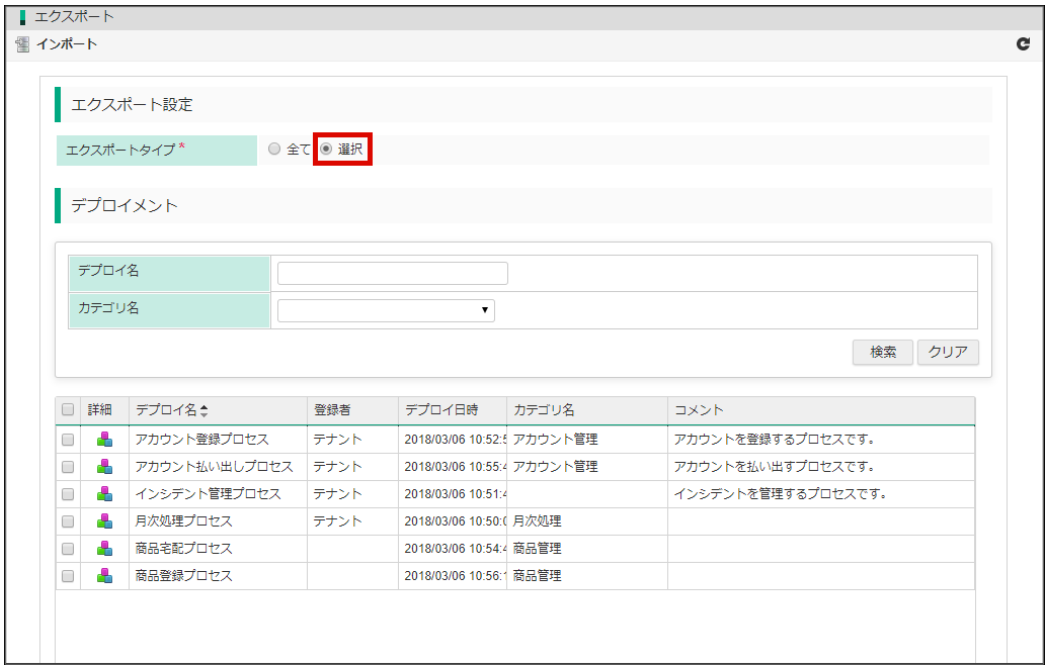
図：エクスポート - エクスポート設定

4. すべてのエクスポート対象データが含まれたエクスポートファイルをダウンロードできます。

   エクスポート対象データについては、「IM-BPM 仕様書」 - 「インポート/エクスポートで扱う情報」を参照してください。

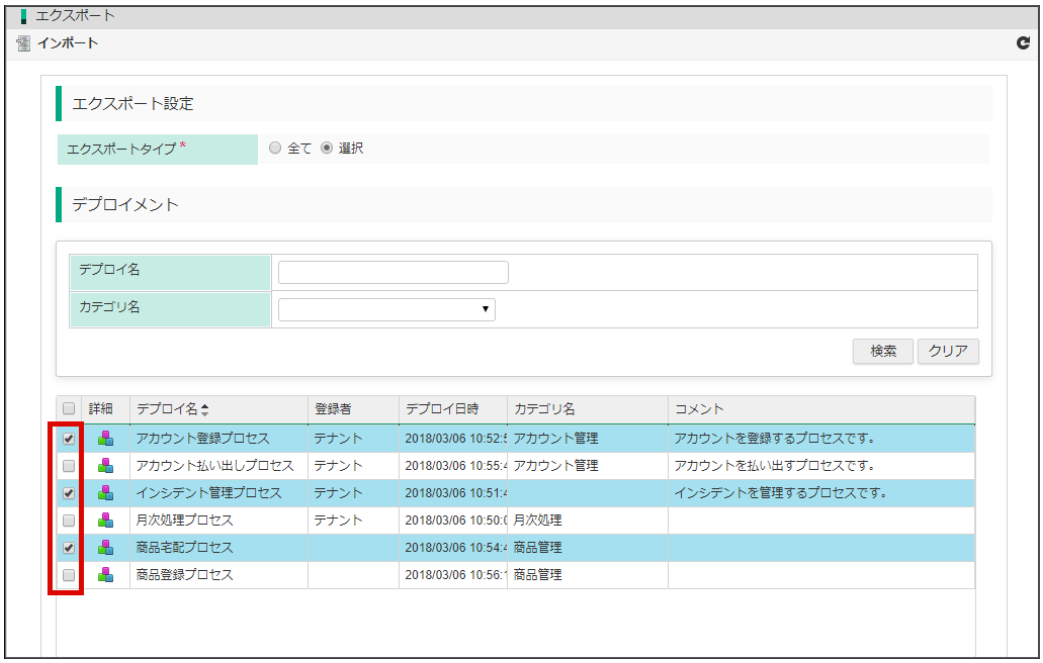
指定のデータをエクスポートする

1. 「サイトマップ」→「BPM」→「エクスポート」を押下し、「エクスポート」画面を表示します。
2. エクスポートタイプのラジオボタンで「選択」を押下し、各エクスポート対象データの一覧を表示します。



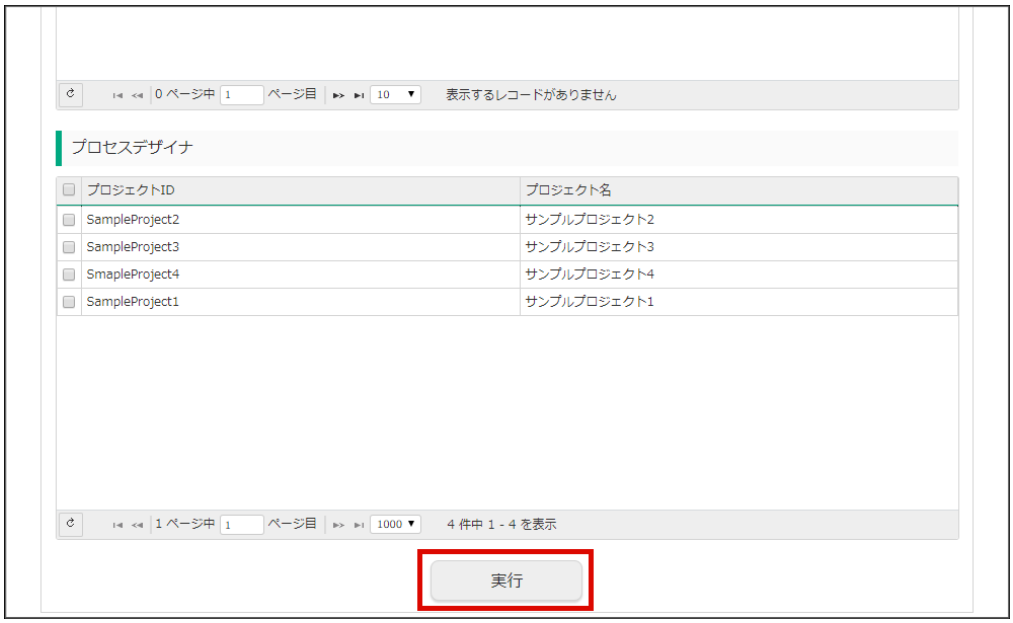
図：エクスポート - エクスポート設定

3. 一覧からエクスポートするデータを検索し、選択します。



図：エクスポート - デプロイメント

4. 「実行」ボタンを押下し、エクスポートを実行します。

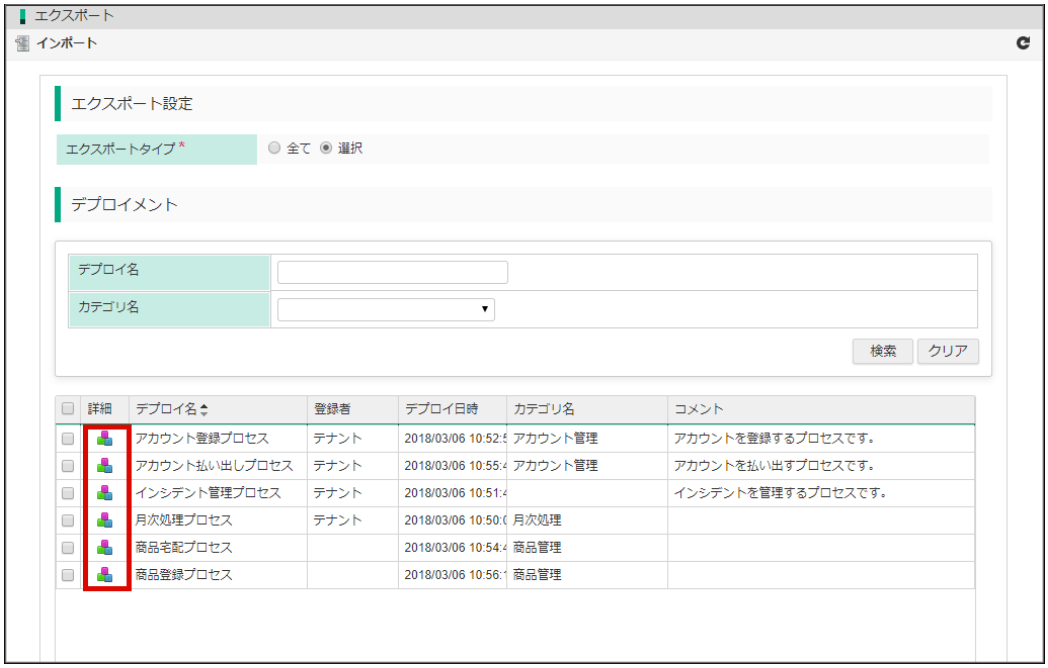


図：エクスポート

5. 選択したデータが含まれたエクスポートファイルをダウンロードできます。

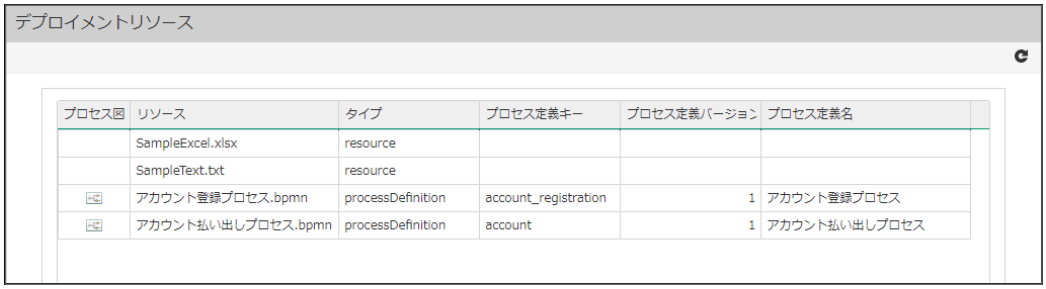
エクスポートするデプロイメントの内容を確認する

1. エクスポート画面の「デプロイメント」一覧で、「詳細」アイコンを押下します。



図：エクスポート

2. デプロイメントリソース画面がポップアップし、デプロイメントの内容を確認できます。



図：デプロイメントリソース